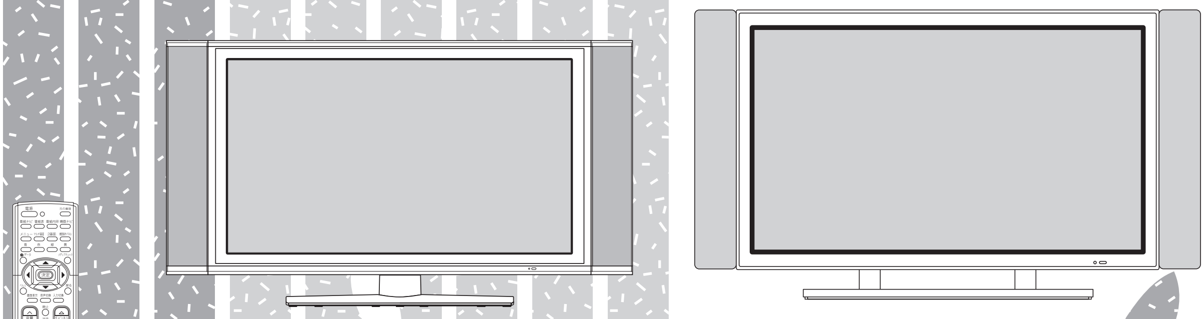
HITACHI

日立BSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

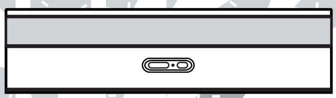
形名

W37-PDH2100
W42-PDH2100

取扱説明書



W37-PDH2100　　W42-PDH2100



このたびは日立BSデジタルハイビジョンプラズマテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この説明書は、2モデルの説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについてはW37-PDH2100、W42-PDH2100と表記しています。仕様の相違については裏表紙をご覧ください。本文中のイラストは主として、W37-PDH2100で説明しています。

日立BSデジタルハイビジョンプラズマテレビは下記の構成になっています。

W37-PDH2100：プラズマテレビモニター（W37-PDH2100（M））、プラズマテレビチューナー（W37-PDH2100（A））とプラズマテレビスピーカーユニット（W37-PDH2100（SP））の3つで構成しております。

W42-PDH2100：プラズマテレビモニター（W42-PDH2100（M））、プラズマテレビチューナー（W42-PDH2100（A））とプラズマテレビスピーカーユニット（W42-PDH2100（SP））の3つで構成しております。

ご購入の際は、この3つが別々の梱包となっております。ご確認願います。

最初に　「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

特長

BSデジタル放送の鮮やかな高画質映像と
多機能サービスが楽しめる
BSデジタルハイビジョンチューナー内蔵

表示画素1024×1024でデジタルハイビジョンが実現可能な高輝度高画質再現
37､42V型ALIS方式プラズマディスプレイパネル

BSデジタル放送（1125i）高精細表示及び現行放送をハイビジョンと同じ走査線数で表示
緻密でチラつきの少ない高画質を実現した
アドバンスドプログレッシブ&1024インターレース走査

リモコンをモニターに向けて外部接続機器を操作できる
メディアコントロール機能採用

テレビ放送のゴースト妨害を低減
デジタルGR（ゴーストリダクション）回路

豊かで深みのある低音が楽しめる新技術
TruBass by SRS ※

※ TruBass by SRS はSRS Labs, Inc.の商標です。

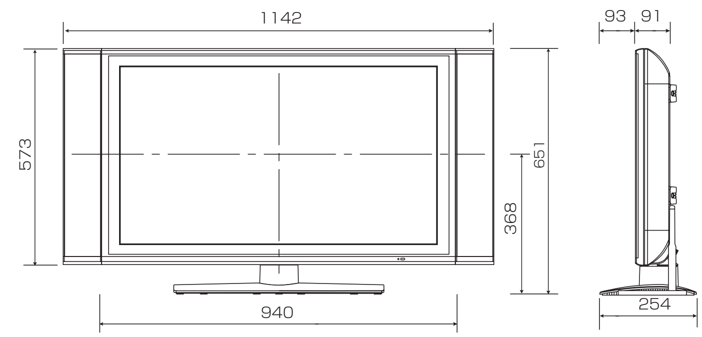
チューナー部とモニター部を分離
壁掛け設置も可能
薄形軽量設置フリー

いつも見やすい位置から映像を楽しめる
スイーベル機構採用

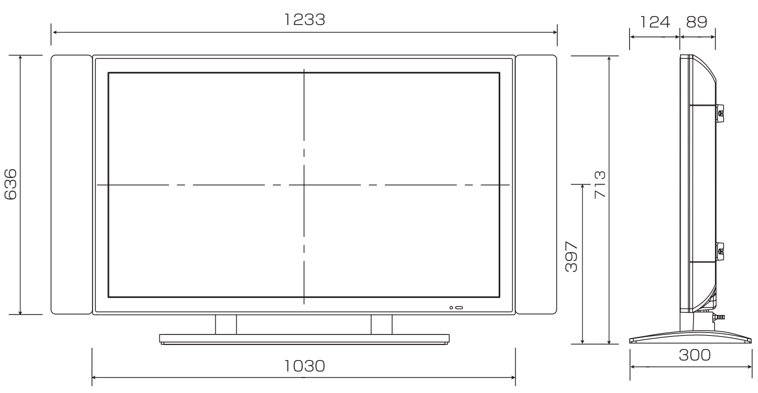
※W37-PDH2100のみ

モニター寸法図
（スピーカーシステムをモニターに取り付けとき）

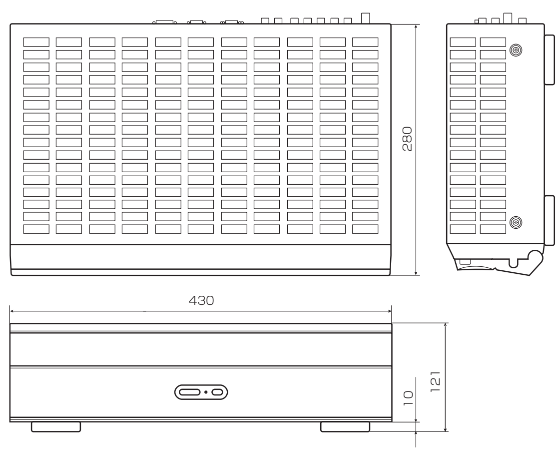
W37-PDH2100



W42-PDH2100



チューナー寸法図



商標について

- i.LINKとi.LINKロゴ "i" は、ソニー株式会社の商標です。
- D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。

本書の見かた

この説明書は、ほとんどが1ページまたは2ページの見開きで見るようになっています。
（※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。）

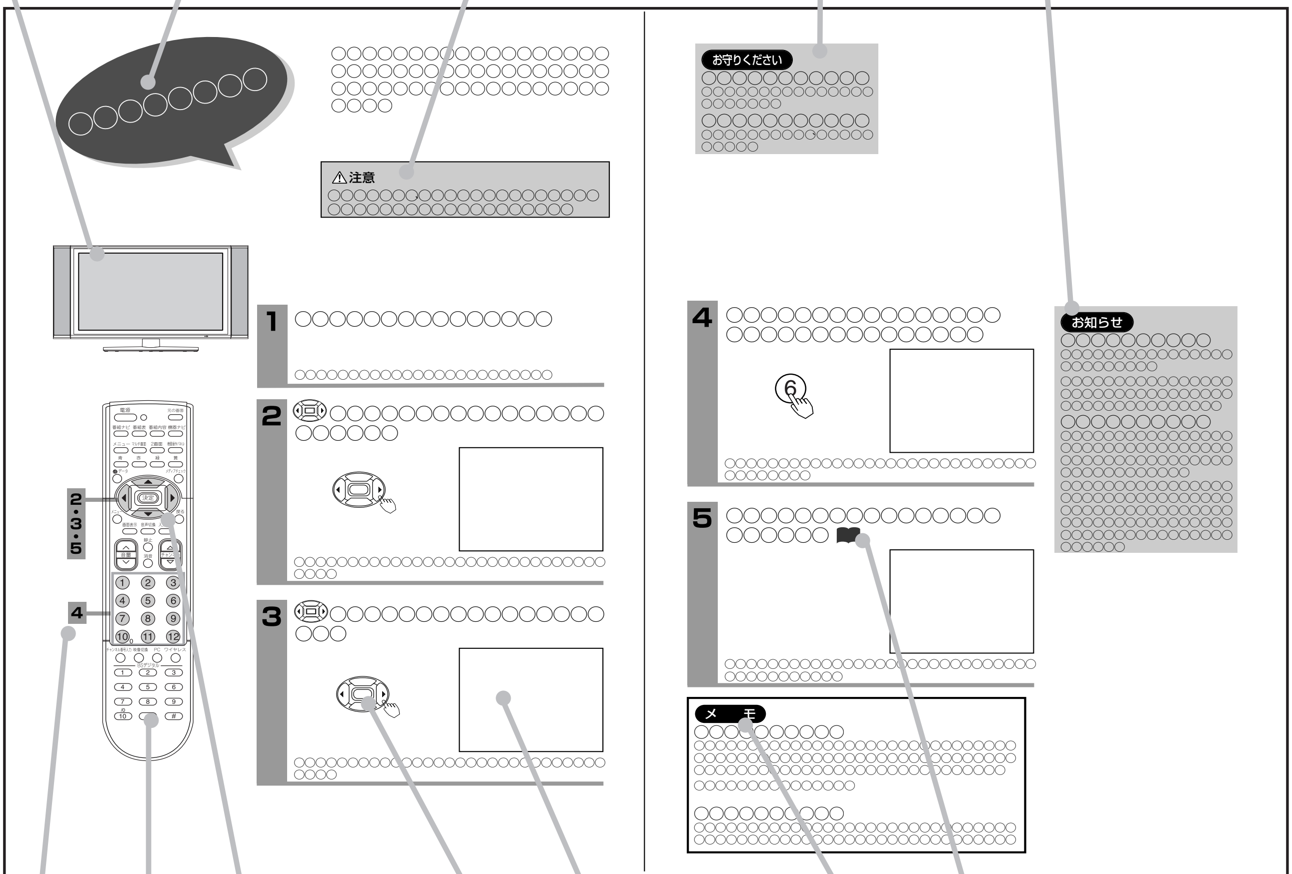
お守りください
操作上、守っていただきたいことを記載

⚠注意
安全上、守っていただきたいことを記載

お知らせ
操作上、知っておいていただきたいことを記載

タイトル

本体部



カーソルボタン

手順の説明

参照ページの記号

リモコン

イラストからの引出番号は操作する順番です

カーソルボタンの記号
- 上下左右いずれかの操作
- 上下方向の操作
- 左右方向の操作

メ　モ
知っていると便利な操作・解説

この説明書は、2モデルの説明書となっています。本文中、それぞれの機種特有の取り扱いについてはW37-PDH2100、W42-PDH2100と書いてあります。

もくじ

はじめに

特　長 …… 2
本書の見かた …… 3
使用上のご注意 …… 6
　安全上のご注意 …… 6
　お守りください …… 10
　お知らせ、留意点 …… 11
お使いになる前の準備 …… 12
各部のなまえ …… 14
　リモコン …… 14
　モニター …… 15
　チューナー前面 …… 17
　チューナー後面 …… 18
リモコンの取り扱い …… 19

基本の使いかた

テレビ放送（VHF/UHF）を楽しみたいとき …… 20
BSデジタル放送を楽しみたいとき …… 22
べんり機能の使いかた …… 24
　べんり機能の項目の選びかた …… 24
　べんり機能で設定できる項目について …… 25
メニュー機能の使いかた …… 26
ビデオを見たいとき …… 27
ワイド機能を楽しみたいとき …… 28
　ワイドモードの選びかた …… 28
　オートワイドの効果 …… 29
　その他のワイドモードについて …… 30
　画面位置を調節したいとき …… 31
ゴースト妨害を低減したいとき …… 32
（ゴーストリダクション）
　ゴースト妨害とは …… 32
　ゴーストを低減したいとき …… 33
音を一時的に消したいとき …… 34
チャンネル番号などを知りたいとき …… 35
　画面表示 …… 35
音声内容の選びかた …… 36
　二重音声放送のとき …… 36
　ステレオ放送のとき …… 36
　BSデジタル放送の音声信号を切り換えるとき …… 36
本体で操作したいとき …… 37

映像・音声の設定

映像の自動調整モードを選びたいとき …… 38
　映像モードの選びかた …… 38
映像設定をしたいとき …… 39
　明るさ、黒レベルなどの設定 …… 39
さらにお好みの映像設定をしたいとき …… 40
　（ビデオ入力画質、オートコントラスト、3次元Y/C、ライン補間、フィルムシアター、黒補正、LTI、CTI）
音声設定をしたいとき …… 41
　（音声モード、高音、低音、バランス、TruBass、サラウンド）
さらにお好みの音声設定をしたいとき …… 42
　（ステレオミュート、ミュート音量、ヘッドホン音量）

多機能の使いかた

マルチ画面を楽しみたいとき …… 44
　マルチ画面モードについて …… 44
　2画面を楽しみたいとき …… 44
　4画面を楽しみたいとき …… 46
メディアチェックで選びたいとき …… 48
静止画にしたいとき …… 49
自動的に電源を切りたいとき …… 50
他の設定を変えたいとき …… 51
　オートワイドの設定 …… 51
　メディアコントロール機能をご使用になるには …… 52
　スクリーンセーバーをご使用になるには …… 53
外部機器を接続するときに便利な設定 …… 54
　モニター出力、入力検出、ゲームモード、ビデオパワーセーブの設定 …… 54
　ビデオ入力表示書換の設定 …… 56
　コンポーネントの設定 …… 57
　入力スキップの設定 …… 58
　ビデオなどに録画するとき（BSch固定の設定） …… 59
　MD（ミニディスク）などに録音するとき（デジタル音声－BS固定の設定） …… 60

BSデジタル放送の楽しみかた

BSデジタル放送をご覧になるには …… 61
　画面表示の意味について …… 61
　番組ナビ画面について …… 62
　インフォメーション画面について …… 63
　BSデジタル番組の楽しみかた …… 64
表示機能について …… 66
　番組表を表示する …… 66
　見ている番組のタイトルなどを表示する …… 68
　番組の詳細内容を表示する …… 69
選局機能について …… 70
　BSチャンネル一覧から選局する …… 70
　裏番組一覧表から選局する …… 71
検索機能について …… 72
　番組をジャンル別に検索する …… 72
有料番組について …… 74
　有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する …… 74
　購入記録を確認する …… 75

予約する …… 76
番組を予約する …… 76
予約操作の流れ …… 76
予約済みの番組を選んだ場合 …… 78
予約できない場合 …… 79
予約がいっぱいの場合 …… 79
予約が重なっている場合 …… 79
予約の詳細設定 …… 80
予約後の注意点 …… 82
予約の優先順位について …… 83
連動予約とタイマー予約について …… 83
予約の事前設定 …… 84
予約の確認、変更、取消しをする …… 86
視聴制限を一時的に解除したいとき …… 87
視聴条件の設定 …… 88
暗証番号の登録と「視聴制限設定」画面の出しかた …… 88
視聴可能年齢/一番組限度額 …… 90
暗証番号の変更/暗証番号の取消し …… 91
選局対象を指定したいとき …… 92
放送コンテンツについて …… 93
字幕や文字スーパーを見たいとき …… 93
BSデータ放送を見たいとき …… 94
同一チャンネルの複数コンテンツを切り換える …… 95
インフォメーションの確認 …… 96
電話発信記録を見る …… 96
メールを見る …… 97
接続機器の操作 …… 98
i.LINKについて …… 98
i.LINK対応機器を操作する …… 99
D-VHSビデオデッキを操作する …… 100
i.LINK対応機器の確認、設定 …… 102

設置

モニター、チューナー、スピーカーユニットの接続 …… 104
W37-PDH2100のとき …… 104
W42-PDH2100のとき …… 106
接続 …… 108
VHF/UHFアンテナ線の接続 …… 108
VHF/UHFアンテナが混合のとき …… 108
VHF/UHFどちらか一方のとき …… 108
VHF/UHFアンテナが独立のとき …… 108
BSが混合のとき …… 108
アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続 …… 109
F形接栓(別売り)の接続 …… 109
UHFフィーダーの接続 …… 109
フェライトコアの使いかた …… 109
きれいな映像を楽しむために …… 109
アッテネーターについて …… 110
BSアンテナ線を接続するには …… 111
B-CASカードの挿入 …… 112
電話回線の接続 …… 113
ビデオコントローラーを接続する …… 114
ビデオを接続する …… 115
i.LINK対応のD-VHSビデオデッキとの接続 …… 116
デジタル音声入力端子付きオーディオ機器との接続 …… 117
メディアコントローラーを接続する …… 118
テレビ放送の受信設定について …… 120
チャンネルの合わせかた（地域番号） …… 120
地域番号一覧表 …… 122
チャンネルの合わせかた（マニュアル） …… 128
10キー方式にかえる場合 …… 130
微調する場合 …… 131
ゴースト妨害を低減したいとき（ゴーストリダクション） …… 132
空きチャンネルを飛び越し選局したいとき …… 134
受信モードの設定について …… 135
BSデジタル放送の受信設定について …… 136
設定画面の出しかた …… 136
電話設定 …… 138
地域設定 …… 140
BSチャンネルの設定 …… 142
BSアンテナの設定 …… 143
その他の設定 …… 144
（受信設定、項目のリセット、B-CASカードテスト）
ダウンロードについて …… 146
ダウンロード予約選択メール画面での設定方法 …… 146
ダウンロード予約の自動/手動設定 …… 147
外部機器接続時の設定 …… 148
Irシステムの設定 …… 148
i.LINK待機の設定 …… 151
デジタル音声出力の設定 …… 152
アナログ接続設定 …… 153
他の外部機器と接続したいとき …… 154
接続できる機器 …… 154
ビデオカメラとの接続 …… 155
画面を見ながらテープ編集をするときの接続 …… 156
DVDプレーヤーとの接続 …… 157
ゲーム機との接続 …… 158
将来実用化予定のデジタル機器との接続 …… 159
オーディオ機器との接続 …… 160
CATVホームターミナルとの接続 …… 161
赤外線システムについて …… 162
赤外線システムの接続 …… 162
赤外線システムの使いかた …… 163
PC入力について …… 164
パソコンとの接続 …… 164
PC入力画面の映像設定をしたいとき …… 165
（明るさ、黒レベル、色温度、エンハンサー）
PC入力画面の位置などを自動調節したいとき …… 166
PC入力画面の位置などをお好みに調節したいとき …… 167
対応する信号について …… 168
推奨信号について …… 168
PC（RGB）入力端子のピン配列 …… 169
据え付けについて …… 170
転倒防止について …… 170
据え付けるときのご注意 …… 171

ご参考

パワーセービングシステム …… 172
故障かな？と思ったら …… 173
メッセージ表示一覧 …… 176
アイコン一覧 …… 177
メニュー階層 …… 178
保証とアフターサービス(必ずご覧ください。) …… 181
お客様ご相談窓口 …… 182
用語解説 …… 183
索　引 …… 184
仕　様 …… 裏表紙

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について	製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

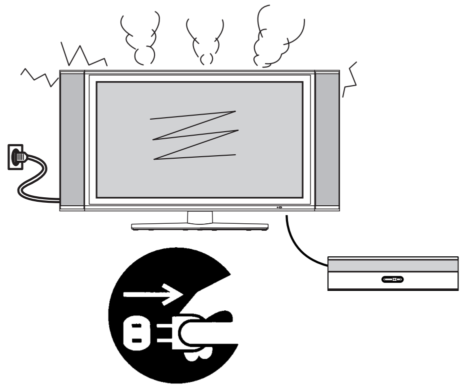
絵表示の意味

- ⚠ 気をつけなければならない。「注意」を示します。
- ⚠ 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
- ⃠ してはいけない。「禁止」を示します。
- ❗ 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

⚠警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- **煙が出ている、へんな臭いや音がする**
- **画が乱れる・映らない、音がでない**
- **本機の内部に異物(水、金属など)が入った**

など

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

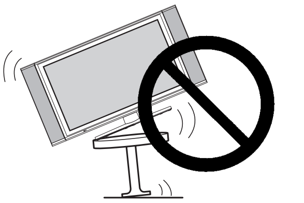
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

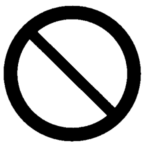
⚠警告

■ 不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

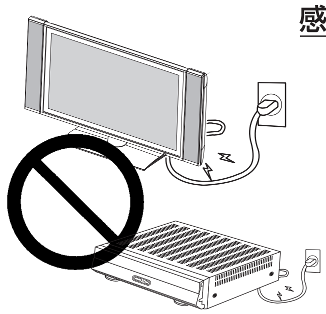
■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない



破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。
- プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。



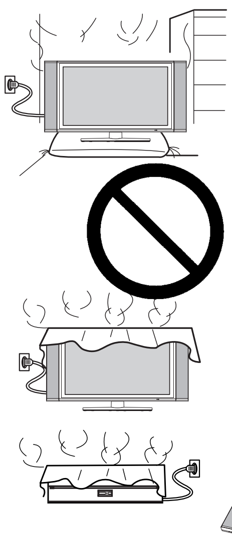
⚠注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

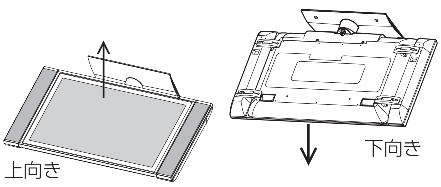


火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど

■ 通風孔をふさがない



火災の原因となることがあります。
通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。（モニターを壁掛け設置する場合は除く）
特につぎのような使い方はしないでください。
- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。



■ キャスター（車）止めをする



テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。
テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける



本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。



■ 本機を移動させるときは、スピーカーシステムを持たない



スピーカーシステムの取り付け部が破損し、けがの原因となることがあります。

設置をするとき（つづき）

⚠注意

■転倒防止の処置を行う



モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください



- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

使用するとき

⚠警告

■本機の上に花びんなどを置かない



水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

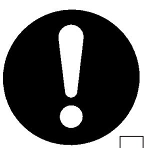
■風呂場やシャワー室で使用しない



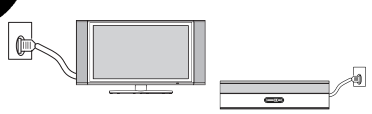
風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■指定の電源電圧で使用する



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



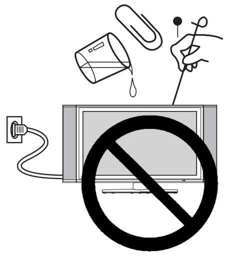
■雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない



接触禁止

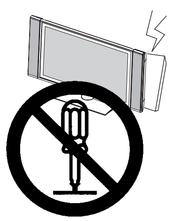
感電の原因となります。

■異物を入れない



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
特にお子様にはご注意ください。

■裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない



分解禁止

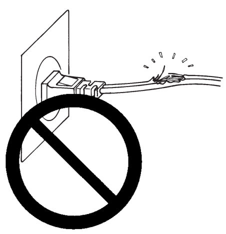
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■電源コードを傷つけない



火災・感電の原因となります。
傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

使用するとき（つづき）

⚠警告

■衝撃を与えない



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■光デジタル音声出力端子のカバーは幼児の手の届かないところに保管する



万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

光デジタル音声出力端子に取り付けてあるカバーを取り外した場合は、お子様がカバーを誤って飲むことがないようにしてください。

⚠注意

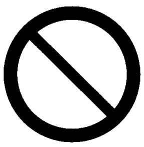
■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。

また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

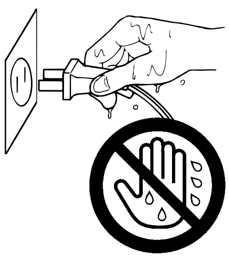


発熱して火災の原因となることがあります。

ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

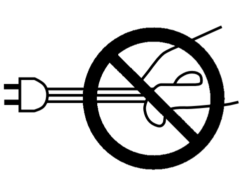
■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない



電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

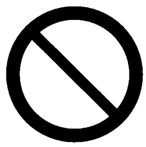
■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

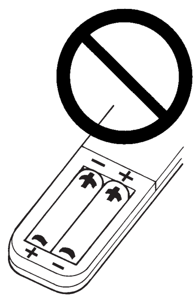
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■本機の上に重いものを置かない



倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■間違った電池の使い方をしない



電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

特に、次の使い方はしない。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

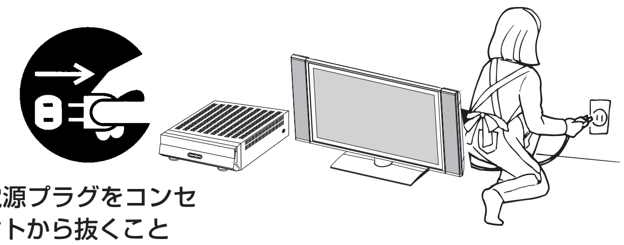
■長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く



お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

■年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください



本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具の近くなど。

■お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

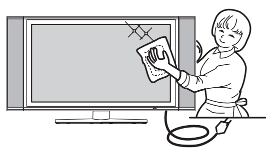
■適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■パネルのお手入れについて



本機のパネル表面は，柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。

硬い布で拭いたり，強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。

指紋など油脂類の汚れがひどい場合は，水で薄めた中性洗剤に布をひたし絞ってふき取ってから、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

■キャビネットのお手入れについて

●キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

■搬送についてのご注意

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

お知らせ

■面欠点について

プラズマパネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■パネル表面について

プラズマパネルは、パネルの内部で放電を起こすことにより映像を表示しています。そのため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。
また、プラズマパネルは、微細加工したガラスです。パネルの前面には強化ガラス製のフィルターを取り付けていますが、ガラスが破損する恐れがありますので強い衝撃は与えないでください。

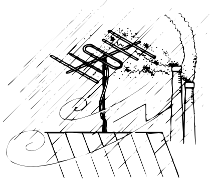
■輸送時について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスが破損する、または面欠点が増加する可能性がありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

■ご覧になる位置は

画面のたての長さの3～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

■アンテナの点検・交換について



アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■ファンモーターについて

本機は、電源を入れるとチューナー部の温度を下げるためにファンモーターの動作音がしますが、故障ではありません。
また、電源オフ時でも、録画予約時やダウンロード実行時などには、自動的にファンモーターが作動します。

留意点

- ■付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、BSデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- ■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- ■あなたがビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- ■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。
- ■長時間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、チューナーの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（モニター主電源オフ／スタンバイ／機能待機）状態でも、自動的にBSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行なっています。
- ■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- ■本機の受信周波数帯域（1032MHz～1336MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近付けると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

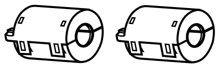
お使いになる前の準備

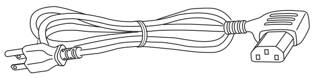
付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

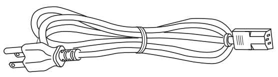
■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

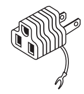
モニターの付属品

保証書 ……………………1冊


フェライトコア②（2個） 105 107

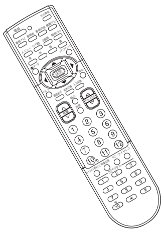

電源コード（黒色）（W37-PDH2100） 13

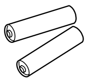

電源コード（黒色）（W42-PDH2100） 13

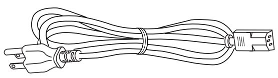

電源プラグアダプター 13

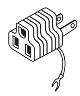
チューナーの付属品

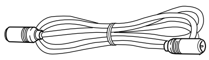
取扱説明書（本書）………1冊

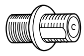

リモコン送信機 14

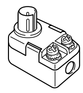

単3形乾電池 19


電源コード（灰色） 13

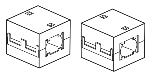

電源プラグアダプター 13

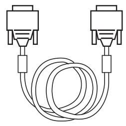

RFケーブル 108

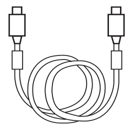

中継接栓 108

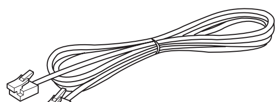

アンテナアダプター 109

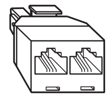

B-CAS（ビーキャス）カード 112

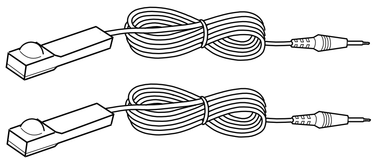

フェライトコア①（2個） 109

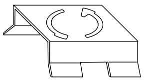

専用接続ケーブル1 13


専用接続ケーブル2 13


モジュラーケーブル 113


モジュラー分配器（2分配用） 113

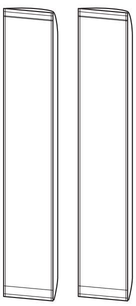

ビデオコントローラー（1個） 114
メディアコントローラー（1個） 118

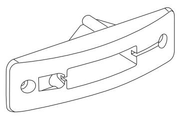

ワイヤレスホルダー 162

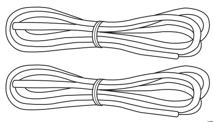

ワイヤレスクッション 162

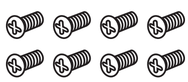
メモ 付属品のビデオコントローラーとメディアコントローラーは同じものです。

スピーカーシステムの付属品


スピーカー（L）（R） 104 106

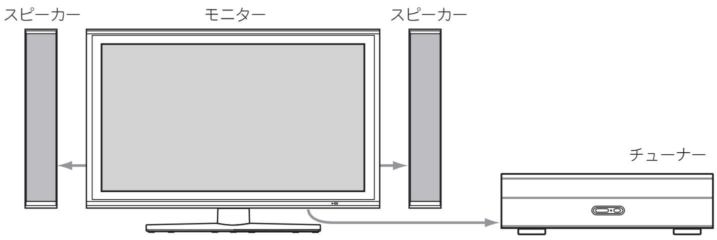

スピーカーホルダー（4個） 104 106


スピーカー接続ケーブル（2本） 104 106


取付けネジ（8本） 104 106

1 モニター、チューナー、スピーカーユニットの接続

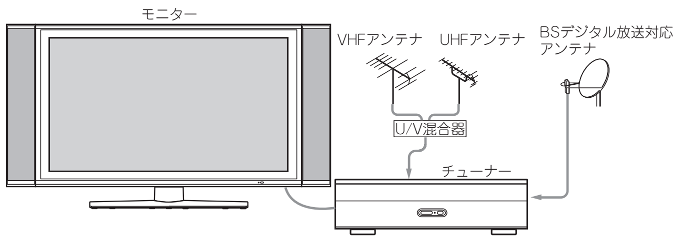
W37-PDH2100のときは 104 、W42-PDH2100のときは 106 をご覧ください。



2 アンテナ線をつなぐ 108 ～ 111

⚠ 注意

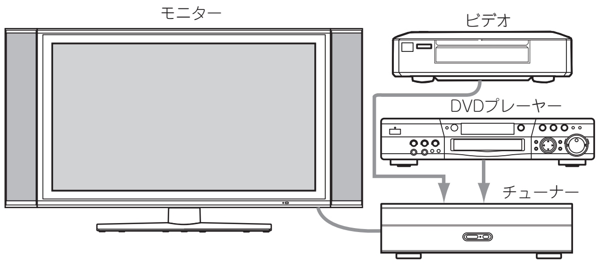
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。



3 お手持ちの機器をつなぐ

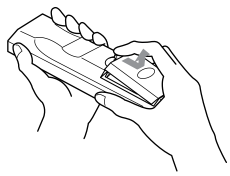
115 ～ 117 , 154 ～ 169

後面部の豊富な端子群をフルにご活用ください。



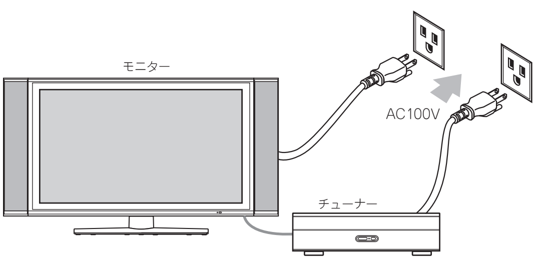
4 リモコンに乾電池を入れる 19

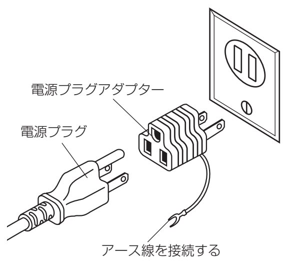
付属の単3形乾電池をリモコンに入れます。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

2つ穴タイプコンセントを使用の場合は付属の電源プラグアダプターをご使用ください。
電源プラグアダプターをご使用の場合は、電波妨害防止のため、必ずアース線を接続してください。アース線は、必ず電源プラグを電源に接続する前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源からとりはずして行ってください。





⚠ 警告

指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

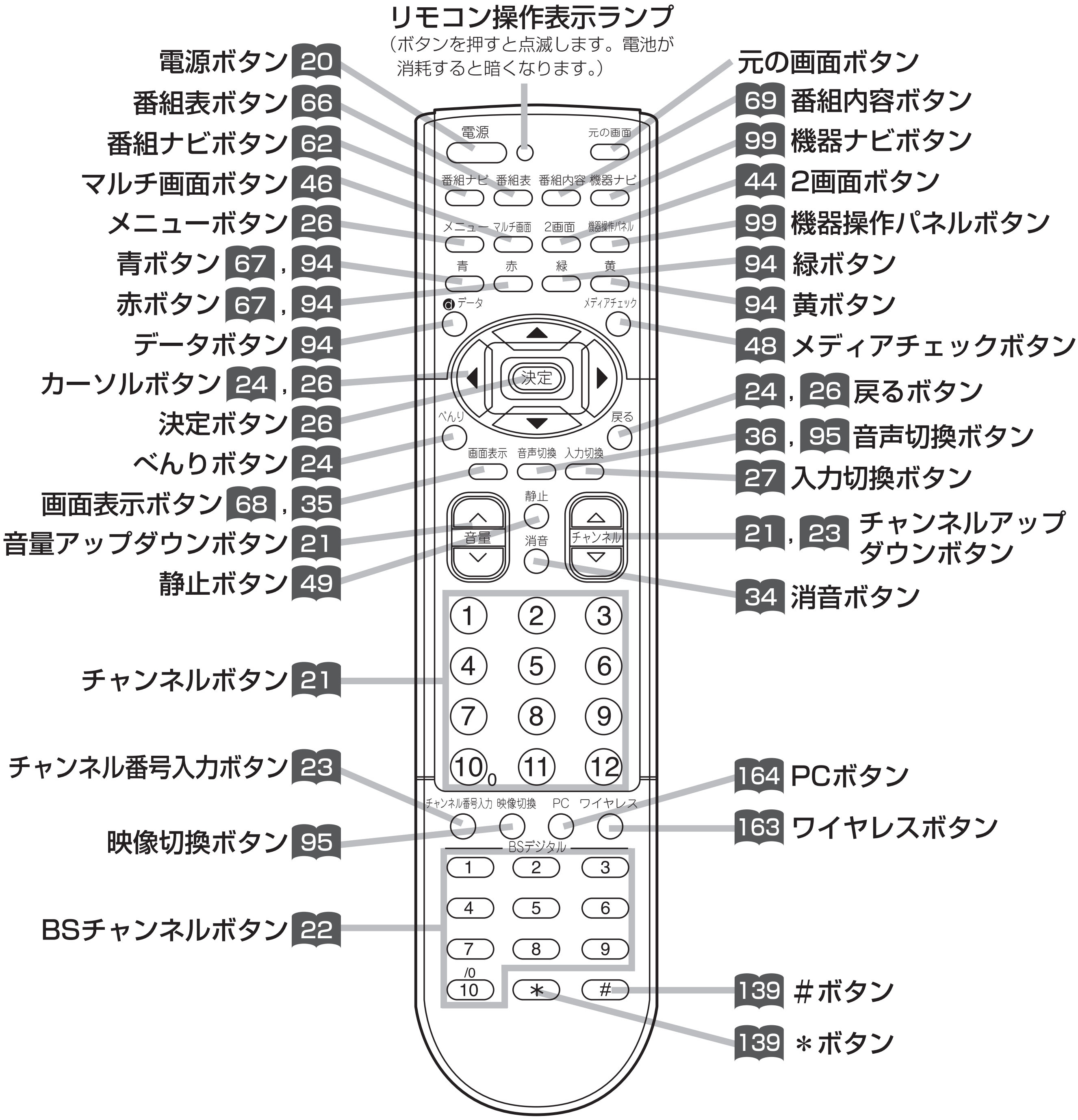
⚠ 注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

リモコン

□内の数字は、参照ページです。

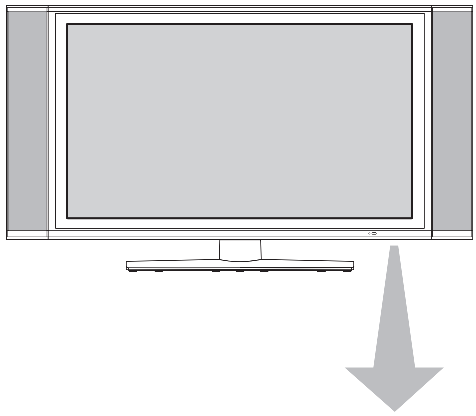


メ モ

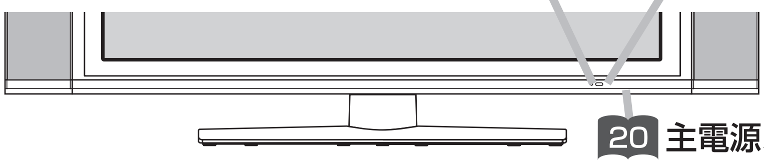
PC入力時のリモコンボタンについて
マルチ画面ボタン、2画面ボタン、静止ボタン、メディアチェックボタン、音声切換ボタンはPC入力時はご使用になれません。

元の画面ボタンについて
2画面やメニュー表示、番組表などの状態から、1画面に戻すのに使用できます。

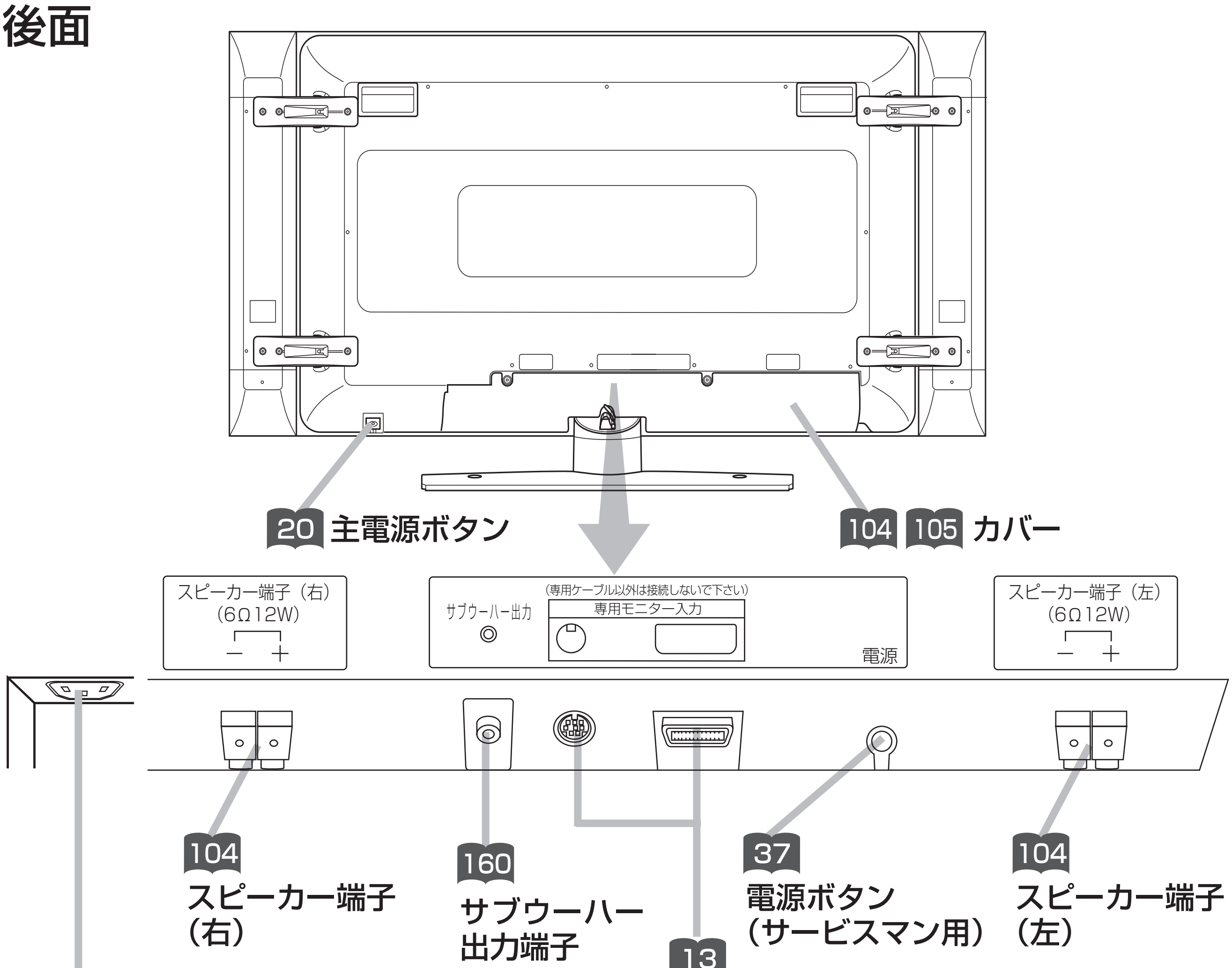
W37-PDH2100モニター



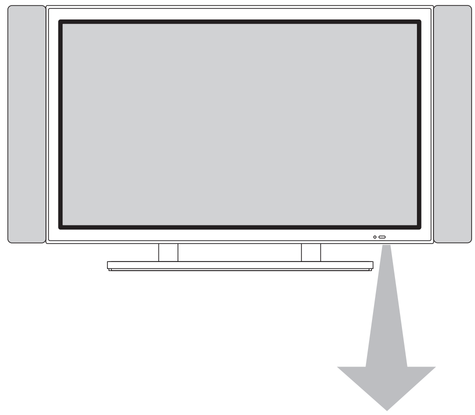
前面



後面

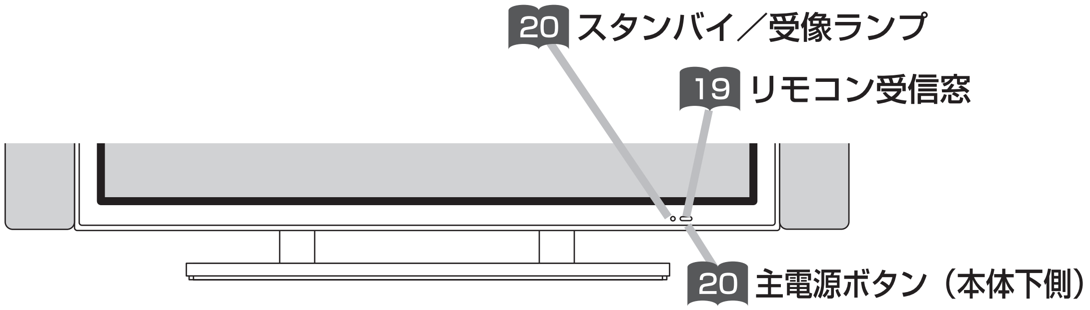


各部のなまえ（つづき）

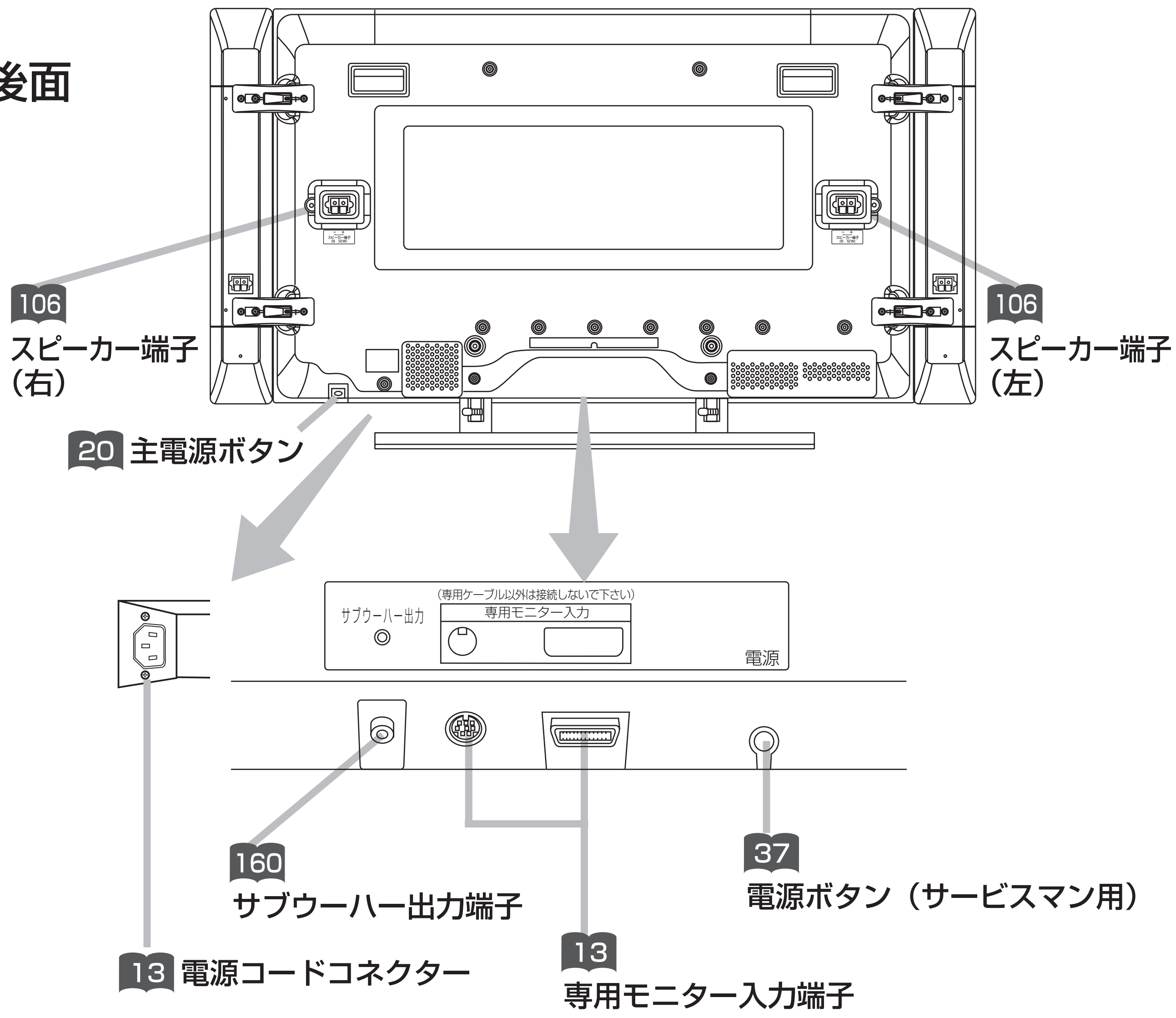


W42-PDH2100モニター

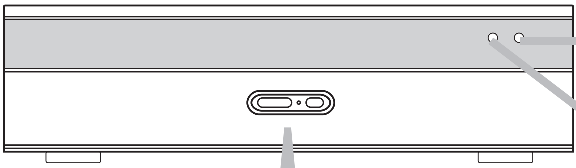
前面



後面



チューナー前面

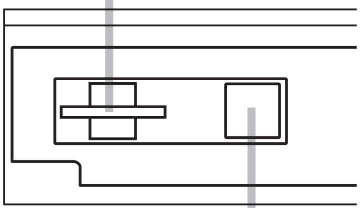


回線使用中ランプ
電話回線に接続したときに点灯します。

機能待機ランプ
リモコンで電源を「切」にしたとき、次の場合に点灯します。
・BSch固定「入」（録画予約）にしているとき 59 76
・i.LINK待機を「する」にしているとき 151
・ダウンロードしているとき 146

チューナーとびら内

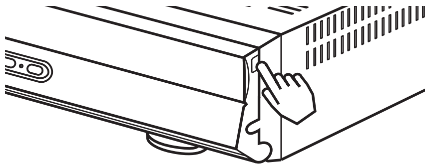
112 B-CASカード挿入口



カード挿入口（サービスマン用）
※このフタは異物の挿入を防止するためのものです。外さずにそのままご使用ください。

前面とびらの開けかた

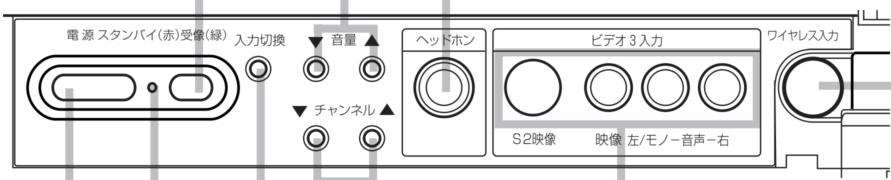
とびらの横の部分に指を引っかけ、とびらを開けます。



音量ボタン 37

リモコン受信窓 19

ヘッドホン(ミニ)端子
別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。
ヘッドホンの音量を設定することができます。 42



162 ワイヤレス入力端子

155 ビデオ3入力端子

電源ボタン 37

37 チャンネルボタン

37 入力切換ボタン

37 スタンバイ／受像ランプ

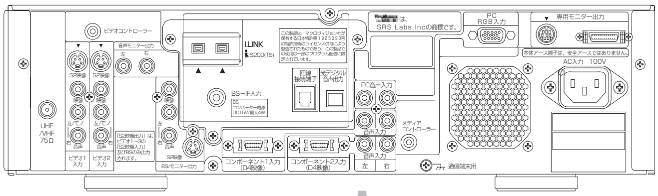
お知らせ

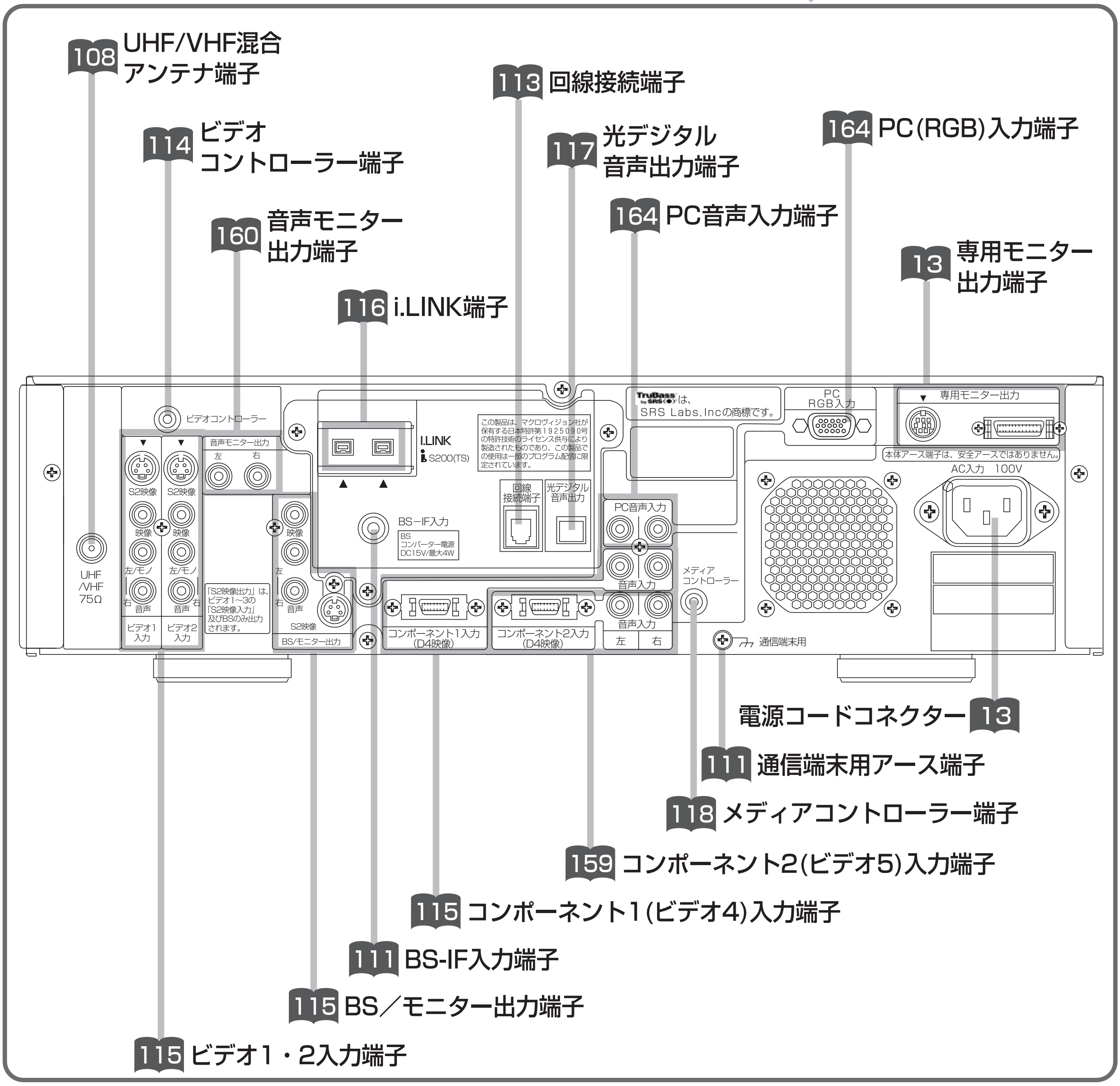
機能待機ランプについて
リモコンや本体の電源ボタンで電源を「切」にした場合、BSデジタルチューナーの電源処理のためにしばらく点灯します。

操作ができなくなった場合は
BSデジタル放送の受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、チューナー本体の電源ボタンを5秒以上押してください。

各部のなまえ（つづき）

チューナー後面





将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの取り扱い

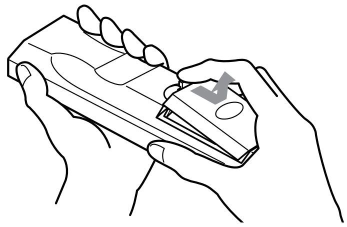
⚠ 注意

乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

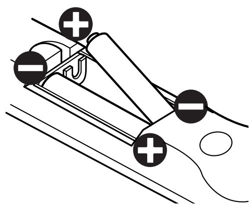
1 電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。



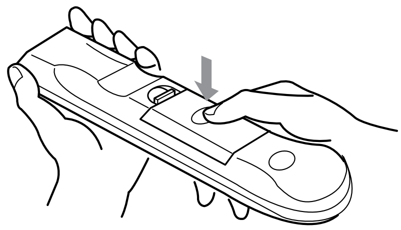
2 乾電池を入れる

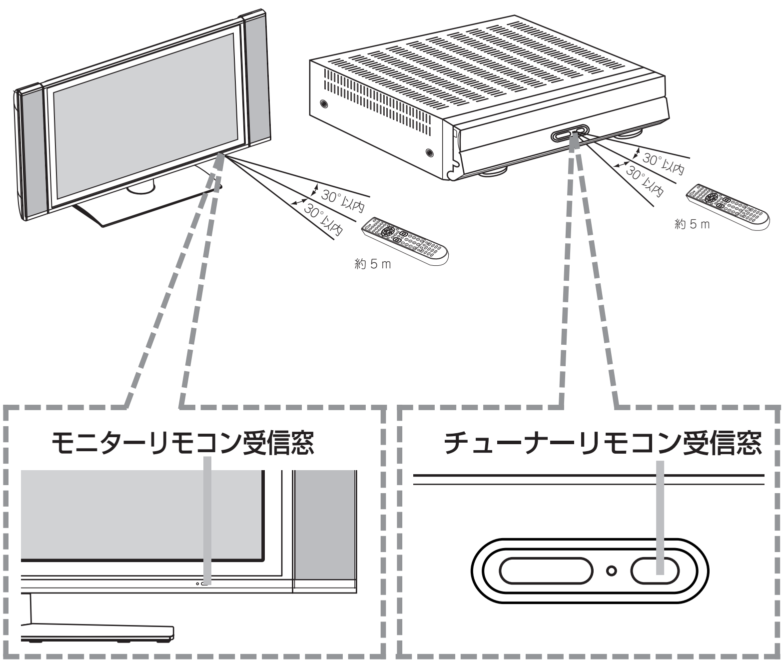
付属の単3形乾電池を ⊕ 、⊖ の表示どおりに入れます。



3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。



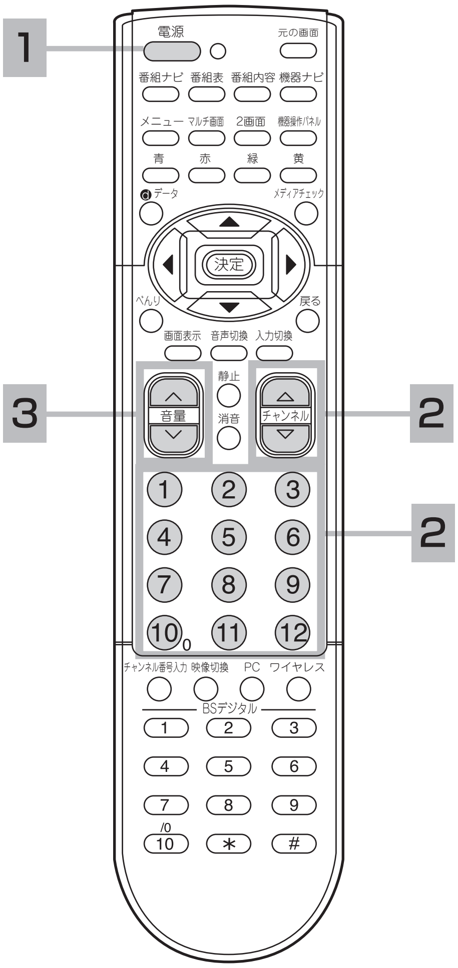


- リモコンは、モニターのリモコン受信窓またはチューナーのリモコン受信窓、どちらに向かっても操作することができます。
- リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- メディアコントローラー 118 を使用して外部機器を操作するときは、外部機器専用リモコンを使用して、モニターのリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。
- メディアコントローラー 118 を使用しないで外部機器を操作するときは、外部機器専用リモコンを外部機器のリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。

お守りください リモコンの使用上のご注意

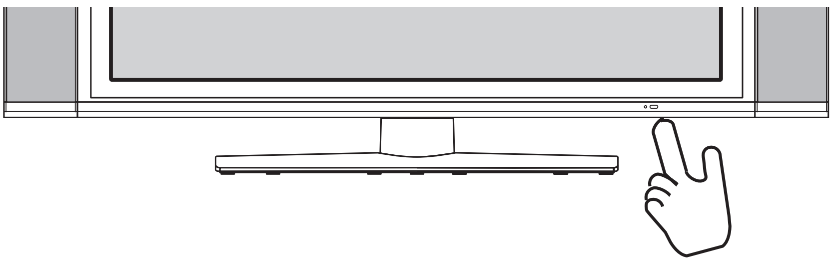
- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

テレビ放送(VHF/UHF)を楽しみたいとき



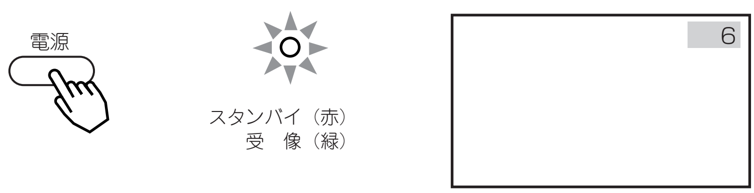
準備（主電源ボタン操作）

モニターのスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まずモニターの主電源ボタンを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。



1 電源ボタンを押す

モニターのスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。



お守りください

動作中に停電になったときのご注意

テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときはモニターとチューナーの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

2 チャンネルを選ぶ（1～12）

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示は約6秒で自動的に消えます。

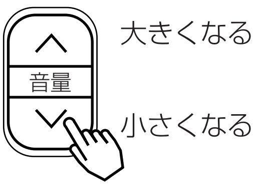


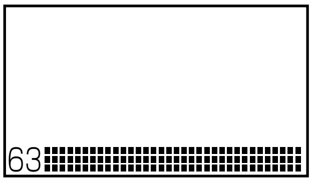


チャンネルアップダウンボタン（チャンネル）を使ってチャンネルを順送りで選ぶこともできます。

3 音量を調節する

音量の大きさが数字と ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮..... で画面に表示されます。





《最大》



《最小》

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2画面とマルチ画面ボタンで､お好みのマルチ画面を見ることができます。44 46

メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。48

メ モ

リモコンの操作は

スタンバイ/受像ランプが点灯しているときにのみ、リモコンの操作は可能です。
リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、次回から電源の「入・切」もリモコンでできます。

本体操作で電源を入れるには

スタンバイ/受像ランプが赤く点灯しているときに、チューナーの電源ボタンを押すと電源が入ります。37

スタンバイ／受像ランプについて

- スタンバイ／受像ランプの状態は、チューナーでも確認することができます。
- スタンバイ／受像ランプが橙色に点灯しているときは、パワーセービング状態になっています。55、172

①手順 1 で電源ボタンを押すとランプが赤に点灯し、電源が切れます。もう一度電源ボタンを押すと、ランプが緑に点灯し、電源が入ります。
②パワーセービング状態のときは、手順 2 のチャンネルを選んだり、入力切換ボタンを押すことにより電源を入れることもできます。

- モニターのスタンバイ／受像ランプが橙色に点滅しているときは電源プラグをコンセントから抜いたうえで、モニターとチューナーの専用接続ケーブル1,2が正しく接続されているか確認してください。13

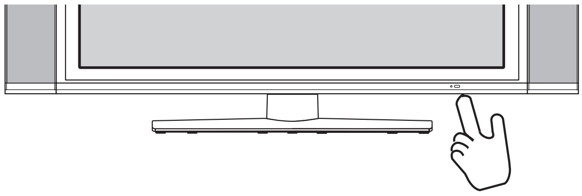
お買い上げ時のチャンネル設定

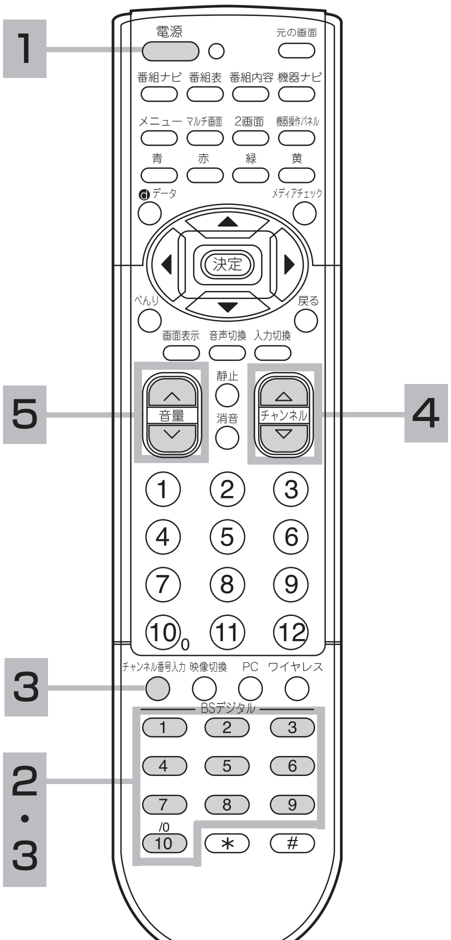
- お買い上げ時は、VHF1～12チャンネルの12局が設定されています。
  チャンネルの設定を変更することもできます。120、128
- 空きチャンネルの飛び越し選局 134 の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

BSデジタル放送を楽しみたいとき

準備（主電源ボタン操作）

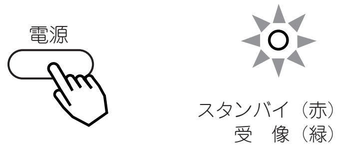
モニターのスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まずモニターの主電源ボタンを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。





1 電源ボタンを押す

モニターのスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。





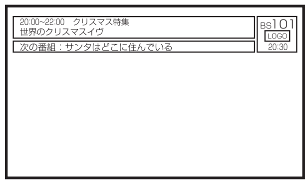
2 プリセット選局

本機では、あらかじめ (1)～(10)ボタンにチャンネルを設定（プリセット）しています。直接 (1)～(10) ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

チャンネルを選ぶ

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。表示は約6秒で自動的に消えます。





選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- ●有料番組を選んだとき 74
- ●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 87

お買上げ時のプリセット設定について

お買上げ時のプリセット設定は、下表の通りです。
プリセットされているチャンネルは変更ができます。142

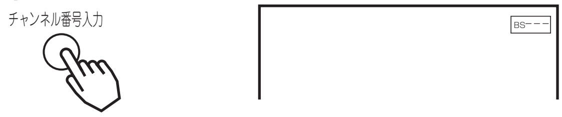
1	（101チャンネル）	NHK1 (NHK BS1)	6	（161チャンネル）	BS-i
2	（102チャンネル）	NHK2 (NHK BS2)	7	（171チャンネル）	BSジャパン
3	（103チャンネル）	NHKh (NHKハイビジョン)	8	（181チャンネル）	BSフジ
4	（141チャンネル）	BS日テレ	9	（191チャンネル）	WOWOW
5	（151チャンネル）	BS朝日	/0 10	（200チャンネル）	スター・チャンネルBS

3 番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合は、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

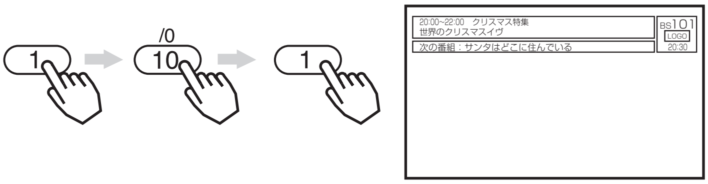
①チャンネル番号入力ボタンを押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。



②ご覧になりたいチャンネル番号を入力する

例：チャンネル番号101を選局する場合



選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- ●有料番組を選んだとき 74
- ●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 87

4 アップダウン選局

チャンネルアップダウンボタンを押す

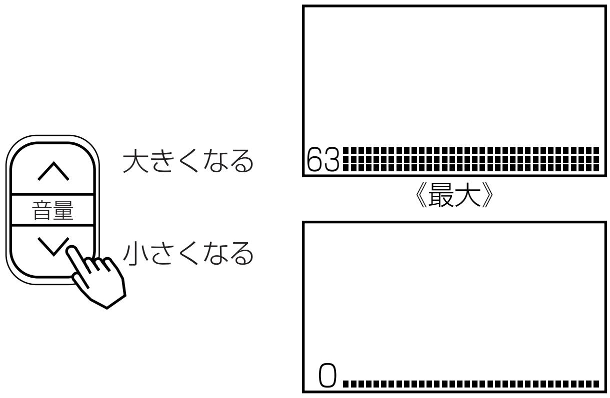
チャンネルを順送りで選局することができます。



選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- ●有料番組を選んだとき 74
- ●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 87

5 音量を調節する

音量の大きさが数字と ▮▮▮▮▮▮..... で画面に表示されます。



《最大》

《最小》

メ モ

番号入力選局について

チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内につづきの番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

アップダウン選局について

「BSデジタル設定」画面の選局対象の設定 92 により順送りするチャンネルが異なります。なお、選局対象の設定については 92 をご覧ください。

マルチ画面を見たいとき

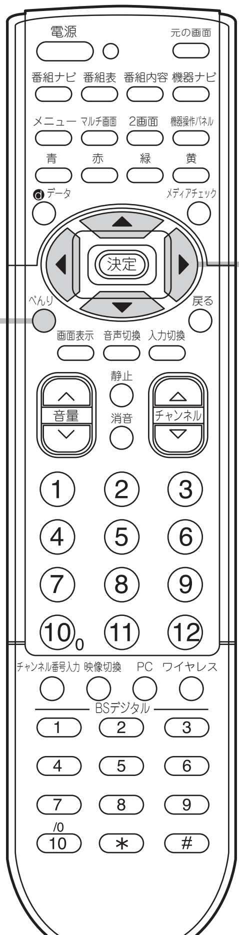
リモコンの2画面とマルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。ただし、異なるBSチャンネルを同時に2画面で見ることはできません。
44 46

メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。48

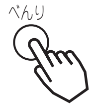
べんり機能の使いかた

べんり機能を使うと見ている画面に応じてお好みの設定にすることができます。
これらの設定項目は上下左右方向に矢印（▲）のついたカーソルボタンを使って機能の設定ができます。



べんり機能の項目の選びかた

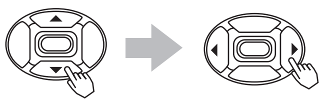
1 べんりボタンを押す



べんり画面（1/2ページ目）が現れます。
べんりボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

1/2ページ目→2/2ページ目→通常画面

2 で項目を選び、で設定する



べんり	ページ1／2
映像モード	◀ スーパー ▶
音声モード	：スタンダード
TRUBASS	： 強
▼サラウンド	： 入

で選んでで選択／戻るで終了

3 設定が終わったらべんりボタンを1～2回押す



●元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。
●「▼」の表示があるときは、べんりボタンまたはを押すと、次のページが表示されます。
●「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたはを押すと前のページが表示されます。

メモ

リモコンの戻るボタンについて
べんり機能やメニュー 26 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

べんり機能で設定できる項目について

■通常のテレビ放送・BSデジタル放送・ビデオ入力時

1ページ目

べんり	ページ1／2
映像モード	◀ スーパー ▶
音声モード	：スタンダード
TRUBASS	： 強
▼サラウンド	： 入

Ⓒで選んでⓒで選択／戻るで終了

- 38 映像の自動調整モード（映像モード）を選ぶことができます。
- 43 音声モードを設定することができます。
- 43 音声のTruBass機能を強/中/弱/切することができます。
- 43 音声のサラウンドモードを設定することができます。

2ページ目

べんり	ページ2／2
▲ワイド切換	◀ 映画１字幕 ▶
画面位置	： 0
GRT	： 入１
オフタイマー	： 切

Ⓒで選んでⓒで選択／戻るで前画面

- 28 画面のワイドモードを選ぶことができます。オートワイドを選ぶこともできます。
- 31 画面の位置を上下に移動することができます。
- 33 テレビ放送のゴースト妨害を低減することができます。メニュー画面の「GRT設定」で設定することもできます。
  ワイヤレス入力時、ビデオ入力時、PC入力、BS受信時は「GRT」の設定はできません。"入／切"表示が"－"表示になりGRTを選択すると"切換できません"の表示がでます。
- 50 自動的にテレビの電源を切ることができます。

■PC（パソコン）信号入力時

1ページ目

べんり	ページ1／2
自動調節	
垂直位置	◀＋３１▶
水平位置	：＋ ９
クロック	：－１０
位　相	： ０
▼標　準	

Ⓒで選んでⓒで調節／戻るで終了

- 166 画面位置を自動調節します。
- 167 画面の垂直位置を調節します。
- 167 画面の水平位置を調節します。
- 167 縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。
- 167 横方向の縞や文字のにじみが最小になるように調節します。
- 167 お買上げ時の設定に戻します。

2ページ目

べんり	ページ2／2
▲ワイド切換	◀ フル ▶
音声モード	：スタンダード
TRUBASS	： 強
サラウンド	： 切
オフタイマー	： 切

Ⓒで選んでⓒで選択／戻るで前画面

- 28 画面のワイドモードを選ぶことができます。
- 43 音声モードを設定することができます。
- 43 音声のTruBass機能を強/中/弱/切することができます。
- 43 音声のサラウンドモードを設定することができます。
- 50 自動的にテレビの電源を切ることができます。

■2画面/マルチ画面時（BSデジタル放送選択時）

べんり
◇ボタン機能 ◀２／マルチ画面 ▶

ⓒで選択／戻るで終了

- 45 47 2画面/マルチ画面でBSデジタル放送のデータ放送を操作するときに切り換えます。

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。

1・4

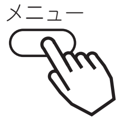
2

2・3

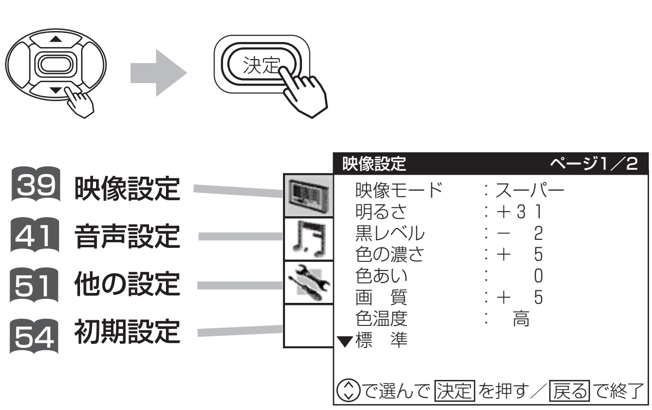


1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。



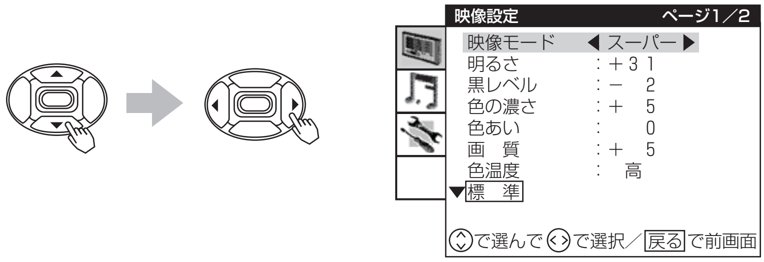
2 で項目を選び、決定ボタンを押す



3 で設定する

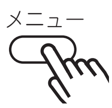
で項目を選んで、 で設定（または選択、調節）します。

〈映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉



- 「▼」の表示があるときは、 を押すと、 次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは を押すと前のページが表示されます。

4 設定が終了したらメニューボタンを1～2回押す



画面表示が消えて、設定が完了します。

●元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メ モ

リモコンの戻るボタンについて

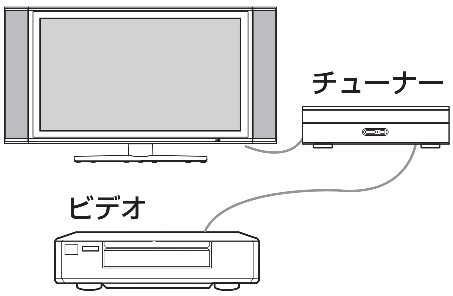
戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

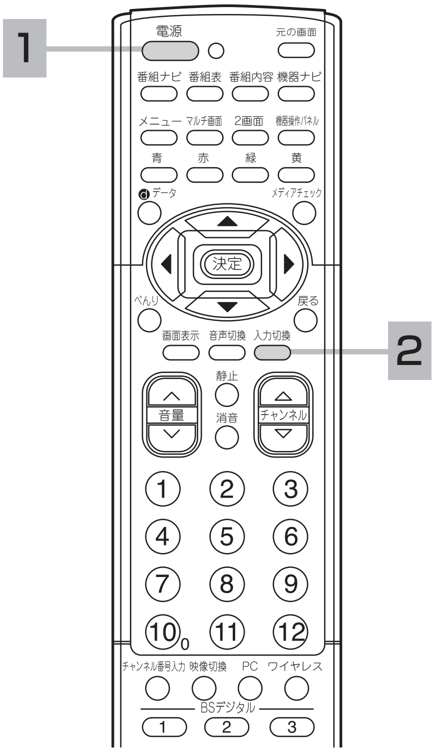
ビデオを見たいとき

準　備

お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続についての詳しい説明をご参照ください。115

D-VHSビデオデッキを楽しみたいときは 100 、116 をご覧ください。





1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ1などのビデオ画面になります。）

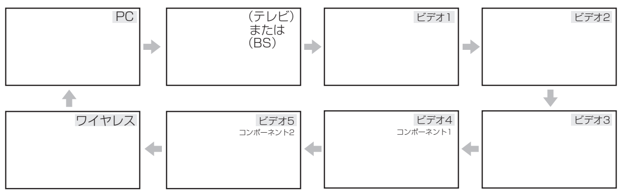




2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。





3 ビデオを再生する

メ モ

ビデオの再生中にテレビを見るには

途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ4、5について

ビデオ4、5入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4映像端子）です。D1～D4映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4映像端子に接続すると「コンポーネント1」または「コンポーネント2」の表示がでます。157 159

ワイヤレスについて

オプションの赤外線伝送システム（PCT-BR6000）を使用すると離れた場所にあるビデオなどを見ることができます。162

入力スキップ設定について

ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。58

ビデオ入力表示書換について

接続する機器に合わせてビデオ入力やコンポーネント入力の表示を書き換えることができます。56

ワイド機能を楽しみたいとき

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。
さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

オートワイド（ジャスピタッワイド）
本機は、見ている映像に合わせて最適なワイドモードを設定する「オートワイド（ジャスピタッワイド）」機能を採用しています。また、お好みに合わせてワイドモードを選ぶこともできます。

ワイドモードの選びかた

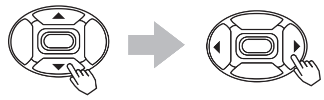


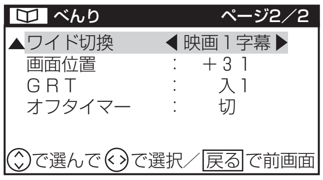
1 べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。



2 で「ワイド切換」を選び、でワイドモードを設定する





を押すたびにワイドモードは次のように変わります。

TV/BS/ビデオ/ワイヤレス入力時
→オート ↔ スムーズ ↔ 映画1 ↔ 映画2 ←
↳ノーマル ↔ フル ↔ 映画2字幕 ↔ 映画1字幕 ↵

PC入力時
→フル ↔ リアル ↔ ノーマル ←

- ●お買い上げ時は、TV/BS/ビデオ/ワイヤレス入力時は「オート（オートワイド）」、PC入力時は「フル」が設定されています。通常はお買い上げ時の設定でご使用ください。
- ●PC入力時のリアルモードは入力信号がVGAのときのみ選択できます。

3 設定が終了したらべんりボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メ モ

オート以外のワイドモードに設定した場合は、電源「入」、「切」、チャンネル切り換えなどの操作により、ワイドモードが初期化されます。このときオートワイド設定 51 で設定されているワイドモード（スムーズまたはノーマル）に戻ります。

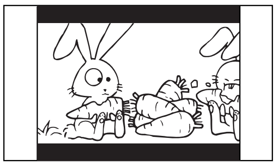
お知らせ

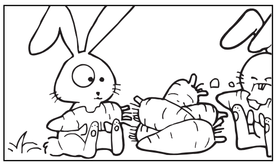
- ●このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ●このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ●ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をオートまたはスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- ●本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ1～3のS2映像入力に入力されると自動的にワイド画面一杯に表示します。
- ●BSデジタル放送およびビデオ4,5のコンポーネント入力端子では、1125i（1080i）,750p（720p）の信号のとき、ワイドモードはフルモードに固定され（自動判別）、ワイド切り換えはできません。

オートワイドの効果（TV/BS/ビデオ/ワイヤレス入力時）

見ている映像が上下に黒い帯の入った横長サイズの映像のとき

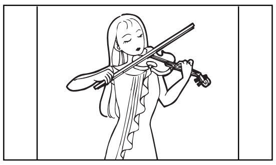
横長サイズの映像を画面のサイズ、画面の中心位置を最適にして上下の黒帯を最小になるように表示します。また、字幕などの文字を最適に再生できます。

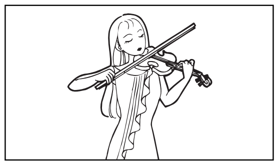

ノーマルモードのとき


オートワイドが働いたとき

見ている映像が通常の映像のとき

通常の4：3の映像を横方向に不自然にならないように拡大し、垂直方向にも10%拡大してワイド画面一杯に違和感なく表示します。


ノーマルモードのとき


オートワイドが働いたとき

お知らせ

通常の4：3の映像を見ているときにオートワイドが働くと、「他の設定」の「オートワイド設定」が「スムーズ」に設定されている場合は、画面一杯にスムーズサイズで表示します。
「オートワイド設定」が「ノーマル」の設定になっている場合は、ノーマルサイズで表示します。51

メ モ

オートワイドについて

- 映像のサイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。
- 暗い映像の画面などでは、最適なワイドモードにならない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。
- 最適なワイドモードになるまで、映像の内容によって多少時間がかかる場合があります。
- BSデジタル放送およびビデオ4，5のコンポーネント入力端子では、1125i（1080i）または750p（720p）信号のとき、画面が自動的にフルモードになります。
- ビデオ4，5のコンポーネント入力端子にD端子ケーブルで525i（480i），525P（480P）信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。
- ビデオ4，5のコンポーネント入力端子にD端子ピンケーブルで525i（480i），525P（480P）信号を入力したときは、525i (480i) 信号では「オートワイド設定」51で設定したワイドモード（スムーズまたはノーマル）に、525P（480P）信号では、フルモードに自動的に切り換わります。

PC入力時のワイド切換について

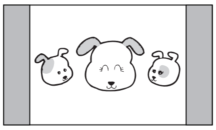
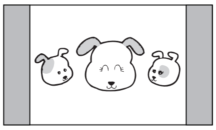
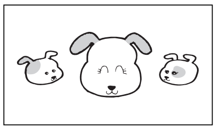
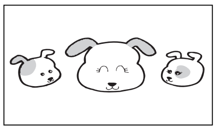
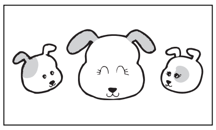
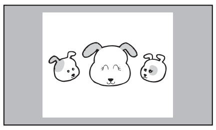
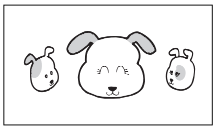
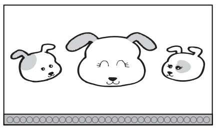
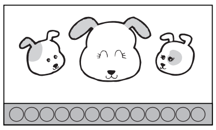
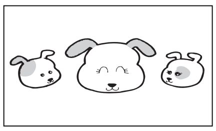
- PC入力時のワイドモード表示は、入力信号を圧縮・拡大などの処理を行って表示しているため、入力信号を忠実に再現できない場合があります。

ワイドクリアビジョン放送識別について

- ワイドクリアビジョン放送は、現行のテレビ放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。
  本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。
- ワイドクリアビジョン放送識別は「オート」モード時のみ有効です。
- ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときのみ ワイド が表示されます。
- ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画して再生する場合や電波受信状態（ゴースト、弱電界など）によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は，「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。

ワイド機能を楽しみたいとき（つづき）

その他のワイドモードについて

TV/BS/ビデオ/ワイヤレス入力時		PC入力時	
	**ノーマル（通常の状態）** 通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。		**ノーマル** 入力信号と同じアスペクト比になるように圧縮・拡大処理して表示します。 （入力信号が4：3のときは、表示も4：3表示）
	**スムーズ** 4：3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。		**フル** 入力信号の解像度、アスペクト比によらず縦、横一杯になるように圧縮・拡大処理して表示します。
	**映画1** ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。		**リアル** 入力信号がVGA（640×480の解像度）の時だけ、入力信号の1画素をモニターの1画素に対応させて表示します。圧縮・拡大処理をしないため、くっきりした画像を表示します。
	**映画2** シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。		
	**映画1字幕** 字幕付のビスタサイズの映像に最適です。		
	**映画2字幕** 字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。 （お買い上げ時の画面位置は＋10に設定されています。）		
	**フル** 横方向を圧縮して記録された映像（スクィーズ映像）を横方向に画面一杯まで拡大します。ハイビジョン番組を楽しむときなどに使います。		

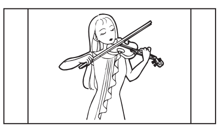
メ　モ

PC入力時のリアルモードを選んでいるとき、VGA（640×480の解像度）より解像度の高い信号が入力されると画面が自動的にフルモードに切り換わります。

メ　モ

TV/BS/ビデオ/ワイヤレス入力時のワイド機能の上手な使いかた

通常のテレビ放送

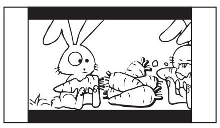


「ノーマル」

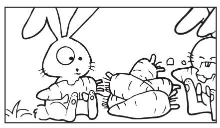


「スムーズ」にして楽しむ

上下に黒帯のある映像

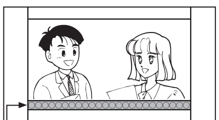


「ノーマル」



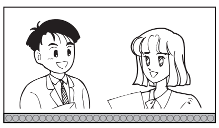
「映画1」または「映画2」にして楽しむ

上下に黒帯があり字幕のある映像



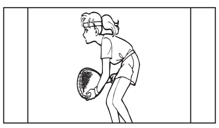
「ノーマル」

字幕部

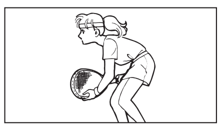


「映画1字幕」または「映画2字幕」にして楽しむ

スクィーズ映像(横圧縮映像)



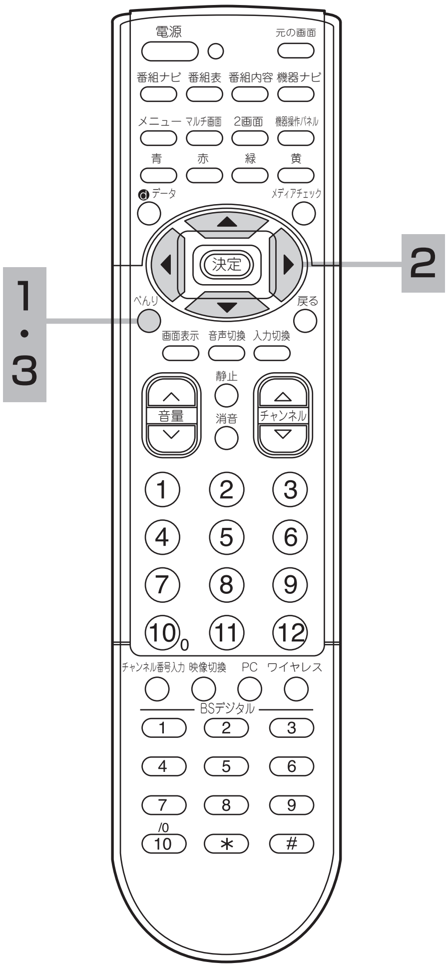
「ノーマル」



「フル」にして楽しむ

画面位置を調節したいとき

「ノーマル」、「フル」、「リアル」（PC VGA入力時のべんり機能使用時）以外のワイドモード時は、画面を上下に移動することができます。
「映画1」「映画2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。
●PC入力時の画面位置調節は 166 、167 をご覧ください。



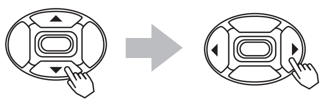
1 べんりボタンを2回押す

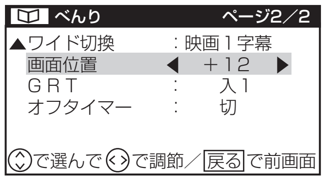
べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。



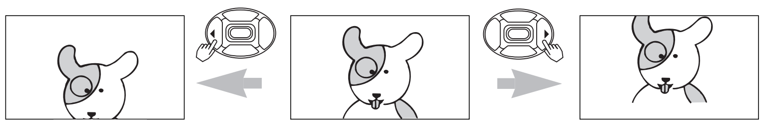
2回押す

2 （上下ボタン）で「画面位置」を選び、（左右ボタン）でお好みの位置に調節する



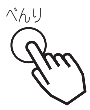


スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調節ができます。



画面位置−5　　画面位置0　　画面位置+5

3 設定が終了したらべんりボタンを押す



元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

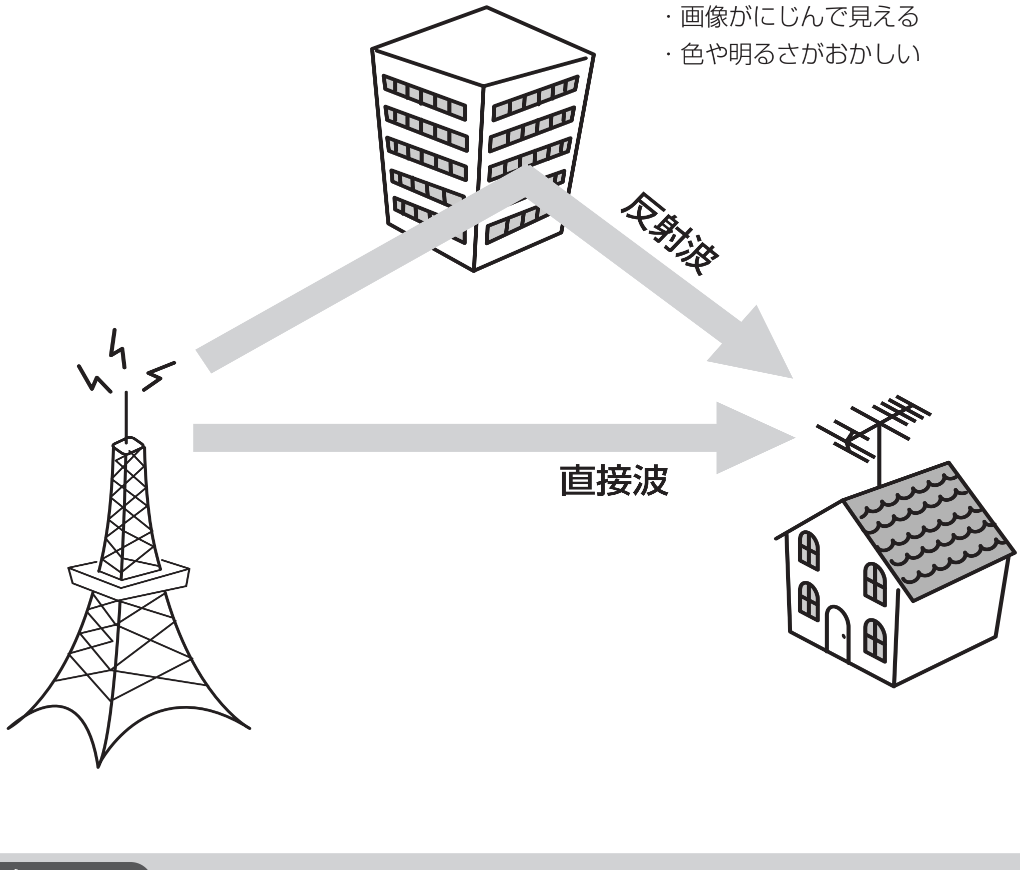
ゴースト妨害を低減したいとき（ゴーストリダクション）

本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。テレビ放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

反射波によって、受信中の画像が次のように見えます。
・画像が二重三重に見える
・画像がにじんで見える
・色や明るさがおかしい



お知らせ

●ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR信号）に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
●ゴーストリダクションは、テレビ放送をご覧になっているときに働きます。BS受信時、ビデオ入力、ワイヤレス入力およびPC入力端子に入力した映像に対しては働きません。
●テレビ放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
・受信状態が良くないとき
UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など 108
・ゴースト妨害が大きいとき
・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
・ゴーストの数が多いとき
●付属のRFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします（109 をご覧ください）。よりきれいな信号を受信することができます。

ゴーストを低減したいとき

テレビ放送をご覧になっているとき、ゴーストが気になるときはGRT設定を行います。
GRT設定は、各チャンネルごとに設定することができます。
複数のチャンネルのGRT設定をまとめて行いたいときは、メニュー画面で設定することもできます。 132



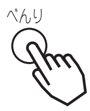
1 チャンネルボタンを押す

ゴーストが気になるチャンネルを選びます。

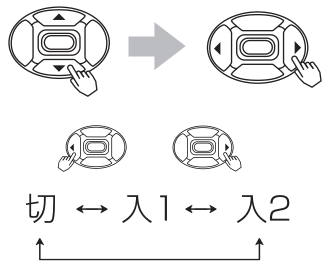


2 べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。



3 ◎で「GRT」を選び、◎でお好みに設定する



べんり		ページ2／2
▲ワイド切換	:	映画１字幕
画面位置	:	＋３１
ＧＲＴ	◀	入１ ▶
オフタイマー	:	切

◎で選んで◎で選択／戻るで前画面

切 ↔ 入1 ↔ 入2

「入1」　：通常はこの位置で使用します。
　　　　　お買い上げ時は「入1」が設定されています。
「入2」　：「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
「切」　：ゴーストリダクション機能は働きません。
　　　　　「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

4 設定が終了したらべんりボタンを押す



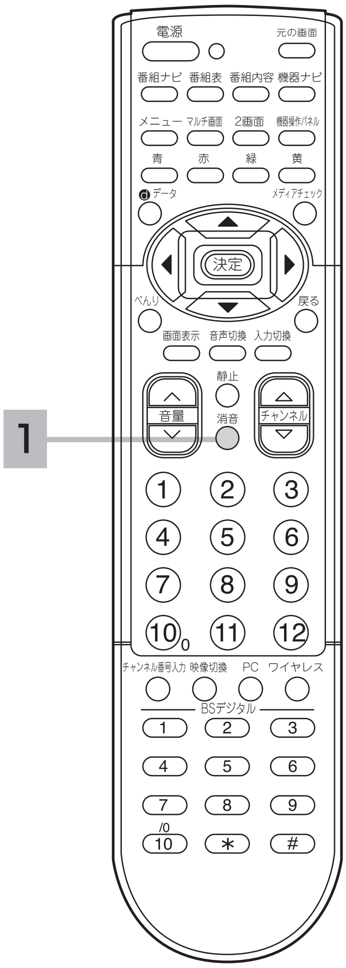
元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- ●ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ●ゴーストの状態によっては、「入1」または「入2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- ●BSデジタル放送またはビデオ入力、ワイヤレス入力、PC入力端子から入力した画面を見ているときのGRT設定は「－」と表示され設定することができません。
- ●チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり 120、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する 128 と、GRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ●ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- ●マルチ画面や静止画でご覧になっているときは、ゴーストリダクション機能は働きません。
- ●ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ●ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- ●VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ●ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

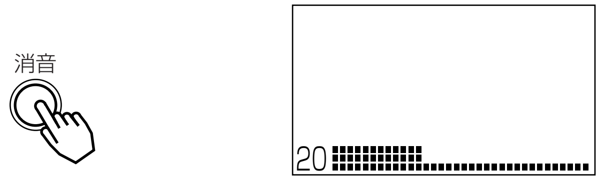
音を一時的に消したいとき

電話がかかってきたとき、来客のときなど便利です。



1 消音ボタンを押す

音が消えて、画面に図のような表示が出ます。
もう一度押すともとの音量に戻ります。



押した瞬間
（表示の色がマゼンタに変わります。）

メ モ

消音時でも小さな音を出しておきたいとき

●消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。
ミュート音量の設定をしてください。42

●消音にしたままでも音量∨ボタンを押すことにより、音量の設定を変えることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量∧ボタンを押してください。

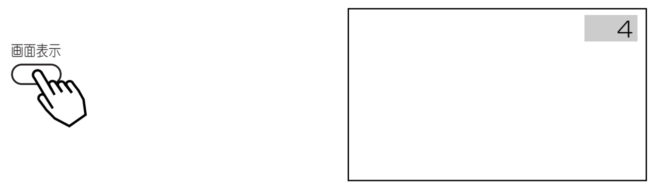
チャンネル番号などを知りたいとき



1

1 画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示されます。表示は約6秒で自動的に消えます。



ワイド マークについて

このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。 29

お知らせ

BSデジタル放送のときは

BSデジタル放送のときは、番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示されます。

詳しくは、「見ている番組のタイトルなどを表示する」 68 をご覧ください。

ビデオおよびワイヤレスのときは

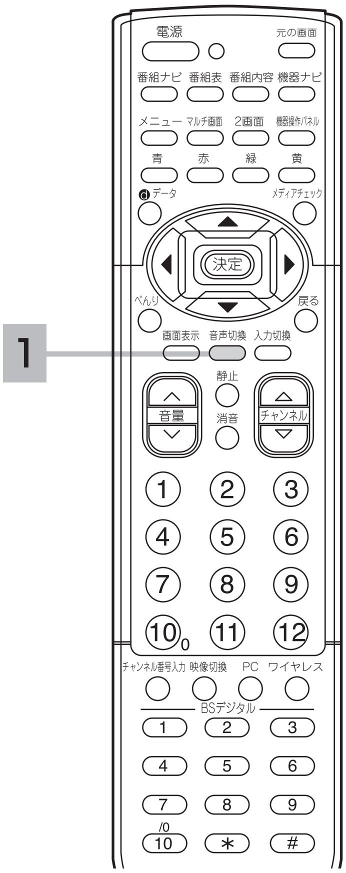
ビデオおよびワイヤレスのときは、入力端子に接続した機器に合わせて表示を書き換えることもできます。56

画面表示

●テレビ放送のとき	●ビデオのとき	●ワイヤレスのとき	●PCのとき
4 モノラル放送時（緑で表示）	ビデオ1 －ビデオ入力番号 ビデオ4，5にコンポーネント信号を入力したときは以下のように表示されます。 ビデオ4 コンポーネント1　ビデオ5 コンポーネント2	ワイヤレス	PC ↓（3秒間） 水平（H）と垂直（V）の周波数表示を表示 例：H:48.4kHz,V:60.0Hz ↓（3秒間） 消える ●周波数表示を出さないようにすることもできます。自動周波数表示の設定をしてください。167
4 モノラル　モノラル指定時（緑で表示）			
4 主　二重音声放送時（赤で表示）例）主音声			
4 ステレオ放送時（黄で表示）			

音声内容の選びかた

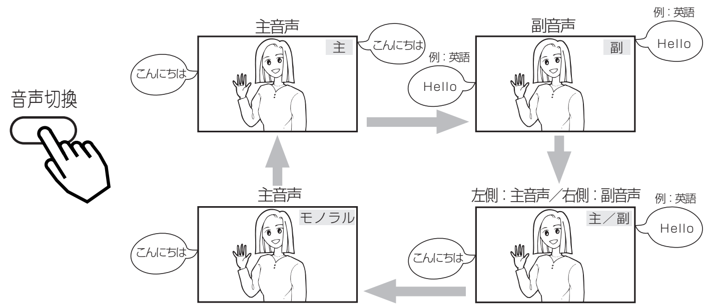
二重音声放送およびステレオ放送のときには、2ヵ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。



二重音声放送のとき

1 音声切換ボタンを押す

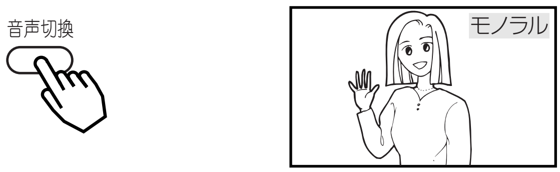
音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
（「主」「副」「主／副」のいずれかに設定しているとき）

- テレビ放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声が聞きづらいときは「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

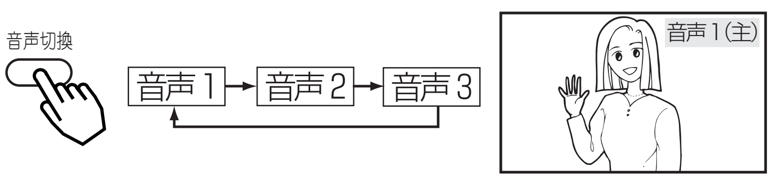


BSデジタル放送の音声信号を切り換えるとき

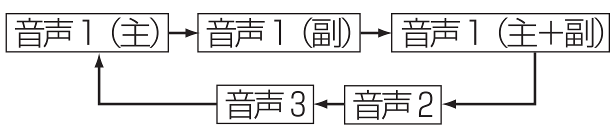
番組により、音声の信号を切り換えて楽しむことができます。切り換え可能な信号の内容は番組により異なります。また、切り換えた信号が有料な場合もあります。

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



- 番組が複数の音声で放送されているときに切り換えができます。
- 切り換えた音声が二重音声の場合には下図のように切り換わります。



お知らせ

BSデジタル放送の音声切り換えについて

有料番組を購入するときは、画面の指示に従って操作してください。

メモ

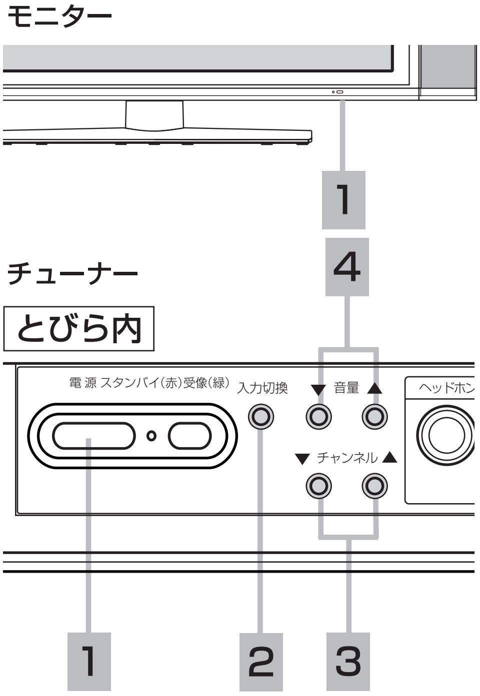
BSデジタル放送の二重音声について

二重音声には2種類あります。

- **二ヵ国語放送**
  主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信されている場合もあります。）
- **音声多重放送**
  主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

本体で操作したいとき

お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。



1 電源を入れる

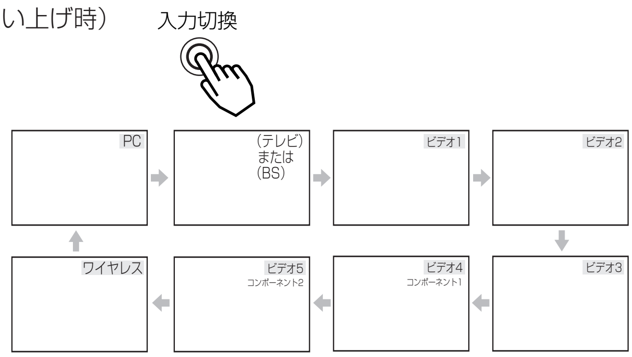
モニターの主電源を押してスタンバイ/受像ランプが赤く点灯している場合は、チューナーの電源ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。モニター後面の電源ボタンでも同様に電源を入れることができますが、このボタンはサービスマン用ですので通常使う必要はありません。電源を切るときは、もう一度主電源ボタンを押します。

スタンバイ/受像ランプが緑に点灯しているときに主電源ボタンを切にした場合、次に主電源ボタンを入にすると、電源が入りスタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。

2 入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

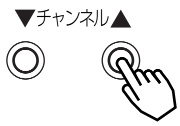
入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

（お買い上げ時）



3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、チャンネルを順送りで選局することができます。



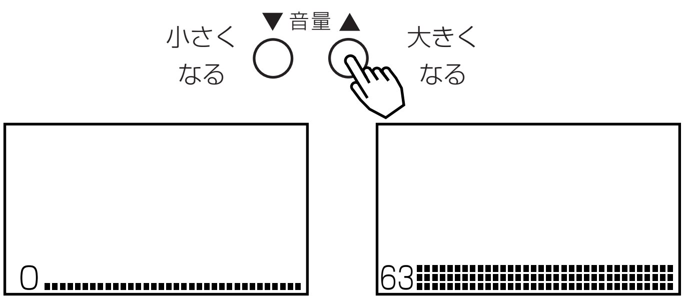
BSデジタル放送は選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

●有料番組を選んだとき 74

●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 87

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と ▮▮▮▮▮▮▮...... で画面に表示されます。



《最小》　　《最大》

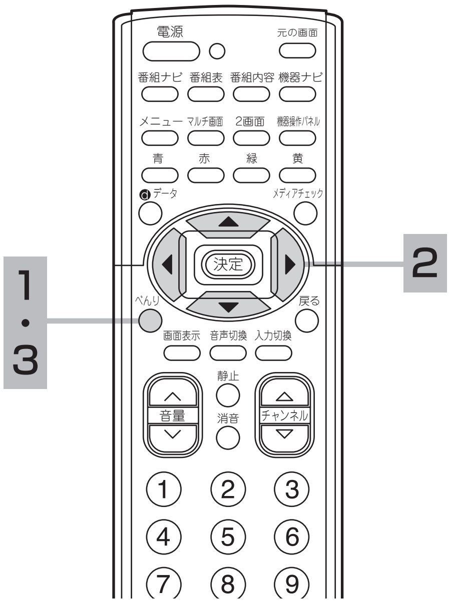
> **メ モ**
>
> **入力スキップ設定について**
>
> ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。58
>
> **チャンネルアップダウン選局について**
>
> ●BSデジタル放送は「BSデジタル設定」画面の選局対象の設定 92 により、順送りするチャンネルが異なります。
>
> ●テレビ放送（VHF/UHF）は、空きチャンネルの飛び越し選局 134 の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。

映像の自動調整モードを選びたいとき

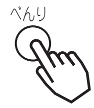
設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、「ナチュラル」、「クリエイト」の3つからお好みの映像を選ぶことができます。

●映像の自動調整モードはTV/BS/ビデオ/ワイヤレス入力の時にご使用できます。

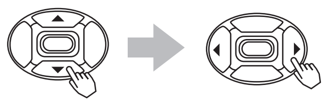
映像モードの選びかた



1 べんりボタンを押す



2 で「映像モード」を選び、でお好みのモードに設定する





モードは下図のように切り換わります。



3 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す



元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ モ

●映像モードは、メニューの「映像設定」画面で選ぶこともできます。39
●PC入力をご覧になっているときは、映像モードの切り換えはできません。

各機能について

スーパー

●お買い上げ時に設定されているモードです。
●鮮明でコントラストのある画像に調整します。
●明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

ナチュラル

●ご家庭で通常のテレビ番組、ビデオの再生などを楽しむときに適したモードです。
●お買い上げ時は、映像を白つぶれのない自然な明るさに自動　調整するオートコントラスト機能が動作します（「オートコントラスト」40 入)。

クリエイト

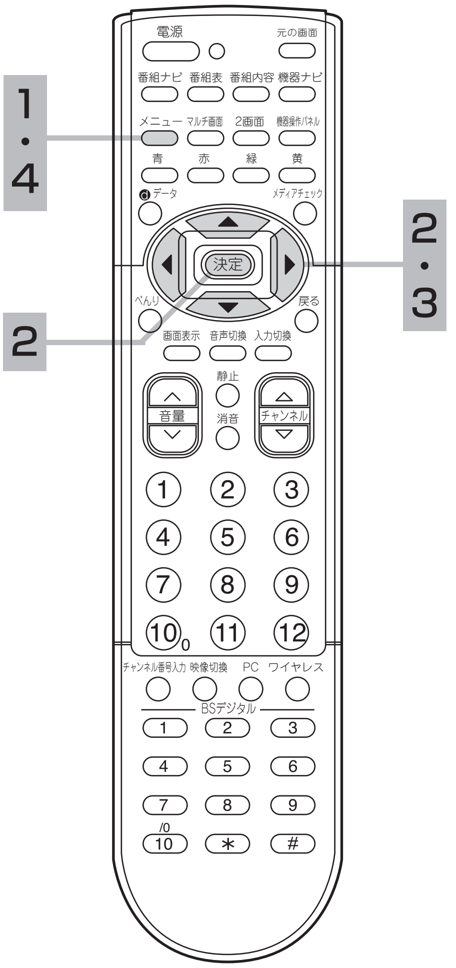
●黒補正、LTI、CTIなど、お好みに合わせてより細かな設定ができます。40
●お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。
また、映像を白つぶれのない自然な明るさに自動調整するオートコントラスト機能が動作します。(「オートコントラスト」40 入)

メ モ 映像モードについて

●各映像モードについて、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。39
●ご家庭でご覧になる場合は、映像を自然な明るさに自動調整する「ナチュラル」をお勧めします。また、「スーパー」でも、「オートコントラスト」40 を入にすると、映像の自動調整が行われ、白つぶれのない自然な明るさになります。

映像設定をしたいとき

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。
●PC入力時の映像設定は 165 をご覧ください。



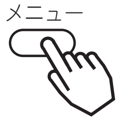
お知らせ

ビデオ、ビデオディスクプレーヤー、テレビゲーム機器およびパーソナルコンピュータ等の停止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。（放送局側から送られる時刻表示は表示時間にもよりますが、パネルに映像が焼き付く場合があり、ほとんどの場合、数分間で元に戻ります。通常ご使用になる場合も、明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用になることをお勧めします。）パネルに映像が焼き付いた場合は、スクリーンセーバーをご使用ください。53

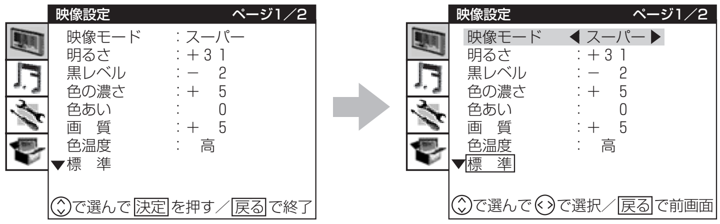
明るさ、黒レベルなどの設定

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

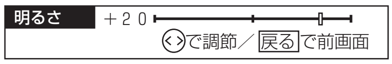


2 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で設定したい項目を選び、 で調節する

（例）明るさを調節する場合
で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像設定 項目	◀	▶	設定のポイント
映像モード	スーパー⟷ナチュラル⟷クリエイト		設置場所や映像ソースに合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ
色温度	オート⟷低⟷中⟷高		「オート」は入力モードに応じて色温度が切り換ります。室内照明などによる影響から色調を補正するときは「高」「中」「低」のいずれかに設定します。
標準	―――	―――	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

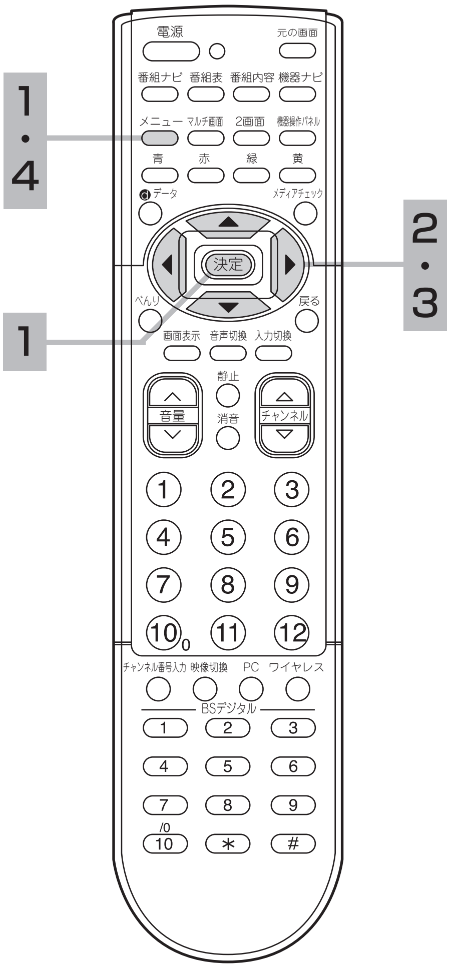


●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

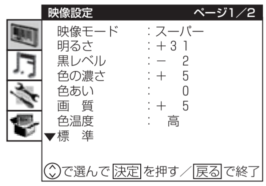
さらにお好みの映像設定をしたいとき

ビデオ入力画質、オートコントラスト,3次元Y/C、ライン補間、フィルムシアターの設定ができます。また、映像モードで「クリエイト」を選んでいるときは、お好みに合わせて黒補正、LTI、CTIの設定ができます。

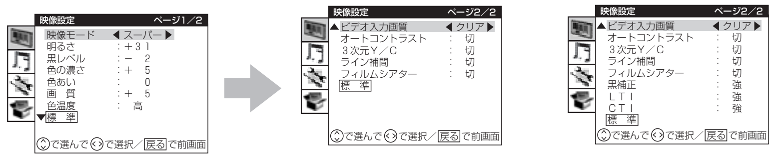
●この映像設定は、PC入力時ご使用になれません。



1 メニューボタンを押し、で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



2 で2ページ目の「映像設定」を表示させる



3 で設定したい項目を選び、で選択する

（例）オートコントラストを設定する場合

で設定します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像設定 項　目		設定のポイント
ビデオ入力画質	クリア←→標準	ビデオなどの映像がギラツイているなど不自然に見える場合は「クリア」にします。通常は「標準」でご使用ください。
オートコントラスト	切←→入	「入」：映像の明るい部分を検知して白つぶれのない自然な明るさに自動調節します。 「切」：画面の明るさを重視するときは「切」にします。通常、映像モードが「スーパー」のときは「切」、「ナチュラル」または「クリエイト」のときは「入」にします。
3次元Y/C	切←→入	ビデオなどの映像が自然に見えないときは、「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
ライン補間	切←→入	「入」:立体ビデオディスクをご使用の場合に設定します。一度電源を切ると「切」になります。 「切」:通常
フィルムシアター	切←→入	「入」:映画フィルム素材を自動的に検知して元のフィルム映像に忠実に再現します。通常は「入」でご使用ください。 「切」:ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。
黒補正	切←→弱←→中←→強	黒レベル補正を調節できます。
LTI	切←→弱←→中←→強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切←→弱←→中←→強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
標準	――――	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ モ

ビデオ入力画質について

●ビデオ1～ビデオ5およびワイヤレス入力の各入力モードごとに設定できます。

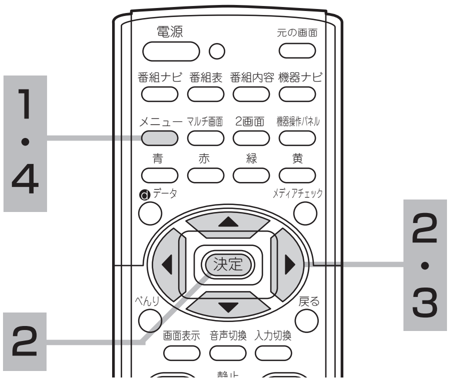
●テレビ放送やBSデジタル放送をご覧になっているときは設定できません。

CTIについて

BSデジタル放送やコンポーネント入力端子に入力した525p（480p）,1125i（1080i）,750p（720p）の映像をご覧になっているときは設定できません。

音声設定をしたいとき

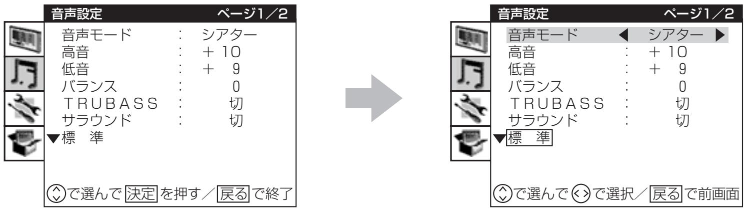
TruBassは人間の聴覚が2つの音の差成分の音（周波数）を強く認識することを利用し、実際には再生されていない周波数の低音（差成分）が聞こえているように体験できる再生システムです。
また、音声モード、高音、低音、バランス、サラウンドなどの設定ができます。



映像・音声の設定

1 メニューボタンを押す

2 ⓞで「音声設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ⓞで設定したい項目を選び、ⓞで選択、または調節する

音声設定 項目		設定のポイント
音声モード	スタンダード←→ミュージック←→シアター	映像ソースに合わせて設定します。
高音	高音がおさえられる←→高音が強調される	高音、低音、バランスはそれぞれ−10〜＋10までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。
低音	低音がおさえられる←→低音が強調される	
バランス	左スピーカーの音が強調される（−）←→右スピーカーの音が強調される（＋）	
TRUBASS（TruBass）	切←→弱←→中←→強	低音を強調する効果量を調節できます。お好みの設定にします。
サラウンド	切 ↔ 入	「入」にすると、臨場感のあるステレオサウンドを再生することができます。
標準	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- TRUBASS（TruBass）とサラウンドは、べんり機能で設定することもできます。43
- 音量が大きいときにTrubassにより低音が歪む場合があります。その場合にはTrubassの効果を弱めてください。
- サブウーハーをご使用する場合にはTRUBASS（TruBass）の設定を「切」にすることを推奨致します。

メモ

音声設定の効果について

●TRUBASS（TruBass）
TruBassの効果を切換えることにより、映画の臨場感、音楽のハーモニー感など好みの設定を選択することができます。

●サラウンド：入
臨場感のあるステレオサウンドを楽しむことができます。
モノラル放送や、ステレオ放送であっても「モノラル」の設定にしているとき（36）は、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送で雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を−側にするか、またはサラウンドを「切」にしてください。

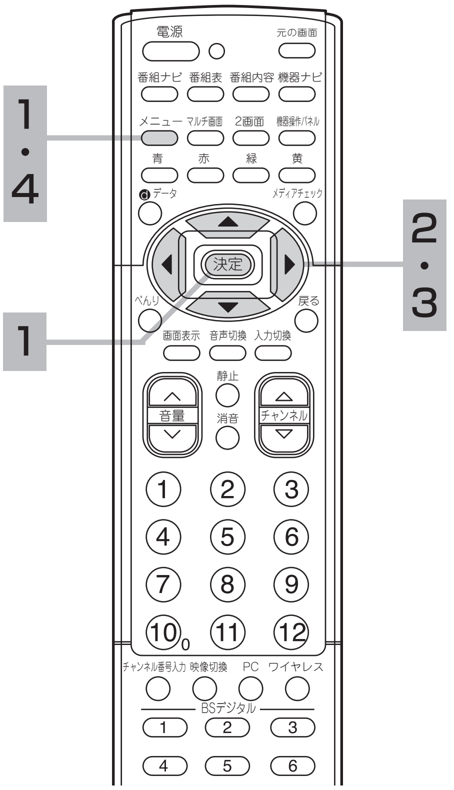
音声モードのお買い上げ時の設定について

- ミュージックは高音、低音を強調しており、音楽放送に適しています。
- シアターは中音を強調した設定になっており、映画放送に適しています。

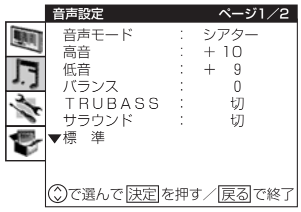
音声モードについて
各音声モードについて、高音、低音、バランス、TRUBASS、サラウンドはお好みの音声に設定できます。

さらにお好みの音声設定をしたいとき

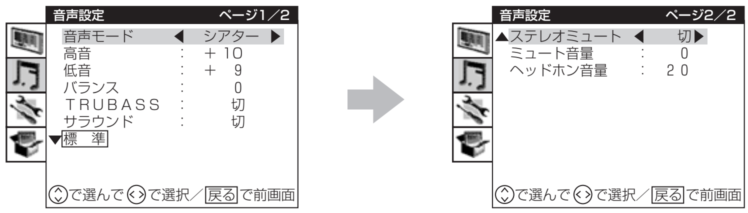
ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）、ミュート音量（消音時の音量調節）、ヘッドホン音量などの設定ができます。



1 メニューボタンを押し、◎で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す



2 ◎で2ページ目の「音声設定」を表示させる



3 ◎で設定したい項目を選び、◎で選択、または調節する

音声設定 項目		設定のポイント
ステレオミュート	切←→入	「入」にすると、テレビ放送のコマーシャル音（ステレオ放送）などを小さくすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる←→音量が大きくなる 最小〔0〕　最大はミュート前の音量	消音ボタンを押したときの音量が変わります。 34
ヘッドホン音量	音量が小さくなる←→音量が大きくなる 最小〔0〕　最大〔63〕	お好みの音量に合わせます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ　モ

音声設定の効果について

●ステレオミュート：入

テレビ放送のドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。

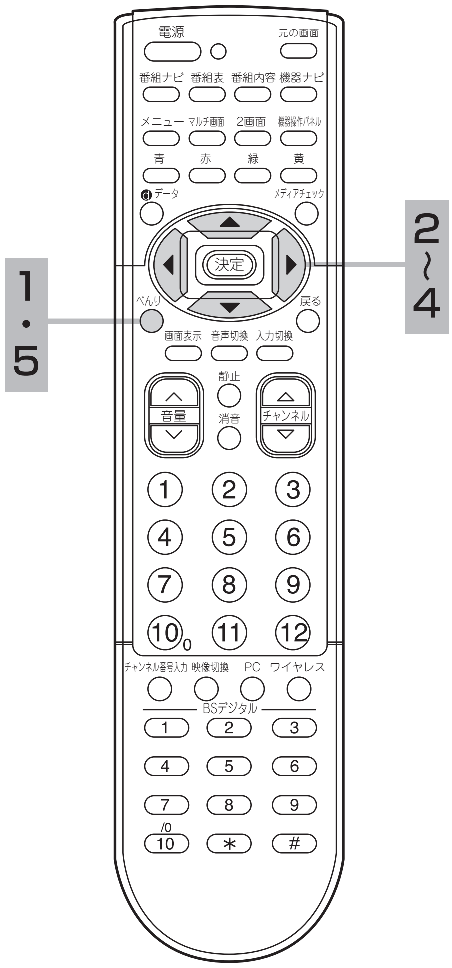
●ミュート音量

消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。

●ヘッドホン音量

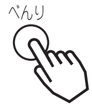
ヘッドホンの音量を調節できます。
ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音は消えません。
スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

音声モードとTRUBASS（TruBass）、サラウンドは
べんり機能でも設定することができます。

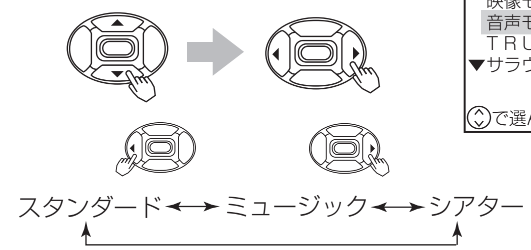


1 べんりボタンを押す

PC入力をご覧になっているときは、べんりボタンを2回押してください。



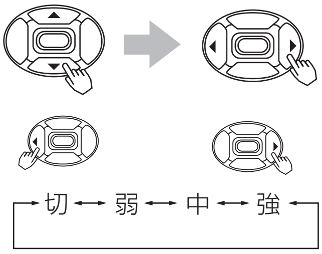
2 ▲▼で「音声モード」を選び、◀▶でお好みのモードに設定する



べんり		ページ1／2
映像モード	：	スーパー
音声モード		◀スタンダード▶
TRUBASS	：	強
▼サラウンド	：	入

▲▼で選んで◀▶で選択／戻るで終了

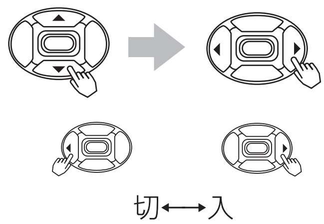
3 ▲▼で「TRUBASS」を選び、◀▶でお好みの設定にする



べんり		ページ1／2
映像モード	：	スーパー
音声モード	：	スタンダード
TRUBASS	◀	強 ▶
▼サラウンド	：	入

▲▼で選んで◀▶で選択／戻るで終了

4 ▲▼で「サラウンド」を選び、◀▶でお好みの設定にする



べんり		ページ1／2
映像モード	：	スーパー
音声モード	：	スタンダード
TRUBASS	：	強
▼サラウンド	◀	入 ▶

▲▼で選んで◀▶で選択／戻るで終了

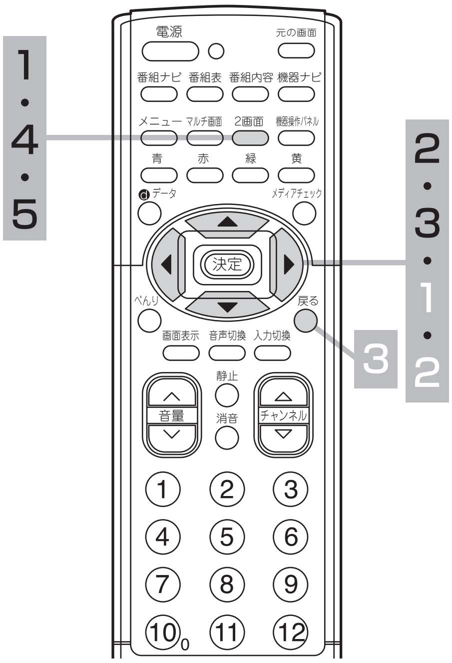
5 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す



●PC入力をご覧になっているときは、べんりボタンを1回押すと設定画面が消えます。
●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

マルチ画面を楽しみたいとき

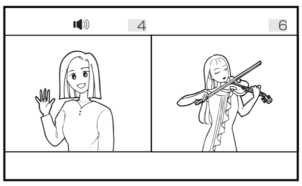
気になる裏番組のチェックや何かおもしろい番組はないかといったときに、簡単な操作で番組の検索をすることができます。



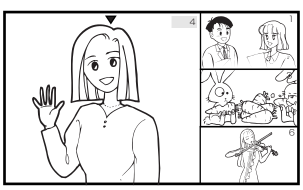
マルチ画面モードについて

マルチ画面モードには2画面モードと4画面モードの2種類があります。

2画面モード：同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利なモードです。



4画面モード：裏番組のチェックに便利なモードです。46
よくご覧になる番組をあらかじめ設定しておきます。



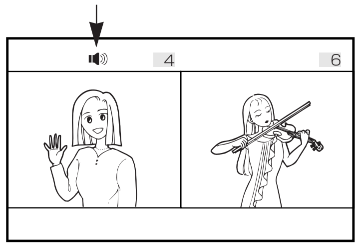
2画面を楽しみたいとき

同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利な機能です。

1 2画面ボタンを押す



音声を選んでいる画面を示します。

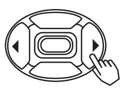


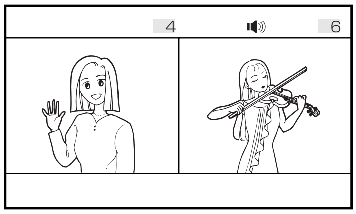
- 右画面と左画面は、同じチャンネル、または同じビデオモードは選べません。
- BSチャンネルとi.LINK端子に接続したD-VHS画面は、同時に2画面で見ることはできません。
- PC入力をご覧になっているときは、2画面にすることができません。また、2画面をご覧になっているときは、PC入力を選ぶことはできません。

2 画面切り換え

で左画面と右画面を切り換える

表示が選ばれた画面を示します。

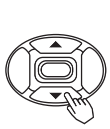


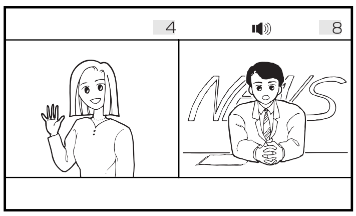


3 チャンネル切り換え

でチャンネルを切り換える

が表示している画面のチャンネルが切り換えられます。





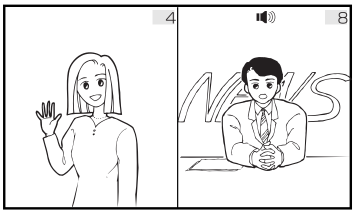
- 左画面を選んでいる場合も同様に、チャンネルを切り換えることができます。
- チャンネルボタンでも選べます。
- ビデオ1～ビデオ5およびワイヤレスに切り換えるときは、ワイヤレスボタンまたは入力切換ボタンで切り換えてください。

4 2画面の拡大

2画面ボタンを押す

画面が大きくなります。

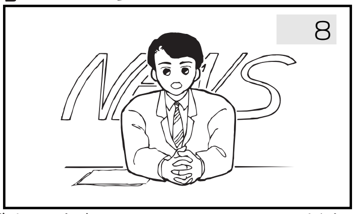




● 2 、3 と同様に画面切り換え、チャンネル切り換えができます。

5 もう一度2画面ボタンを押すと🔈))表示の画面が1画面となって2画面を終了します

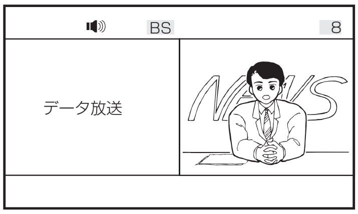




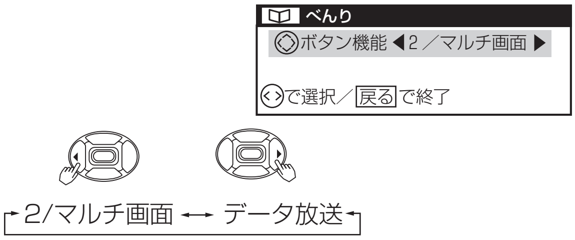
●リモコンの戻るボタンを押して、2画面モードを終了することもできます。

2画面時にBSデータ放送の画面を操作するには

1 ◎でBSデータ放送の画面を選択する



2 べんりボタンを押し、◎で「データ放送」を選択する



3 設定が終了したらべんりボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4 BSデータ放送をみる

BSデジタル放送の画面操作のしかたは 94 をご覧ください。

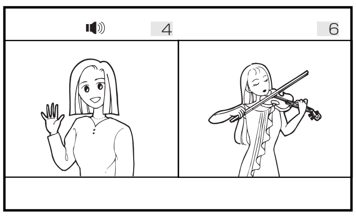
5 2画面の操作に戻すときは、2 で「2/マルチ画面」を選択します。

多機能の使いかた

メモ

2画面について

2画面のときの音声出力、モニター出力は、下記のようになっています。



	選んでいる画面	
	左画面	右画面
スピーカー	左画面の音声	右画面の音声
ヘッドホン	右画面の音声	右画面の音声
モニター出力	左画面の映像、音声	右画面の映像、音声

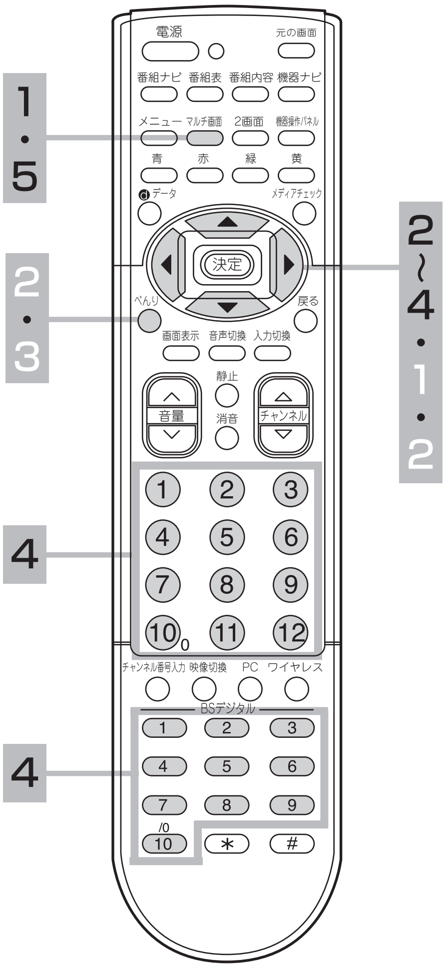
2画面時のモニター出力について

●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。
モニター出力端子からは選んでいる画面の映像と音声が出力されます。
BSch固定「入」のとき（録画予約を実行しているとき）は、BSデジタル放送の映像と音声が出力されます。

●ビデオ4，5入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。

●ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「する」に設定してください。55

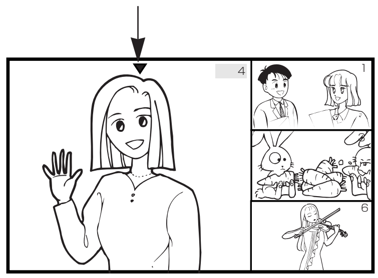
マルチ画面を楽しみたいとき（つづき）



4画面を楽しみたいとき

1 マルチ画面ボタンを押す



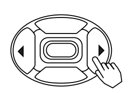


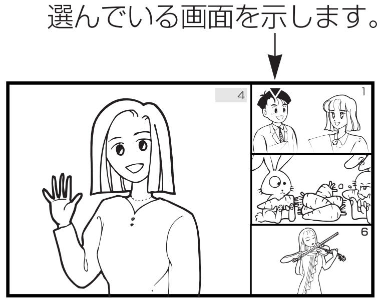
PC入力をご覧になっているときは、4画面にすることができません。また、4画面をご覧になっているときはPC入力を選択できません。

2 画面切り換え

で操作画面を切り換える

▼表示が選んでいる画面を示します。

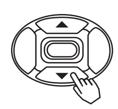


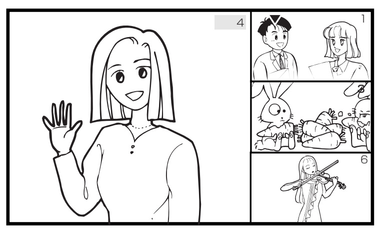


3 チャンネル切り換え

で子画面を選ぶ

選んでいる子画面の表示色が緑色になります。





お知らせ

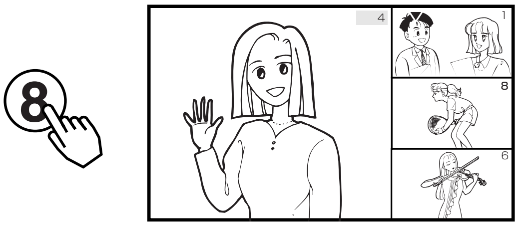
4画面時の画面切り換えについて

- ●4画面をご覧になっているとき、PC入力を選択することはできません。
- ●子画面は、BS，コンポーネント入力およびワイヤレス入力を選択することはできません。

4画面時の音声についてのご注意

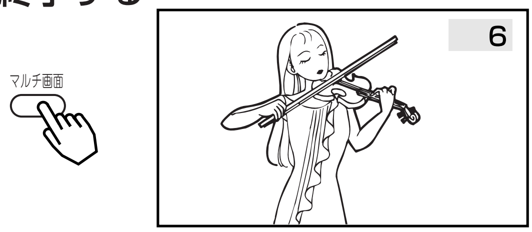
4画面時は、スピーカー、ヘッドホン共に親画面の音声が出力されます。子画面の音声は出力されません。

4 チャンネルボタンで選局する



●入力切換ボタンでビデオモードを選ぶこともできます。
①子画面を選択したときは、 でお好みの子画面を選ぶと、選んだ画面（表示色が緑色）が動画で表示されます。
他の子画面は、静止画で表示されます。
何も操作しないときは、自動的に番組内容を更新します。
②決定ボタンを押すと、選んでいた子画面を選択して4画面を終了します。
●操作画面が子画面のときは、BSデジタル放送は選局できません。
●操作画面が親画面のときは、 、チャンネルボタンまたは入力切換ボタンで切り換えることができます。また、入力切換ボタンでコンポーネント入力を選択することもできます。

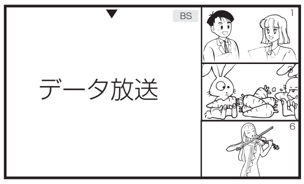
5 もう一度マルチ画面ボタンを押すと終了する



リモコンの戻るボタンを押して、4画面を終了することもできます。

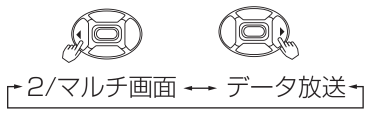
マルチ画面時にBSデータ放送の画面を操作するには

1 でBSデータ放送の画面を選択する



2 べんりボタンを押し、 で「データ放送」を選択する





3 設定が終了したらべんりボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4 BSデジタル放送をみる

BSデジタル放送の画面操作のしかたは 94 をご覧ください。

5 マルチ画面の操作に戻すときは 2 で「2/マルチ画面」を選択します。

メモ

4画面のモニター出力について

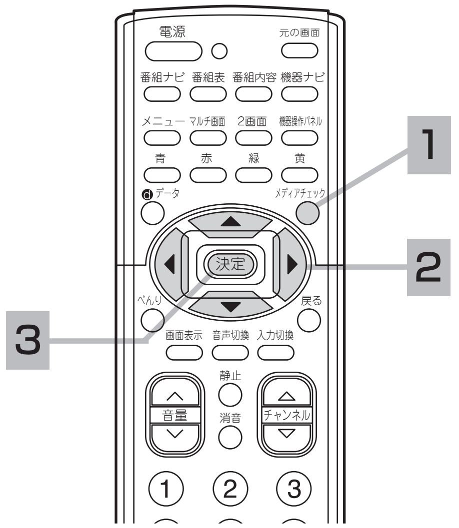
●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。モニター出力端子からは親画面の映像と音声が出力されます。BSch固定「入」のとき（録画予約を実行しているとき）は、BSデジタル放送の映像と音声が出力されます。
●ビデオ4〜ビデオ5入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。
●ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「する」に設定してください。55

チャンネル合わせでチャンネル設定を変更したいときは

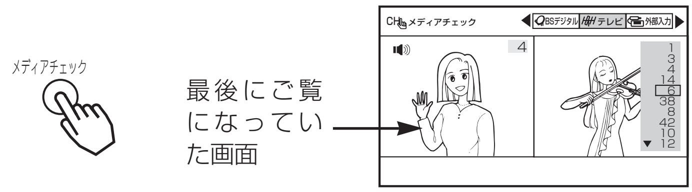
引越しなどにより、チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり、受信設定でCHボタンの設定を10キー（CATV）に変更したときは、マルチ画面のチャンネルが自動的に更新されます。必要に応じて、もう一度設定してください。

メディアチェックで選びたいとき

テレビ（地上波）放送、BSデジタル放送、外部入力映像をメディアの違いを気にすることなく、気軽に画面で選ぶことができます。

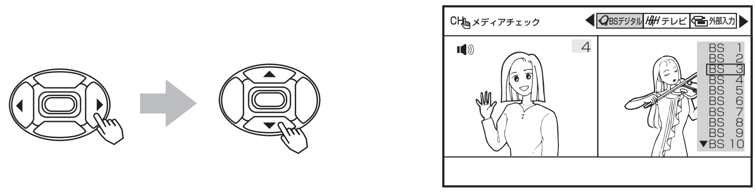


1 メディアチェックボタンを押す



●右画面と左画面は、同じチャンネルまたは同じビデオモードは選べません。
●BSチャンネルおよびi.LINK接続によるD-VHS入力は、同時に2画面で見ることはできません。
●PC入力をご覧になっているときは、メディアチェック画面にすることはできません。またメディアチェック画面のときにPC入力を選ぶことはできません。

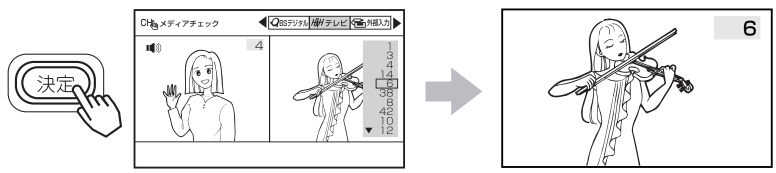
2 でメディア（テレビ放送、BSデジタル放送、外部入力）を選択し、でチャンネルまたは外部入力を選ぶ



●メディアはテレビが最初に選択されます。
●メディアを切り換えたときは、最上段のチャンネルまたは入力モードが選択されます。
●「▼」の表示があるときは、を押すと、次のページが表示されます。
●「▲」の表示があるときは、を押すと前のページが表示されます。
●左画面はチャンネルまたは入力切換ボタンで選ぶことができます。

3 決定ボタンを押す

右画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードが選択され、メディアチェック画面を終了します。



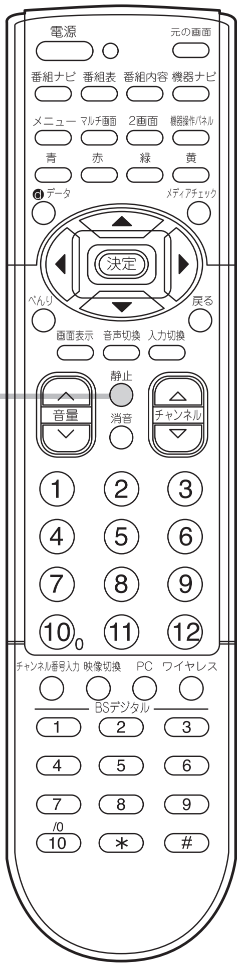
●もう一度、メディアチェックボタンを押すか、または元の画面ボタンを押しても終了することができます。この場合は左画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードのまま、メディアチェック画面を終了します。

メモ

●メディア「テレビ」は、空きチャンネルを表示しないようにできます。（CHスキップ設定で「スキップする」に設定した場合 134 ）
●メディア「BSデジタル」は、リモコンのBSチャンネルボタン（BS1～BS10）の番号を表示したものです（チャンネル番号ではありません）。
●メディア「外部入力」は、使用しない入力を表示しないようにできます。（入力スキップ設定で「スキップする」に設定した場合 58 ）
●CHスキップ設定 134 ですべてのチャンネルが「スキップする」設定のときは、メディアチェック画面は操作できません。
●入力スキップ設定 58 で、すべての入力が「スキップする」に設定されている場合は、メディア「外部入力」は選択できません。
●左画面でBSチャンネルまたはi.LINK接続によるD-VHS入力をご覧になっているときは、右画面でメディア「BSデジタル」は選択できません。
●BSch固定「入」のとき（録画予約が実行中のとき）は、メディア「BSデジタル」は選択できません。
●メディア「外部入力」は、i.LINK接続によるD-VHS入力およびPC入力は表示できません。

静止画にしたいとき

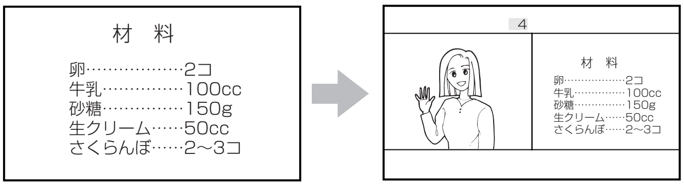
テレビ画面を一時的に止めて見たいときに便利な機能です。



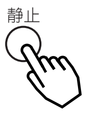
1・2

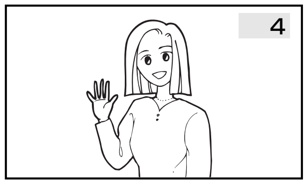
1 静止ボタンを押す





2 もう一度静止ボタンを押すと終了する



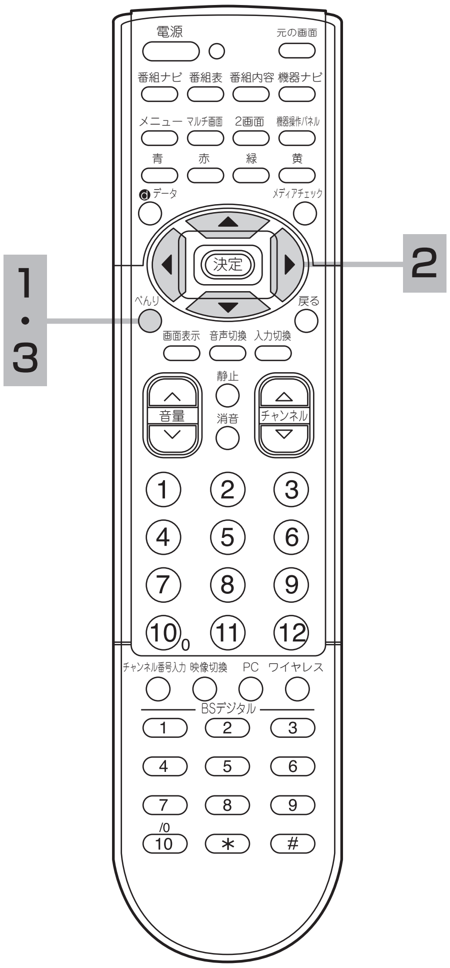


お知らせ

- ●PC入力をご覧になっているときは、静止画にすることはできません。
- ●2画面、4画面を表示中は、静止ボタンで静止画にすることはできません。
- ●静止画面で2画面またはマルチ画面ボタンを押すと、静止画は解除されます。
- ●テレビ放送とBSデジタル放送の静止画を表示しているときは、（決定）やチャンネルボタンで左側の画面（動画）のチャンネルを選ぶことができます。ビデオ入力信号の静止画を表示しているときは、左側の画面（動画）を切り換えることはできません。
- ●コンポーネント入力信号の静止画は、次のような場合は解除されます。
  - ・入力信号が切り換わったとき（例えば525iから1125iに切り換わったときなど）
  - ・コンポーネント入力端子に接続した機器の電源を切ったときなど

自動的に電源を切りたいとき

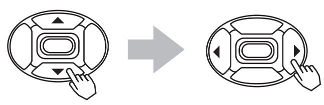
指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
お休みのときなどにご利用ください。

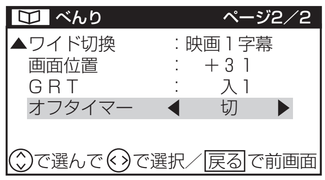


1 べんりボタンを2回押す

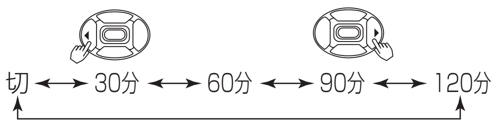


2 （上下ボタン）で「オフタイマー」を選び、（左右ボタン）でお好みの時間を設定する





（左右ボタン）ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



●オフタイマーの設定時間は30分間隔で最大120分までです。
●時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

3 設定が終了したらべんりボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

オフタイマーを確認・解除したいとき

① 1 の操作を行います。
　オフタイマーの残量時間が1分間隔で確認できます。
②オフタイマーを解除するときは、2 の操作で「切」に設定します。
③ 3 の操作で画面表示を消します。

4 電源が切れる

設定した時間になると電源が切れます。

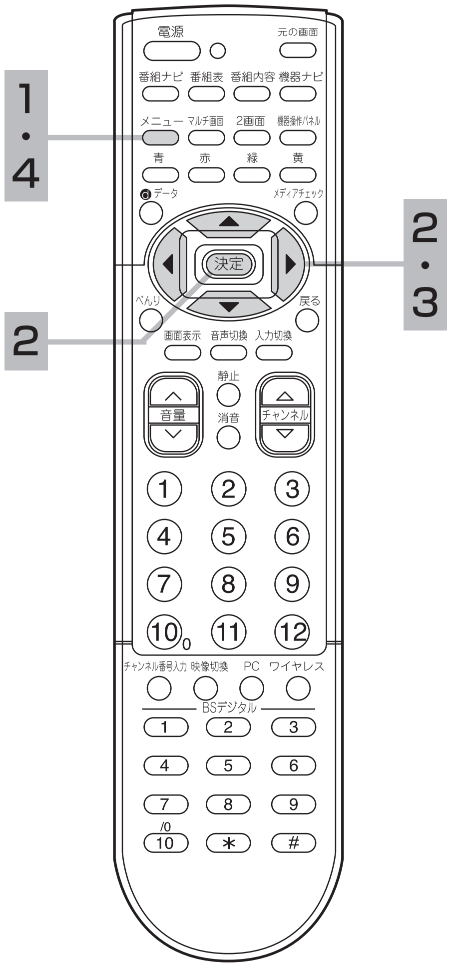
お知らせ

●電源を切るとオフタイマーは解除されます。
●オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
●オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

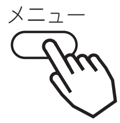
他の設定を変えたいとき

オートワイドの設定

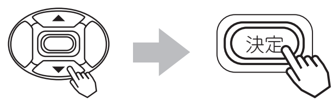
通常の映像(4：3信号)を見るときは、お好みに合わせてワイドモードを設定することができます。

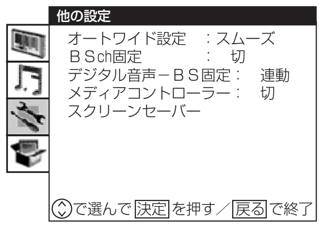


1　メニューボタンを押す

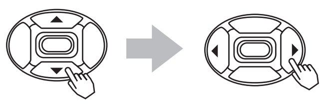


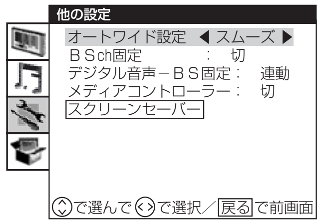
2　（上下ボタン）で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す





3　（上下ボタン）で「オートワイド設定」を選び、（左右ボタン）で設定する





設定項目	（左右ボタン）	設定のポイント
オートワイド設定	スムーズ⟷ノーマル	オートワイド時に、通常の映像（4：3信号）を見るときのワイドモードを設定します。通常はスムーズでご使用ください。

4　設定が終了したらメニューボタンを押す

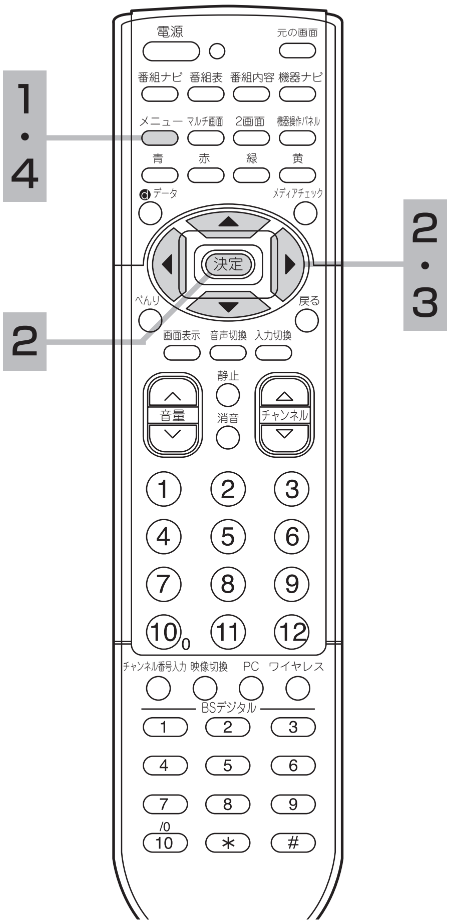


元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

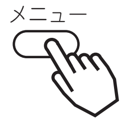
他の設定を変えたいとき(つづき)

メディアコントロール機能をご使用になるには

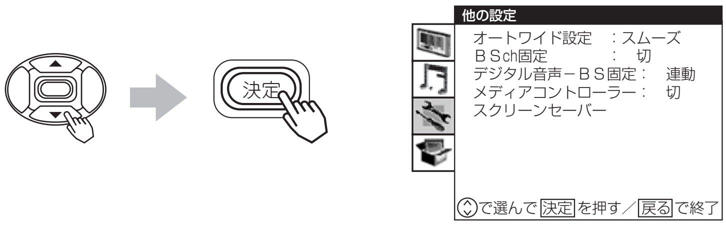
ビデオやDVDプレーヤーなど、本機と接続した外部機器のリモコン操作を本機のモニターのリモコン受信窓に向かって操作することができます。
本機のモニター部とチューナー部を離れた場所に設置したときなど、画面を見ながら操作したいときに便利です。



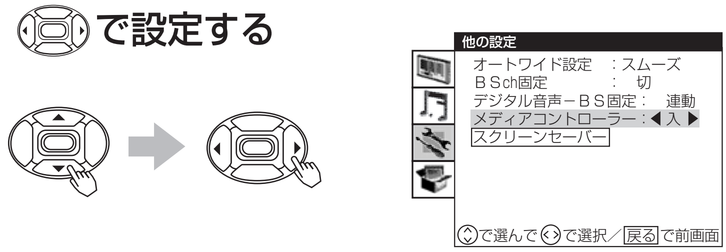
1 メニューボタンを押す



2 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で「メディアコントローラー」を選び、で設定する



設定項目		設定のポイント
メディアコントローラー	切⟷入	メディアコントロール機能をご使用になるときは「入」を選びます。お買い上げ時は「切」になっています。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す



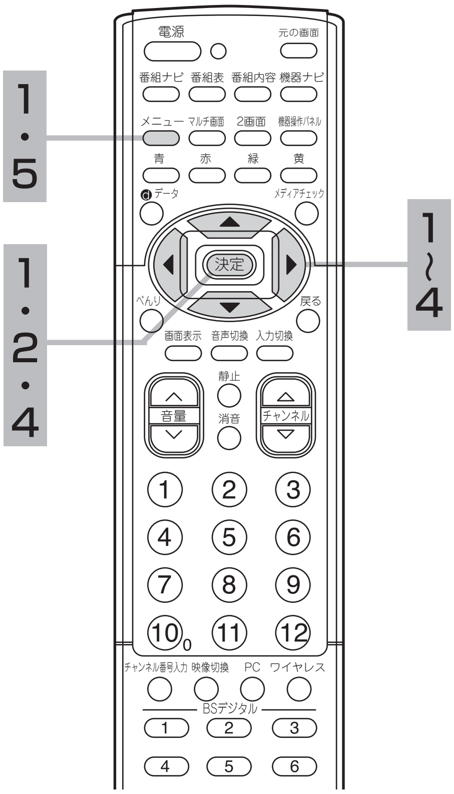
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

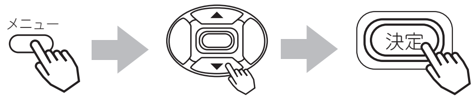
- メディアコントロール機能をご使用になるには、118 のメディアコントローラーの接続と取り付けが必要です。119 のお知らせと合わせてご覧ください。
- ご使用になる外部機器によっては、メディアコントロール機能を使って操作できないこともあります。このようなときは、ご使用の外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
- BSデジタル放送の録画予約を実行中（メニュー「他の設定」のBSch固定が「入」のとき）は、メディアコントロール機能はご使用になれません。
- メディアコントロール機能はモニターのリモコン受信窓でのみ動作します。チューナーのリモコン受信窓では動作しません。

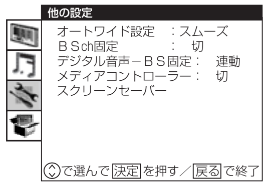
スクリーンセーバーをご使用になるには

BSデータ放送、PC入力の時など、長時間同じ画像（動きの少ない画像）をご覧になると、焼き付き現象が出る場合があります。この場合、このスクリーンセーバーをご使用になると低減することができます。

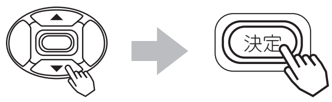


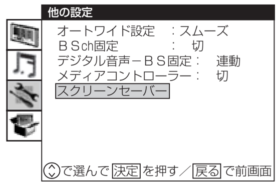
1 メニューボタンを押し、で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す





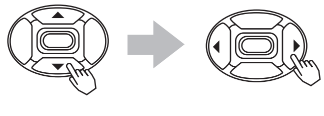
2 で「スクリーンセーバー」を選び、決定ボタンを押す

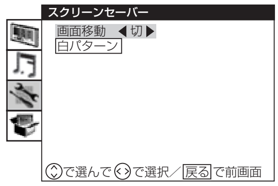




3 焼き付き現象を生じにくくする場合

で「画面移動」を選び、で設定する

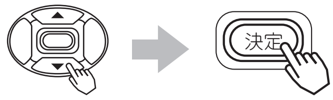


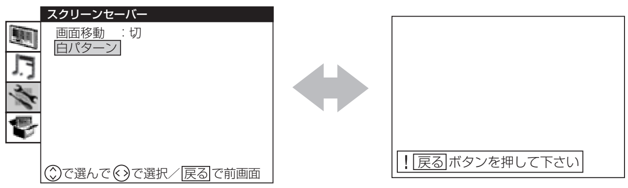


設定項目		設定のポイント
画面移動	切↔1↔2↔3	焼き付き現象を生じにくくするために画面を2画素ずつ移動させます。 「1」を選ぶと20分おき、「2」は40分、「3」は60分おきに移動させることができます。動きの少ない画像（特にPC入力時）の時は「1」を選択してください。

4 焼き付き現象が生じた場合

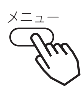
で「白パターン」を選び、決定ボタンを押す





リモコンの「戻る」ボタンを押すと前の画面に戻ります。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す

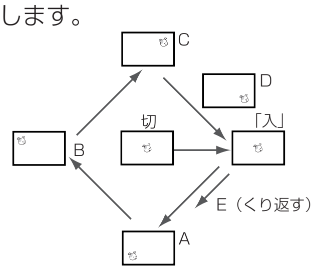


元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メ モ

1.画面移動について

画面移動は1回の移動につき2画素ずつ移動します。移動する方向は「切」から「1」（又は「2」、「3」）を選択したときは右へ、順次選択した時間がたつごとに左下A→左上B→右上C→右下Dと移動し、ひし形状にくり返します。



2.白パターンについて

焼き付き現象が生じた場合は、「白パターン」を選択して画面全体を白くします。この状態で10分間以上継続してください。まだ残っている場合は時間を延長してください。

多機能の使いかた

外部機器を接続するときに便利な設定

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。

モニター出力（ビデオ1）55 ……ビデオ1入力端子に接続した映像および音声をモニター出力端子から出力したいときに設定します。

入力検出（ビデオ2）55 ……ビデオ2入力端子に接続した機器の映像信号を検出すると、自動的にテレビの電源をオンしてビデオ2を選択することができます。

ゲームモード（ビデオ3）55 ……チューナー前面のビデオ3入力端子に接続したテレビゲームを楽しむときに映像設定と画面のワイドモードを自動的に選択することができます。

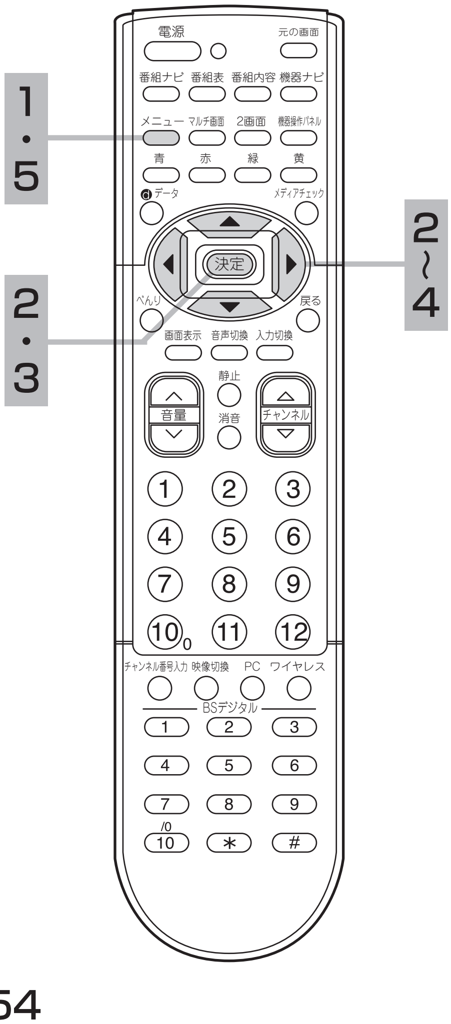
ビデオパワーセーブ設定 55 ……ビデオ入力信号がなくなった時にテレビを省電力モードにする設定ができます。

ビデオ入力表示書換設定 56 ……ビデオ入力端子やワイヤレス入力端子に接続した機器に合わせて、表示を書き換えることができます。

コンポーネント設定 57 ……コンポーネント1（ビデオ4）～コンポーネント2（ビデオ5）に接続する機器を設定します。

入力スキップ設定 58 ……ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したときに飛び越し（スキップ）させることができます。

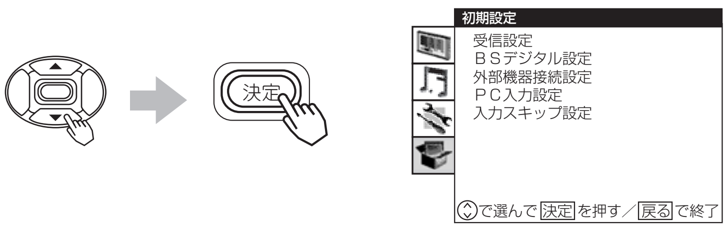
モニター出力、入力検出、ゲームモード、ビデオパワーセーブの設定



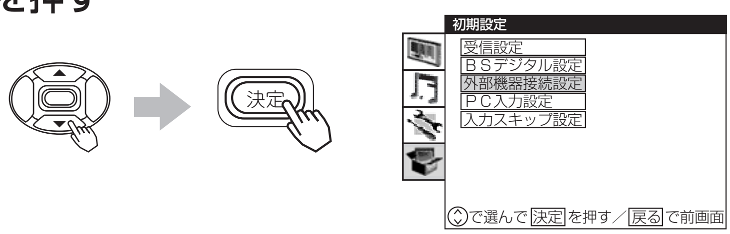
1 メニューボタンを押す



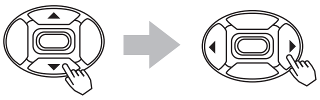
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

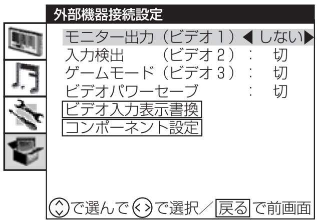


3 で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で設定したい項目を選び、で設定する





設定項目		設定のポイント
モニター出力（ビデオ1）	する←→しない	ビデオ1の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。
入力検出（ビデオ2）	切←→入	ビデオ2の映像信号を検出したとき、テレビ電源をオンしてビデオ2を自動的に選択したいときに「入」にします。一度チューナーの電源プラグを抜いた場合は、「切」になります。
ゲームモード（ビデオ3）	切←→入	ビデオ3を選択したときにワイドモードと映像設定を自動的に切り換えたいときは「入」にします。158
ビデオパワーセーブ	切←→入	ビデオ入力信号が無い状態が約10秒間続くと、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。（「入」設定時） 172

5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

入力検出（ビデオ2）：（「入」の場合）

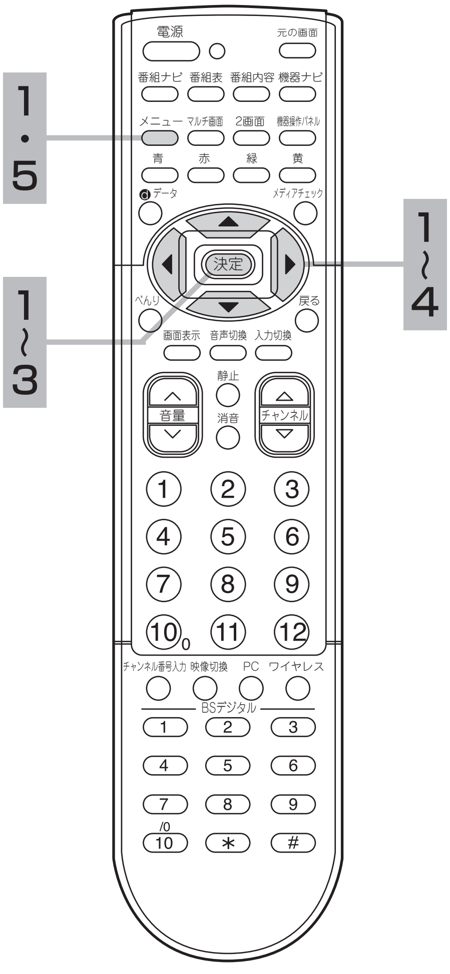
ビデオ2入力端子の映像信号を検出すると、テレビの電源が入り、ビデオ2に切り換わります。
ビデオ2入力端子の映像信号がなくなると、ビデオ2を選択しているときはテレビに戻ります。この時電源は切れません。

- ビデオ2入力検出は、S2映像入力端子の信号は検出されません。
  S2映像端子の信号をご覧になる場合は、映像端子にも信号を接続することにより、ビデオ2入力検出機能をお使いいただけます。
- 留守録などで自動的に電源が入るような外部機器を接続されている場合は、テレビの電源が自動的にオンすることがあります。このような外部機器をご使用になるときは「切」でお使いください。
- CATVホームターミナルなどの外部機器の電源を「切」にしても、ビデオ2入力端子に何らかの信号が入力されている場合は正常に動作しないことがあります。このようなときは，「切」でお使いください。
- モニター部の主電源ボタンでテレビの電源を切ると、入力検出は動作しません。

外部機器を接続するときに便利な設定（つづき）

ビデオ入力表示書換の設定

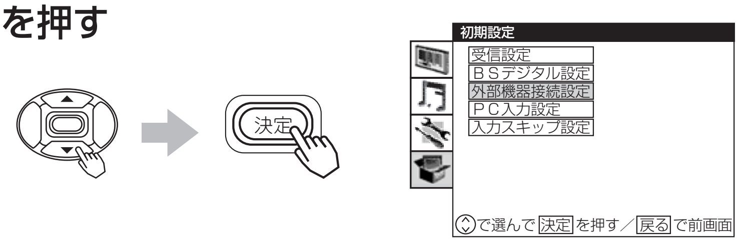
ビデオやゲーム機などの接続に合わせて、ビデオ入力の表示を書き換えることができます。



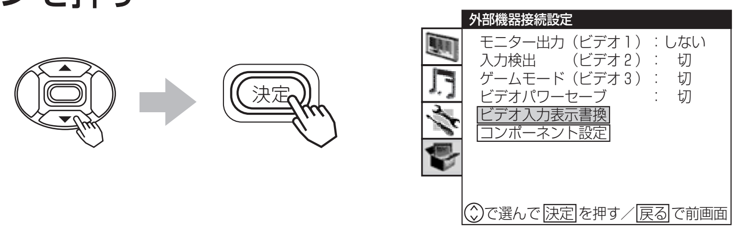
1 メニューボタンを押し、（上下ボタン）で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



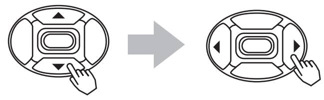
2 （上下ボタン）で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す



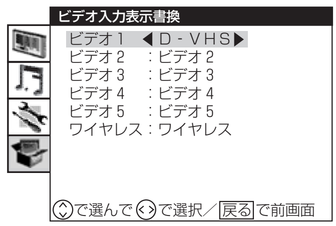
3 （上下ボタン）で「ビデオ入力表示書換」を選び、決定ボタンを押す



4 （上下ボタン）で設定したい項目を選び、（左右ボタン）で設定する



（左右ボタン）を押すごとに下図のように切り換わります。
（例）「ビデオ1」の設定の場合



ビデオ1 ↔ VTR ↔ CATV ↔ ゲーム ↔ カメラ ↔ DVD ↔ D-VHS
↔ デジタル ↔ CSデジタル ↔ BSデジタル ↔ レコーダー ↔

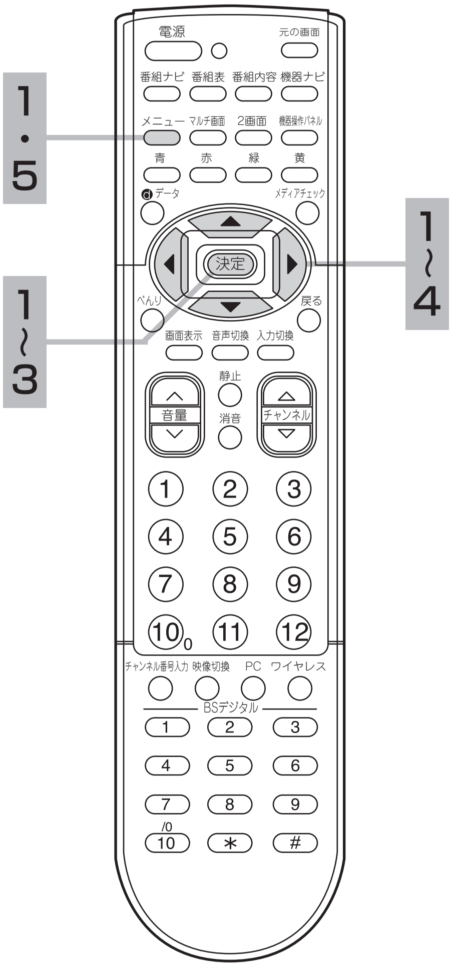
5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

コンポーネントの設定

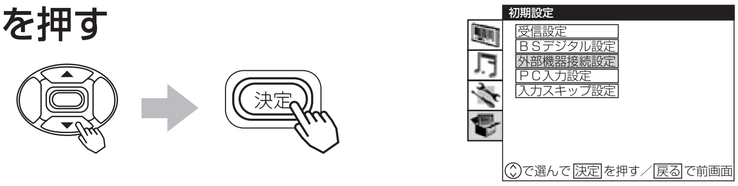
コンポーネント1（ビデオ4）、コンポーネント2（ビデオ5）に接続する機器を設定します。



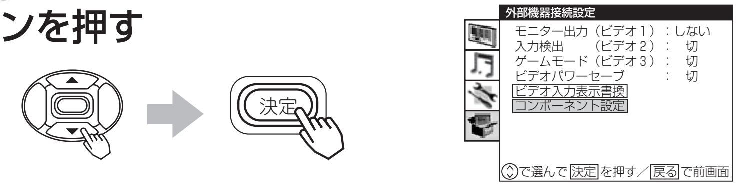
1 メニューボタンを押し、（上下ボタン）で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



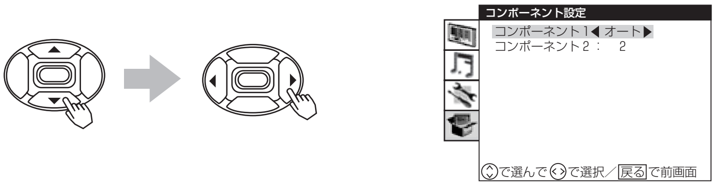
2 （上下ボタン）で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す



3 （上下ボタン）で「コンポーネント設定」を選び、決定ボタンを押す



4 （上下ボタン）で設定したい項目を選び、（左右ボタン）で設定する



設定項目	（左右ボタン）	設定のポイント
コンポーネント1（ビデオ4）	オート↔1↔2↔MUSE	コンポーネント1入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント2（ビデオ5）	オート↔1↔2↔MUSE	コンポーネント2入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メモ

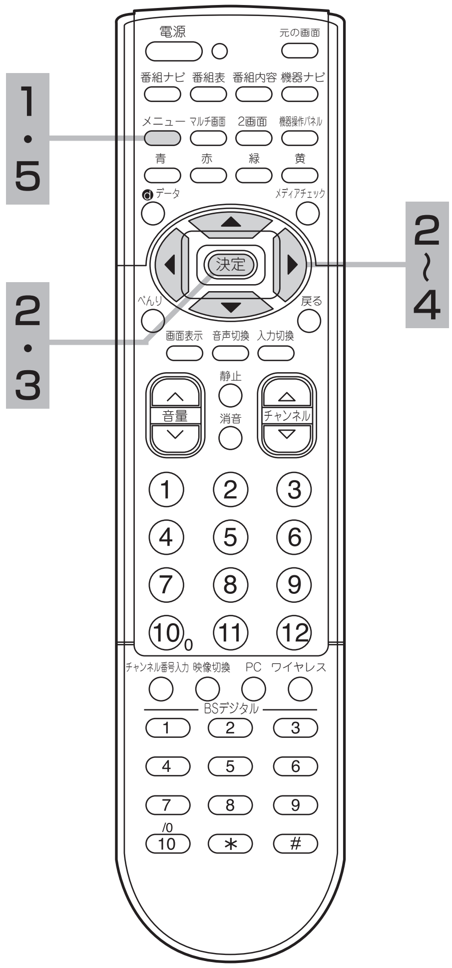
コンポーネント設定について

コンポーネント信号は、接続する機器や信号によって色合いが異なる場合があります。通常は「オート」でお使いください。色合いが正しく再現できない場合は、「1」または「2」に設定してください。また、W-VHSビデオを接続する場合は「MUSE」に設定してください。

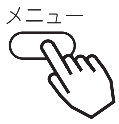
外部機器を接続するときに便利な設定（つづき）

入力スキップの設定

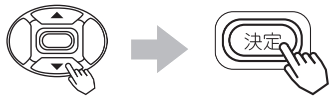
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したときに飛び越し（スキップ）させることができます。

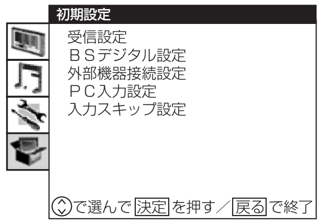


1 メニューボタンを押す

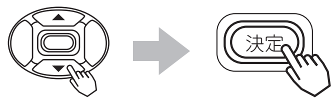


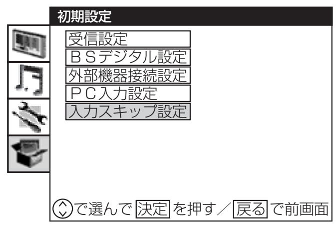
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



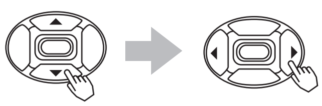


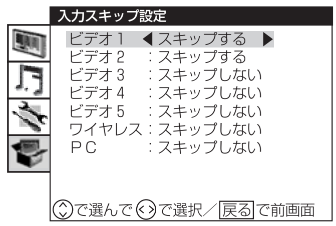
3 で「入力スキップ設定」を選び、決定ボタンを押す





4 で設定したい項目を選び、 で設定する



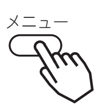


を押すごとに下図のように切り換わります。

　スキップしない←→スキップする

入力切換ボタンを押したとき、飛び越しさせたいときは「スキップする」を選びます。

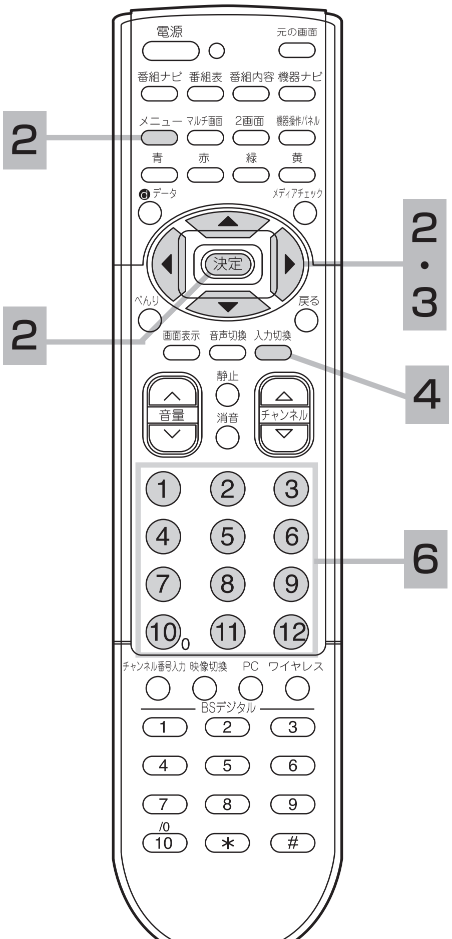
5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

ビデオなどに録画するとき

録画中に本機のチャンネルを変えても、ご希望のBSデジタル放送が確実に録画できるようにBSチャンネルを固定します。



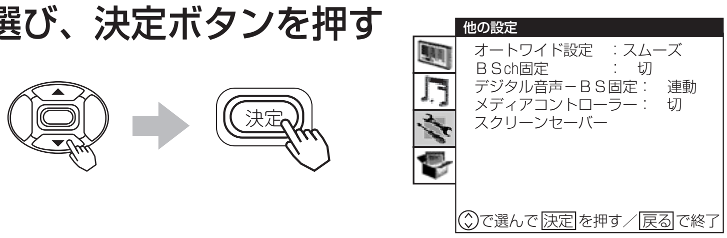
BSデジタル放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき

準備

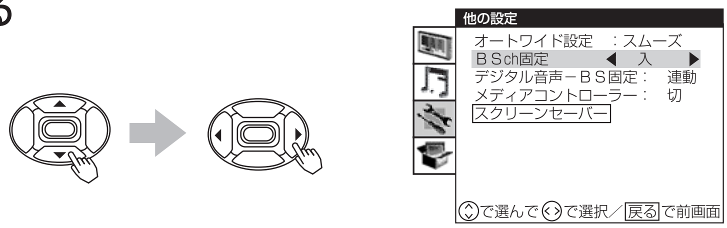
お手持ちのビデオを本機と接続する。115

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ 22

2 メニューボタンを押し、(▲▼)で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 (▲▼)で「BSch固定」を選び、(◀▶)で「入」にする



- BSch固定「入」を設定すると「BS＊＊＊が固定されました」の表示が出ます。
- テレビ放送やビデオ入力でBSch固定を選ぶと「選択できません」の表示が出て設定できません。

4 入力切換ボタンを押して、「ビデオ1」にする



ビデオを「ビデオ2」に接続している場合は、「ビデオ2」にします。

5 ビデオを外部入力に合わせて、録画したいチャンネルが映ることを確認し、録画をはじめる

6 ご覧になりたいテレビ放送のチャンネルを選ぶ

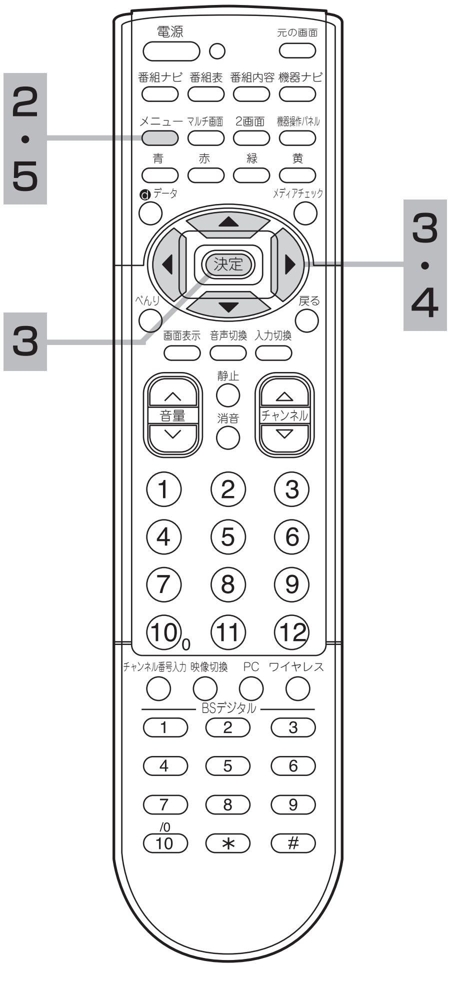
BSch固定を解除したいときは、固定されているBSチャンネルを選び、手順 3 の操作で「切」を選びます。
「BSch固定を解除しました」の表示が出ます。

お知らせ

BSch固定は、放送開始/終了時間情報のある番組で可能です。情報のない番組ではBSch固定はできません。
また、固定したBSチャンネルは、その番組の放送が終了すると自動的に解除されます。

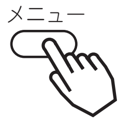
MD（ミニディスク）などに録音するとき

光デジタル音声出力端子からの録音中に本機のチャンネルを変えても、ご希望のBSデジタル放送が確実に録音できます。

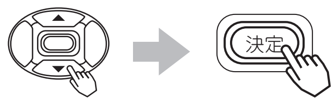


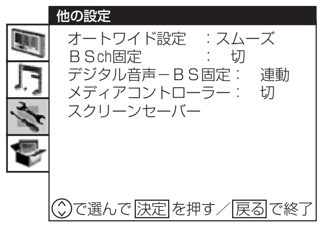
1 録音したいBSチャンネルを選ぶ 22

2 メニューボタンを押す

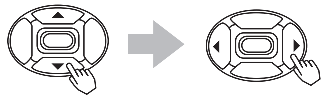


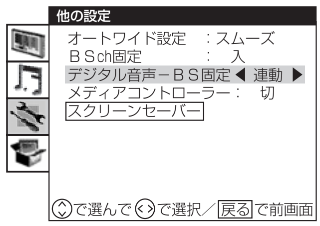
3 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す





4 で「デジタル音声－BS固定」を選び、で設定する

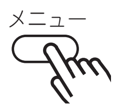




連　動	59 でBSch固定したBSデジタル放送に連動した音声を出力します。
非連動	現在ご覧になっている画面の音声を出力します。

●テレビ放送やビデオ入力で「デジタル音声-BS固定」を選ぶと「選択できません」の表示が出て設定できません。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

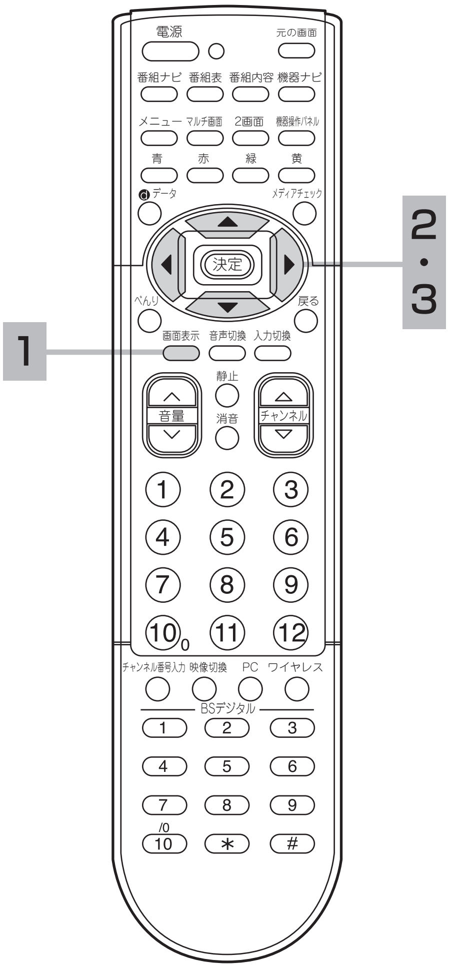
お知らせ

デジタル音声出力の設定 152 を「PCM」にしてご使用ください。

BSデジタル放送をご覧になるには

画面表示の意味について

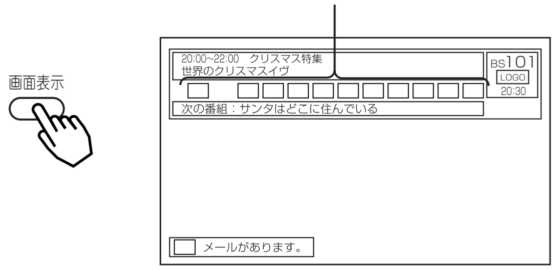
本機はテレビの画面上に操作が必要な情報を表示します。
画面の表示を見ながらご活用ください。



1 アイコン表示

画面表示ボタンを押す

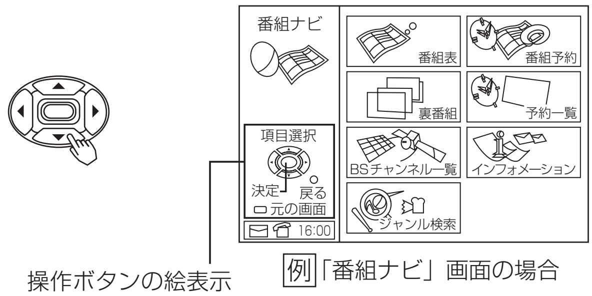
（例）



●画面表示ボタンを押したときや各種一覧画面を出したときなど、画面上部にシンボルマークによる情報表示としてアイコンが表示されます。
●アイコンの種類と意味は 177 をご覧ください。

2 操作ボタンの絵表示が出ているときは

表示されている画面で操作するボタンを示しています。

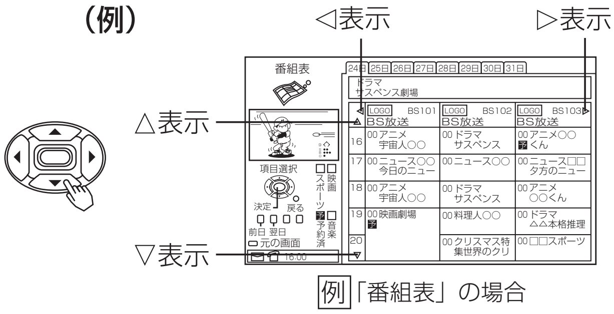


例「番組ナビ」画面の場合

3 各種一覧画面内の▲▼◀▶表示は

一覧画面の中に上下または左右に表示される△▽◁ ▷表示が黄色表示のときは選べる情報がまだあることを示します。
表示と同じ向きの ボタンを押せばその情報を表示させることができます。

（例）



例「番組表」の場合

お知らせ

メニュー画面等に表示されているリモコンボタン表示は、操作をわかりやすくするための表示であり、実際のリモコンとはボタン形状、配置等が異なる場合があります。

BSデジタル放送をご覧になるには（つづき）

番組ナビ画面について

番組ナビ画面は、BSデジタルの各機能を操作する入り口です。

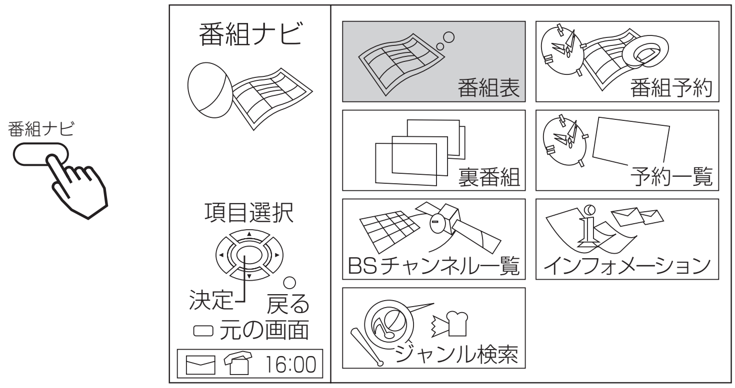
（番組表はリモコンボタンでも直接呼び出せます。）

1



1 番組ナビボタンを押す

BSデジタル放送のとき番組ナビボタンを押すと、番組ナビ画面が表示されます。



■番組表 66

BSデジタル放送の番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。

■裏番組 71

現在視聴しているBSデジタル番組の画面上に、放送中のBSチャンネルの番組タイトルが一覧表示されます。

■BSチャンネル一覧 70

BSデジタル放送のチャンネルを一覧にして表示します。

■ジャンル検索 72

お好きな番組をジャンル別に検索して選局ができます。

■番組予約 76

番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。

■予約一覧 86

予約した番組の確認、変更、取り消しができます。

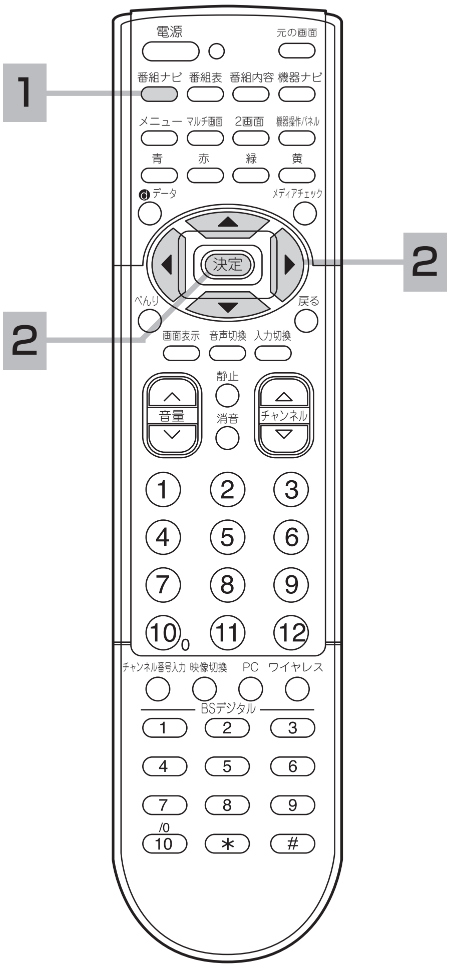
■インフォメーション 63

メモ

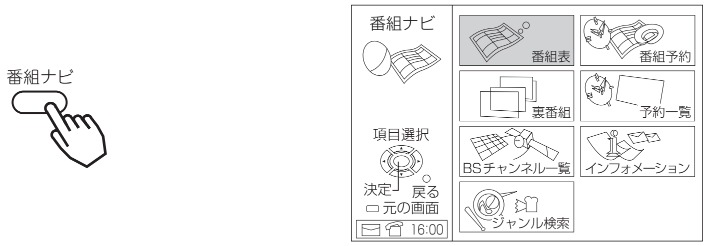
- 番組ナビは、BSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。
- 2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときに、番組ナビボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。
- 番組ナビをご覧になっているときに、2画面、マルチ画面、静止ボタンを押すと、番組ナビは解除されます。

インフォメーション画面について

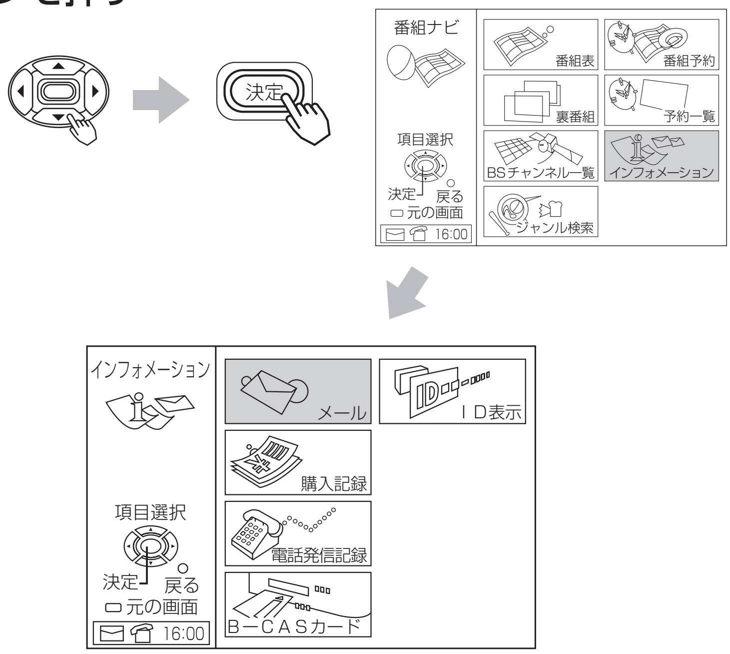
BSデジタル放送では、電話回線や、B-CASカードによる有料番組の購入など、情報の管理が必要です。インフォメーション画面は、これらの情報を管理する機能の入り口です。



1　番組ナビボタンを押す



2　で「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す



■メール 97
BSデジタル放送受信者（お客様）へ送られてきたメッセージを見ることができます。

■購入記録 75
購入した有料番組の金額の履歴を確認することができます。

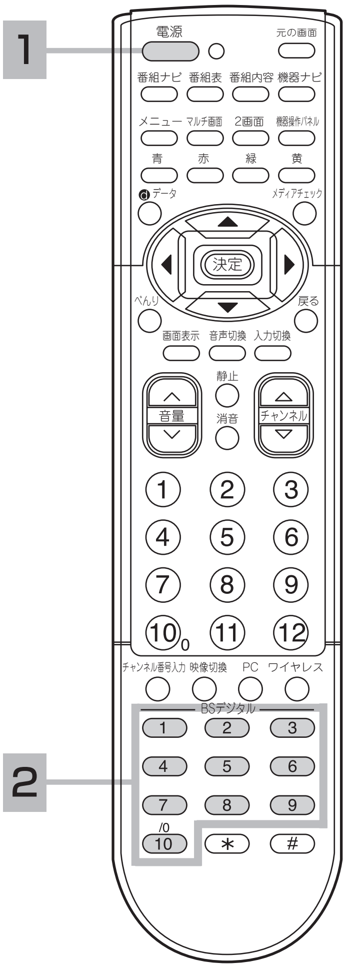
■電話発信記録 96
本機からセンターへの発信記録を確認することができます。

■B-CASカード
B-CASカードの情報が表示されます。

■ID表示
本機の情報が表示されます。

BSデジタル放送をご覧になるには（つづき）

BSデジタル番組の楽しみかた



1 電源ボタンを押す



2 番組を選ぶ

あらかじめ設定されているチャンネルを選局する場合

プリセット選局

本機では、あらかじめ (1)～(/0 10) ボタンにチャンネルを設定（プリセット）しています。



(1)…NHK1(NHK BS1)	(6)…BS-i
(2)…NHK2(NHK BS2)	(7)…BSジャパン
(3)…NHKh(NHK ハイビジョン)	(8)…BSフジ
(4)…BS日テレ	(9)…WOWOW
(5)…BS朝日	(/0 10)…スター・チャンネルBS

放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

番組やチャンネルその他の選びかた

■番号入力選局 23
（チャンネル番号を入力して選局できます。）

■アップダウン選局 23
（チャンネルを順送りして選局できます。）

■番組表 66
（番組表を見ながら選局できます。）

■番組予約 76
（番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。）

■ＢＳチャンネル一覧 70
（ＢＳチャンネルの一覧から選局できます。）

■裏番組 71
（現在、放送されている番組の一覧から選局できます。）

■ジャンル検索 72
（好きなジャンルの番組を検索し、選局や予約ができます。）

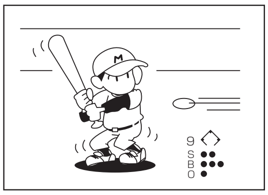
メ モ

- ●番組表は、BSデジタル放送を選局しているときに表示できます。
- ●2画面、マルチ画面では番組表は表示できません。

3 番組を楽しむ（視聴する）

無料の番組や契約済みの番組（追加料金のかからないもの）を選んだとき

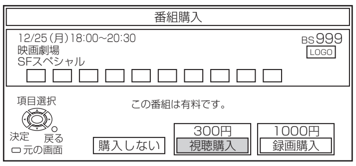
（例）



そのまま楽しむことができます。

ペイ・パー・ビュー※などの有料番組や追加料金が必要な番組を選んだとき

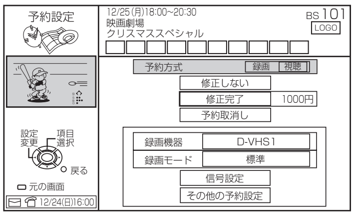
（例）



購入の画面が表示されます。
番組の購入については 74 をご覧ください。

予約しておきたい番組を選んだとき（現在時刻以降の番組）

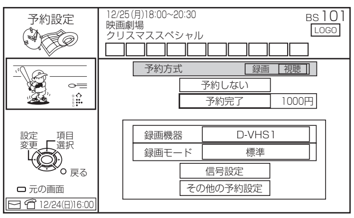
（例）



予約の画面が表示されます。
予約の方法については 76 をご覧ください。

予約の内容を変更したい番組を選んだとき（現在時刻以降の予約済み番組）

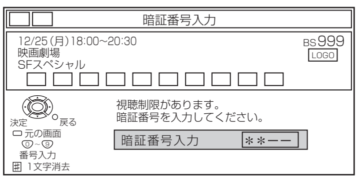
（例）



予約変更の画面が表示されます。
予約の変更・取り消しについては 78 の「予約済みの番組を選んだ場合」をご覧ください。

視聴制限対象になる番組を選んだとき

（例）



暗証番号の入力画面が表示されます。
暗証番号を入力しないと、この番組は視聴できません。
視聴制限の解除方法は 87 、視聴制限の設定は 88 ～ 91 をご覧ください。

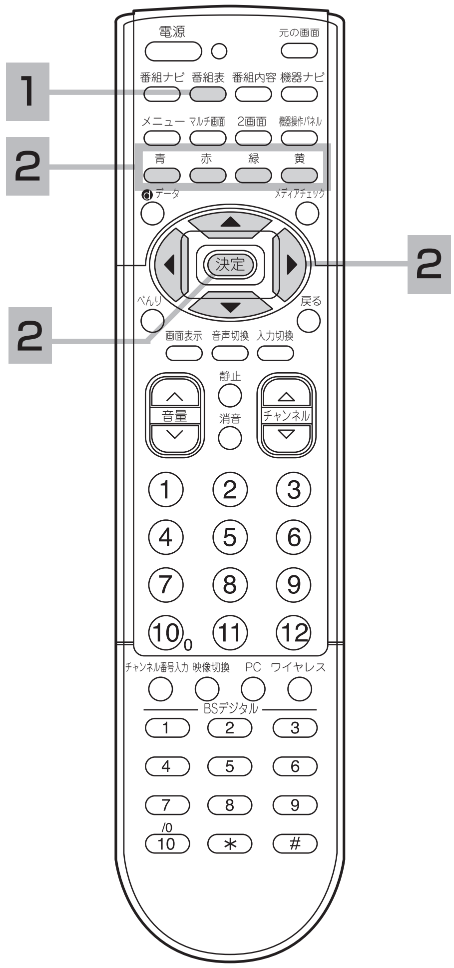
お知らせ

契約されていないチャンネルは無料チャンネルとペイ・パー・ビュー※の番組以外視聴できません。
※ペイ・パー・ビューとは……ご覧になった番組の分だけ料金を支払うシステムです。

表示機能について

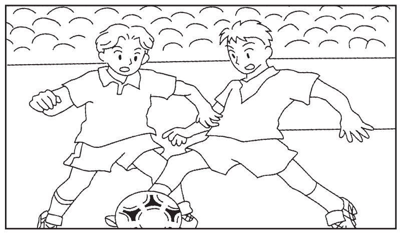
番組表を表示する

本機はBSデジタル各放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。

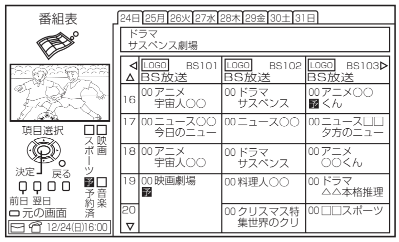


1 番組表ボタンを押す

BSデジタル放送を見ているときに、番組表ボタンを押すと番組表画面が表示されます。







もう一度押すと、BSデジタル放送画面に戻ります。

メ モ

- 子画面は、BSデジタル放送がご覧になれます。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 番組間の区切りが赤線のところには、画面上に表示されない放送時間の短い番組が存在します。赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
- 数字ボタンを押すと、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、チャンネル番号入力ボタンを押して数字ボタンでチャンネル番号を入力すると、指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
- 「選局対象」の設定により、表示される内容が変わります。92

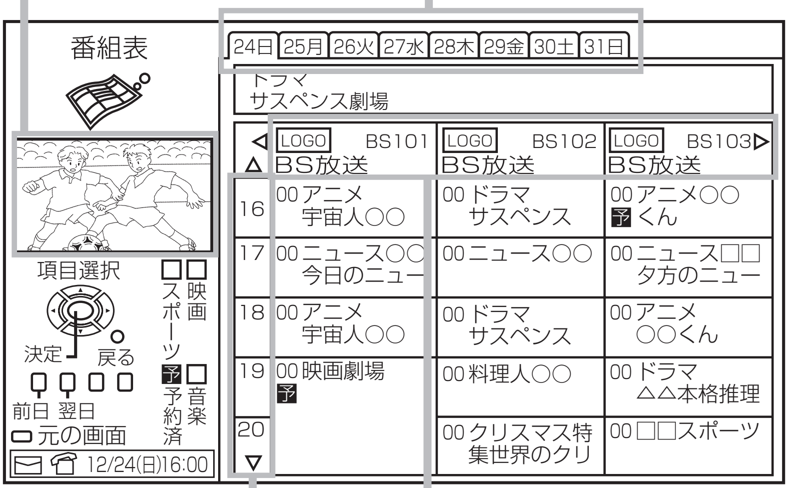
2 番組表画面について

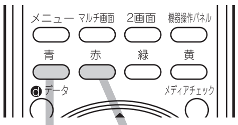
見ていた画面（子画面）

●テレビからは子画面の音声が出ます。

●通常のテレビ画面と同様にチャンネルアップダウンボタンでチャンネル切り換え、音量ボタンで音量調節ができます。

番組表の日付を変えたい時





前日の番組表を表示

翌日の番組表を表示

●本機は最大 8 日分の番組表が表示できます

チャンネル番号と、放送局名を表示

（◀▶）で見たいチャンネル欄が選べます。

放送時間の表示

（▲▼）で見たい時間帯が選べます。

■現在放送している番組欄を選んでいるとき

決定ボタンを押すと、その放送に切り換わります。

■将来の番組欄を選んでいるとき

決定ボタンを押すと、「番組内容」画面になります。 69

メ モ

●番組表は、BSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。

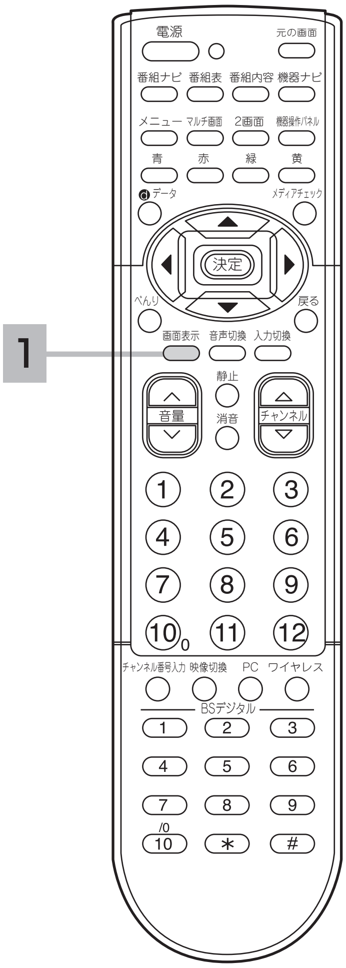
●2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときに番組表ボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。

●番組表をご覧になっているときに、2画面、マルチ画面、静止ボタンを押すと、番組表は解除されます。

表示機能について（つづき）

見ている番組のタイトルなどを表示する

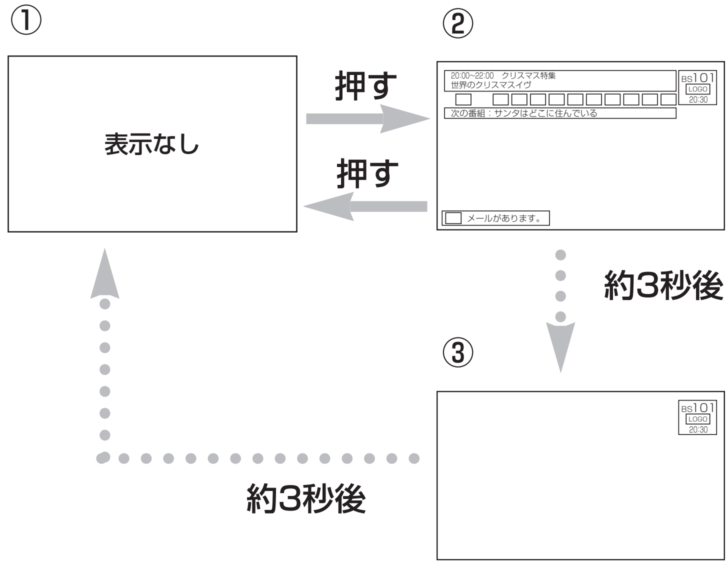
本機はBSデジタル各放送局の番組データを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。



1 画面表示ボタンを押す

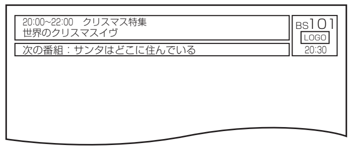


ボタンを押すと下図のように切り換わります。



■チャンネル切換えをすると

下の画面を表示後、③→①と表示が変化します。

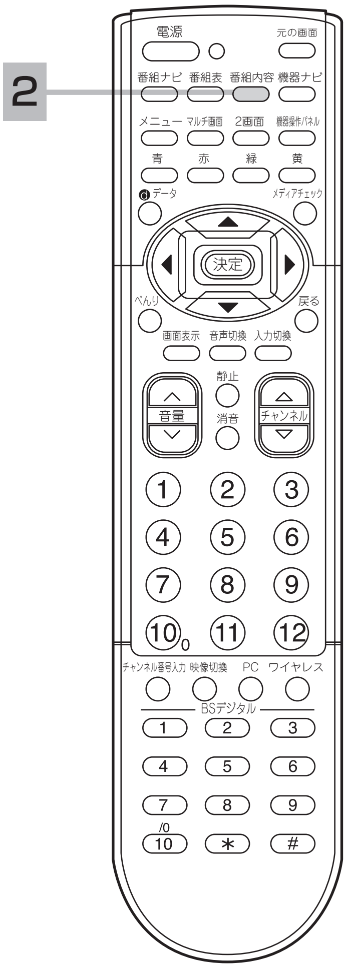


メモ

現在時刻の表示は衛星電波で送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。

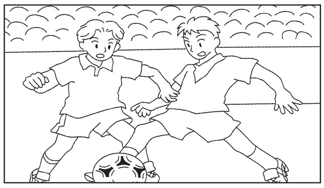
番組の詳細内容を表示する

選局中の番組や番組表、ジャンル別検索結果一覧などで選んでいる番組の詳しい内容を知ることができます。

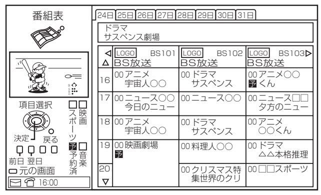


1 次のいずれかの状態にする

■BSデジタル番組の視聴中



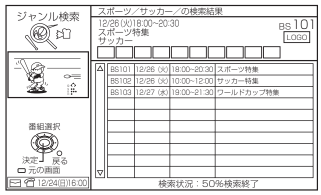
■番組表表示中



■裏番組一覧表示中



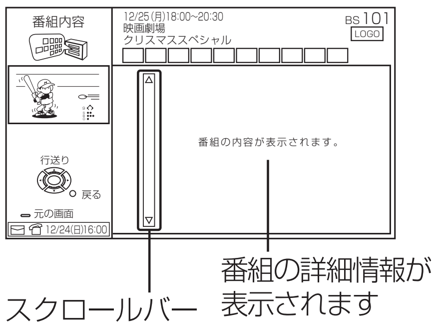
■各検索結果一覧表示中



2 番組内容ボタンを押す

例：番組表表示中に番組内容ボタンを押したとき





もう一度押すと、1 の状態に戻ります。

元の画面ボタンを押すと、BSデジタル放送画面に戻ります。

お知らせ

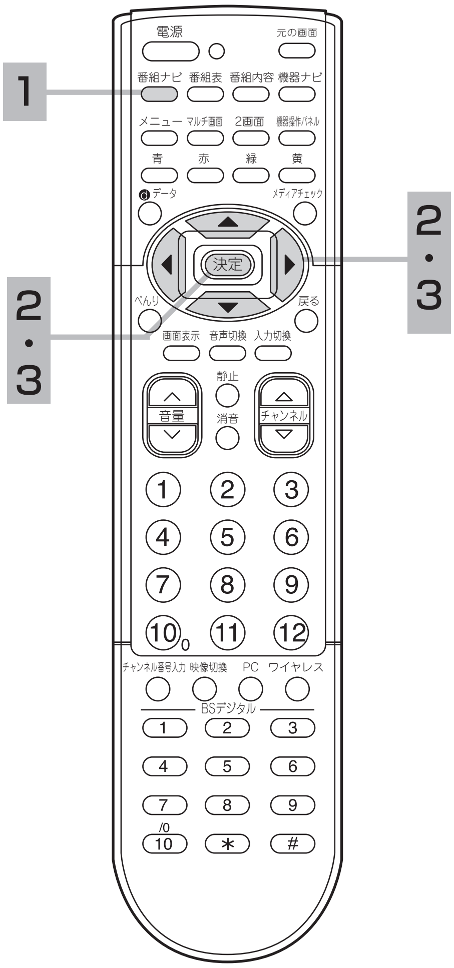
- 「視聴可能年齢」に設定した視聴制限の対象となる番組を選んだとき暗証番号の入力が必要です。87 暗証番号入力後は、再度番組内容ボタンを押してください。
- **スクロールバーについて**
  「番組内容」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は（◎）で字送り（スクロール）してご覧になれます。

メモ

- 番組内容はBSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。
- 2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときに番組内容ボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。
- 番組内容をご覧になっているときに、2画面、マルチ画面、静止ボタンを押すと、番組内容画面は解除されます。

選局機能について

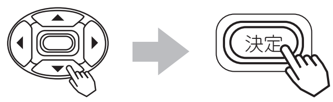
BSチャンネル一覧から選局する

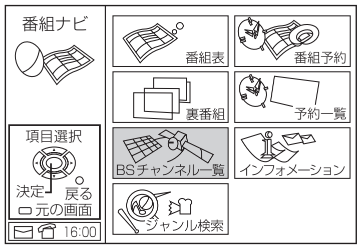


1 番組ナビボタンを押す

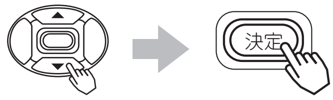


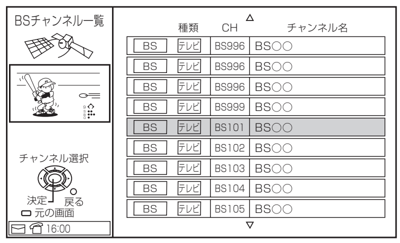
2 で「BSチャンネル一覧」を選び、決定ボタンを押す





3 で見たい番組を選び、決定ボタンを押す





選んだ番組により、以降の操作が異なります。

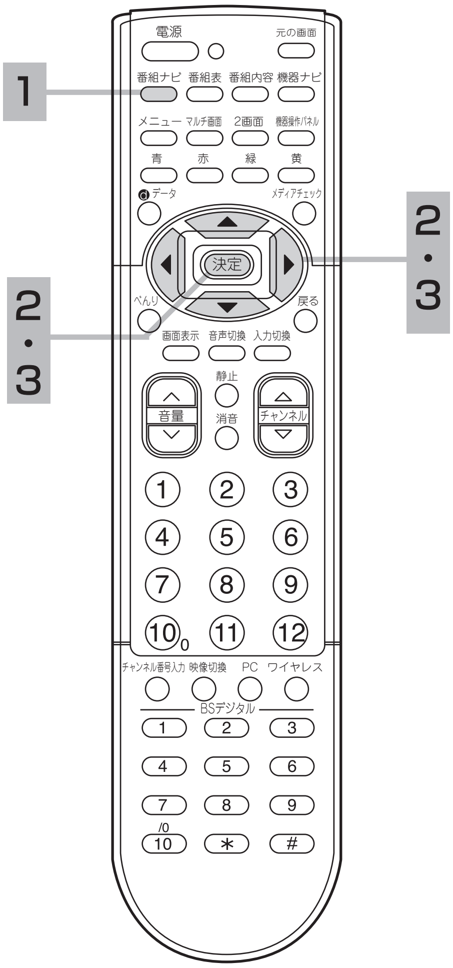
- 有料番組を選んだとき 74
- 視聴制限の対象となる番組を選んだとき 87

元の画面ボタンを押すと、BSデジタル放送画面に戻ります。

メモ

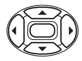
基本的な選局方法については 22 をご覧ください。

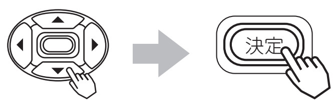
裏番組一覧表から選局する

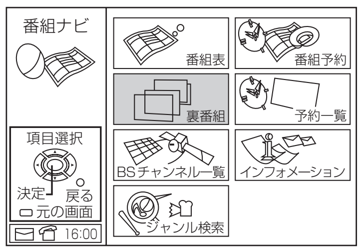


1 番組ナビボタンを押す



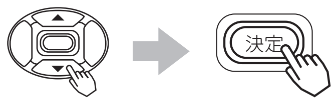
2  で「裏番組」を選び、決定ボタンを押す





3  で見たい番組を選び、決定ボタンを押す

見ている番組の画面上に、現在他局で放送されている各BSチャンネルの番組名（裏番組）を一覧します。





BS101	~20:00	スポーツ番組
BS102	~20:00	映画番組
BS103	~20:00	ニュース番組
BS141	~20:00	ミュージック番組
BS151	~20:00	スポーツ特集番組
BS161	~20:00	情報番組
BS171	~20:00	ドラマ

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

●有料番組を選んだとき 74

●視聴制限の対象となる番組を選んだとき 87

元の画面ボタンを押すと、BSデジタル放送画面に戻ります。

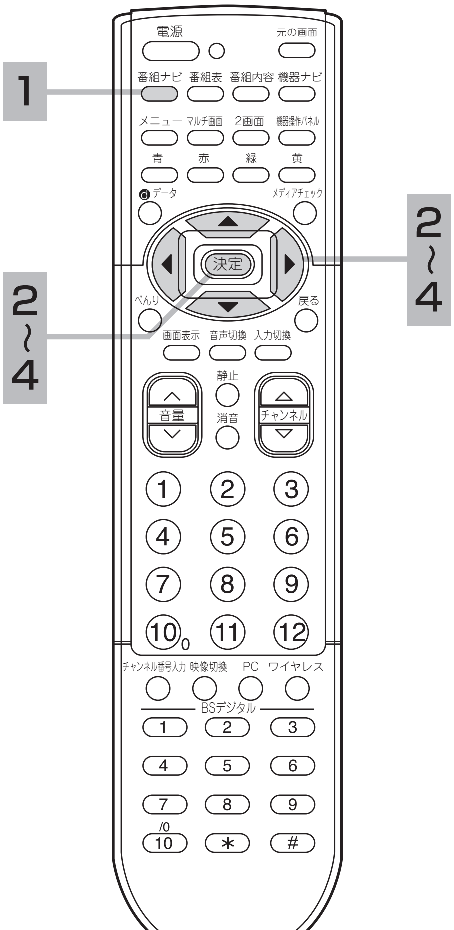
メ モ

基本的な選局方法については 22 をご覧ください。

検索機能について

番組をジャンル別に検索する

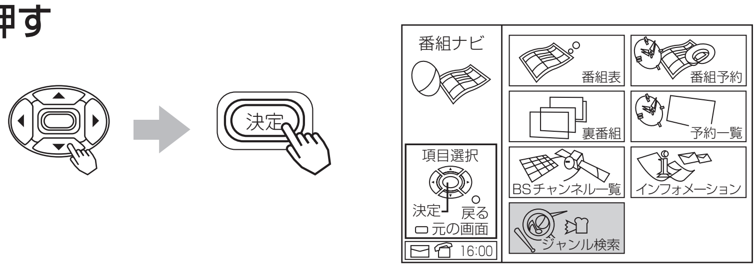
番組のジャンル別情報を、一覧表として画面表示します。
このジャンル検索結果一覧からお好みの番組を検索し、選局や予約ができます。



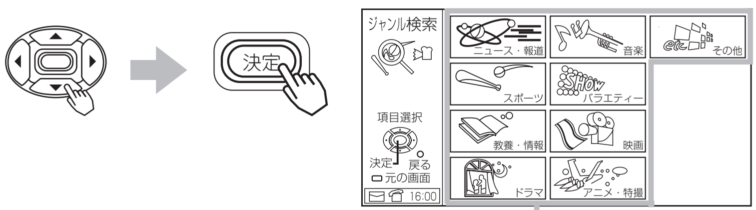
1 番組ナビボタンを押す



2 ◎で「ジャンル検索」を選び、決定ボタンを押す

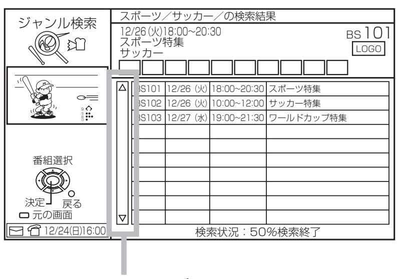


3 ◎でお好みのジャンルを選び、決定ボタンを押す



この中からお好みのジャンルを選ぶ

例：「ニュース・報道」を選んだとき



スクロールバー

お知らせ

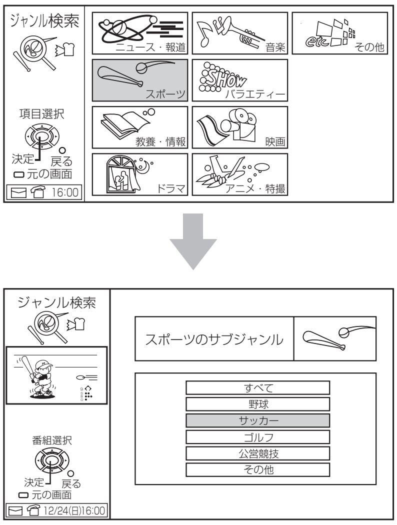
スクロールバーについて

「検索結果」の件数が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は◎で字送り（スクロール）してご覧になれます。

3

「スポーツ」「教養・情報」「映画」「その他」を選んだときは、さらに細かいサブジャンル一覧が出ます。

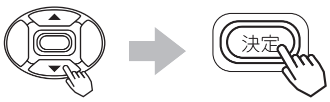
例：「スポーツ」を選んだとき

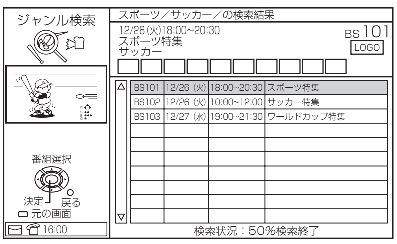


で「サブジャンル」からお好みのスポーツを選び、決定ボタンを押す

4

で見たい番組を選び、決定ボタンを押す





選んだ番組により、以降の操作が異なります。

●現在放映中の番組を選んだとき
　その放送に切換わります。

●将来の番組を選んだとき 76

●有料番組を選んだとき 74

●視聴制限の対象となる番組を選んだとき 87

元の画面ボタンを押すと、BSデジタル放送画面に戻ります。
戻るボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

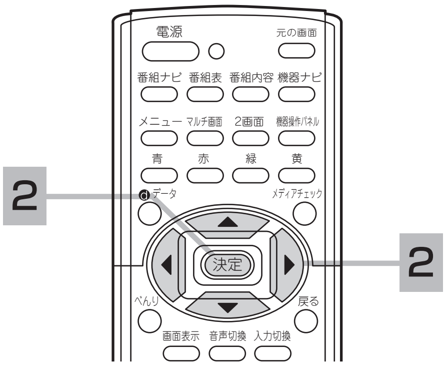
●「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合は、「すべて」を選んで決定ボタンを押してください。

●検索が終了すると、「検索状況：100%検索完了」と表示されます。
ジャンルによっては検索に時間がかかる場合があります。
（検索途中でも、既に表示されている番組の選局や予約は可能です。）

有料番組について

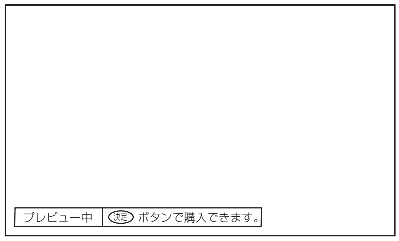
有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する

**BSデジタル放送には無料と有料のものがあります。無料チャンネルと契約済みチャンネルについては選局操作をするだけで視聴できます。
またペイ・パー・ビュー（番組単位で購入できる）の番組を視聴や録画したいときには、表示画面上での購入操作が必要です。**

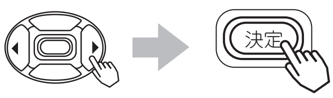


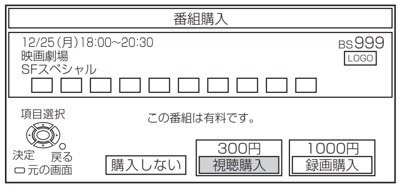
1 ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

●番組によってはプレビュー（選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービスのこと）が表示されます。
●プレビュー中のときは決定ボタンを押すと購入画面が表示されます。



2 ◎で「購入する」、「視聴購入」、「録画購入」、「購入しない」の項目を選び、決定ボタンを押す





購入する	番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画機器で録画できません。
購入しない	番組を購入しません。他のチャンネルを選局してください。

追加料金を支払うと、視聴できる場合や録画機器で録画できる場合に次の項目が表示されます。

視聴購入	番組を購入したことになり、視聴できますが、コピーガードがかかっているため録画機器では録画できません。
録画購入	番組を購入したことになり、視聴できます。録画機器で録画したいときに選択してください。

お知らせ

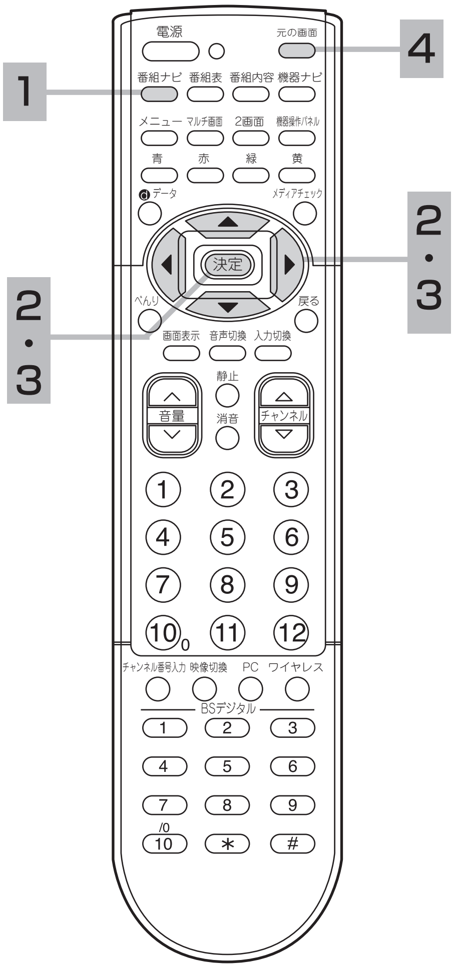
●画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
●「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、購入金額です。
●購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし、有料番組は購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
●視聴制限の対象になる番組を選局したときは、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の設定や解除の方法は 87 をご覧ください。
●購入した番組を録画する場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
●番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。
●2画面、4画面および静止画面でBSデジタル放送をご覧のときは、◎および決定ボタンで、1，2 の操作ができないことがあります。
・このときは、2画面、4画面、静止画面を解除して操作してください。
・2画面、4画面、静止画面時、べんり機能の「◎ボタン機能」をデータ放送に設定 45 することによって、操作することもできます。

メ モ

コピーガードについて
BSデジタル放送の中にはビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。
コピーガードを解除できない番組の場合は録画購入の選択項目が表示されません。

購入記録を確認する

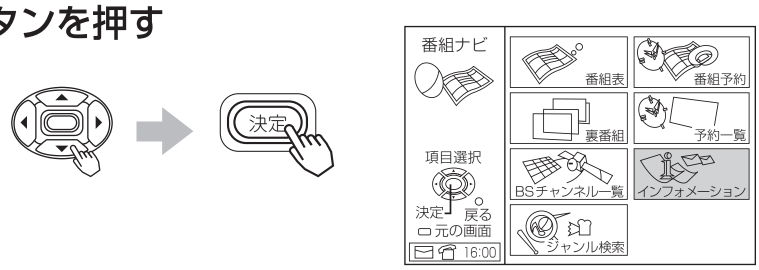
お客様が購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴（最新のもの25番組まで）を確認することができます。また購入した累計金額の確認や、累計金額のリセット（0（ゼロ）円に戻す）もできます。累計金額がリセットされた項目はうすい文字で表示されます。



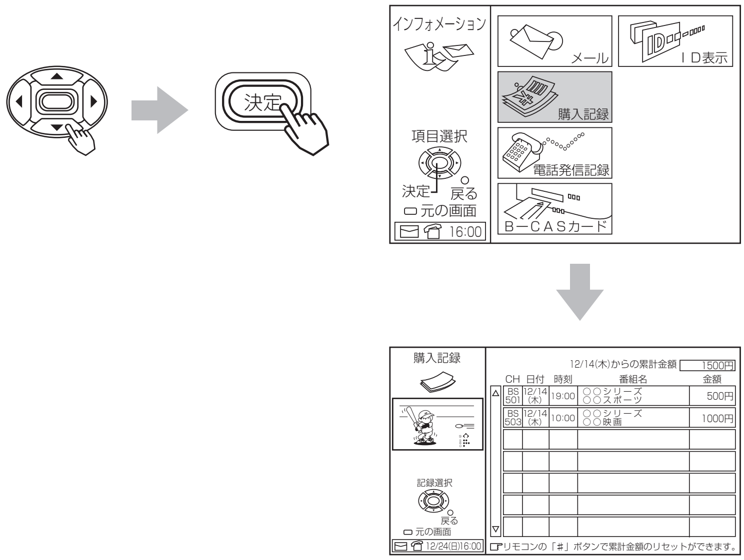
1 番組ナビボタンを押す



2 （カーソルボタン）で「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す



3 （カーソルボタン）で「購入記録」を選び、決定ボタンを押す



4 確認が終了したら元の画面ボタンを押す



お知らせ

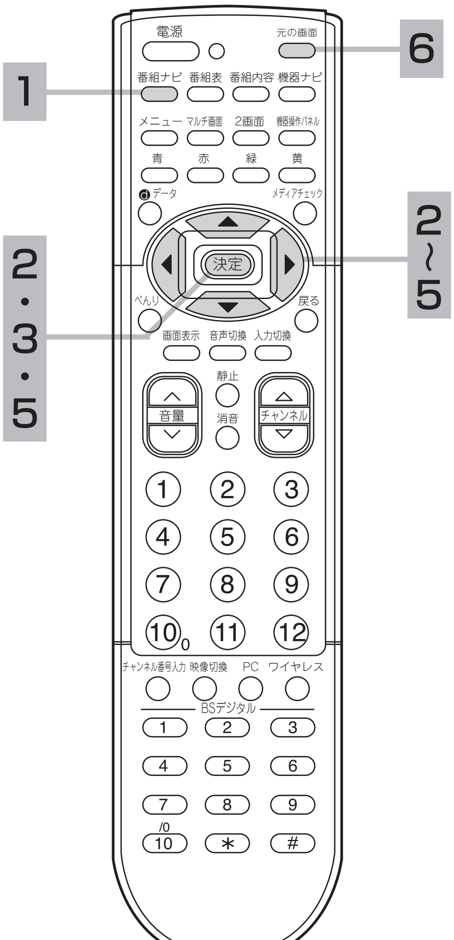
- 累計金額をリセットしたいときは、（#）ボタンを押しリセット確認画面を表示させてください。リセット確認画面では（カーソル）ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押すと、累計金額を0円に戻すことができます。0円に戻した時点から新しく購入される分より累計金額として加算されていきます。（購入した有料番組の履歴は消すことができません。）
- 表示されている金額は途中で改定される場合もあり参考金額です。実際に請求される金額とは異なる場合があります。

予約する

番組を予約する

番組予約、ジャンル検索結果一覧表から現在時刻以降に放送開始の番組を選んで予約することができます。また、Irシステムやi.LINK接続をしたビデオデッキなどに録画予約の設定も行えます。98

予約をする前に 84 をご覧ください。
予約が重なっている場合は 79 をご覧ください。



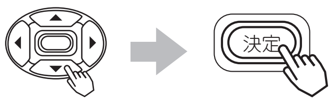
予約操作の流れ

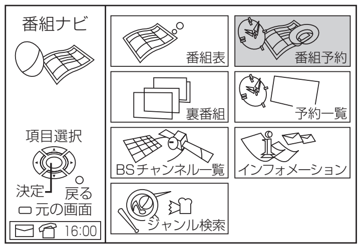
1 番組予約画面から予約する場合

番組ナビボタンを押す

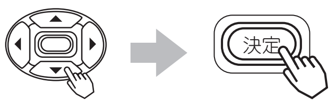


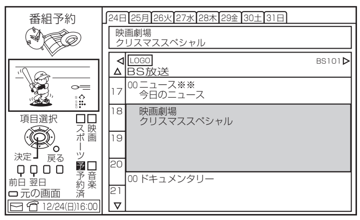
2 で「番組予約」を選び、決定ボタンを押す





3 で現在時刻以降に放送開始の番組を選び、決定ボタンを押す

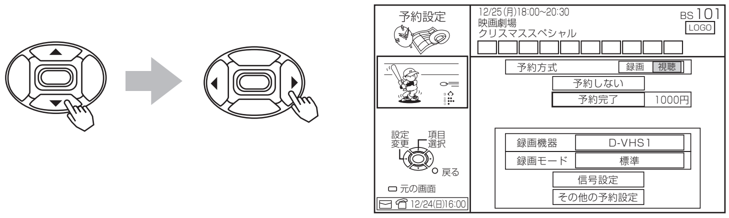




予約の状況によっては

番組を予約しようとしたとき、状況によって別の画面が表示されます。
- ●予約済みの番組を選んだ場合 78
- ●予約ができない場合 79
- ●予約がいっぱいの場合 79

4 で「予約方式」を選び、で設定する



録画について

●有料番組の場合、お客様がビデオデッキなどに録画されていなくても料金が請求されます。

●録画したいときは、「録画」を選択してください。ただし、コピーガードが解除できない番組の場合は正しく録画することができません。

視聴について

本機の電源をオン（受像）にしておけば予約開始時刻の約20秒前になると番組が切換わります。予約開始時刻前には電源をオン（受像）にしておいてください。電源をオフ（機能待機）にしていると予約が無効になります。

詳細な設定を行う場合

予約設定では、次の詳細な設定ができます。

●録画機器 80
予約録画する場合にどの録画機器で録画するかを設定します。

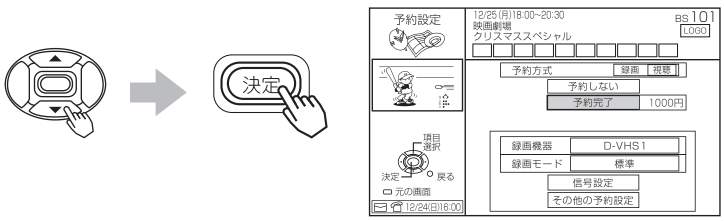
●録画モード 81
標準、3倍などの録画機器側の録画時間を設定します。

●信号設定 80
予約実行時の「映像」、「音声」、「二重音声」、「データ」の信号設定を行います。「信号設定」を選び、決定ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

●その他の予約設定 81
時間変更追従、マルチビュー録画の設定を行います。「その他の予約設定」を選び、決定ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

5 で「予約完了」を選び、決定ボタンを押す

予約完了画面が数秒間表示されます。



予約を中止したいときは

「予約しない」を選び、決定ボタンを押します。
（3 の画面に戻ります。）

6 設定が終了したら元の画面ボタンを押す



お守りください

番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される15秒前には予約設定を終了してください。

お知らせ

●予約設定画面に表示される金額は、購入金額です。無料の場合は表示されません。

●予約録画中は戻るボタンで予約操作を中止し、元の画面に戻ることができます。

●視聴制限の対象になる番組を選んだときは暗証番号の入力が必要となります。視聴制限の解除の方法は 87 をご覧ください。

番組を予約する（つづき）

予約済みの番組を選んだ場合

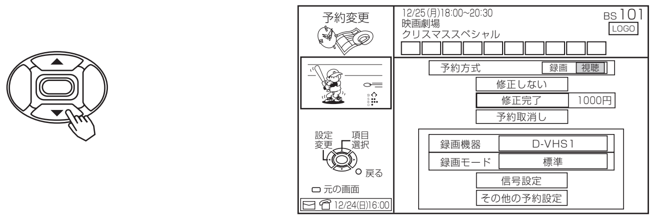
番組予約画面ですでに予約した番組を選んで決定ボタンを押した場合、予約の変更や取り消しができる予約修正画面が表示されます。



2

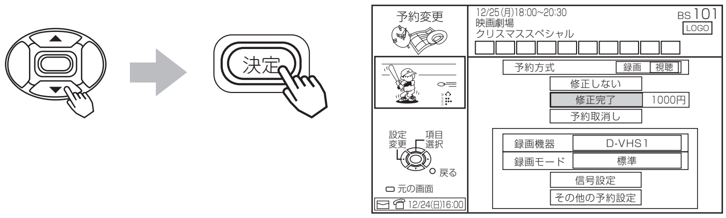
1・2

1 で変更したい項目を選び、設定を変更する



設定変更については、80 の「予約の詳細設定」をご覧ください。

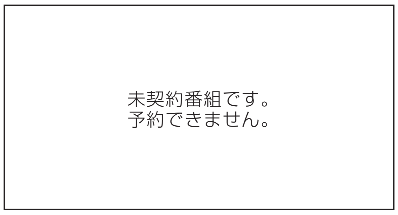
2 で「修正完了」、「修正しない」、「予約取消し」のいずれかを選び、決定ボタンを押す



修正完了	すでに予約している番組の音声や字幕などの設定を変更した状態で予約します。ただし、本機からはIrシステムを使用したタイマー予約で、録画機器に設定した予約の変更はできません。録画機器側で変更操作をしてください。
修正しない	予約の修正を行わずに前の画面に戻ります。
予約取消し	すでに予約している番組の予約を取り消します。ただし、本機からはIrシステムを使用したタイマー予約で、録画機器に設定した予約の削除はできません。録画機器側で削除操作をしてください。

予約できない場合

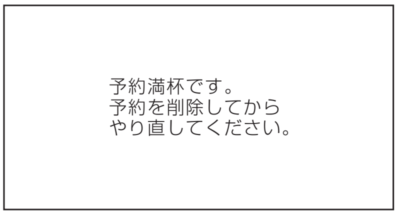
契約されていないチャンネルの番組を予約操作した場合に右のような画面が表示され、番組の予約はできません。
また、番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される15秒前には予約設定を終了してください。



予約がいっぱいの場合

予約がいっぱい（最大24個）の場合、さらに番組を予約しようとすると右のような画面が表示されます。

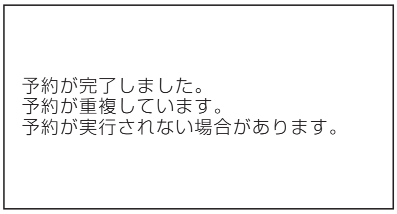
●「予約一覧」画面で予約を削除してから、もう一度予約してください。86



予約が重なっている場合

すでに予約されている場合と同じ時間帯の番組を予約したときは、右のような画面が表示されます。

●重なった予約を削除したい場合は、「予約一覧」画面で予約を削除してください。86

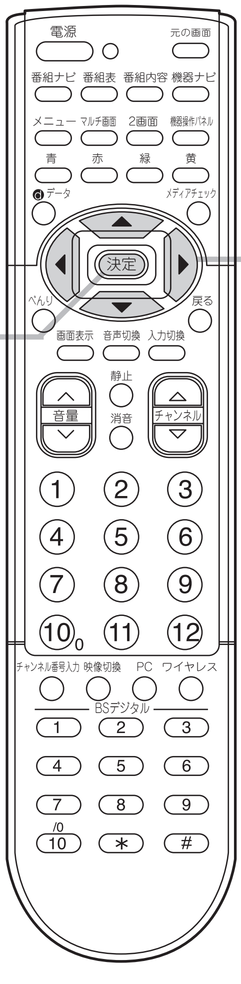


お知らせ

予約が重なった場合の予約実行には、優先順位があります。83 をご覧ください。

番組を予約する（つづき）

予約の詳細設定



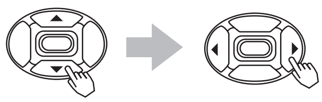
1～4

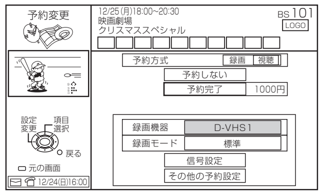
1～4

1 録画機器の設定

Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合、どの録画機器で録画するかを設定します。

で「録画機器」を選び、 で設定する





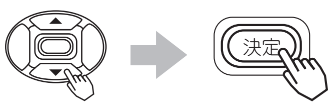
D-VHS1	D-VHSビデオデッキで録画する場合（末尾の数字は、「i.LINK接続設定」で表示される機器名です。）
ビデオ（タイマー予約）	Irシステムを接続したビデオデッキに、タイマー予約で録画する場合
ビデオ（連動予約）	Irシステムを接続したビデオデッキに、連動予約の録画をする場合
DVDレコーダー（連動予約）	Irシステムに接続のDVDレコーダーを使用して、連動予約で録画する場合
ーー	Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器の場合

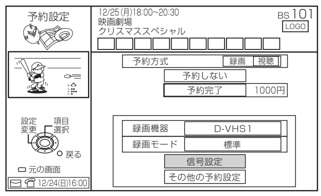
2 信号設定

（i.LINK接続を使用して録画予約する場合は不要です。）

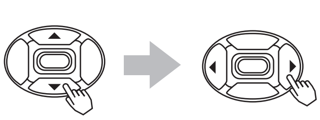
予約実行時の「映像」「音声」「二重音声」「データ」の状態を設定します。ただし、追加購入が必要な信号は選択できません。また、D-VHSビデオデッキでデジタル録画の場合、設定は無効になります。

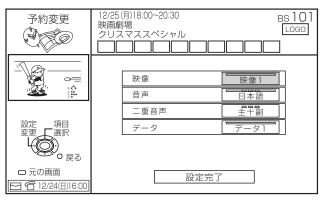
① で「信号設定」を選び、決定ボタンを押す





② で項目を選び、 で設定する





映像	映像が複数ある場合に映像を設定します。
音声	音声が複数ある場合に音声を設定します。
二重音声	二重音声の場合「主」、「副」、「主＋副」を設定します。
データ	データが複数ある場合にデータを設定します。「ーー」に設定すると、予約実行時に、データ放送の指示にしたがいデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は、「ーー」以外を選択してください。

設定終了後、「設定完了」を選び、決定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

メ モ

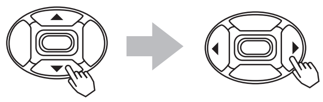
録画機器について

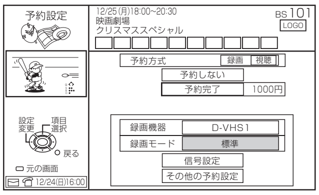
- 「連動予約」、「タイマー予約」については 83 をご覧ください。
- 「ビデオ（タイマー予約）」、「ビデオ（連動予約）」、「DVDレコーダー（連動予約）」の項目は、Irシステムの設定を行わなければ表示されません。148
- 「ビデオ（タイマー予約）」はIrシステムの設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」に設定したときのみ表示されます。148
- 「D-VHS」の項目は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定しなければ表示されません。103

3 録画モードの設定

Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合の録画モードの設定を行います。

で「録画モード」を選び、で設定する



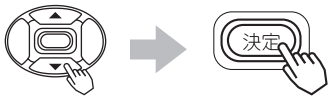


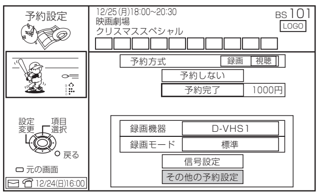
標準・3倍・5倍	各録画時間でアナログ録画します。
標3	「標準」でアナログ録画を開始し、テープ残量が少なくなると自動的に「3倍」に切り換わります。
自動	デジタルハイビジョン放送を録画時は「HS」で記録し、デジタル標準テレビ放送は「STD」で記録をします。 ただし、デジタル標準テレビ放送の場合でも、放送局側の設定情報により「HS」で記録される場合もあります。 また、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。
ーー	設定できない状態。

4 その他の予約設定

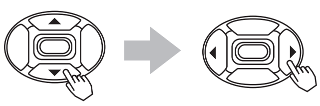
番組の時間変更に追従するかしないかの設定やマルチビュー放送録画時の設定を行います。85

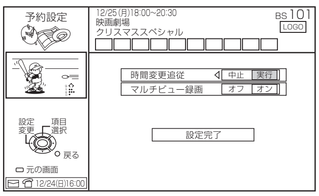
①で「その他の予約設定」を選び、決定ボタンを押す





②で項目を選び、で設定する





時間変更追従	番組の開始時間が変更になった場合に、時間変更に合わせて録画を実行するときは「実行」に設定します。
マルチビュー録画	予約した番組がマルチビュー放送の場合に、副番組も同時に録画したいときは「オン」に設定します。i.LINK接続のD-VHSビデオデッキにデジタル録画予約する場合に設定できます。

設定終了後、「設定完了」を選び、決定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

メモ

録画モードについて

- 「録画機器」の設定が「D-VHS」の場合は、「標3」に設定できません。
- 「録画機器」の設定が「ビデオ（タイマー予約）の場合は、「自動」に設定できません。

番組を予約する（つづき）

予約後の注意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。

- 有料番組を予約した場合は、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画されていなくても料金が請求されます。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。「時間変更追従」の設定を「実行」にすると、最大3時間までに確定した時間変更に対応できます。85
- メニューの「BSデジタル設定」画面内の「アンテナ設定」画面と「受信設定」画面を表示中に予約が始まると予約が無効になります。

録画を選んだ場合

- 「録画」で予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。
- Irシステムを使用して録画機器に予約録画（連動予約、タイマー予約）する場合は下記の点にご留意ください。（連動予約、タイマー予約については 83 ）

1.連動予約の場合、録画機器の電源は「切」にし、予約録画の待機状態にはしないでください。タイマー予約の場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
2.連動予約を設定している場合は、録画機器の入力を本機に接続した入力に切り換えてください。また、録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。
3.連動予約実行中は、録画機器の操作は行わないでください。録画が中止されるなどにより、正常に録画できません。

- i.LINK接続を使用して録画機器に予約録画を設定した場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器で録画する場合は、録画機器側で録画予約の設定を行ってください。

視聴を選んだ場合

予約した番組が始まる20～30秒前には本機の電源をオン（受像）にしておいてください。電源をオフ（機能待機）にしていると予約が無効になります。

お知らせ

「録画」で予約を設定後、テレビ（地上波）放送などを視聴中に予約時間になると、自動的にBSデジタル放送の画面に切換わります。（これは有料番組の課金操作が必要な場合などに備えるためのものです。）
引き続き元のテレビ放送などをご覧になる場合は、再度選局してご覧ください。

予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時間が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約の優先順位

①放送開始時間の早い番組
②ペイ・パー・ビュー番組
③チャンネル番号の小さい番組

連動予約とタイマー予約について

本機はIrシステムや i.LINK接続を使用して録画機器へ録画予約の設定が行えます。
録画機器への録画予約の設定には「連動予約」と「タイマー予約」の2種類があります。

連動予約とは

予約した番組の開始時と終了時に、本機と接続した録画機器へ録画開始と終了の信号を送信して番組を録画する方式のことです。予約実行前には録画機器の入力を本機に接続した入力に切り換え、録画機器側で録画モードの設定を行ったうえ、録画機器の電源を「切」にしておいてください。（予約録画の待機状態にはしないでください。）

- 「時間変更追従」の設定を「実行」にすると番組の開始時間が変更になっても最大3時間まで追従できます。また、ビデオデッキの録画設定も自動的に変更されます。

タイマー予約とは

本機で番組を予約した時点で、本機と接続した録画機器にタイマー予約の信号を送信する方式で、録画機器は予約録画の待機状態になります。予約実行時には、自動的に録画機器は設定した外部入力、録画モードで録画を行います。（連動予約と違い、予約実行前に録画機器側の入力切換えやテープ速度をその都度設定する必要はありません。）

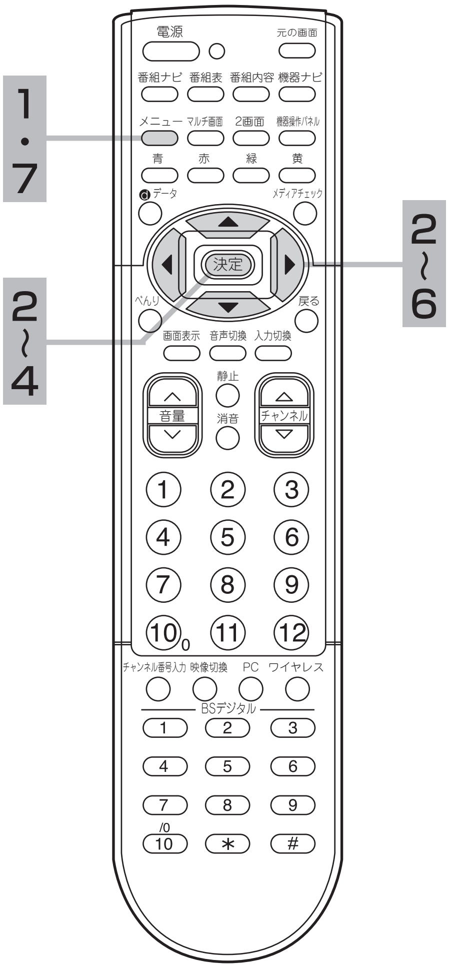
お知らせ

- 録画機器側で別の予約を設定されて予約が重なった場合などは、ご希望の番組が録画できない場合があります。
- 一度開始した予約動作を中止して他の予約を実行することはありません。ただし、「視聴」で予約したペイ・パー・ビュー以外の番組の予約実行中に「録画」で予約した番組が始まる場合は、「視聴」の予約を中止して「録画」の予約を実行します。
- 予約が重なり無効となった番組は「予約一覧」画面で確認できます。86
- タイマー予約は、1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付録画機器で、メーカーを「松下」でリモコン種別が「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」のものに対応できますが「ビデオ4」「ビデオ5」には対応できません。
- 「時間変更追従」の設定を「実行」にしている場合、予約の時間変更があったときは、ビデオデッキ側のタイマー予約の変更はできません。ビデオデッキ側で変更してください。85
- 深夜放送の番組や24時間番組などで日付が変わっても放送される番組は、タイマー予約を行っても録画機器側の機能として、正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- 予約実行前には、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- タイマー予約後の録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をよくお読みください。

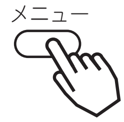
予約する（つづき）

予約の事前設定

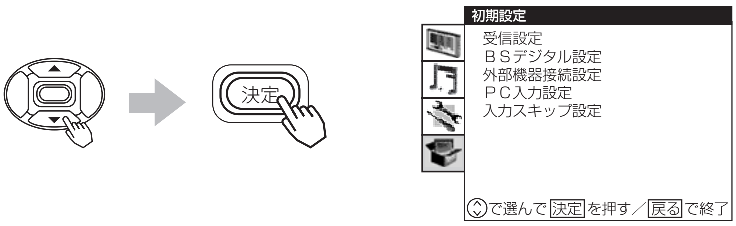
「録画・視聴設定」画面では、Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合の事前設定ができます。



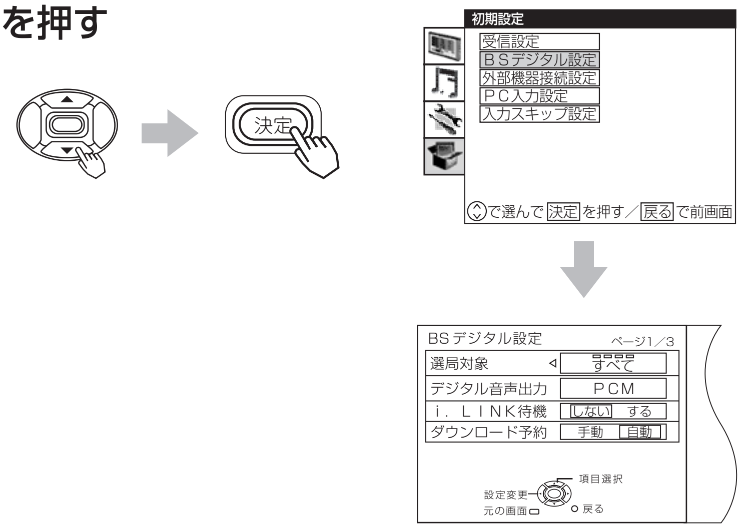
1 メニューボタンを押す



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

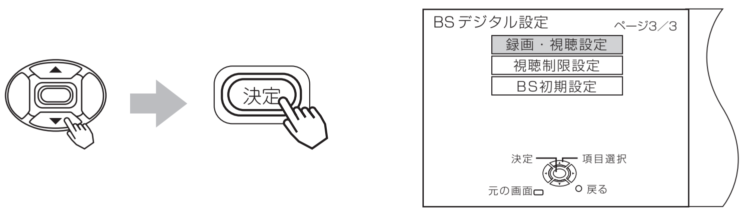


3 で「BSデジタル設定」を選び、決定ボタンを押す



4 でページ3/3の「録画・視聴設定」を選び、決定ボタンを押す

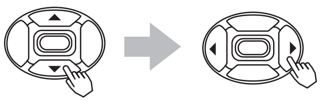
BSデジタル設定画面は3ページ構成です。で項目を送ると自動的にページが変わります。

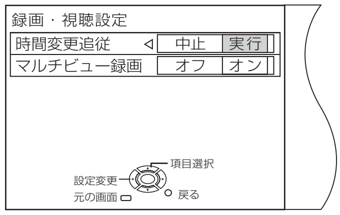


5 時間変更追従の設定

予約した番組で放送時間の変更が確定した場合に、時間変更に合わせて予約を実行する設定ができます。最大で3時間の遅れに対応できます。
お買上げ時は「実行」に設定されています。

で「時間変更追従」を選び、 で設定する



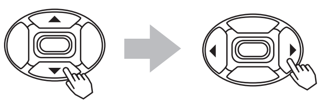


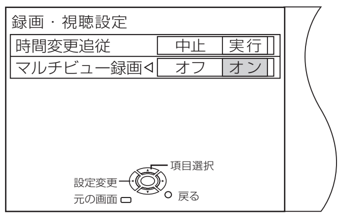
実行	時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー予約）」にしたタイマー予約の時間変更はできません。ビデオデッキ側で時間変更の操作を行ってください。
中止	予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間のままで予約を実行します。

6 マルチビュー録画の設定

i.LINK接続のD-VHSビデオデッキでデジタル録画する場合、予約した番組がマルチビュー放送の番組のときに、副番組も同時に録画する設定ができます。
お買上げ時は「オン」に設定されています。

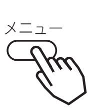
で「マルチビュー録画」を選び、 で設定する





オン	予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画できます。 ただし、i.LINK接続されたD-VHSビデオデッキで録画の場合に有効です。
オフ	予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

7 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面を押しても、設定画面が消えます。

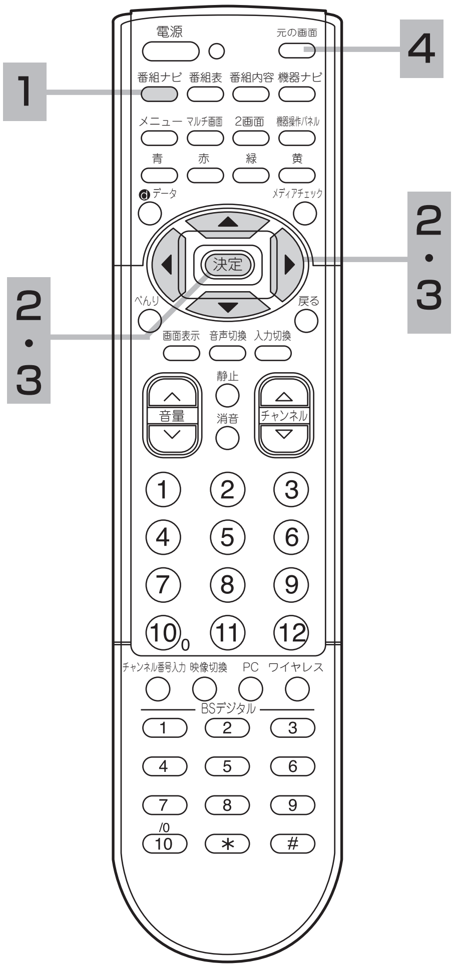
お知らせ

- 「連動予約」「タイマー予約」については、83 をご覧ください。
- Irシステムについては 148 、i.LINK接続については 116 をご覧ください。

予約する（つづき）

予約の確認、変更、取消しをする

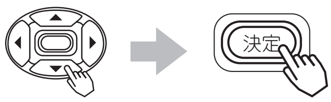
「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、変更、取消しや、予約が実行された番組の確認ができます。

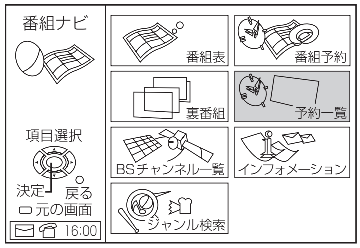


1 番組ナビボタンを押す



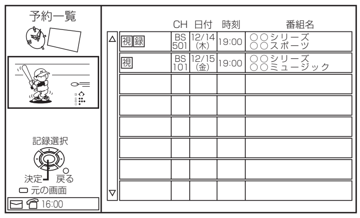
2 （十字ボタン）で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す





3 予約内容を確認する
一覧内に黄色表示の△▽マークがある場合は（十字ボタン）で表示送りをして、予約番組の確認をする





予約の変更、取消しをしたい場合は、（十字ボタン）で番組を選び、決定ボタンを押してください。「予約変更」画面が表示されます。予約の変更、取消しについては 78 の「予約済みの番組を選んだ場合」をご覧ください。

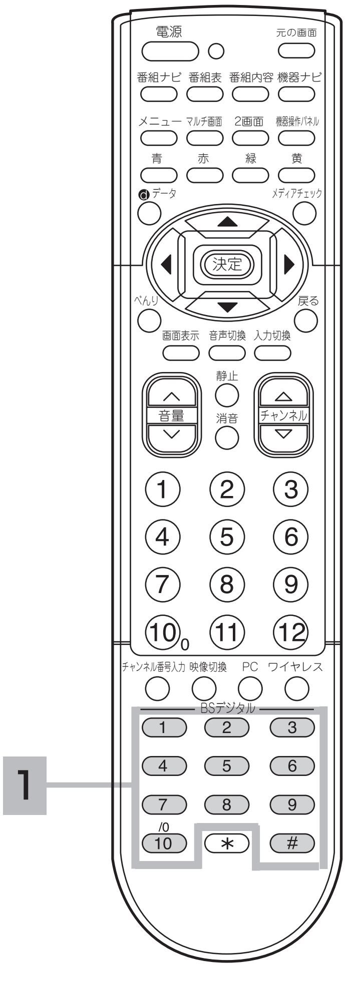
4 確認が終了したら元の画面ボタンを押す



お知らせ

- 8件を超える予約内容は（十字ボタン）ボタンで表示送りをして確認できます。
- 「予約一覧」画面でグレー表示されている内容は、実行済の予約履歴です。履歴の変更、取消しはできません。

視聴制限を一時的に解除したいとき



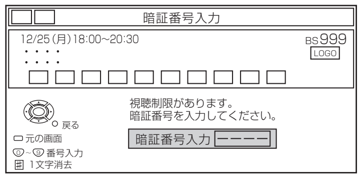
視聴制限の対象になる番組を選んだとき

選局した番組がお客様の設定された制約（視聴可能年齢／一番組限度額）の対象になる場合には、「暗証番号入力」画面が表示されます。

1 (1) ～ (/0 10) ボタンで暗証番号（4桁）を入力する

視聴制限を一時解除します。





(#) ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。

●暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認のうえ入力してください。

お知らせ

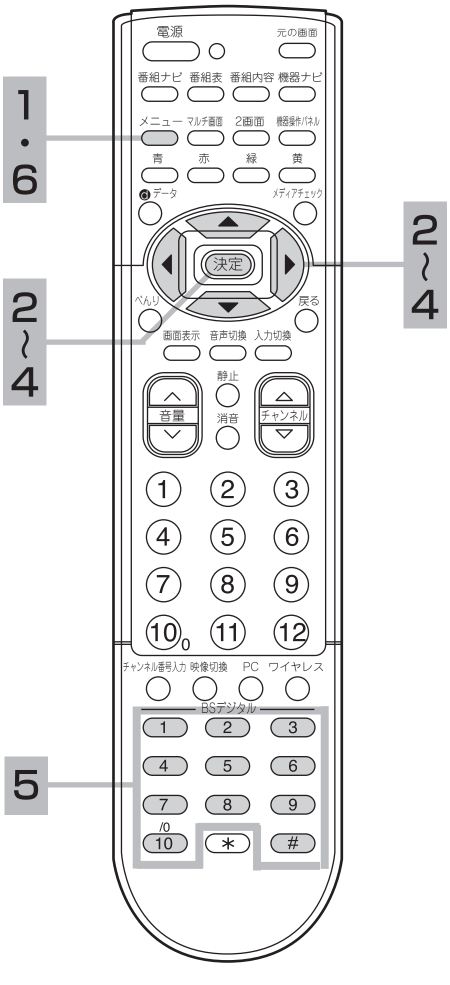
●視聴制限を一時解除すると、本機の電源をオフ（機能待機）にするまで解除状態が続きます。
ただし、一番組限度額の対象となる番組を選んだ場合は、視聴制限を解除しても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

●視聴制限の設定は 88 をご覧ください。

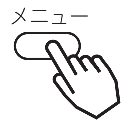
視聴条件の設定

暗証番号の登録と、「視聴制限設定」画面の出しかた

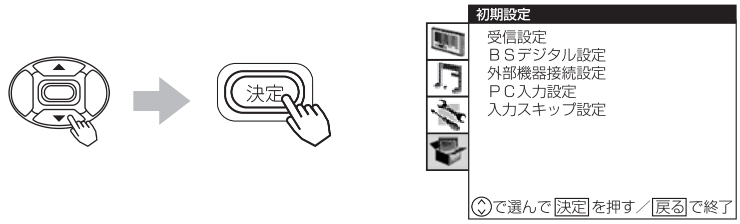
本機では、お客様の意志により番組に対して視聴制限をかけることができます。視聴制限を有効にするには、暗証番号の登録が必要です。



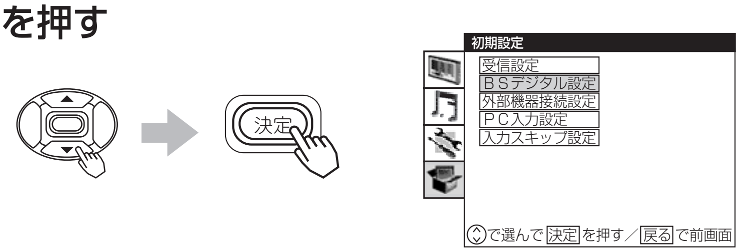
1 メニューボタンを押す



2 (上下ボタン)で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

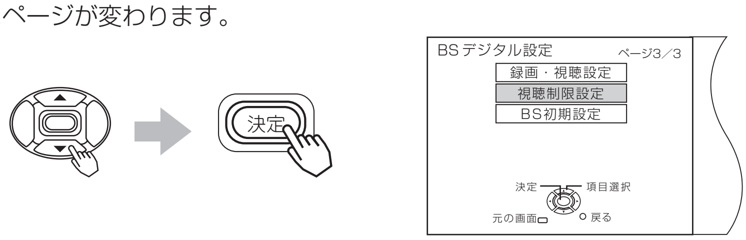


3 (上下ボタン)で「BSデジタル設定」を選び、決定ボタンを押す



4 (上下ボタン)でページ3/3の「視聴制限設定」を選び、決定ボタンを押す

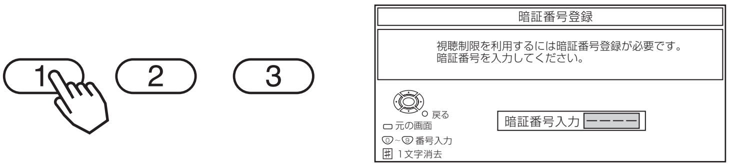
BSデジタル設定画面は3ページ構成です。(上下ボタン)で項目を送ると自動的にページが変わります。



お知らせ

視聴制限の設定をすると、番組が視聴年齢制限の対象になるときは番組名が「●●●」表示され、暗証番号の入力をしない限り番組を視聴したり、詳細情報もみることができません。

5 1 ～ 10/0 ボタンで暗証番号（4桁）を入力（登録）する



ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。

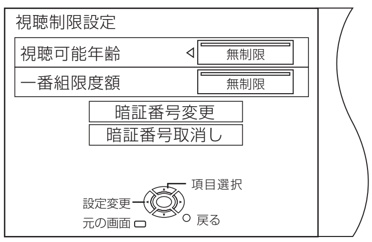
初めての暗証番号を登録する場合

●画面の説明に従って、同じ暗証番号（4桁）を2回入力してください。
●暗証番号は忘れないようにメモをしておいてください。

すでに暗証番号が登録されている場合

暗証番号を登録している場合は、「暗証番号入力」画面が表示されます。
暗証番号（4桁）を入力してください。

■番組により視聴可能年齢を制限する設定ができます。 90
■有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入するとき、一番組あたりの購入限度額を制限する設定ができます。 90
■必要により暗証番号の変更が可能です。91
■暗証番号を取消しすることで、視聴制限の設定が無効になります。 91



6 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面を押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

暗証番号の数字は、画面上には表示されません。（＊＊＊＊と表示されます。）

視聴条件の設定（つづき）

視聴可能年齢／一番組限度額

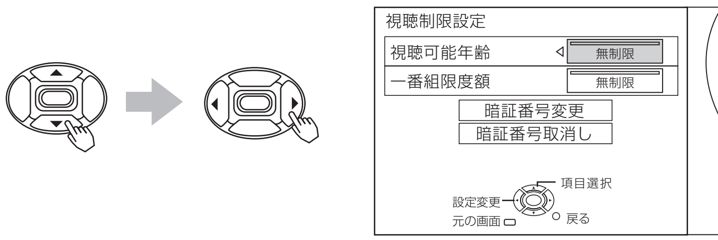
まず、88 の操作で「視聴制限設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。



1 視聴可能年齢の設定

番組によっては視聴できる対象年齢を制限しているものがあります。
本機で視聴可能年齢を設定すると、設定年齢より高い視聴年齢制限の番組は、各一覧表などで番組名が「●●●」表示されます。
お買上げ時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

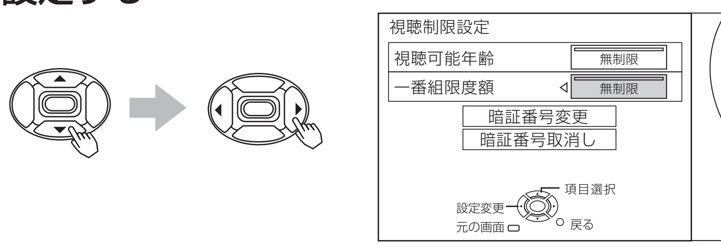
で「視聴可能年齢」を選び、で年齢を設定する



2 一番組限度額の設定

一番組制限額とは、有料番組や有料信号を購入する際に、料金が設定している一番組限度額より高額であれば、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できないようにする機能です。
お買上げ時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

で「一番組限度額」を選び、で金額を設定する



お知らせ

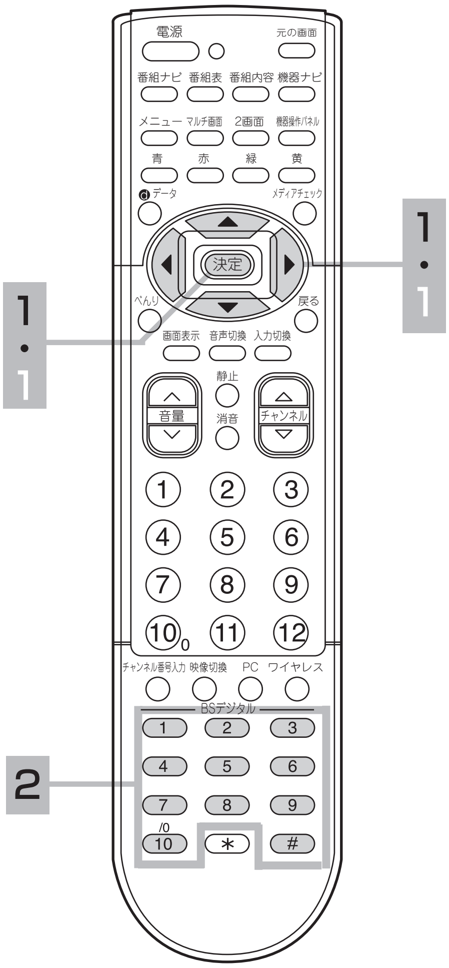
視聴可能年齢の設定について

- 「4才」から「19才」までの1才単位の設定と「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると番組の対象年齢に関係なく番組が視聴できます。
- 「視聴可能年齢」で設定した年齢より、視聴年齢制限の高い番組を視聴したいときは、視聴制限が一時解除されていない限り、暗証番号の入力が必要となります。

一番組限度額の設定について

- 「100円」、「500円」、「1000円」、「1500円」、「2000円」、「2500円」、「3000円」、「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると、一番組の料金に関係なく番組を購入することができます。
- 「一番組限度額」で設定した金額より高額の番組を視聴したいときには、暗証番号の入力が必要となります。

暗証番号の変更／暗証番号の取消し



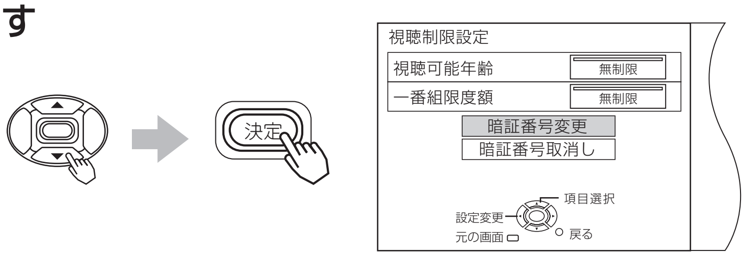
まず、88 の操作で「視聴制限設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1

暗証番号の変更

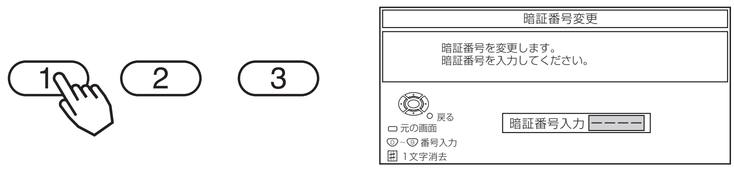
番号の変更を必要とする場合のみ、次の手順で新しい暗証番号を入力してください。

(◎)で「暗証番号変更」を選び、決定ボタンを押す



2

(1)～(/0 10)ボタンで暗証番号（4桁）を入力（変更）する



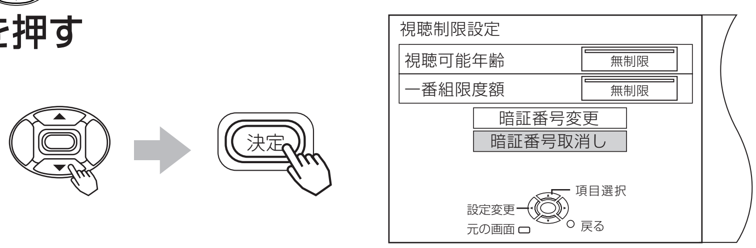
- (#)ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。
- 画面の説明に従って、変更操作をしてください。
- 暗証番号の登録が終わると、「暗証番号変更」画面が消え、約10秒後、「視聴制限設定」画面に戻ります。

1

暗証番号の取消し

暗証番号の取消しをすると、再度暗証番号を登録するまで視聴制限の設定が無効になります。

(◎)で「暗証番号取消し」を選び、決定ボタンを押す



- 暗証番号取消しの確認画面が表示されます。画面の説明に従って暗証番号を削除してください。
- 暗証番号の取消しが終わると、約10秒後に「BSデジタル設定」画面に戻ります。

お知らせ

暗証番号変更について

- 暗証番号を入力しても画面上では＊＊＊＊と表示されます。

暗証番号の取消しについて

- もう一度、視聴制限を有効にするときは、暗証番号の登録が必要です。再度、「視聴制限設定」を選んで暗証番号を登録してください。

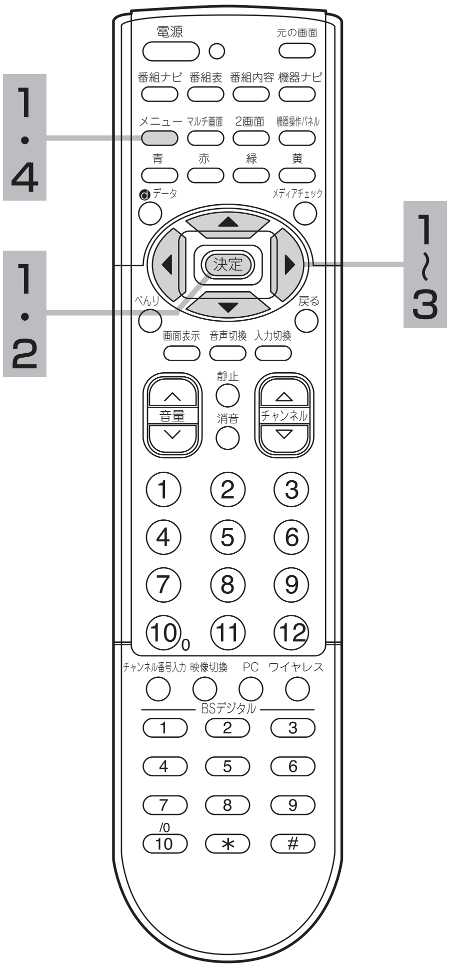
メ　モ

暗証番号は変更された時点で忘れないように、メモをしておいてください。

視聴条件の設定（つづき）

選局対象を指定したいとき

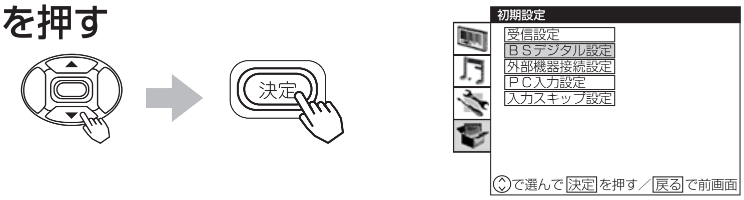
チャンネルアップダウンボタンによる順送り選局や「裏番組」、「番組表」などで表示できるチャンネルを指定する設定です。



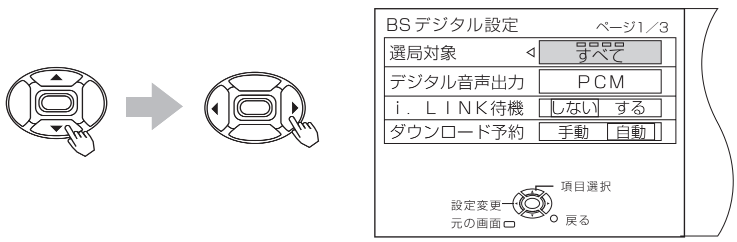
1 メニューボタンを押し、〈上下ボタン〉で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



2 〈上下ボタン〉で「BSデジタル設定」を選び、決定ボタンを押す

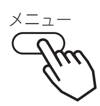


3 〈上下ボタン〉で「選局対象」を選び、〈左右ボタン〉で設定する



プリセット	リモコンの数字ボタンに設定しているプリセットチャンネルと、「BSチャンネル設定」で設定した11〜40までのチャンネルを選局したり、表示させることができます。
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。
ラジオ	ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。
データ	データ放送のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。
すべて	現在放送されているすべてのチャンネルを順送り選局したり表示させることができます。

4 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面を押しても、設定画面が消えます。

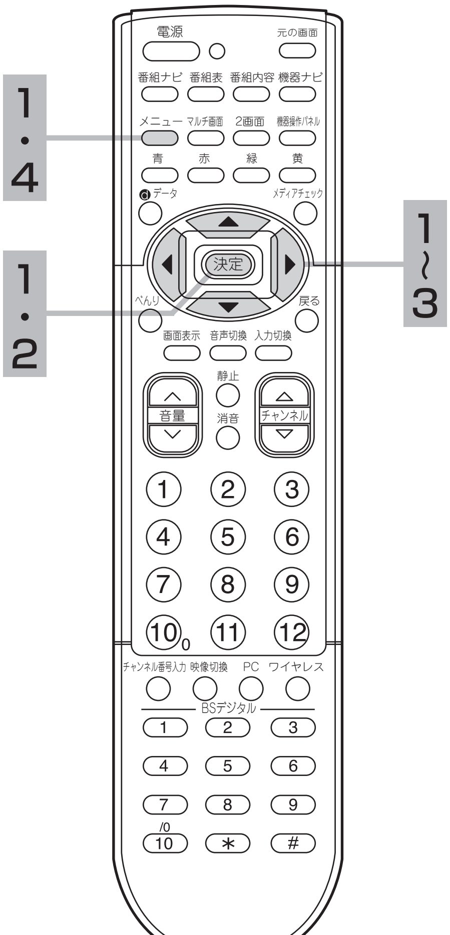
お知らせ

- 設定した項目に該当するチャンネルが1つしかない場合はチャンネルアップダウンボタンで切り換えできません。
- 「プリセット」については、22 をご覧ください。
- お買上げ時は「すべて」に設定されています。

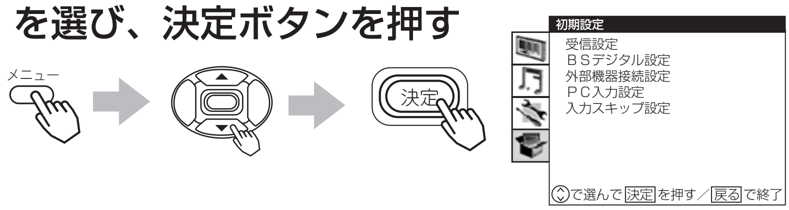
放送コンテンツについて

字幕や文字スーパーを見たいとき

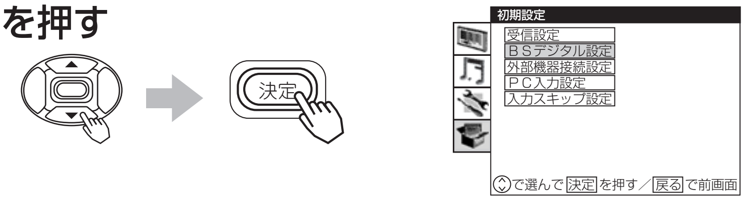
字幕のある番組、文字スーパーのある番組での表示設定ができます。



1 メニューボタンを押し、　で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



2 　で「BSデジタル設定」を選び、決定ボタンを押す



3 　でページ2/3の項目を選び、　で設定する



字幕放送

オン	字幕を表示します。
オフ	字幕を表示しません。ただし、放送により強制的に表示される字幕の場合は、この設定は無効になります。

字幕言語

日本語	日本語の字幕を表示します。
英語	英語の字幕を表示します。

文字スーパー

オン	文字スーパーを表示します。ただし、表示地域が設定されている場合は、「県域設定」に設定された都道府県に従い表示します。
オフ	文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示される文字スーパーの場合は、この設定は無効になります。

文字スーパー言語

日本語	日本語の文字スーパーを表示します。
英語	英語の文字スーパーを表示します。

4 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面を押しても、設定画面が消えます。

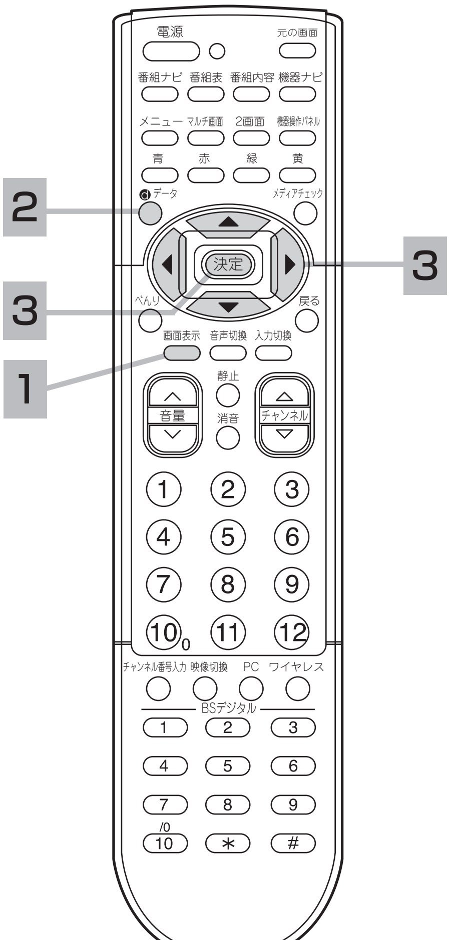
お知らせ

- 設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。
- お買上げ時は、「字幕」「文字スーパー」は「オフ」に設定されています。また「字幕言語」「文字スーパー言語」は「日本語」に設定されています。
- 文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。

BSデータ放送を見たいとき

BSデータ放送の番組では、画面に表示される説明に従い操作することでご希望の情報を引き出すことができます。BSデータ放送番組は次のものがあります。

●テレビ放送やラジオ放送に連動してBSデータ放送が行われるもの
●番組自体がBSデータ放送のもの（選局するとBSデータ放送画面が表示されます）

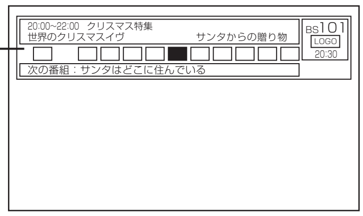


1 BSデータ放送の確認のしかた

BSデジタル放送のとき、画面表示ボタンを押す

画面表示

（例）

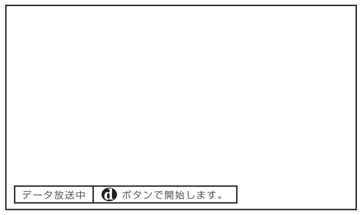


番組の内容が表示されます。

下記いずれかのアイコンが表示されているときは、データ放送の番組です。

データ　+ⓓテレビ　ⓓテレビ　+ⓓラジオ　ⓓラジオ

番組の途中でBSデータ放送が始まる場合は、右のような画面が表示されます。



2 操作のしかた

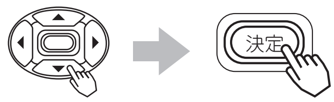
BSデータ放送を楽しむには、ⓓデータボタンを押してBSデータ放送画面を表示させてください。ただし、選局すると自動的にデータ放送画面になる番組もあります。
BSデータ放送の番組によって画面に専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

ⓓデータボタンを押す

BSデータ放送画面が表示されます。

ⓓデータ

3 （カーソル）で項目を選び、決定ボタンを押す



本機のボタン機能はBSデータ放送の番組で使用するときのみ機能が変わる場合があります。その場合の操作は、画面に表示される説明に従ってください。

4 BSデータ放送を終了したい場合は、画面の指示に従って操作する

指示がない場合は、元の画面ボタン、ⓓデータボタン、戻るボタンで終了できる場合もあります。

お知らせ

●操作のしかたは番組の内容によって異なります。画面の指示に従って次のボタンを使用します。
・カーソル、決定ボタン
・戻るボタン
・数字ボタン（1～10）
・赤、青、緑、黄ボタン
●BSデータ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。
●BSデータ放送の番組では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合もあるため、通信中は電源ボタン、テレビ操作用ボタン以外は本機の操作ができなくなる場合があります。

同一チャンネルの複数コンテンツを切り換える

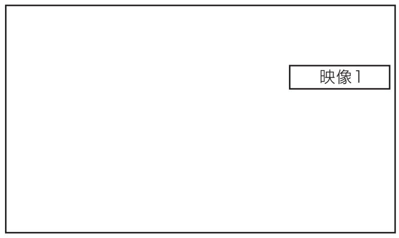
番組により、映像や音声などの信号を切換えて楽しむことができます。
切換え可能な信号の内容は番組によって異なります。また切り換えた信号が有料な場合もあります。



1 映像信号を切り換える場合

映像切換ボタンを押す





下図のように切り換わります

映像1 → 映像2 → 映像3 →（映像1に戻る）

●番組に複数の映像があるとき、切り換えができます。
●マルチビュー放送の場合は主番組、副番組の切り換えができます。
副番組は最大で2つあります。また、主番組、副番組に複数の映像がある場合も映像の切り換えができます。

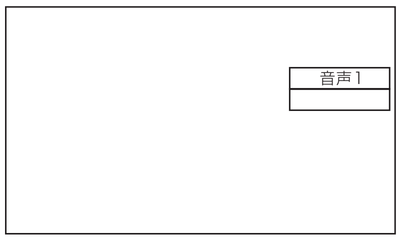
（例）主番組に2つの映像、副番組に１つの映像がある場合

主番組の映像1 → 主番組の映像2 → 副番組の映像1 →（主番組の映像1に戻る）

1 音声信号を切り換える場合

音声切換ボタンを押す





下図のように切り換わります

音声１ → 音声2 → 音声3 →（音声１に戻る）

●番組に複数の音声があるとき、切り換えができます。
●切換えた音声が二重音声の場合は下図のように切り換わります。

（例）音声1が二重音声の場合

音声１（主）→ 音声１（副）→ 音声１（主+副）→ 音声2 → 音声3 →（音声１（主）に戻る）

メ モ

二重音声について

二重音声には2種類あります。

●二カ国語放送

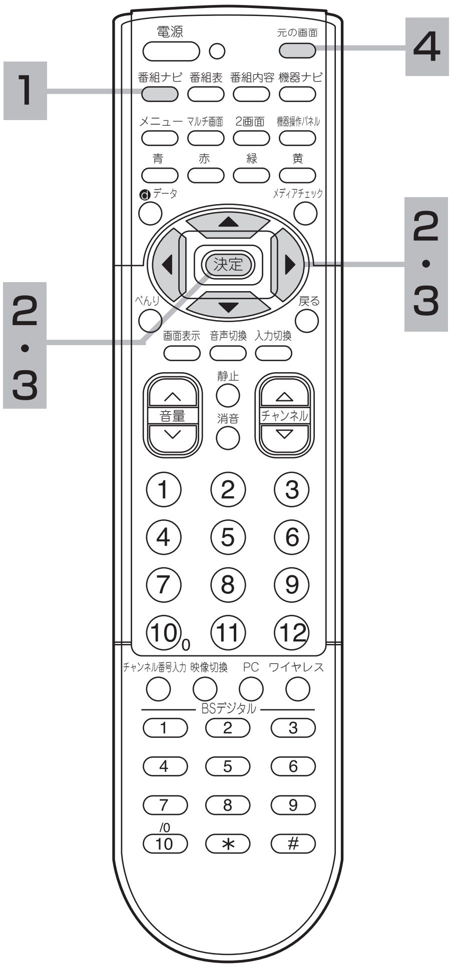
主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。）

●音声多重放送

主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

電話発信記録を見る

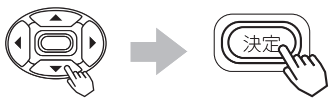
本機からセンターへ発信した最も新しい内容の送信結果を確認することができます。
電話発信記録では、購入記録の発信とBSデータ放送の番組から発信した記録が確認できます。また、番組の視聴履歴が送信できる場合には、発信もできます。

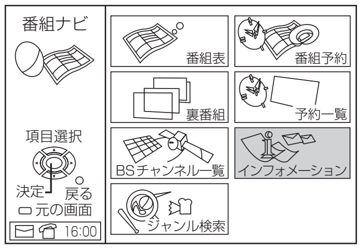


1 番組ナビボタンを押す

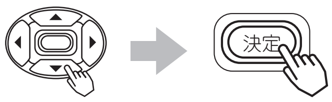


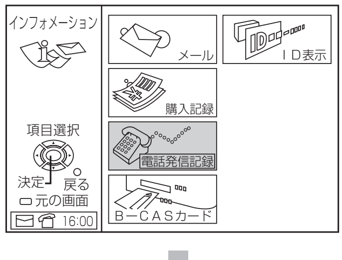
2 で「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す



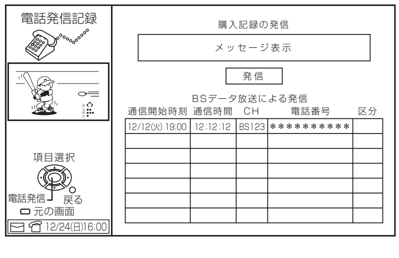


3 で「電話発信記録」を選び、決定ボタンを押す





- ●購入記録が送信できる場合は、決定ボタンを押すと発信できます。
- ●i.LINKに接続したD-VHSビデオデッキから本機を通じて電話発信を行ったとき、区分表示に i.LINK のアイコンが表示されます。

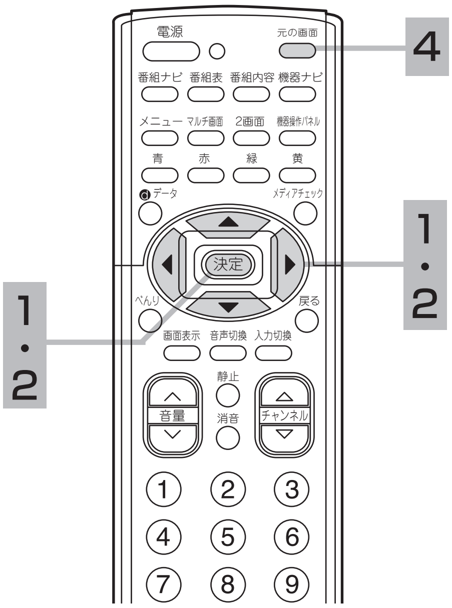


4 確認が終了したら、元の画面ボタンを押す



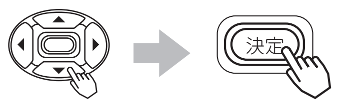
メールを見る

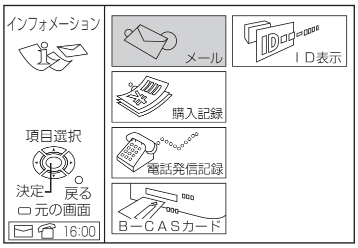
メールとはBSデジタル放送受信者（お客様）に送られたメッセージです。
メールの内容には電話回線の通信異常や、予約番組の無効内容、機能向上のためのダウンロード情報などもありますので、下記の手順で届いたメールの内容を必ず確認してください。



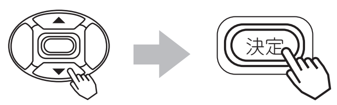
まず、63 の操作で「インフォメーション」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

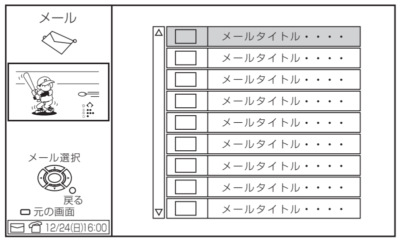
1 で「メール」を選び、決定ボタンを押す





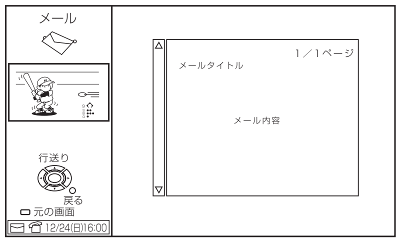
2 で確認したいメール項目を選び、決定ボタンを押す





3 メール内容を確認する

他のメールを読みたいときは戻るボタンを押し、手順 2 から操作してください。



4 確認が終了したら、元の画面ボタンを押す



お守りください

B-CASカードが挿入されていないとメールを受信することができません。
B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。

お知らせ

●メールの未読、既読についてはアイコンで表示されています。

未読メール　既読メール



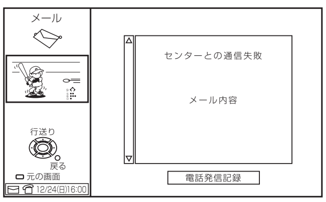


●BSデジタル放送局からのメールは最大で10通まで保存できます。10通を超えるメールは古い順から自動的に削除されます。
●このメールはインターネットのメールではありません。

電話回線の通信異常通知

電話回線を使用した通信で異常があった場合に次のメールが届きます。

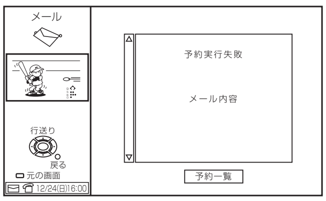
●通信異常のメールが届いた場合は、電話回線の接続 113 、電話設定 138 を確認のうえ、正しく接続や設定を行ってください。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、「(株)ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ カスタマーセンター」にお問い合わせください。（TEL：0570-000-250）



●決定ボタンを押すと「電話発信記録」画面が表示されます。96

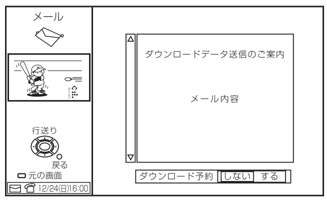
予約の警告、失敗の通知

予約が失敗した場合に次のメールが届きます。
決定ボタンを押すと「予約一覧」画面が表示されます。86



ダウンロード通知

ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについては 146 をご覧ください。



i.LINKについて

i.LINKとは

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェースIEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps／200Mbps／400Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大200Mbpsの転送が可能なため、S200と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

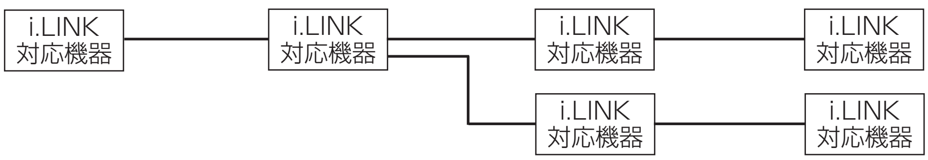
i.LINKの接続方法

●i.LINK対応機器の接続はi.LINKコードで接続します。最大17台まで接続することができます。ただし、本機で確認できるi.LINK対応機器は15台までです。



データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。
操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

●i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大63台まで接続することができます。



お知らせ

本機で操作できるi.LINK対応機器について

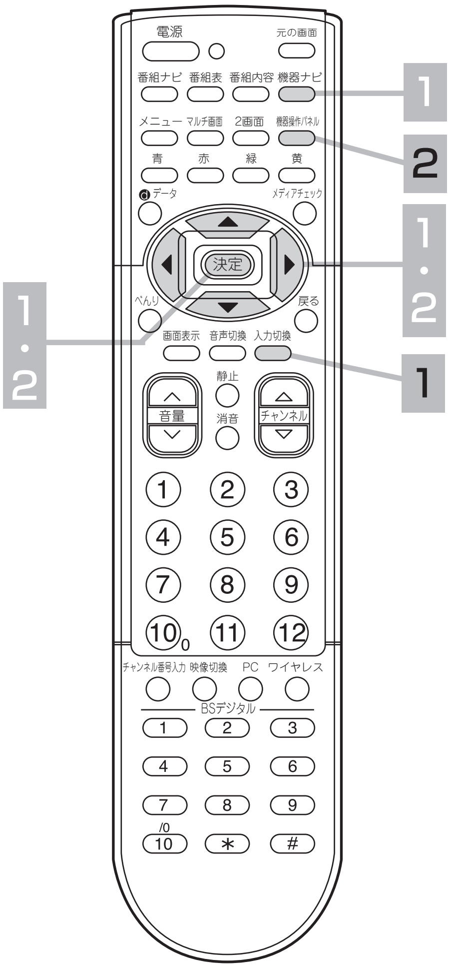
本機では、i.LINK対応D-VHSビデオデッキの基本的な操作のみができます。
本機を使用してD-VHSビデオデッキでデジタル録画したBSデジタル放送を再生し、本機で視聴することができます。本機が対応しているD-VHSビデオデッキは、当社製D-VHSデジタルハイビジョンデッキです。

i.LINK接続上のお願い

●本機は最大転送速度が200Mbpsのため、S200対応以上の4ピンi.LINKコード（市販品）をご使用ください。
●i.LINK対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器のi.LINKコードを外したり、接続したり、電源のオン／オフは行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
●接続が輪（ループ接続）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
●i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で電源オフ時のi.LINK制御の設定を切換えできます。151
●パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。

i.LINK対応機器を操作する

本機のリモコンを利用してi.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの基本的操作が行えます。116 のi.LINKの接続を行い、102 記載のi.LINK接続設定を確認のうえ、次の操作を行ってください。



操作画面の表示のしかた

本機でi.LINK対応機器を操作するには、操作画面を表示させます。
表示された操作画面で ボタンと決定ボタンで操作できます。

リモコンの機器操作パネルボタンで操作画面を表示させる場合

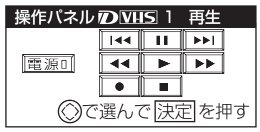
1 入力切換ボタンを押して、操作したいD-VHSビデオデッキの映像にする



2 操作機器パネルボタンを押す

操作方法については 100 をご覧ください。

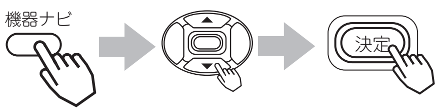


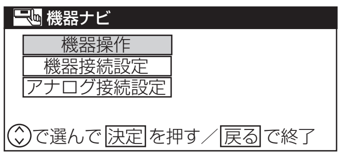


BSデジタル放送や、テレビ（地上波）放送を受信中に機器操作パネルを押しても無効です。

「機器操作」画面から操作画面を表示させる場合

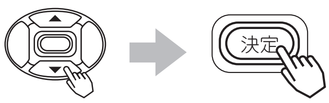
1 機器ナビボタンを押し、 で「機器操作」を選び、決定ボタンを押す

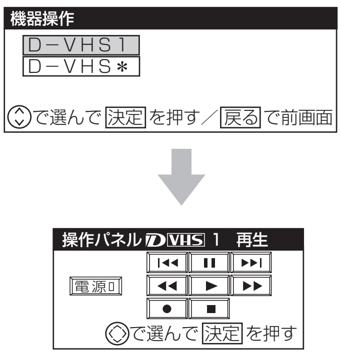




2 で操作画面を表示させたい機器を選び、決定ボタンを押す

操作方法については 100 をご覧ください。

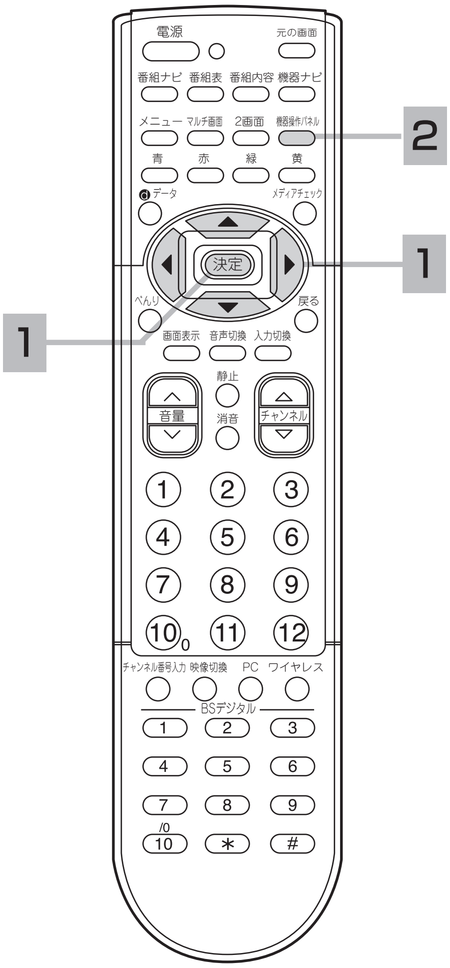




お知らせ

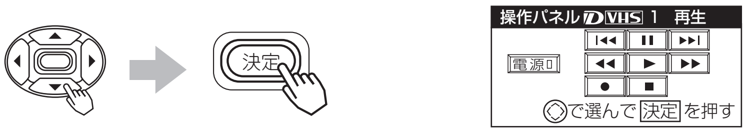
i.LINK接続されていないと、i.LINK端子に接続されていても操作画面は表示されません。102

D-VHSビデオデッキを操作する



まず、99 の操作で操作画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 で操作したい機能を選び、決定ボタンを押す



2 操作パネルを消したいときは、機器操作パネルボタンを押す



お知らせ

- ●予約中のD-VHSビデオデッキの操作画面は表示できません。
- ●1台のD-VHSビデオデッキが録画中の場合、もう1台のD-VHSビデオデッキの操作画面は表示できません。
- ●操作する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ●D-VHSビデオデッキを操作中は、本機の機能（チャンネル一覧など）が一部使用できなくなります。
- ●D-VHSビデオデッキにより |◀◀、▶▶| の機能のないものがあります。
- ●D-VHSビデオデッキから本機を操作するときは、あらかじめ本機の電源を入れてから操作を行ってください。

BSデジタル放送を録画するには

①ＢＳデジタル放送画面にする

入力がD-VHSビデオデッキになっている場合は入力切換ボタンでBSデジタル放送に切り換えてください。（入力を切り換えると操作画面は消えます。）

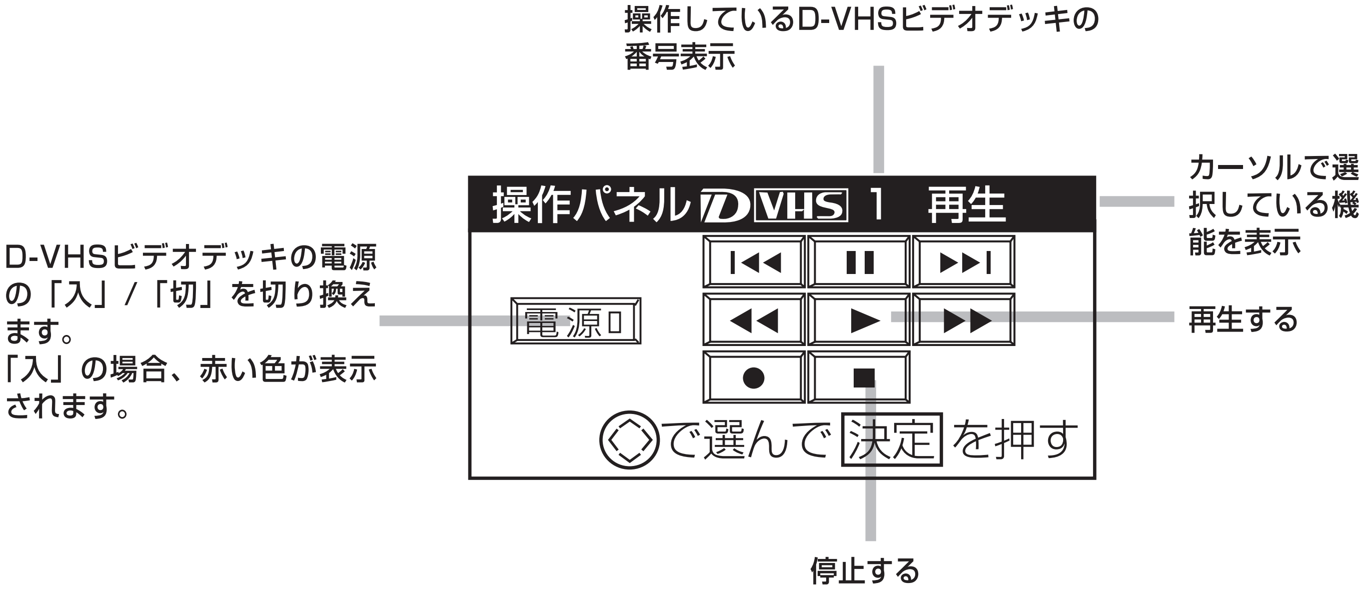
②操作画面を表示させる

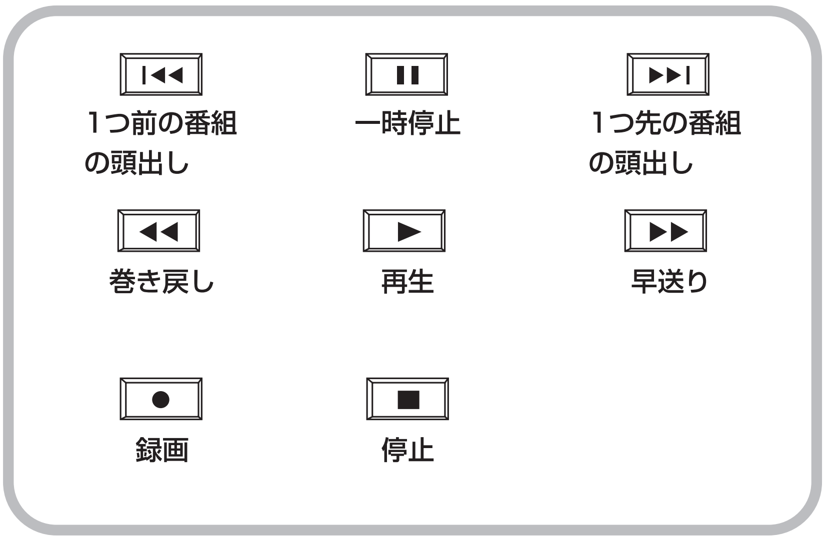
機器ナビボタンで操作画面を表示させます。 99

③録画する

● （録画）を選び、決定ボタンを押すと、録画が開始されます。

操作画面について





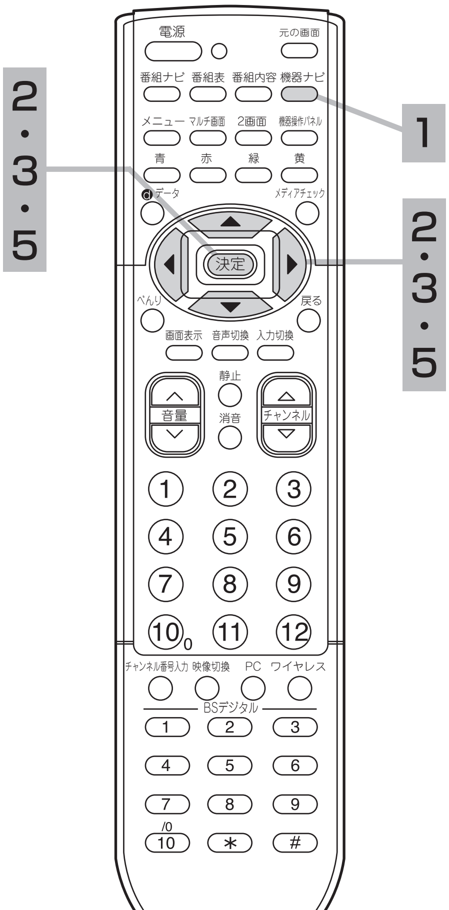
お守りください

大切な番組を録画する場合は、予約設定で録画予約をしてください。操作画面から録画を行うと、操作した画面が録画される場合があります。予約設定については、76 をご覧ください。

接続機器の操作（つづき）

i.LINK対応機器の確認、設定

本機でi.LINK対応機器の操作や予約録画を行うには、「i.LINK接続設定」で設定されている必要があります。本機で設定できるi.LINK対応機器はD-VHSビデオデッキ2台です。

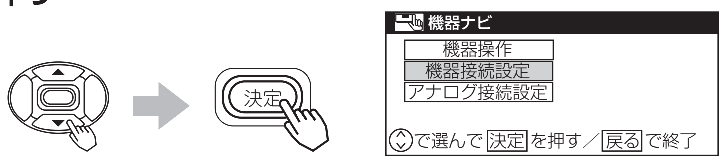


1 機器ナビボタンを押す

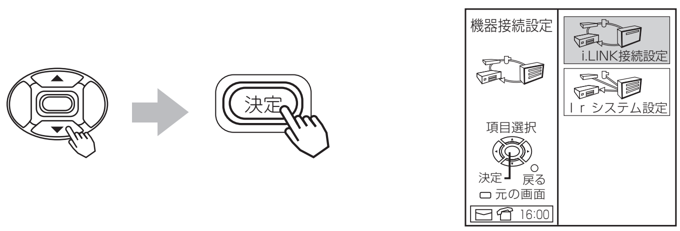
機器ナビ画面が現れます。



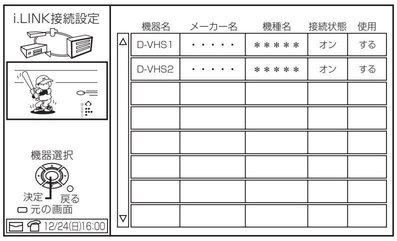
2 で「機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で「i.LINK接続設定」を選び、決定ボタンを押す



4 接続しているi.LINK機器を確認する



機器名称
i.LINK接続されている機器の名称を表示
D-VHSビデオデッキを接続している場合はD-VHS＋番号（接続した順番）が表示されます。

メーカー名
i.LINK接続されている機器のメーカー名を表示
（本機で認識できない場合は「不明」と表示されます）

機種名
i.LINK接続されている機器の機種名を表示
（本機で認識できない場合は「不明」と表示されます）

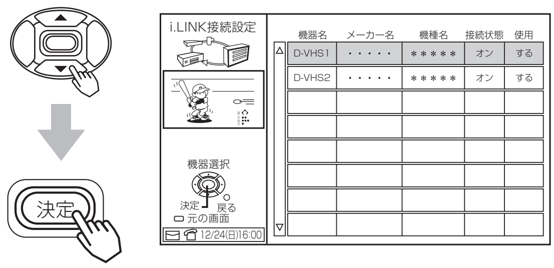
接続状態
「オン」……電源オンの状態で接続されている
「オフ」……i.LINKで制御できる電源オフの状態で接続されている
「未接続」…i.LINKで制御できない電源オフの状態で接続されている
または、一度接続されたが現在は接続されていない状態
「予約」……予約録画の待機状態または予約録画中の状態で接続されている
「不明」……制御できない機器、または「使用」の項目が「しない」に設定されている機器

使用
「する」……本機で制御する設定
「しない」…本機で制御しない設定
「不可」……本機で制御できない機器

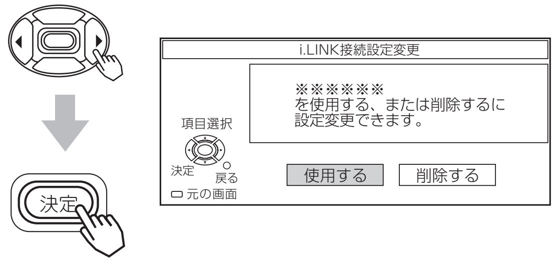
確認のみで終了するときは、元の画面ボタンを押します。

5 使用するi.LINK対応機器を設定または変更する場合

①で設定または変更したい機器を選び、決定ボタンを押す



②で項目を選び、決定ボタンを押す



使用する
本機で使用する設定に変更します。「使用しない」に設定されている場合にのみ表示されます。
また、すでに2台のD-VHSビデオデッキが設定されている場合は3台目は「使用する」に設定変更できません。別の「使用する」に設定されている機器を「使用しない」に設定すると、「使用する」に設定できます。

使用しない
本機で使用しない設定に変更します。「使用する」に設定されている場合のみ表示されます。

削除する
この機器を「i.LINK接続設定」画面から削除できます。接続状態が「未接続」の場合にのみ表示されます。

- **戻るボタンを押すと設定せずに「i.LINK接続一覧」画面に戻せます。**
- **確認のみで終了するときは、元の画面ボタンを押します。**

モニター、チューナー、スピーカーシステムの接続

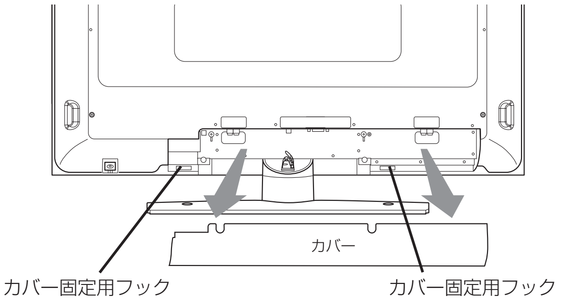
W37-PDH2100のとき

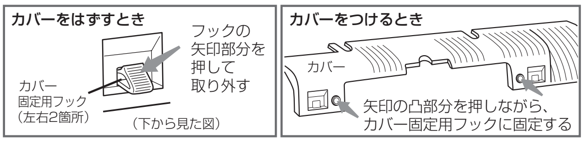
スピーカーシステムは、モニターに取り付けるかスピーカー専用台に取り付けて使用することができます。
スピーカーシステムは左右（L,R）共通ですので、スピーカーホルダーを取り付ける前は特に区別する必要はありません。

モニターにスピーカーシステムを取り付ける

1 モニター背面下部のカバーをはずす

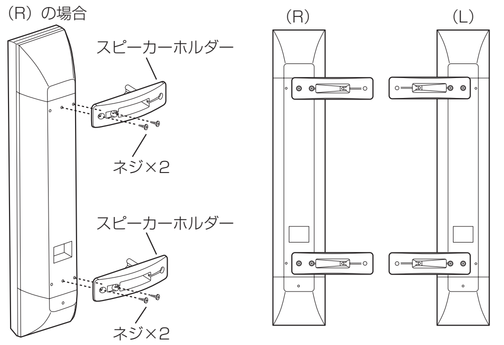
下側のカバー固定用フックの爪をはずして、カバーをはずしてください。





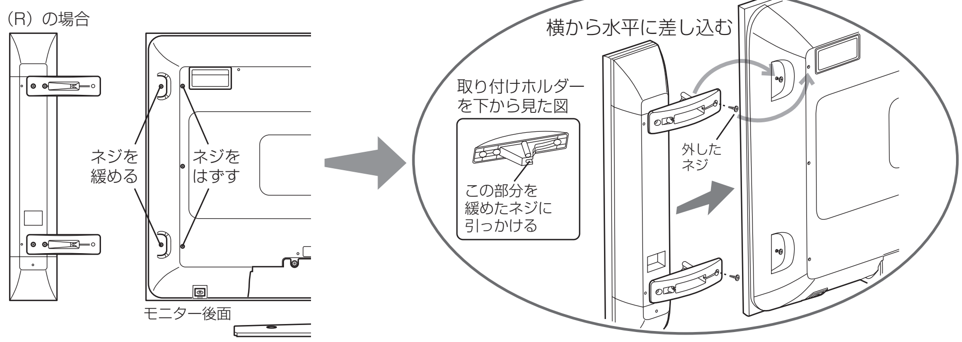
2 スピーカーシステムにスピーカーホルダーを付ける

スピーカーホルダーの向きは（R）、（L）で左右逆になります。
ネジは、後でスピーカ取り付け位置調節のため、ホルダーが動く程度に緩めに締めてください。

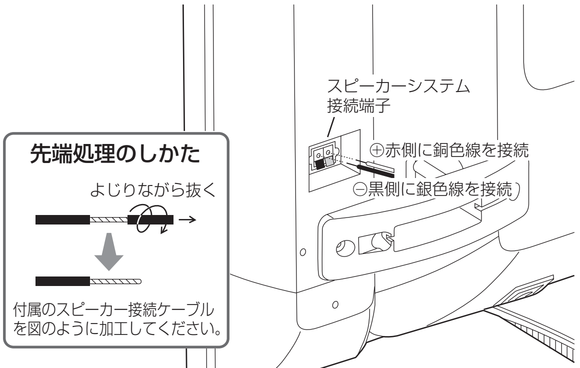


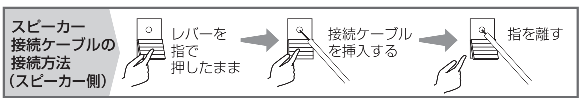
3 スピーカーシステムをモニターに取り付ける

図のように、スピーカーシステムを取り付けて、スピーカーシステムとモニターの取り付け位置を調節して、ネジを確実に締めて固定してください。
（R）、（L）とも同様に取り付けてください。

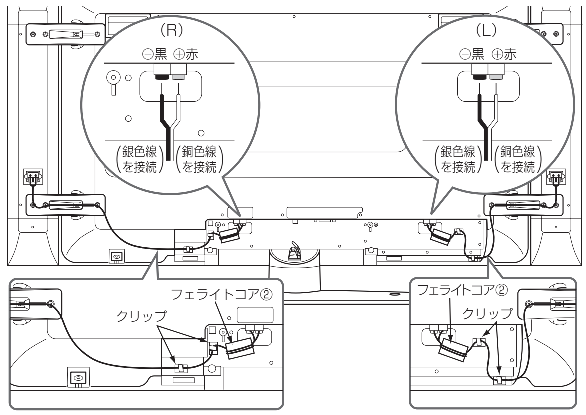


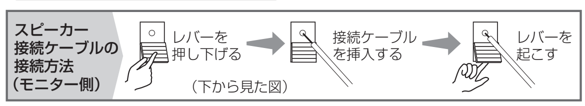
4 スピーカーシステムにスピーカー接続ケーブルを取り付ける





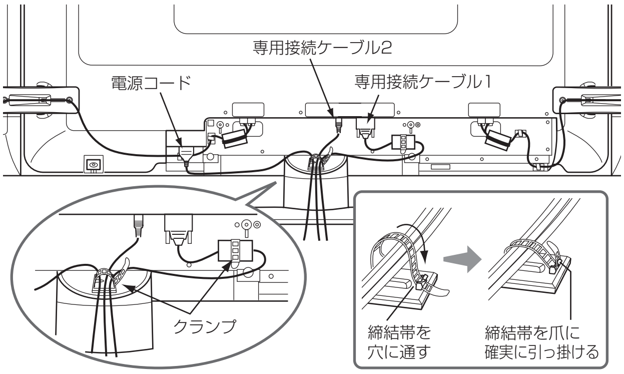
5 モニターにスピーカー接続ケーブルを取り付ける





6 モニターにチューナーとの接続ケーブル1と2および電源コードを接続する

専用接続ケーブル1のコネクターは、ゆるまないようにネジで止め、専用接続ケーブル2のコネクターは、奥までしっかり挿入してください。

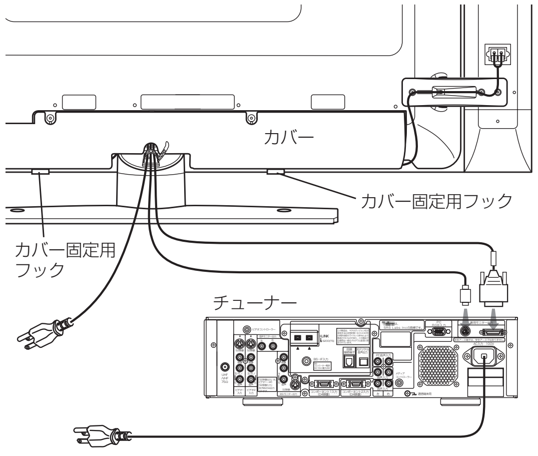


⚠ 注意

スピーカー接続ケーブル以外の電源ケーブルや専用接続ケーブルは、必ずスタンドのクランプに確実に固定してください。モニターを左右に回転操作したとき、コネクターが抜けて発熱し火災の原因となったり、コネクター破損の原因となることがあります。

7 カバーを取り付け、モニターとチューナーを接続する

カバーは、下側のカバー固定用フックで確実に固定してください。

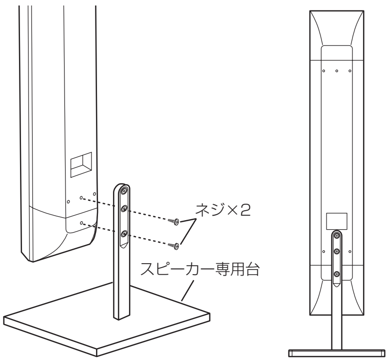


⚠ 注意

モニターを移動するときは、スピーカーシステムを持たないでください。

専用スタンド（別売）でスピーカーシステムを使用する

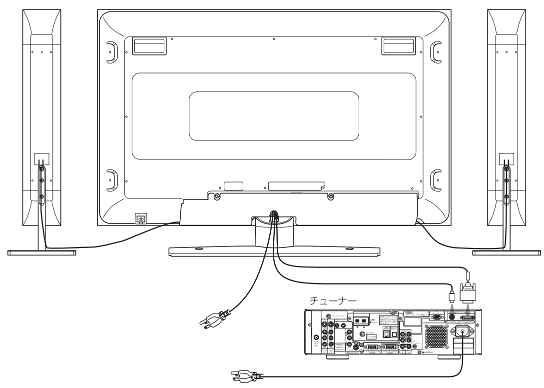
1 スピーカーシステムに専用台を取り付ける



⚠ 注意

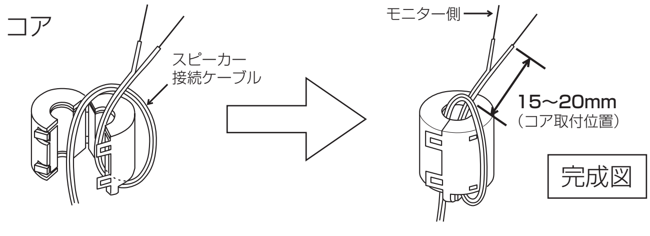
スピーカーを移動のときは、スピーカー専用台を持って移動してください。スピーカーを持って持ち運ぶと、取り付け部破損の原因になる場合があり、またスピーカー専用台が落下してけがの原因となることがあります。

2 スピーカー接続ケーブルやモニターとの接続は 1 、4 ～ 7 と同様に行ってください



フェライトコア②の使いかた

コアを開いた状態でスピーカー接続ケーブルを1回巻きつけコアを閉じます。（R）（L）の両方とも同様に取り付けてください。



お知らせ

フェライトコア②（付属）について

付属のスピーカー接続ケーブルを使用してモニターとスピーカーシステムを接続する場合は、他の機器への電波障害を抑制するために、スピーカー接続ケーブルにフェライトコア②を巻きつけてご使用願います。

お守りください

スピーカーシステム前面のサランネット部を強く押したり、サランネット部に衝撃を与えると、スピーカー破損の恐れがありますので、慎重にお取り扱いください。

モニター、チューナー、スピーカーシステムの接続（つづき）

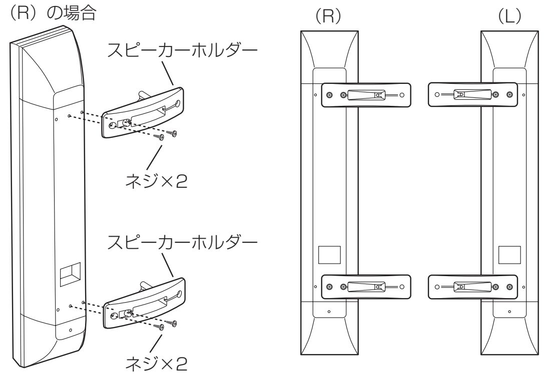
W42-PDH2100のとき

スピーカーシステムは、モニターに取り付けるかスピーカー専用台に取り付けて使用することができます。スピーカーシステムは左右（L,R）共通ですので、スピーカーホルダーを取り付ける前は特に区別する必要はありません。

モニターにスピーカーシステムを取り付ける

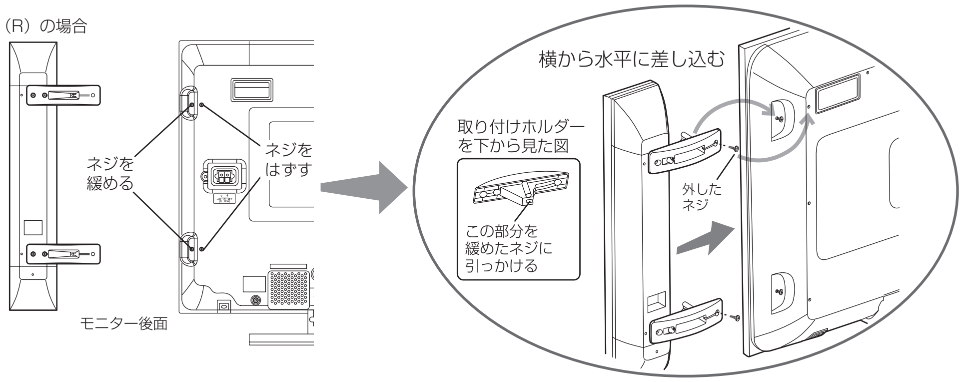
1 スピーカーシステムにスピーカーホルダーを付ける

スピーカーホルダーの向きは（R）、（L）で左右逆になります。

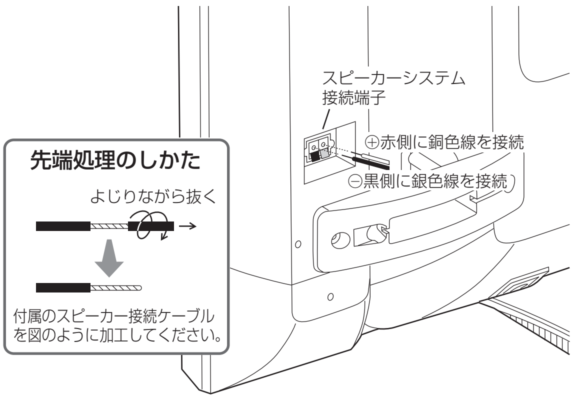


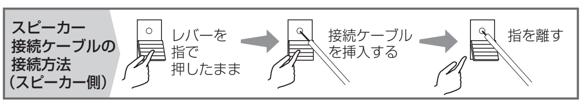
2 スピーカーシステムをモニターに取り付ける

図のように、スピーカーシステムを取り付けて、スピーカーシステムとモニターの取り付け位置を調節して、ネジを確実に締めて固定してください。（R）、（L）とも同様に取り付けてください。

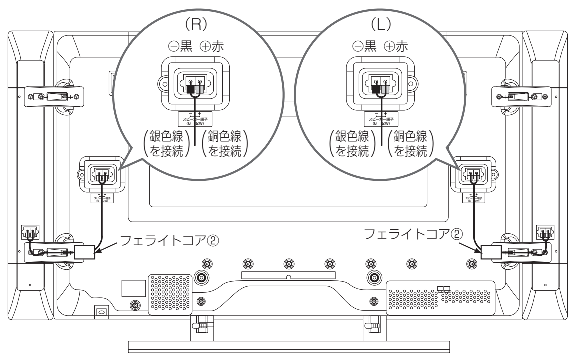


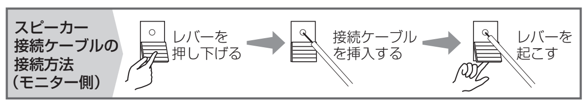
3 スピーカーシステムにスピーカー接続ケーブルを取り付ける





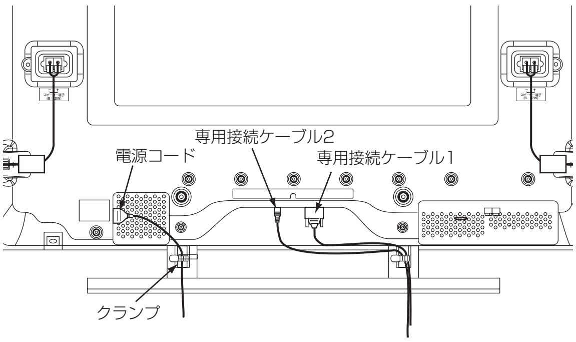
4 モニターにスピーカー接続ケーブルを取り付ける





6 モニターにチューナーとの接続ケーブル1と2および電源コードを接続する

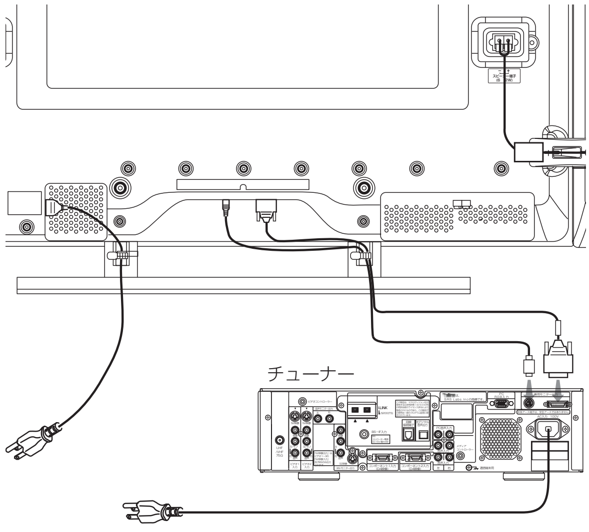
専用接続ケーブル1のコネクターは、ゆるまないようにネジで止め、専用接続ケーブル2のコネクターは、奥までしっかり挿入してください。



⚠ 注意

接続ケーブルの固定には、スタンドのクランプを利用してください。クランプの使用方法については、105 の 6 を参照にしてください。

7 モニターとチューナーを接続する

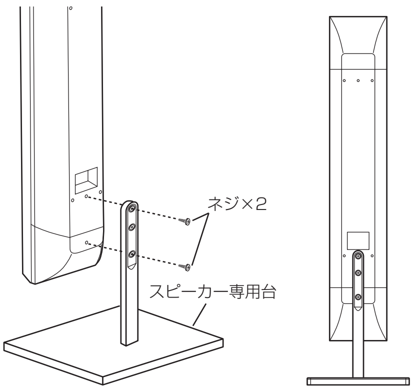


⚠ 注意

モニターを移動するときは、スピーカーシステムを持たないでください。

専用スタンド（別売）でスピーカーシステムを使用する

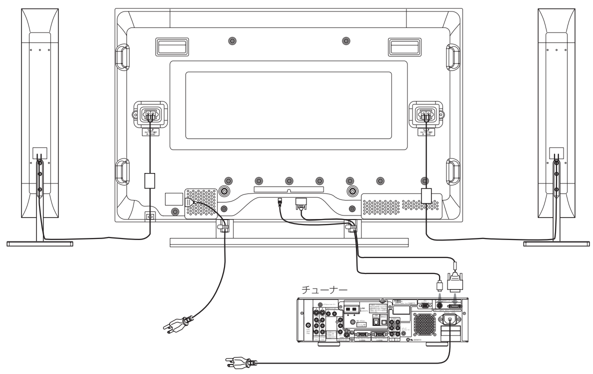
1 スピーカーシステムに専用台を取り付ける



⚠ 注意

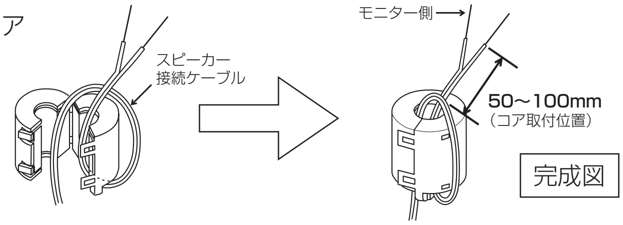
スピーカーを移動のときは、スピーカー専用台を持って移動してください。スピーカーを持って持ち運ぶと、取り付け部破損の原因になる場合があり、またスピーカー専用台が落下してけがの原因となることがあります。

2 スピーカー接続ケーブルやモニターとの接続は 3 ～ 7 と同様に行ってください



フェライトコア②の使いかた

コアを開いた状態でスピーカー接続ケーブルを1回巻きつけコアを閉じます。（R）（L）の両方とも同様に取り付けてください。



お知らせ

フェライトコア②（付属）について

付属のスピーカー接続ケーブルを使用してモニターとスピーカーシステムを接続する場合は、他の機器への電波障害を抑制するために、スピーカー接続ケーブルにフェライトコア②を巻きつけてご使用願います。

お守りください

スピーカーシステム前面のサランネット部を強く押したり、サランネット部に衝撃を与えると、スピーカー破損の恐れがありますので、慎重にお取り扱いください。

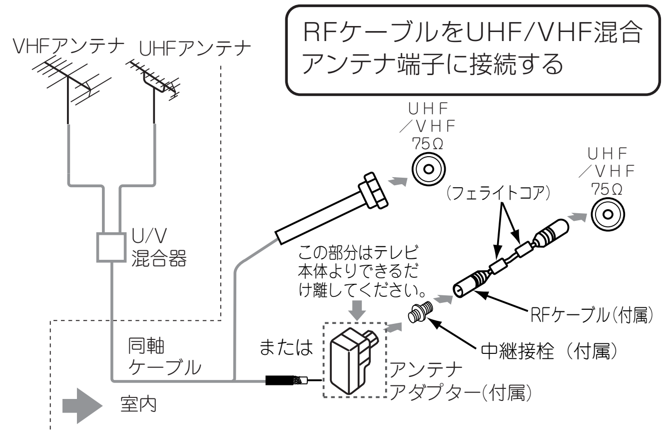
接続

> ⚠注意
> アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

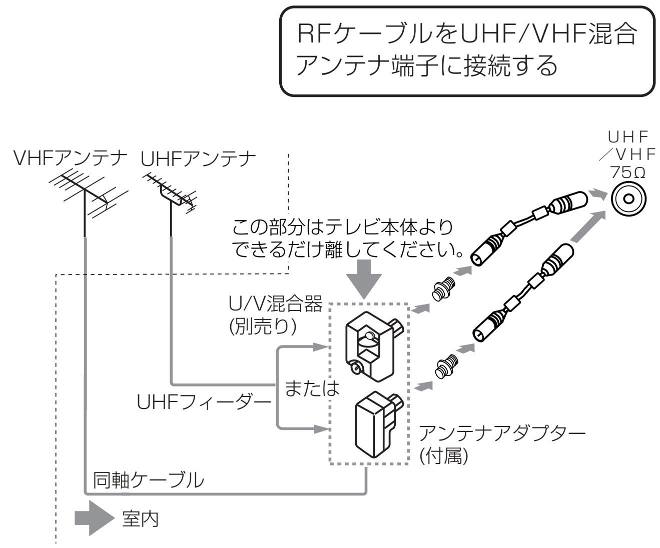
VHF/UHFアンテナの接続

①アンテナの種類に応じ、下図の要領でUHF/VHF混合アンテナ端子に接続してください。
②本機のUHF/VHF混合アンテナ端子への接続に付属のアンテナアダプターを使用する場合は、付属の中継接栓とRFケーブルを使って、できるだけテレビ本体より離して接続してください。
③平行フィーダーの部分は、テレビ本体よりできるだけ離してください。

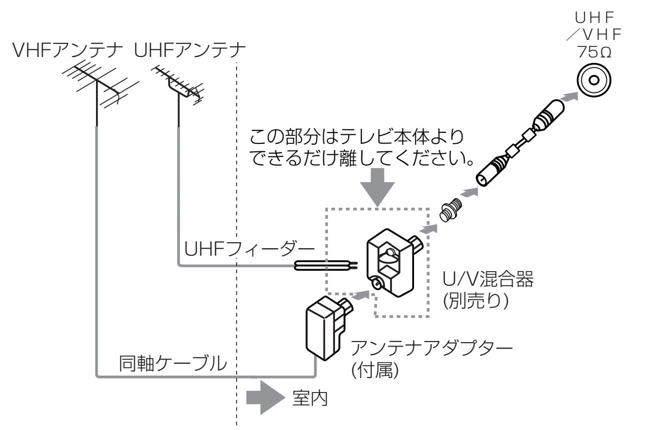
VHF/UHFアンテナが混合のとき



VHF/UHFどちらか一方のとき

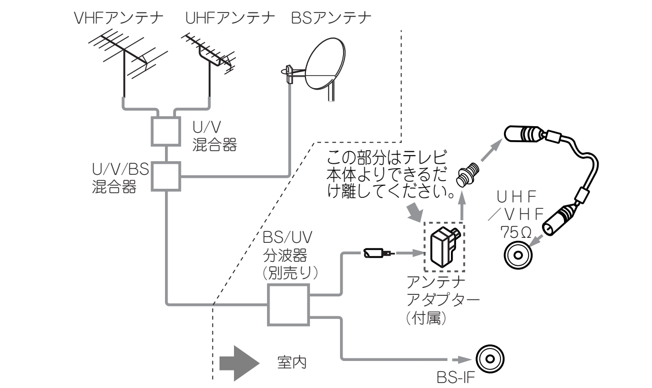


VHF/UHFアンテナが独立のとき



1	2	3
U/V混合器(別売り）にUHFフィーダーを接続する	アンテナアダプターにVHF同軸ケーブルを接続する	U/V混合器（別売り）にアンテナアダプターを接続し、RFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する

BSが混合のとき（例：VHF/UHF/BS混合入力）



お守りください

アンテナ線接続時のご注意

●アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。）
●室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
●アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

メ モ

アンテナアダプターについて

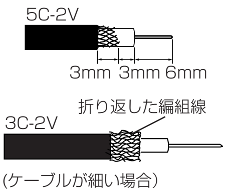
同軸ケーブルやUHFフィーダーにアンテナアダプターなどが接続されていないときは、109 を見て接続してください。

フェライトコア①（付属）について

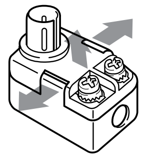
付属のRFケーブルを使用する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします（109をご覧ください。）フェライトコアを巻き付けることにより、弱電界時での妨害電波を抑制できます。

アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続

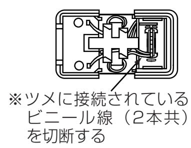
1 先端を加工する



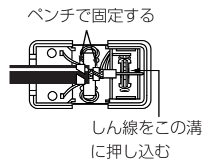
2 ふたをあける



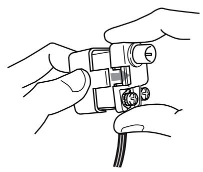
3 ビニール線を切断する



4 同軸ケーブルを取り付ける

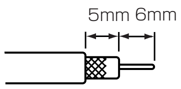


5 ふたをしめる

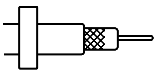


F形接栓（別売り）の接続

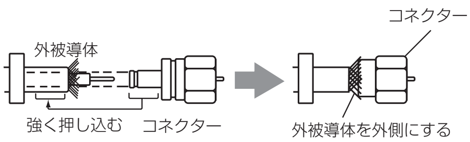
1 先端を加工する



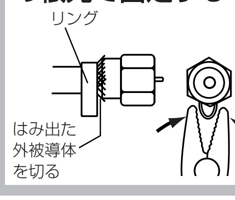
2 リングを通す



3 コネクター先端部を外被導体内側に差し込み、強く押し込む



4 ペンチなどを使い、リングをコネクターの根元で固定する

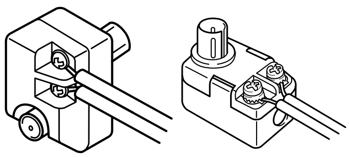


UHFフィーダーの接続

1 先端を加工する



2 U/V混合器(別売り)、またはアンテナアダプターに接続する

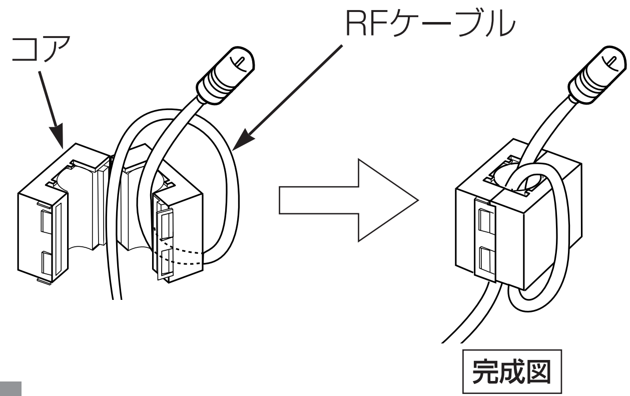


VHF/UHFアンテナが独立のときは、U/V混合器（別売り）に接続してください。

●UHFフィーダーはUHF専用のものをご使用ください。
（VHF平行フィーダーなどで、代用されますと、画質が悪くなります。）

フェライトコア①の使いかた

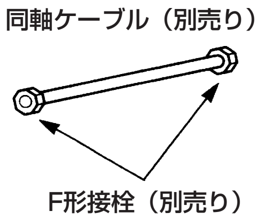
コアを開いた状態でアンテナ線を1回巻きつけ、コアを閉じます。RFケーブルの両側とも同様に取り付けてください。



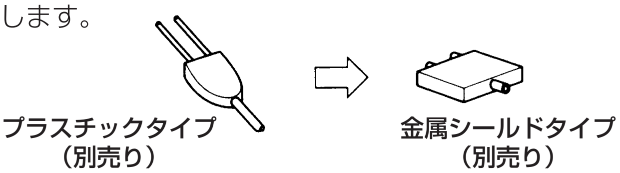
きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

●アンテナ線は同軸ケーブルにF形接栓を接続して使用することをおすすめします。



●BS/UV分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

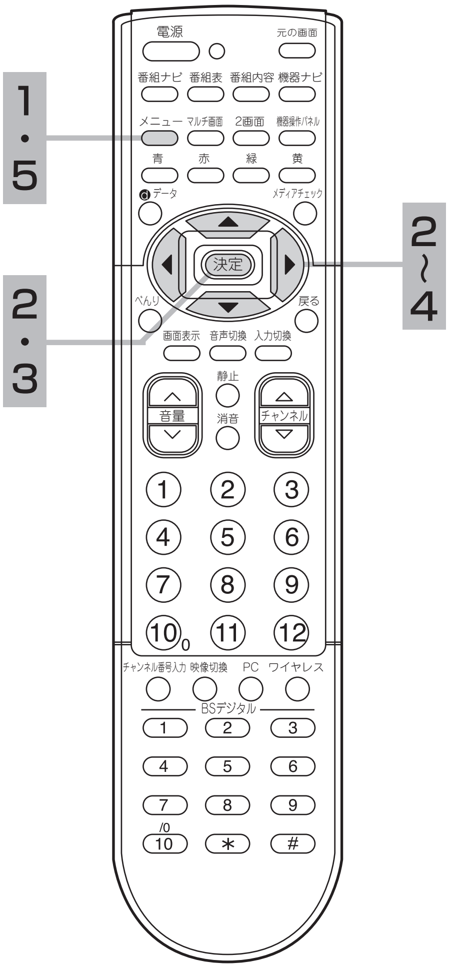


設置

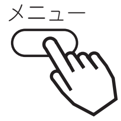
接続（つづき）

アッテネーターについて

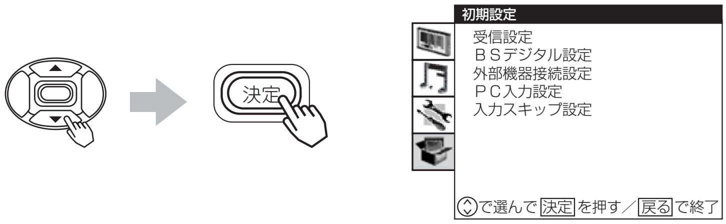
VHF/UHFアンテナから入る電波が強すぎて、妨害が起こるような場合は、アッテネーターを「入」にします。通常は「切」にしてお使いください。



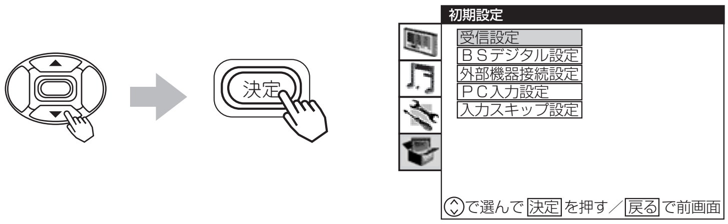
1 メニューボタンを押す



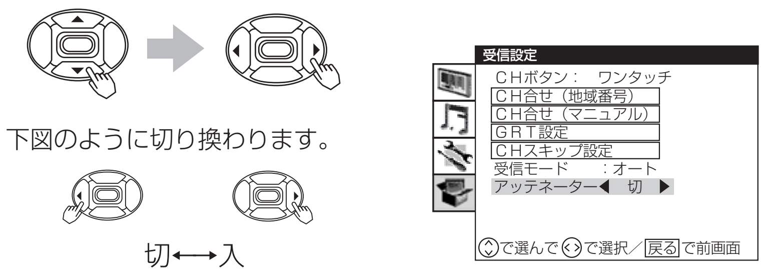
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で「アッテネーター」を選び、 で設定する



5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面を押しても、設定画面が消えます。

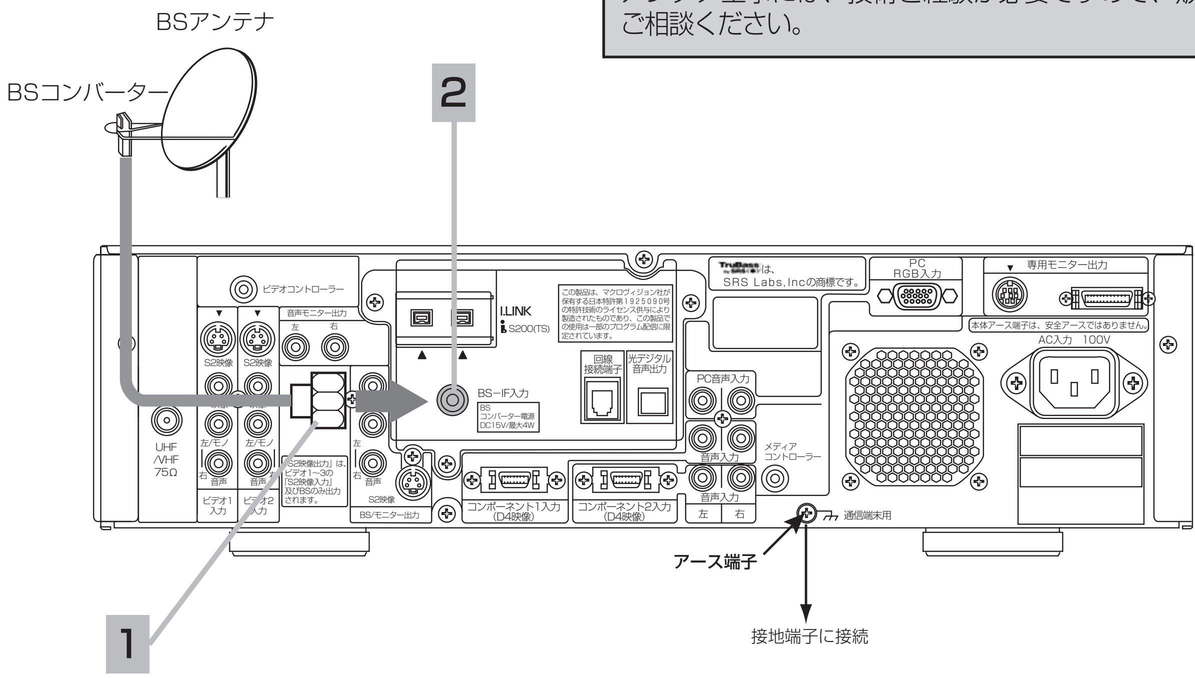
BSアンテナ線を接続するには

接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。下記メッセージが表示される場合は、テレビの電源を切ってからBSアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象がなおらない場合は、BSアンテナ電源を「オフ」に設定 143 **して、お買い上げの販売店にご相談ください。**

メッセージ表示

アンテナとの接続に不具合があります。
接続をもう一度確認してください。

> ⚠注意
> アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。



1 BSアンテナ線の同軸ケーブルをF形接栓（別売り）に接続する

UHF, VHF, BSが混合されているときには、BS/UV分波器(別売り)が必要です。 109

2 F形接栓(別売り)をBS-IF入力端子に接続する

BS-IF入力端子は、BSコンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子からBSコンバーターにDC+15Vを供給します。BSアンテナ線を接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。

アースとの接地

電源ノイズに対して通信の安定性向上させるなどのため、市販のアース線を使って、本機のアース端子と接地端子を接続することをおすすめします。（本アース端子は、電話通信端末機器の技術基準にもとづくものです。）

お守りください

BSアンテナ線の接続についてのご注意

衛星放送を分配して他の機器で衛星放送を視聴する場合、BS分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。
多端子タイプ電流通過形でない場合は、BSアンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

アース接続についてのご注意

本機をアース接続する場合は、確実に行なってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

メモ

BSアンテナ線の接続についてのお願い

- 付属のアンテナアダプターはVHF/UHF用ですので、BS-IF入力端子用には使用できません。F形接栓（別売り）をご使用ください。
- アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

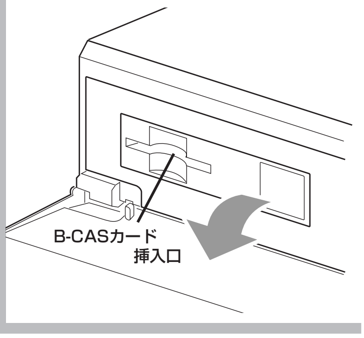
映りがよくないときには

衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ、チューナーなどの正確な調整が必要です。もし、時々映像や音声が出なくなったりするときは販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。

B-CASカードの挿入

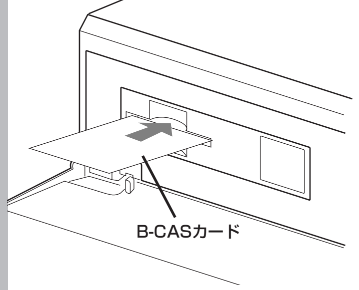
本機に付属のB-CASカードは、チューナー本体の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

1 チューナー前面のとびらを開ける

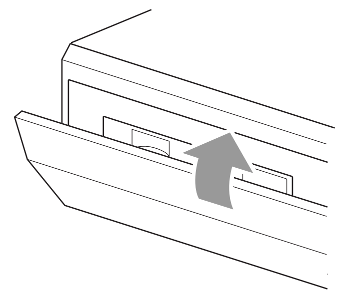


2 B-CASカードを挿入する

絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印を挿入口方向へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込む。

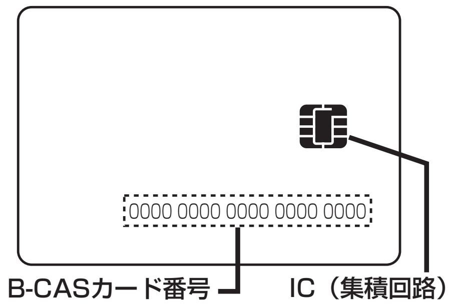


3 チューナー前面のとびらを閉める



B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。「（株）ビー・エス・コンディショナルアクセスシステム カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。



お守りください

B-CASカード取り扱い上の留意点

- ●B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- ●B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- ●B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- ●B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- ●B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- ●B-CASカードは上記手順をご覧のうえ、本機前面のB-CASカード挿入口に、正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ●ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。BSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、チューナー本体の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お知らせ

- ●本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ●裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

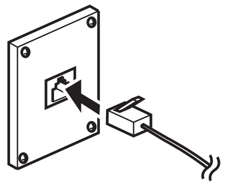
電話回線の接続

本機は、モジュラージャック式のジャックから電話回線に直接接続できるようになっています。ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。
ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店かNTT営業所、または支店にご相談ください。

電話回線コンセントの種類をご確認ください

電話回線コンセントはこんな形？

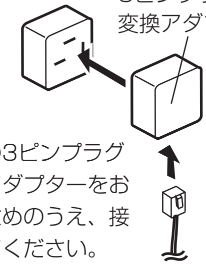
モジュラージャック式



はい → モジュラージャック式

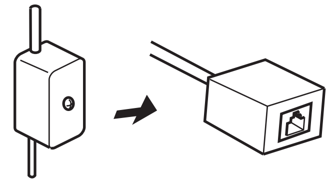
いいえ → 3ピンプラグ式／ローゼット式

3ピンプラグ式



市販の3ピンプラグ変換アダプターをお買い求めのうえ、接続してください。

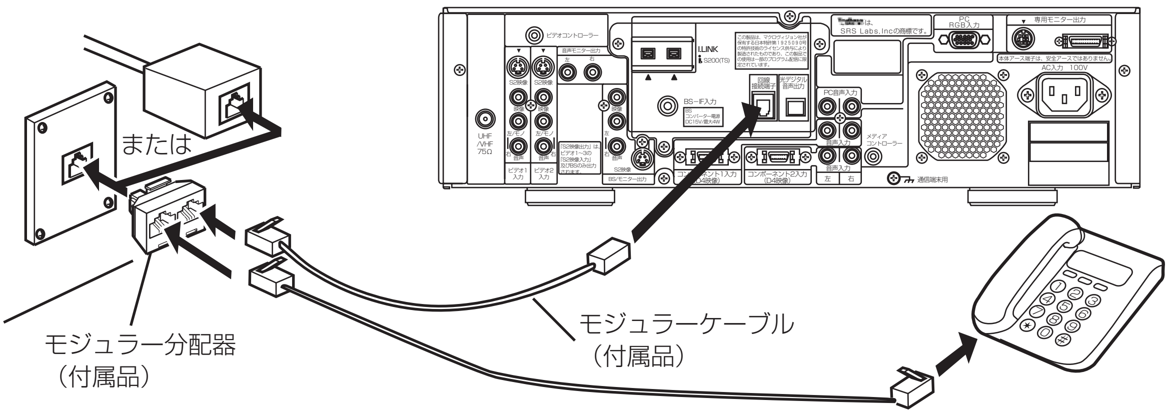
ローゼット式



有資格者による工事が必要です。
お近くのNTT営業所、または支店にご相談ください。

モジュラージャック式

付属のモジュラーケーブルで、直接接続します。
電話機またはファックスが設置されているときは、
付属のモジュラー分配器をご使用ください。



■以下の電話回線には接続できません

- ●ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがある場合は接続できます。）
- ●デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- ●「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。

お守りください

- ●電話回線に関する工事は郵政省により資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。
ご加入のNTT営業所または局番なしの116に工事のお問い合わせをしてください。
- ●モジュラー分配器は本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- ●付属のモジュラーケーブルは10mあります。設置場所によってはモジュラーケーブルを壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮し配線処理をしてください。

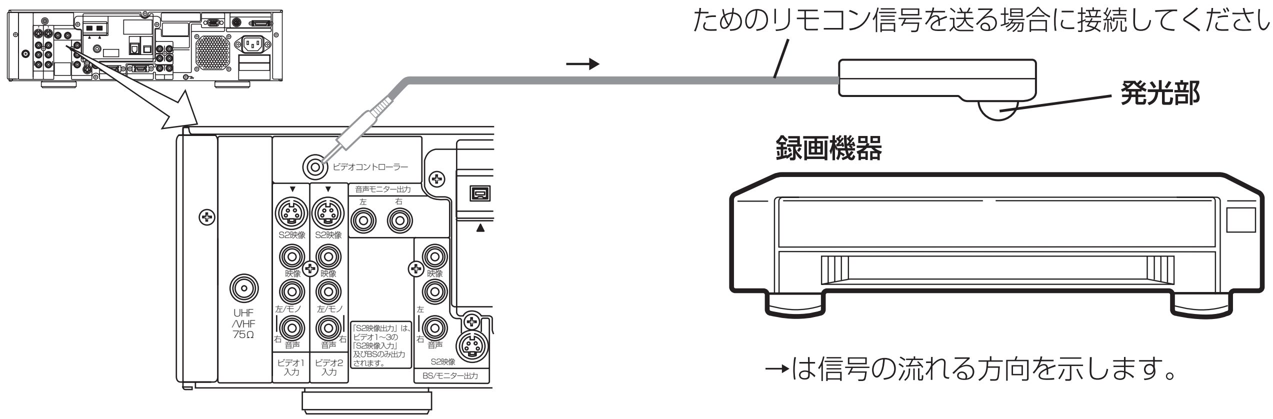
お知らせ

- ●付属のモジュラーケーブル（10m）で長さが足りない場合は、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- ●1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

ビデオコントローラーを接続する

ビデオコントローラーの接続

ビデオコントローラー（付属品）
Irシステムを使用して、本機から録画機器で録画するためのリモコン信号を送る場合に接続してください。



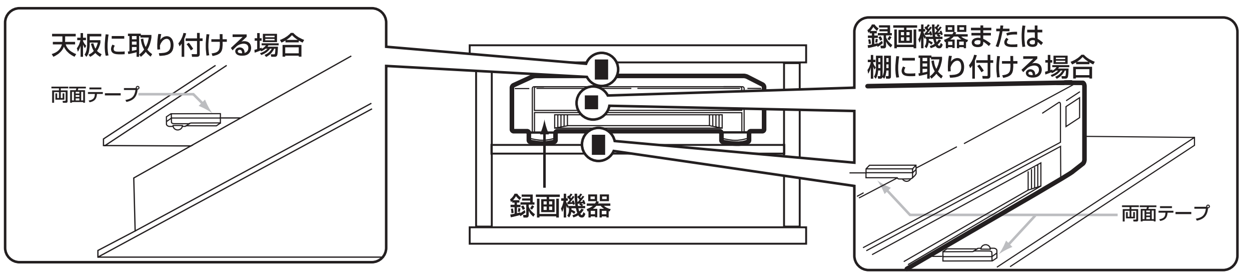
→は信号の流れる方向を示します。

ビデオコントローラーの取り付け

チューナー背面のビデオコントローラー端子に付属のビデオコントローラーを接続し、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置すると、本機に接続された録画機器で、BSデジタル放送の番組を簡単に録画できます。Irシステムを使用できるビデオデッキのメーカーは松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECです。また、松下製およびパイオニア製DVDレコーダーも使用できます。（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。）

取り付け例

（付属の両面テープを使用）



Irシステムを使用して、録画機器で録画する場合は、148 ～ 150 ページの手順で事前に設定とテストが必要です。テスト時に録画機器が動作する位置を確認のうえ、ビデオコントローラーを取り付けてください。

お知らせ

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- ビデオコントローラーに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。

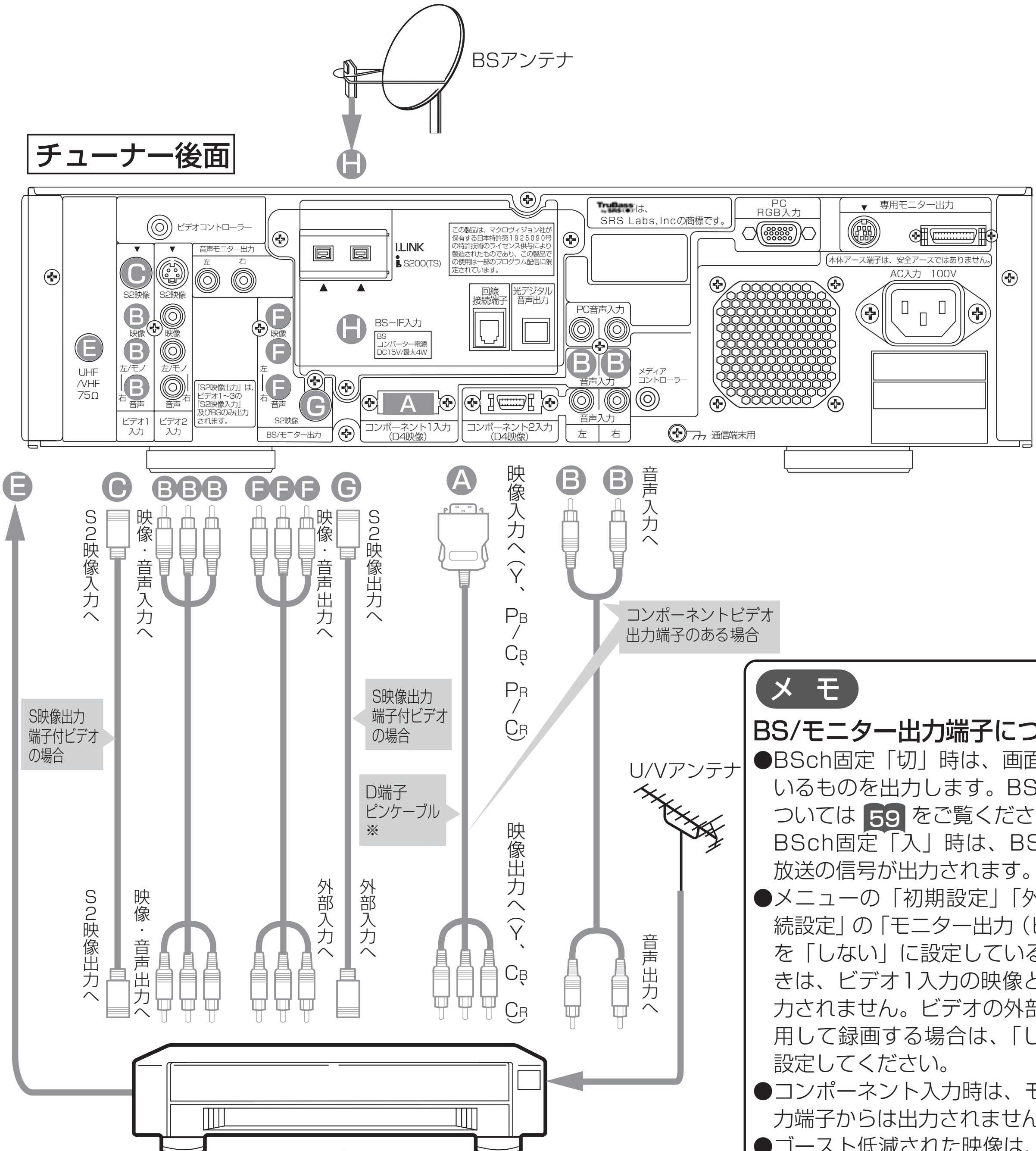
メ　モ

Irシステムとは

Ir（Infrared（インフラレッド）：赤外線）で制御するシステムです。

ビデオを接続する

S映像出力端子付のビデオをご使用のときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。より良い画質でビデオを楽しめます。（図の同じ記号のところに接続してください）



メモ

BS/モニター出力端子について

- BSch固定「切」時は、画面に映っているものを出力します。BSch固定については 59 をご覧ください。
  BSch固定「入」時は、BSデジタル放送の信号が出力されます。
- メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「しない」に設定している 55 ときは、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。ビデオの外部入力を使用して録画する場合は、「しない」に設定してください。
- コンポーネント入力時は、モニター出力端子からは出力されません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。

S2映像端子について

明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S2映像が優先されます。本機はフルモード制御信号の入った映像が、ビデオ1，2，3のS2映像入力端子より入力されるとワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

モニター出力の「S2映像」端子について

ビデオ1～3の「S2映像入力」と、BSデジタル放送の信号が出力されます。

お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。（接続コード別売）
- アンテナ線はテレビとビデオ両方に接続します。受信方式などの違いによって、接続のしかたが異なりますので、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 「連動予約」や「タイマー予約」をするときは、83 をご覧ください。
- ビデオコントローラーの接続 114 と、「Irシステム設定」148 ～ 150 を行ってください。
- BS放送を録画予約すると、リモコンで電源「切」のとき、機能待機ランプが点灯します。このとき、チューナー部のファンモーターが動作しますが、故障ではありません。

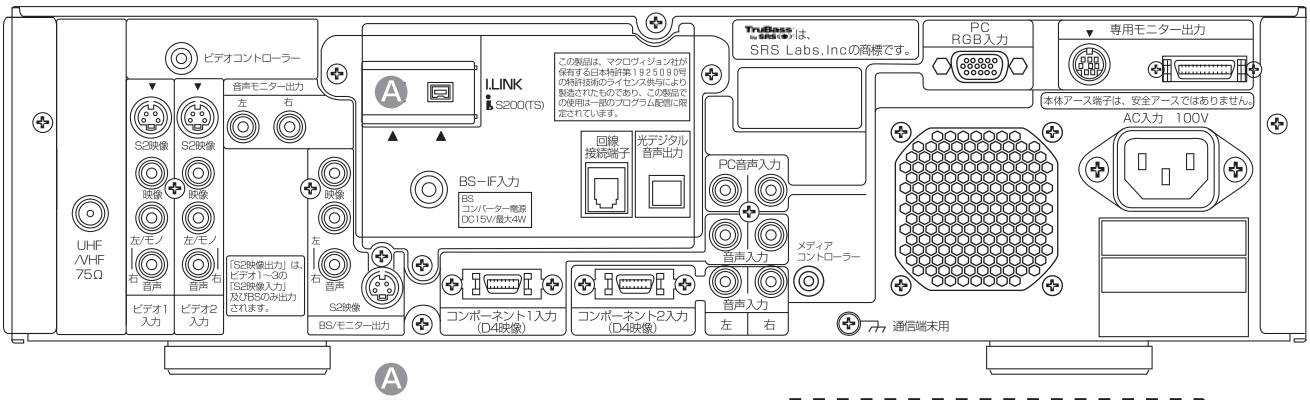
※D端子ピンケーブルは別売品（TP-CDP01［1.5m］）をお求めください。

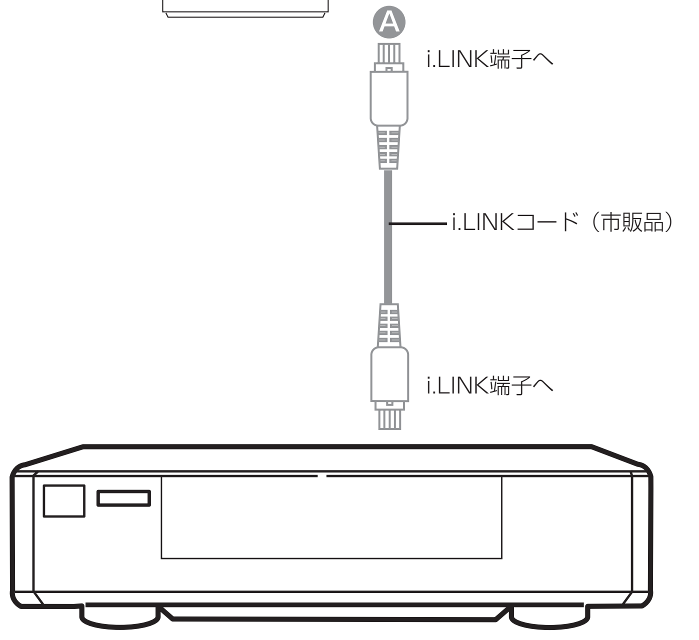
設置

i.LINK対応のD-VHSビデオデッキとの接続

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキが接続できます。
i.LINK接続するとD-VHSビデオデッキへ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
i.LINKについては、98 をご覧ください。
（図の同じ記号のところに接続してください）

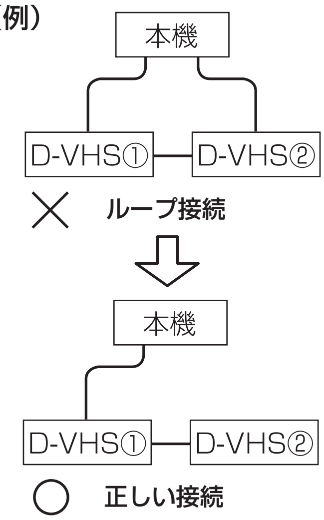
チューナー後面





D-VHSビデオデッキ

i.LINKではループ接続をすると正しく動作しません。
（例）



お知らせ

- i.LINKコードは市販のS200用ピンi.LINKコードをご使用ください。
- i.LINKコードはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- D-VHSビデオデッキの説明書も参照ください。
- 本機とD-VHSビデオデッキのアナログ接続を行う場合は、115 を参考に接続してください。
- i.LINK対応機器は、2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。

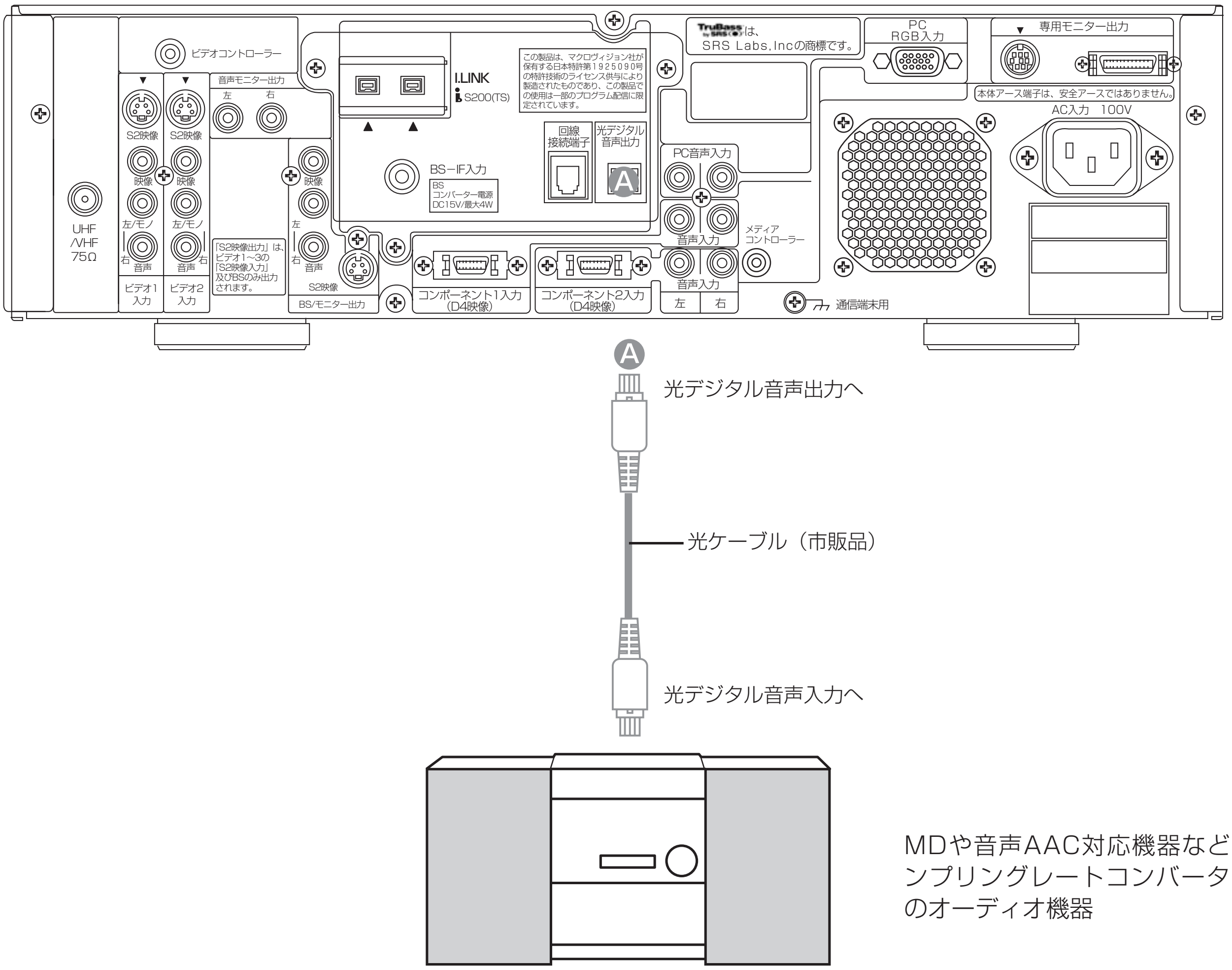
メモ

D-VHSビデオデッキについて
VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。（BSデータ放送の情報もそのまま録画、再生できます。）また、従来のVHS方式での録画、再生も行えます。

デジタル音声入力端子付きオーディオ機器との接続

本機の光デジタル音声出力端子は、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。また、本機はAACフォーマットに対応のため、AACフォーマット対応のオーディオ機器にも接続できます。
AACフォーマットをご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。 152
（図の同じ記号のところに接続してください）

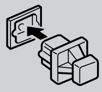
チューナー後面



お守りください

防じんキャップについて

光デジタル音声出力端子を使用しない場合は、ほこりなどの侵入を防ぐために、必ず付属のキャップを取り付けてください。



⚠警告

●防じんキャップを取り外した場合、お子様が防じんキャップを誤って飲むことがないようにしてください。
●防じんキャップは幼児の手の届かないところへ保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

お知らせ

●光デジタル音声出力端子を使用するときは端子に差し込まれている防じんキャップ（カバー）を引っぱって取り外してください。本機の光デジタル音声出力端子は、衛星からの信号をそのまま出力していますので、送信されてくるサンプリング周波数に対応していないオーディオ機器は使用できません。（送信されるサンプリング周波数には、32kHz、44.1kHz、48kHzなどがあり、サンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器が必要です。）
●接続はオーディオ機器の説明書も参照ください。

メ モ

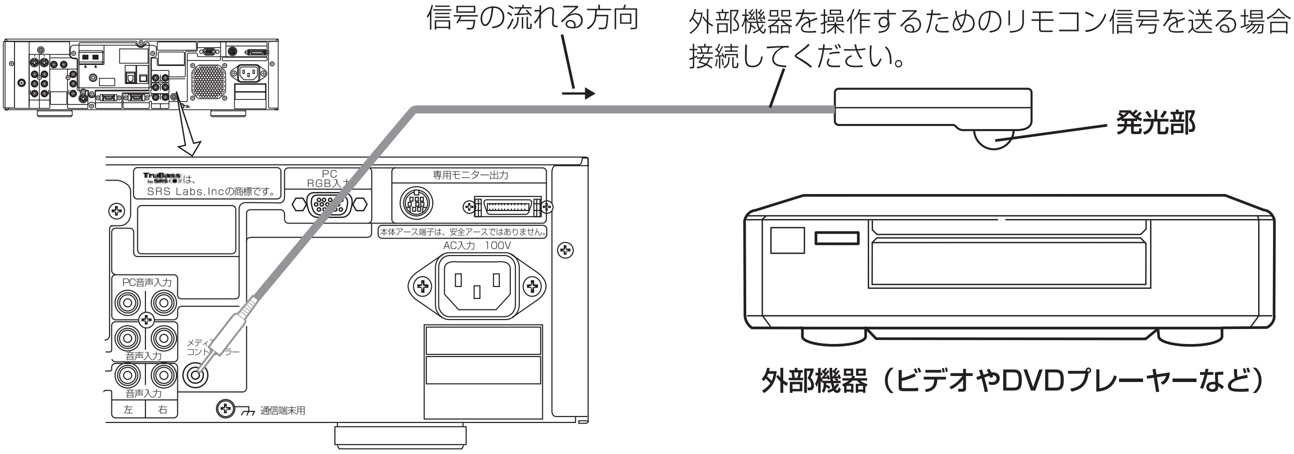
AAC（Advanced Audio Coding）について

AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並の音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

メディアコントローラーを接続する

メディアコントローラーの接続

メディアコントローラー（付属品）
メディアコントロール機能を使用して、本機から他の外部機器を操作するためのリモコン信号を送る場合に接続してください。



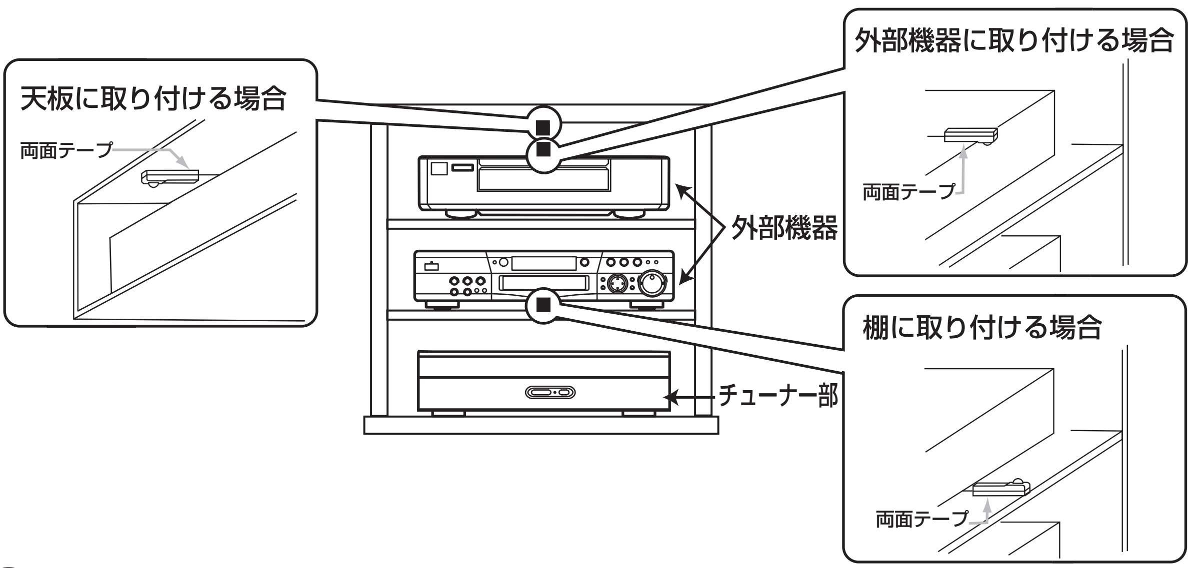
メディアコントローラーの取り付け

チューナー背面のメディアコントローラー端子に付属のメディアコントローラーを接続し、リモコン発光部を外部機器（ビデオやDVDプレーヤーなど）のリモコン受信窓に向けて設置すると、外部機器のリモコン操作を本機のモニターに向かって行うことができます。

①メディアコントロール機能を使用して外部機器を操作するときは、メニューの「他の設定」の「メディアコントローラー」の設定を「入」にします。52

②本機のモニターのリモコン受信窓に向かってご使用の外部機器のリモコン操作をしたとき、外部機器が確実に動作する位置を確認して、メディアコントローラーを取り付けてください。
通常メディアコントローラーの受信窓が、外部機器のリモコン受信窓のできるだけ真上（または真下）になるように取り付けます。外部機器のリモコン受信窓の位置は、外部機器の取扱説明書でご確認ください。

取り付け例
（付属の両面テープを使用）



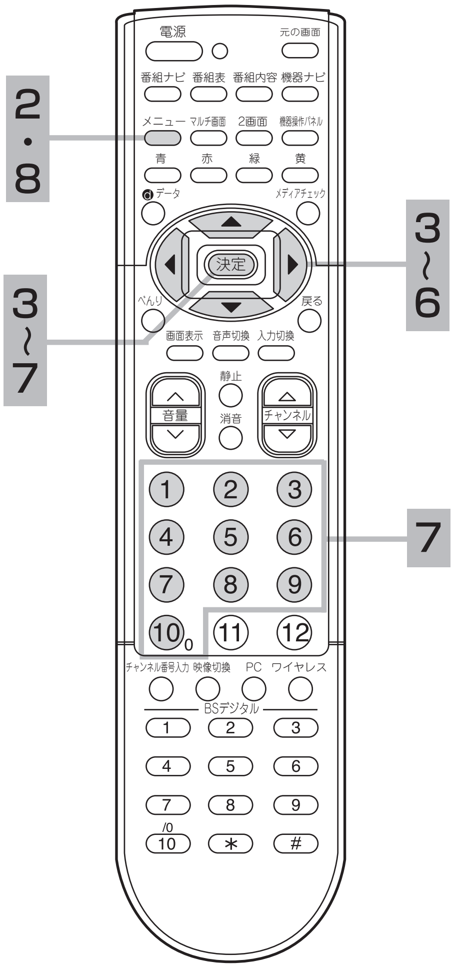
お知らせ

●付属品のビデオコントローラーとメディアコントローラー 12 は同じものです。どちらの付属品をメディアコントロール端子に接続してもかまいません。
●ご使用になる外部機器によっては、メディアコントロール機能で操作できないことがあります。
このようなときは、ご使用の外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
●メディアコントローラーで操作できる外部機器は2〜3台を目安にしありますが、ご使用の外部機器のリモコン受信窓に強い光があたったり、リモコン受信窓の位置が離れたりしていると操作できないことがあります。また、棚などのリモコン信号をさえぎるものや前面とびらの有無などAVラックの構造によっても異なります。
●外部機器のリモコンを操作したとき
本機モニターのリモコン受信窓と、ご使用の外部機器のリモコン受信窓に同時にリモコン信号を受信したときは、正常に動作しないことがあります。このようなときは、メニューの「他の設定」の「メディアコントローラー」の設定を「切」にして 52 、ご使用の外部機器に向かって操作してください。
●メディアコントローラーは、ご使用の外部機器が確実に動作することを確認してから両面テープで固定してください。
●両面テープは貼り付ける場所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
●メディアコントローラーに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。

テレビ放送の受信設定について

チャンネルの合わせかた（地域番号）

お住まいの都市の地域番号を入力すると、地域番号一覧表に記載された放送局を設定することができます。地域番号一覧表に記載されていない地域の方や、地域番号によるチャンネル設定後その他のチャンネルを追加したい場合は，「チャンネルの合わせかた（マニュアル）」128 をご覧ください。

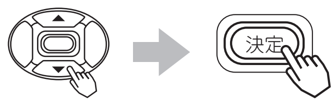


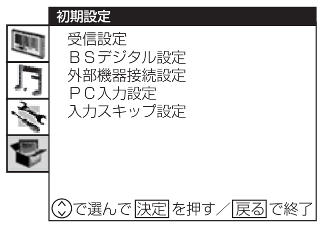
1 地域番号一覧表からお住まいの都市の地域番号を調べる 122 ～ 127

2 メニューボタンを押す

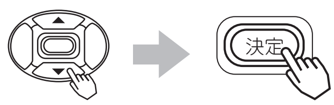


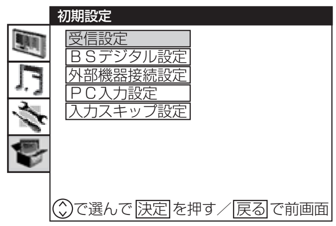
3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



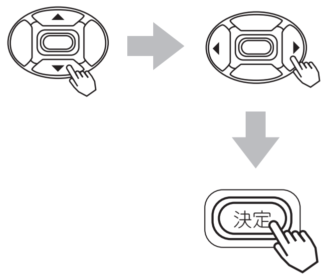


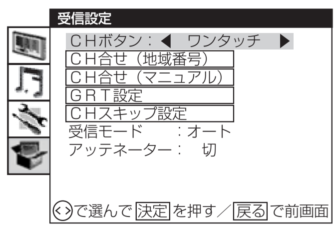
4 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す





5 で「CHボタン」を選び、 で「ワンタッチ」を選択し、決定ボタンを押す



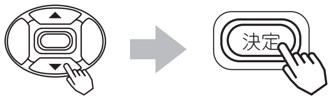


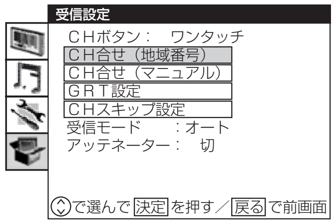
（注）10キー（CATV）を選んでいると、CH合せ（地域番号）の設定は使用できません。
CH合せ（地域番号）の表示が消えます。

お知らせ

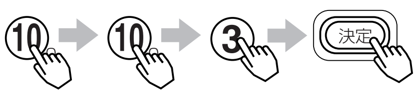
一覧表の都市名にお住いの場合でも、場所によって放送局が異なる場合があります。このような場合は、チャンネルの合わせかた（マニュアル）128 によって設定を行ってください。
一部の放送局（●マーク）は、CHスキップ設定が「スキップする」に設定されています。必要に応じて、CHスキップ設定（ 134 ）を「スキップしない」に設定してください。

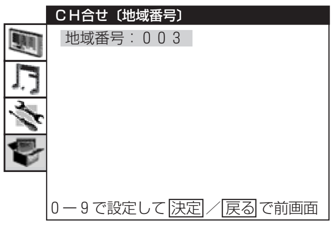
6 で「CH合せ（地域番号)」を選び、決定ボタンを押す





7 〔地域番号一覧表〕 122 ～ 127 を参照して、チャンネルボタンで地域番号を設定し、決定ボタンを押す





8 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メモ

お買い上げ時の設定に戻すには、手順 7 で「000」（⑩0⑩0⑩0）を入力します。

地域番号によるチャンネル合せについて

地域番号一覧表に記載されている地域の場合は、地域番号を設定するだけで自動的にチャンネルが設定されます。

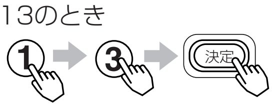
地域番号の入力について

7 の操作のときに、頭に「0」の付く番号は、「0」を省略することができます。

003のとき



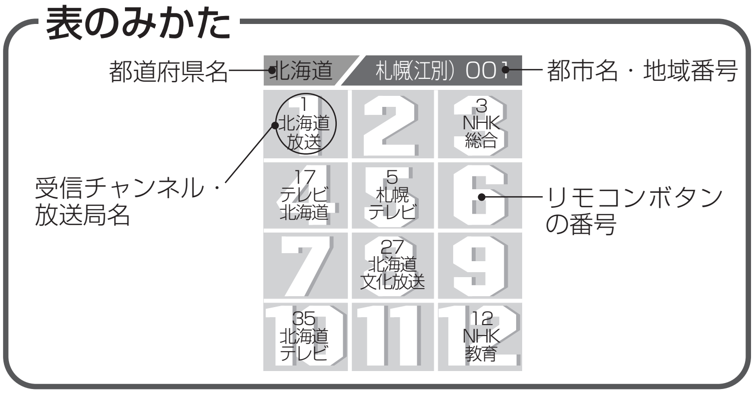
013のとき



テレビ放送の受信設定について（つづき）

〔地域番号一覧表〕（2001年8月現在）

（　）内の数字は表示番号を示します。



Each cell: remote-control button number: reception channel and broadcaster.

北海道 / 札幌(江別) 001

1: 1 北海道放送	2	3: 3 NHK総合
4: 17 テレビ北海道	5: 5 札幌テレビ	6
7	8: 27 北海道文化放送	9
10: 35 北海道テレビ	11	12: 12 NHK教育

北海道 / 旭川 048

1	2: 2 NHK教育	3
4: 33 テレビ北海道	5: 37 北海道文化放送	6: 39 北海道テレビ
7: 7 札幌テレビ	8	9: 9 NHK総合
10	11: 11 北海道放送	12

北海道 / 北見 049

1	2: 2 NHK教育	3
4	5	6
7: 7 札幌テレビ	8: 53 北海道放送	9: 9 NHK総合
10: 59 北海道文化放送	11: 61 北海道テレビ	12

北海道 / 帯広 050

1	2	3
4: 4 NHK総合	5	6: 6 北海道放送
7: 32 北海道文化放送	8	9: 34 北海道テレビ
10: 10 札幌テレビ	11	12: 12 NHK教育

北海道 / 釧路 051

1	2: 2 NHK教育	3: 39 北海道テレビ
4: 41 北海道文化放送	5	6
7: 7 札幌テレビ	8	9: 9 NHK総合
10	11: 11 北海道放送	12

北海道 / 函館 052

1: 21 テレビ北海道	2: 27 北海道文化放送	3: 35 北海道テレビ
4: 4 NHK総合	5	6: 6 北海道放送
7	8	9
10: 10 NHK教育	11	12: 12 札幌テレビ

北海道 / 苫小牧 066

1: 47 テレビ北海道	2: 49 NHK教育	3: 51 NHK総合
4: 53 北海道文化放送	5: 55 北海道放送	6: 57 札幌テレビ
7: 61 北海道テレビ	8	9
10	11	12

北海道 / 小樽 067

1	2: 2 NHK教育	3
4: 4 北海道テレビ	5	6
7: 7 札幌テレビ	8	9: 9 北海道放送
10: 24 テレビ北海道	11: 11 NHK総合	12: 26 北海道文化放送

北海道 / 室蘭 068

1	2: 2 NHK教育	3: 29 テレビ北海道
4: 37 北海道文化放送	5: 39 北海道テレビ	6
7: 7 札幌テレビ	8	9: 9 NHK総合
10	11: 11 北海道放送	12

北海道 / 名寄 100

1: 24 北海道テレビ	2	3: 26 北海道文化放送
4: 4 NHK総合	5	6: 6 札幌テレビ
7	8	9
10: 10 北海道放送	11	12: 12 NHK教育

北海道 / 稚内 101

1	2	3
4: 22 札幌テレビ	5: 24 北海道テレビ	6: 26 北海道文化放送
7: 28 NHK総合	8: 30 NHK教育	9
10: 10 北海道放送	11	12

北海道 / 網走 102

1: 1 北海道放送	2	3: 3 NHK総合
4	5: 5 札幌テレビ	6
7: 27 北海道文化放送	8	9: 35 北海道テレビ
10	11	12: 12 NHK教育

青森 / 青森(弘前) 002

1: 1 青森放送	2	3: 3 NHK総合
4	5: 5 NHK教育	6
7: 34 青森朝日放送	8	9: 38 青森テレビ
10	11	12

青森 / 八戸 053

1	2	3
4: 31 青森朝日放送	5	6: 33 青森テレビ
7: 7 NHK教育	8	9: 9 NHK総合
10	11: 11 青森放送	12

青森 / むつ 103

1	2	3
4: 4 NHK総合	5	6: 56 青森朝日放送
7	8: 58 青森テレビ	9
10: 10 青森放送	11	12: 12 NHK教育

岩手 / 盛岡 003

1	2	3
4: 4 NHK総合	5	6: 6 岩手放送
7	8: 8 NHK教育	9
10: 33 めんこいテレビ	11: 31 岩手朝日テレビ	12: 35 テレビ岩手

岩手 / 釜石 104

1	2: 2 NHK総合	3
4: 58 テレビ岩手	5	6: 60 めんこいテレビ
7	8: 62 岩手朝日テレビ	9
10: 10 岩手放送	11	12: 12 NHK教育

岩手　二戸 105

1	2 — 2 岩手放送	3
4	5 — 5 NHK総合	6
7 — 27 岩手朝日テレビ	8 — 29 めんこいテレビ	9 — 37 テレビ岩手
10	11	12 — 12 NHK教育

宮城　仙台 004

1 — 1 東北放送	2	3 — 3 NHK総合
4	5 — 5 NHK教育	6
7 — 32 東日本放送	8	9 — 34 宮城テレビ
10	11	12 — 12 仙台放送

宮城　石巻 106

1 — 59 東北放送	2	3 — 51 NHK総合
4	5 — 49 NHK教育	6
7 — 61 東日本放送	8	9 — 55 宮城テレビ
10	11	12 — 57 仙台放送

宮城　気仙沼 107

1	2 — 2 NHK総合	3
4 — 4 東北放送	5	6 — 6 仙台放送
7 — 37 宮城テレビ	8 — 43 東日本放送	9
10 — 10 NHK教育	11	12

秋田　秋田 005

1	2 — 2 NHK教育	3
4	5	6
7 — 31 秋田朝日放送	8 — 37 秋田テレビ	9 — 9 NHK総合
10	11 — 11 秋田放送	12

秋田　大館 054

1	2	3
4 — 4 NHK総合	5 — 57 秋田テレビ	6 — 6 秋田放送
7	8 — 8 NHK教育	9
10	11	12 — 59 秋田朝日放送

秋田　大曲 108

1	2 — 43 NHK教育	3
4	5	6
7 — 41 秋田朝日放送	8 — 51 秋田テレビ	9 — 45 NHK総合
10	11 — 47 秋田放送	12

山形　山形 006

1	2	3
4 — 4 NHK教育	5	6 — 36 テレビユー山形
7	8 — 8 NHK総合	9
10 — 10 山形放送	11 — 30 さくらんぼテレビ	12 — 38 山形テレビ

山形　鶴岡(酒田) 055

1 — 1 山形放送	2	3 — 3 NHK総合
4	5	6 — 6 NHK教育
7	8 — 22 テレビユー山形	9
10 — 39 山形テレビ	11	12 — 24 さくらんぼテレビ

山形　米沢 109

1	2	3
4 — 50 NHK教育	5	6 — 56 テレビユー山形
7	8 — 52 NHK総合	9
10 — 54 山形放送	11 — 60 さくらんぼテレビ	12 — 58 山形テレビ

福島　福島(郡山) 007

1	2 — 2 NHK教育	3
4 — 31 テレビユー福島	5	6
7 — 33 福島中央テレビ	8 — 35 福島放送	9 — 9 NHK総合
10	11 — 11 福島テレビ	12

福島　会津若松 056

1 — 1 NHK総合	2	3 — 3 NHK教育
4	5	6 — 6 福島テレビ
7	8 — 37 福島中央テレビ	9 — 41 福島放送
10	11	12 — 47 テレビユー福島

福島　いわき 057

1	2 — 32 テレビユー福島	3
4 — 4 NHK総合	5	6 — 34 福島中央テレビ
7	8 — 8 福島テレビ	9
10 — 10 NHK教育	11	12 — 36 福島放送

茨城　水戸 008

1 — 44 (1) NHK総合	2	3 — 46 (3) NHK教育
4 — 42 (4) 日本テレビ	5	6 — 40 (6) TBSテレビ
7	8 — 38 (8) フジテレビ	9
10 — 36 (10) テレビ朝日	11	12 — 32 (12) テレビ東京

茨城　日立(ひたちなか) 069

1 — 52 (1) NHK総合	2	3 — 50 (3) NHK教育
4 — 54 (4) 日本テレビ	5	6 — 56 (6) TBSテレビ
7	8 — 58 (8) フジテレビ	9
10 — 60 (10) テレビ朝日	11	12 — 62 (12) テレビ東京

栃木　宇都宮 009

1 — 29 (1) NHK総合	2	3 — 27 (3) NHK教育
4 — 25 (4) 日本テレビ	5	6 — 23 (6) TBSテレビ
7 — ●31 とちぎテレビ	8 — 21 (8) フジテレビ	9
10 — 19 (10) テレビ朝日	11	12 — 17 (12) テレビ東京

栃木　矢板 070

1 — 51 (1) NHK総合	2	3 — 49 (3) NHK教育
4 — 53 (4) 日本テレビ	5	6 — 55 (6) TBSテレビ
7 — ●33(31) とちぎテレビ	8 — 57 (8) フジテレビ	9
10 — 59 (10) テレビ朝日	11	12 — 61 (12) テレビ東京

群馬　前橋(高崎) 010

1 — 52 (1) NHK総合	2	3 — 50 (3) NHK教育
4 — 54 (4) 日本テレビ	5	6 — 56 (6) TBSテレビ
7	8 — 58 (8) フジテレビ	9
10 — 60 (10) テレビ朝日	11 — ●48 群馬テレビ	12 — 62 (12) テレビ東京

群馬　桐生 071

1 — 43 (1) NHK総合	2	3 — 45 (3) NHK教育
4 — 39 (4) 日本テレビ	5	6 — 37 (6) TBSテレビ
7	8 — 35 (8) フジテレビ	9
10 — 33 (10) テレビ朝日	11 — ●41(48) 群馬テレビ	12 — 31 (12) テレビ東京

埼玉　浦和 011

1 — 1 NHK総合	2	3 — 3 NHK教育
4 — 4 日本テレビ	5 — ●14 MXテレビ	6 — 6 TBSテレビ
7	8 — 8 フジテレビ	9 — ●38 テレビ埼玉
10 — 10 テレビ朝日	11	12 — 12 テレビ東京

埼玉　熊谷 072

1 — 33 (1) NHK総合	2	3 — 35 (3) NHK教育
4 — 25 (4) 日本テレビ	5	6 — 23 (6) TBSテレビ
7	8 — 21 (8) フジテレビ	9 — ●28(38) テレビ埼玉
10 — 19 (10) テレビ朝日	11	12 — 17 (12) テレビ東京

埼玉　秩父 110

1 — 51 (1) NHK総合	2	3 — 49 (3) NHK教育
4 — 53 (4) 日本テレビ	5	6 — 55 (6) TBSテレビ
7	8 — 57 (8) フジテレビ	9 — ●47(38) テレビ埼玉
10 — 59 (10) テレビ朝日	11	12 — 61 (12) テレビ東京

千葉　千葉 012

1 — 1 NHK総合	2	3 — 3 NHK教育
4 — 4 日本テレビ	5 — ●14 MXテレビ	6 — 6 TBSテレビ
7	8 — 8 フジテレビ	9
10 — 10 テレビ朝日	11 — ●46 千葉テレビ	12 — 12 テレビ東京

千葉　銚子 111

1 — 51 (1) NHK総合	2	3 — 49 (3) NHK教育
4 — 53 (4) 日本テレビ	5	6 — 55 (6) TBSテレビ
7	8 — 57 (8) フジテレビ	9
10 — 59 (10) テレビ朝日	11 — ●39(46) 千葉テレビ	12 — 61 (12) テレビ東京

東京　23区 013

1 — 1 NHK総合	2	3 — 3 NHK教育
4 — 4 日本テレビ	5 — ●14 MXテレビ	6 — 6 TBSテレビ
7 — ●38 テレビ埼玉	8 — 8 フジテレビ	9 — ●42 TVKテレビ
10 — 10 テレビ朝日	11 — ●46 千葉テレビ	12 — 12 テレビ東京

テレビ放送の受信設定について（つづき）

表のみかた

都道府県名：北海道　／　都市名・地域番号：札幌(江別) 001

1 北海道放送	2	3 NHK総合
17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6
7	27 北海道文化放送	9
35 北海道テレビ	11	12 NHK教育

受信チャンネル・放送局名

リモコンボタンの番号

※( )内の数字は表示番号を示します。

東京 / 八王子 073

51(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ	●47(14) MXテレビ	55(6) TBSテレビ
7	57(8) フジテレビ	9
59(10) テレビ朝日	11	61(12) テレビ東京

東京 / 多摩 074

30(1) NHK総合	2	32(3) NHK教育
26(4) 日本テレビ	●28(14) MXテレビ	24(6) TBSテレビ
7	22(8) フジテレビ	9
20(10) テレビ朝日	11	18(12) テレビ東京

神奈川 / 横浜1 112

52(1) NHK総合	2	50(3) NHK教育
54(4) 日本テレビ	5	56(6) TBSテレビ
7	58(8) フジテレビ	●48(42) TVKテレビ
60(10) テレビ朝日	11	62(12) テレビ東京

神奈川 / 横浜2 014

1 NHK総合	2	3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 MXテレビ	6 TBSテレビ
7	8 フジテレビ	●42 TVKテレビ
10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京

神奈川 / 平塚(茅ヶ崎) 075

33(1) NHK総合	2	29(3) NHK教育
35(4) 日本テレビ	5	37(6) TBSテレビ
7	39(8) フジテレビ	●31(42) TVKテレビ
41(10) テレビ朝日	11	43(12) テレビ東京

神奈川 / 小田原 076

52(1) NHK総合	2	50(3) NHK教育
54(4) 日本テレビ	5	56(6) TBSテレビ
7	58(8) フジテレビ	●46(42) TVKテレビ
60(10) テレビ朝日	11	62(12) テレビ東京

神奈川 / 秦野 077

47(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
51(4) 日本テレビ	5	53(6) TBSテレビ
7	55(8) フジテレビ	●6(42) TVKテレビ
57(10) テレビ朝日	11	59(12) テレビ東京

新潟 / 新潟(長岡) 015

1	2	3
21 新潟テレビ21	5 新潟放送	29 テレビ新潟
7	8 NHK総合	9
35 新潟総合テレビ	11	12 NHK教育

新潟 / 上越 078

1 NHK教育	2	3 NHK総合
4	5	27 テレビ新潟
7	33 新潟総合テレビ	9
10 新潟放送	11	37 新潟テレビ21

富山 / 富山 016

1 北日本放送	2	3 NHK総合
4	5	6
7	32 チューリップテレビ	9
10 NHK教育	11	34 富山テレビ

富山 / 高岡 079

50 北日本放送	2	48 NHK総合
4	5	6
7	42 チューリップテレビ	9
46 NHK教育	11	44 富山テレビ

石川 / 金沢(小松) 017

1	2	3
4 NHK総合	5	6 北陸放送
25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9
33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ

石川 / 七尾 115

1	2	3
4	5 NHK教育	6
59 北陸朝日放送	8	9 NHK総合
57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ

福井 / 福井 018

1	2	3 NHK教育
4	5	6
7	8	9 NHK総合
10	11 福井放送	39 福井テレビ

福井 / 敦賀 116

1	2	3
38 福井テレビ	5	6 NHK総合
7	8 福井放送	9
10	11	12 NHK教育

山梨 / 甲府 019

1 NHK総合	2	3 NHK教育
4	5 山梨放送	37 テレビ山梨
7	8	9
10	11	12

長野 / 長野1 113

1	44(2) NHK総合	3
4	50(20) 長野朝日放送	6
40(30) テレビ信州	42(38) 長野放送	46(9) NHK教育
10	48(11) 信越放送	12

長野 / 長野2 020

1	2 NHK総合	3
4	20 長野朝日放送	6
30 テレビ信州	38 長野放送	9 NHK教育
10	11 信越放送	12

長野 / 飯田 058

40 長野放送	2	3 NHK教育
4 NHK総合	5	6 信越放送
42 テレビ信州	8	44 長野朝日放送
10	11	12

長野 / 松本 080

1	44 NHK総合	3
4	50 長野朝日放送	6
48 テレビ信州	42 長野放送	46 NHK教育
10	40 信越放送	12

長野 / 岡谷(諏訪) 114

1	2	3
4 NHK総合	5	6 信越放送
7	8 NHK教育	9
47 長野放送	59 テレビ信州	61 長野朝日放送

岐阜 / 岐阜(大垣) 021

1 東海テレビ	2	3 NHK総合
4	5 中部日本放送	6
35 中京テレビ	25 テレビ愛知	9 NHK教育
10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送

岐阜 / 高山 117

1	2 NHK教育	3
4 NHK総合	5	6 中部日本放送
7	8 東海テレビ	9
26 中京テレビ	38 岐阜放送	12 名古屋テレビ

岐阜 / 中津川 118

1	26 中京テレビ	3
4 NHK総合	5	6 名古屋テレビ
7	8 中部日本放送	9
10 東海テレビ	28 岐阜放送	12 NHK教育

静岡 / 静岡(清水) 022

1	2 NHK教育	3
31 静岡第一テレビ	33 静岡朝日テレビ	35 テレビ静岡
7	8	9 NHK総合
10	11 静岡放送	12

静岡 浜松 059

1	2	3
4 4 NHK 総合	5	6 6 静岡放送
7	8 8 NHK 教育	9 28 静岡朝日テレビ
10 30 静岡第一テレビ	11	12 34 テレビ静岡

静岡 富士(富士宮) 081

1	2 54 NHK 教育	3
4 27 静岡第一テレビ	5	6 29 静岡朝日テレビ
7	8	9 52 NHK 総合
10	11 41 静岡放送	12 39 テレビ静岡

静岡 沼津(三島) 082

1	2 51 NHK 教育	3
4 61 静岡第一テレビ	5	6 57 静岡朝日テレビ
7	8	9 53 NHK 総合
10	11 55 静岡放送	12 59 テレビ静岡

静岡 島田 083

1 15(1) NHK 総合	2	3 18(3) NHK 教育
4	5 22(5) 静岡放送	6
7	8 48 静岡第一テレビ	9
10 50 静岡朝日テレビ	11	12 58 テレビ静岡

静岡 藤枝 119

1 42 NHK 総合	2	3 44 NHK 教育
4	5 40 静岡放送	6
7	8 24 静岡第一テレビ	9
10 26 静岡朝日テレビ	11	12 38 テレビ静岡

愛知 名古屋 023

1 1 東海テレビ	2	3 3 NHK 総合
4	5 5 中部日本放送	6
7 25 テレビ愛知	8 ●37 岐阜放送	9 9 NHK 教育
10 ●33 三重テレビ	11 11 名古屋テレビ	12 35 中京テレビ

愛知 豊橋(豊川) 084

1 56(1) 東海テレビ	2	3 54(3) NHK 総合
4	5 62(5) 中部日本放送	6
7 52(25) テレビ愛知	8	9 50(9) NHK 教育
10	11 60(11) 名古屋テレビ	12 58(35) 中京テレビ

愛知 豊田 085

1 57(1) 東海テレビ	2	3 53(3) NHK 総合
4	5 55(5) 中部日本放送	6
7 49(25) テレビ愛知	8	9 51(9) NHK 教育
10	11 61(11) 名古屋テレビ	12 59(35) 中京テレビ

愛知 蒲郡田原 120

1 38(1) 東海テレビ	2	3 44(3) NHK 総合
4	5 36(5) 中部日本放送	6
7 32(25) テレビ愛知	8	9 46(9) NHK 教育
10	11 42(11) 名古屋テレビ	12 40(35) 中京テレビ

三重 津 024

1 1 東海テレビ	2	3 3 NHK 総合
4	5 5 中部日本放送	6
7 25 テレビ愛知	8	9 9 NHK 教育
10 33 三重テレビ	11 11 名古屋テレビ	12 35 中京テレビ

三重 伊勢 086

1 57(1) 東海テレビ	2	3 53(3) NHK 総合
4	5 55(5) 中部日本放送	6
7	8	9 49(9) NHK 教育
10 59(33) 三重テレビ	11 61(11) 名古屋テレビ	12 47(35) 中京テレビ

三重 名張(上野) 121

1 52 NHK 総合	2 2 NHK 総合	3 54 中京テレビ
4 4 毎日放送	5 56 名古屋テレビ	6 6 朝日放送
7 58 三重テレビ	8 8 関西テレビ	9 60 中部日本放送
10 10 読売テレビ	11 62 東海テレビ	12 12 NHK 教育

滋賀 大津 025

1	2 28(2) NHK 総合	3
4 36(4) 毎日放送	5	6 38(6) 朝日放送
7	8 40(8) 関西テレビ	9 ●34 京都テレビ
10 42(10) 読売テレビ	11 30 びわ湖放送	12 46(12) NHK 教育

滋賀 彦根 087

1	2 52(2) NHK 総合	3
4 54(4) 毎日放送	5	6 58(6) 朝日放送
7	8 60(8) 関西テレビ	9 ●34 京都テレビ
10 62(10) 読売テレビ	11 56(30) びわ湖放送	12 50(12) NHK 教育

京都 京都 026

1	2 2 NHK 総合	3
4 4 毎日放送	5 ●19 テレビ大阪	6 6 朝日放送
7 ●26 奈良テレビ	8 8 関西テレビ	9 34 京都テレビ
10 10 読売テレビ	11 ●36 サンテレビ	12 12 NHK 教育

京都 舞鶴1 122

1	2 43(2) NHK 総合	3
4 33(4) 毎日放送	5	6 35(6) 朝日放送
7	8 39(8) 関西テレビ	9 37(34) 京都テレビ
10 41(10) 読売テレビ	11	12 45(12) NHK 教育

京都 舞鶴2 123

1	2 51(2) NHK 総合	3
4 53(4) 毎日放送	5	6 55(6) 朝日放送
7	8 59(8) 関西テレビ	9 57(34) 京都テレビ
10 61(10) 読売テレビ	11	12 49(12) NHK 教育

京都 福知山 124

1	2 50(2) NHK 総合	3
4 54(4) 毎日放送	5 56(34) 京都テレビ	6 58(6) 朝日放送
7	8 60(8) 関西テレビ	9
10 62(10) 読売テレビ	11	12 52(12) NHK 教育

京都 宮津 125

1	2 43(2) NHK 総合	3
4 33(4) 毎日放送	5	6 35(6) 朝日放送
7	8 37(8) 関西テレビ	9 39(34) 京都テレビ
10 41(10) 読売テレビ	11	12 45(12) NHK 教育

大阪 大阪 027

1	2 2 NHK 総合	3
4 4 毎日放送	5 19 テレビ大阪	6 6 朝日放送
7 ●30 テレビ和歌山	8 8 関西テレビ	9 ●34 京都テレビ
10 10 読売テレビ	11 ●36 サンテレビ	12 12 NHK 教育

兵庫 神戸 028

1	2 2 NHK 総合	3 36 サンテレビ
4 4 毎日放送	5 ●19 テレビ大阪	6 6 朝日放送
7 ●30 テレビ和歌山	8 8 関西テレビ	9 ●34 京都テレビ
10 10 読売テレビ	11	12 12 NHK 教育

兵庫 神戸北 130

1	2 28(2) NHK 総合	3 36 サンテレビ
4 18(4) 毎日放送	5 19 テレビ大阪	6 20(6) 朝日放送
7	8 22(8) 関西テレビ	9
10 24(10) 読売テレビ	11	12 26(12) NHK 教育

兵庫 川西1 131

1	2 29(2) NHK 総合	3 33(36) サンテレビ
4 35(4) 毎日放送	5 21(19) テレビ大阪	6 37(6) 朝日放送
7	8 39(8) 関西テレビ	9
10 41(10) 読売テレビ	11	12 31(12) NHK 教育

兵庫 川西2 132

1	2 49(2) NHK 総合	3 53(36) サンテレビ
4 55(4) 毎日放送	5 47(19) テレビ大阪	6 57(6) 朝日放送
7	8 59(8) 関西テレビ	9
10 61(10) 読売テレビ	11	12 51(12) NHK 教育

兵庫 姫路 088

1	2 50(2) NHK 総合	3 56(36) サンテレビ
4 54(4) 毎日放送	5	6 58(6) 朝日放送
7	8 60(8) 関西テレビ	9
10 62(10) 読売テレビ	11	12 52(12) NHK 教育

テレビ放送の受信設定について(つづき)

表のみかた

都道府県名：北海道　都市名・地域番号：札幌(江別) 00

1　1 北海道放送	2	3　3 NHK総合
4　17 テレビ北海道	5　5 札幌テレビ	6
7	8　27 北海道文化放送	9
10　35 北海道テレビ	11	12　12 NHK教育

受信チャンネル・放送局名

リモコンボタンの番号

※( )内の数字は表示番号を示します。

兵庫 / 明石(加古川) 089

1	2　51(2) NHK総合	3　55(36) サンテレビ
4　53(4) 毎日放送	5　●19 テレビ大阪	6　57(6) 朝日放送
7	8　59(8) 関西テレビ	9
10　61(10) 読売テレビ	11	12　49(12) NHK教育

兵庫 / 三木 090

1	2　44(2) NHK総合	3　36 サンテレビ
4　34(4) 毎日放送	5	6　38(6) 朝日放送
7	8　40(8) 関西テレビ	9
10　42(10) 読売テレビ	11	12　46(12) NHK教育

奈良 / 奈良(橿原) 029

1	2　2 NHK総合	3
4　4 毎日放送	5　●19 テレビ大阪	6　6 朝日放送
7	8　8 関西テレビ	9　55 奈良テレビ
10　10 読売テレビ	11　●34 京都テレビ	12　12 NHK教育

奈良 / 五条 126

1	2　43(2) NHK総合	3
4　33(4) 毎日放送	5	6　35(6) 朝日放送
7	8　37(8) 関西テレビ	9　41(55) 奈良テレビ
10　39(10) 読売テレビ	11	12　45(12) NHK教育

和歌山 / 和歌山 030

1	2　32(2) NHK総合	3
4　42(4) 毎日放送	5	6　44(6) 朝日放送
7	8　46(8) 関西テレビ	9
10　48(10) 読売テレビ	11　30 テレビ和歌山	12　26(12) NHK教育

和歌山 / 田辺(白浜) 127

1	2　50(2) NHK総合	3
4　54(4) 毎日放送	5	6　58(6) 朝日放送
7	8　60(8) 関西テレビ	9
10　62(10) 読売テレビ	11　56(30) テレビ和歌山	12　52(12) NHK教育

和歌山 / 田辺(槙山) 128

1	2　16(2) NHK総合	3
4　22(4) 毎日放送	5	6　25(6) 朝日放送
7	8　27(8) 関西テレビ	9
10　29(10) 読売テレビ	11　20(30) テレビ和歌山	12　18(12) NHK教育

和歌山 / 御坊 129

1	2　49(2) NHK総合	3
4　53(4) 毎日放送	5	6　57(6) 朝日放送
7	8　59(8) 関西テレビ	9
10　61(10) 読売テレビ	11　55(30) テレビ和歌山	12　51(12) NHK教育

鳥取 / 鳥取 031

1　1 日本海テレビ	2	3　3 NHK総合
4　4 NHK教育	5	6
7	8	9
10　22 山陰放送	11	12　24 山陰中央テレビ

島根 / 松江 032

1　30 日本海テレビ	2	3
4	5	6　6 NHK総合
7	8　34 山陰中央テレビ	9
10　10 山陰放送	11	12　12 NHK教育

島根 / 浜田 061

1	2　2 NHK総合	3　54 日本海テレビ
4	5　5 山陰放送	6
7	8　58 山陰中央テレビ	9　9 NHK教育
10	11	12

岡山 / 岡山(倉敷) 033

1　23 テレビせとうち	2　25 瀬戸内海放送	3　3 NHK教育
4	5　5 NHK総合	6
7　35 岡山放送	8	9　9 西日本放送
10	11　11 山陽放送	12

岡山 / 津山 133

1	2　2 NHK総合	3
4	5	6
7　7 山陽放送	8　56 テレビせとうち	9　58 西日本放送
10　60 岡山放送	11　62 瀬戸内海放送	12　12 NHK教育

岡山 / 笠岡 134

1	2　2 NHK総合	3
4　4 NHK教育	5	6　6 山陽放送
7	8　17 西日本放送	9
10　19 テレビせとうち	11　21 瀬戸内海放送	12　60 岡山放送

広島 / 広島 034

1　31 テレビ新広島	2	3　3 NHK総合
4　4 中国放送	5	6
7　7 NHK教育	8	9
10　35 広島ホームテレビ	11	12　12 広島テレビ

広島 / 福山 060

1	2	3　3 NHK教育
4	5　5 NHK総合	6　54 テレビ新広島
7　7 中国放送	8	9　57 広島ホームテレビ
10	11　11 広島テレビ	12

広島 / 尾道 135

1　1 NHK総合	2	3　24 広島ホームテレビ
4	5　26 テレビ新広島	6
7　7 NHK教育	8	9
10　10 中国放送	11	12　12 広島テレビ

広島 / 呉 091

1　1 NHK教育	2	3　24 広島ホームテレビ
4	5　5 広島テレビ	6
7　26 テレビ新広島	8	9　9 中国放送
10	11　11 NHK総合	12

山口 / 山口 035

1　1 NHK教育	2	3
4　28 山口朝日放送	5	6
7　38 テレビ山口	8	9　9 NHK総合
10	11　11 山口放送	12

山口 / 下関 092

1	2　2 九州朝日放送	3　33 テレビ山口
4　4 山口放送	5　35 福岡放送	6　6 NHK総合
7　39 NHK総合	8　8 RKB毎日放送	9　23 テレビQ
10　10 テレビ西日本	11　21 山口朝日放送	12　12 NHK教育

山口 / 宇部 093

1　14 NHK教育	2	3
4	5　31 山口朝日放送	6
7　20 テレビ山口	8	9　16 NHK総合
10	11　18 山口放送	12

山口 / 岩国 094

1	2	3　3 NHK総合
4　4 中国放送	5　31 テレビ新広島	6　35 広島ホームテレビ
7　7 NHK教育	8	9　28 山口朝日放送
10　22 テレビ山口	11　11 山口放送	12　12 広島テレビ

徳島 / 徳島 036

1　1 四国放送	2	3　3 NHK総合
4　4 毎日放送	5	6　6 朝日放送
7	8　8 関西テレビ	9
10　10 読売テレビ	11	12　12 NHK教育

香川 / 高松 037

1　19 テレビせとうち	2　33 瀬戸内海放送	3　39 NHK教育
4	5　37 NHK総合	6
7　31 岡山放送	8	9　41 西日本放送
10	11　29 山陽放送	12

香川 / 丸亀 095

1　16 テレビせとうち	2　42 瀬戸内海放送	3　40 NHK教育
4	5　44 NHK総合	6
7　22 岡山放送	8	9　20 西日本放送
10	11　18 山陽放送	12

愛媛／松山 038

1	2 NHK教育	3
25 愛媛朝日テレビ	29 あいテレビ	6 NHK総合
●31 テレビ新広島	37 愛媛放送	●35 広島ホームテレビ
10 南海放送	11	12

愛媛／新居浜 062

1	2 NHK総合	3
4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海放送
●42 瀬戸内海放送	36 愛媛放送	●9 西日本放送
27 あいテレビ	●11 山陽放送	12

愛媛／今治 096

1	30 NHK教育	3
14 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ	32 NHK総合
●42 瀬戸内海放送	36 愛媛放送	●9 西日本放送
34 南海放送	●11 山陽放送	12

愛媛／宇和島 136

1 NHK教育	2	3
16 愛媛朝日テレビ	5	6 NHK総合
32 愛媛放送	8	34 あいテレビ
10 南海放送	11	12

高知／高知 039

1	2	3
4 NHK総合	5	6 NHK教育
7	8 高知テレビ	9
38 テレビ高知	11	40 さんさんテレビ

福岡／福岡 040

1 九州朝日放送	2	3 NHK総合
4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育
7	8	9 テレビ西日本
10	19 テレビQ	37 福岡放送

福岡／北九州 063

1	2 九州朝日放送	23 テレビQ
35 福岡放送	5	6 NHK総合
7	8 RKB毎日放送	9
10 テレビ西日本	11	12 NHK教育

福岡／久留米 097

14 テレビQ	46 NHK総合	48 RKB毎日放送
52 福岡放送	54 NHK教育	57 九州朝日放送
60 テレビ西日本	8	9
10	11	12

福岡／大牟田 098

19 テレビQ	43 福岡放送	50 NHK教育
53 NHK総合	55 テレビ西日本	58 九州朝日放送
61 RKB毎日放送	8	9
10	11	12

福岡／行橋 137

19 テレビQ	43 福岡放送	46 NHK教育
49 NHK総合	54 テレビ西日本	57 九州朝日放送
60 RKB毎日放送	8	9
10	11	12

佐賀／佐賀 041

14 テレビQ	36 サガテレビ	38 NHK総合
40 NHK教育	48 RKB毎日放送	52 福岡放送
57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9
10	11 熊本放送	12

長崎／長崎 042

1 NHK教育	2	3 NHK総合
4	5 長崎放送	6
37 テレビ長崎	8	25 長崎国際テレビ
10	27 長崎文化放送	12

長崎／諫早 139

45 NHK教育	2	47 NHK総合
4	49 長崎放送	6
42 テレビ長崎	8	20 長崎国際テレビ
10	24 長崎文化放送	12

長崎／佐世保 099

1	2 NHK教育	3
17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送
7	8 NHK総合	9
10 長崎放送	11	35 テレビ長崎

熊本／熊本(八代) 043

1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送
4	5	6
22 熊本県民テレビ	34 テレビ熊本	9 NHK総合
10	11 熊本放送	12

大分／大分(別府) 044

1	2	3 NHK総合
4	5 大分放送	6
36 テレビ大分	8	24 大分朝日放送
10	11	12 NHK教育

大分／中津 138

1	2	48 NHK総合
4	51 大分放送	6
37 テレビ大分	8	17 大分朝日放送
10	11	45 NHK教育

宮崎／宮崎(都城) 045

35 テレビ宮崎	2	3
4	5	6
7	8 NHK総合	9
10 宮崎放送	11	12 NHK教育

宮崎／延岡 064

39 テレビ宮崎	2 NHK教育	3
4 NHK総合	5	6 宮崎放送
7	8	9
10	11	12

鹿児島／鹿児島 046

1 南日本放送	2	3 NHK総合
4	5 NHK教育	6
30 鹿児島読売テレビ	8	32 鹿児島放送
10	38 鹿児島テレビ	12

鹿児島／阿久根 065

1	17 鹿児島読売テレビ	3
23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ
7	8 NHK総合	9
10 南日本放送	11	12 NHK教育

鹿児島／鹿屋 140

1	2 NHK教育	3
4 NHK総合	5	6 南日本放送
7	25 鹿児島読売テレビ	9
31 鹿児島放送	11	33 鹿児島テレビ

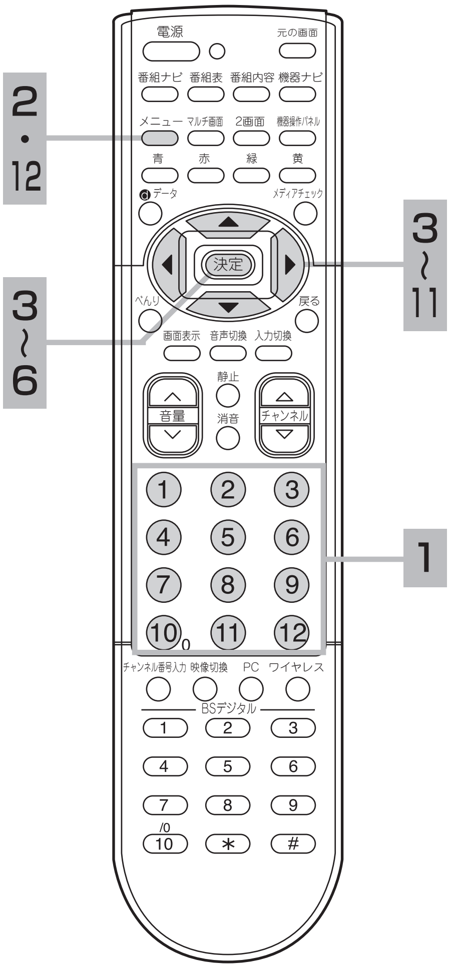
沖縄／那覇(沖縄) 047

1	2 NHK総合	3
4	5	6
7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送
10 琉球放送	11	12 NHK教育

テレビ放送の受信設定について（つづき）

チャンネルの合わせかた（マニュアル）

地域番号一覧表に記載されていない地域や、地域番号によるチャンネル合わせをした後でその他のチャンネルを追加設定することができます。



ワンタッチ方式

例）リモコンの⑤の位置にUHFの42チャンネルを設定する方法

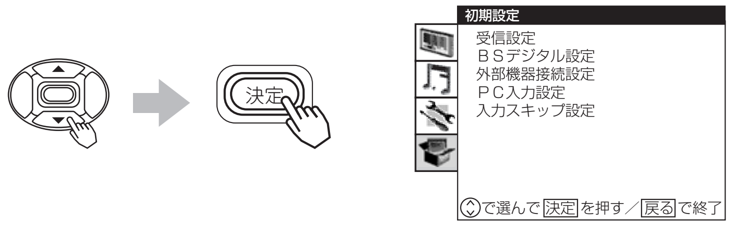
1 変えたいチャンネルボタンを押す



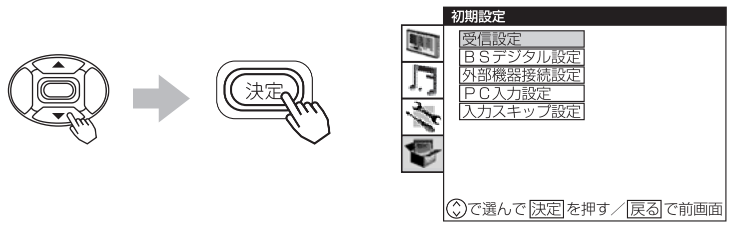
2 メニューボタンを押す



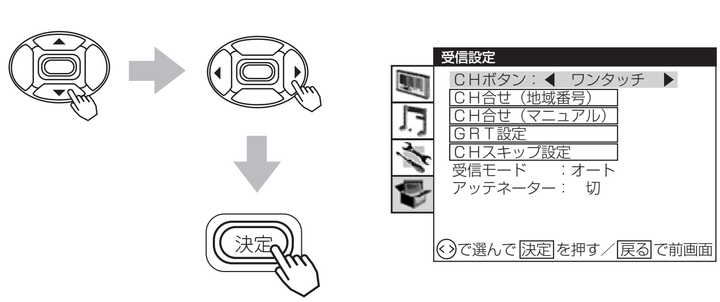
3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



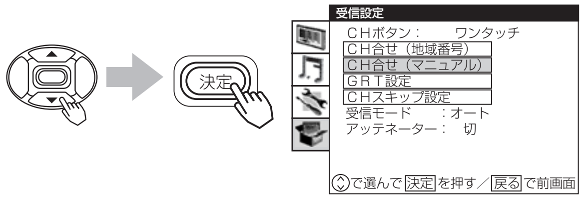
5 で「CHボタン」を選び、で「ワンタッチ」を選択し、決定ボタンを押す



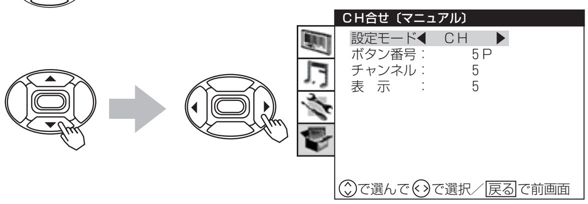
●お買い上げ時は、「ワンタッチ」に設定されています。
●ワンタッチ：1回だけボタンを押せば選局できます。
●10キー　　：2桁の数字で選局できます。130

> **メ モ**
>
> **ボタン番号13P～20Pについて**
>
> リモコンのボタンだけでは足りない場合の予備のボタン番号です。13P～20Pに設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネルアップダウンボタンで選ぶことができます。（チャンネルスキップ設定 134 を「スキップしない」に設定した場合）

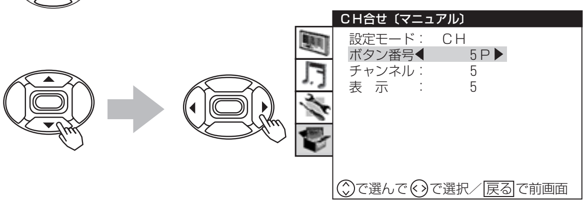
6 で「CH合せ〔マニュアル〕」を選び、決定ボタンを押す



7 で「設定モード」を選び、で「CH」を選択する

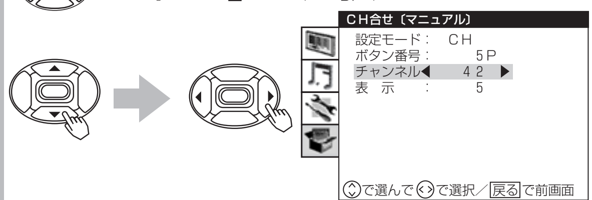


8 で「ボタン番号」を選び、で「5P」を選択する



最初は現在の受信チャンネルボタンが表示されます。

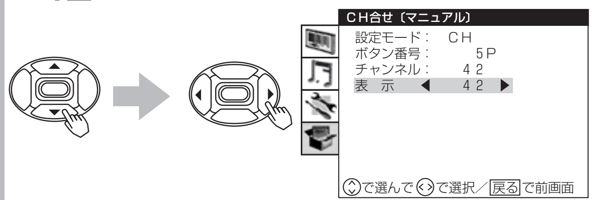
9 で「チャンネル」を選び、で「42」を選択する



- ● ボタンを0.5秒以上押し続けると自動的に放送チャンネルを探して止まり、映像が出ます。
- ●設定モードが「微調」のときは、受信しているチャンネルの同調を微調節することができます。

> **メ モ**
>
> **CATV（ケーブルテレビ）について**
>
> CATVはUHF62チャンネルと VHF1チャンネルの間で設定できます。
>
> VHF1～12⟷UHF13～62⟷CATV13～38
>
> CATVは、サービスがある地域でのみ受信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが必要です。また、スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、アダプターの使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。
>
> **選局時の「CH」、「微調」の選択について**
>
> 7 の操作のときに を押すと、選局モードがつぎのように変わります。
>
> | C H | ⟷ | 微 調 |
> |---|---|---|
> | チャンネルを切り換える場合に使います。 | | 電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合に使います。 |

10 で「表示」を選び、で「42」を選択する



画面表示ボタンを押すと「42」と表示されるようになります。

11 設定したチャンネルで、微調したい場合は で「設定モード」を選び、で「微調」に設定する で「チャンネル」を選び、で同調をずらし微調する

12 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

※複数のチャンネルを変更する場合 8～11 の操作をくり返す

設置

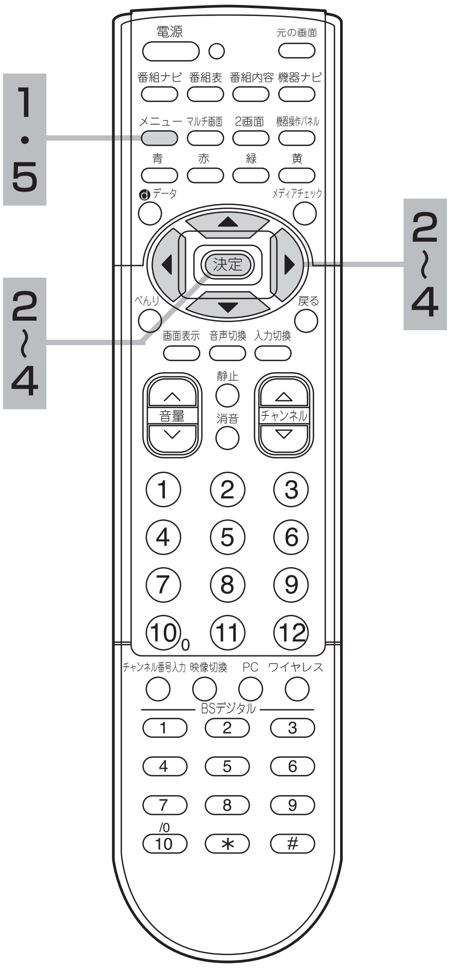
テレビ放送の受信設定について（つづき）

10キー方式にかえる場合

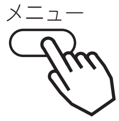
10キー方式について

CATVをご覧になるときは、10キー(CATV)を選択します。VHFおよびCATV (C13〜C38)が①〜⑩₀のボタンで選局することができます。10キー方式でチャンネルを選ぶときは、リモコンCHボタンは、次の意味となります。

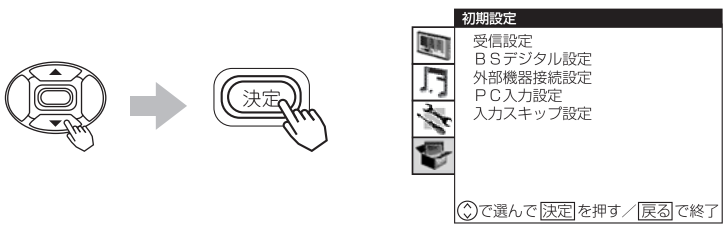
①〜⑨ ‥数字の1〜9
⑩₀‥‥‥数字の0
例）7チャンネル ‥‥‥⑩₀⑦
　　12チャンネル‥‥‥①②
　　CATV C35チャンネル‥‥③⑤



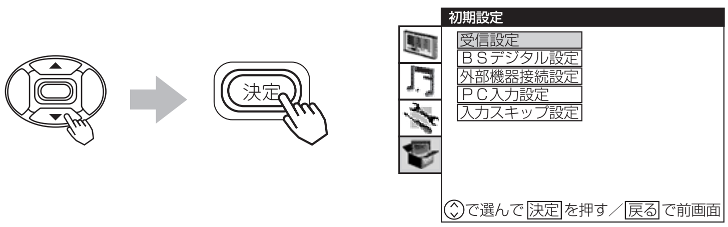
1 メニューボタンを押す



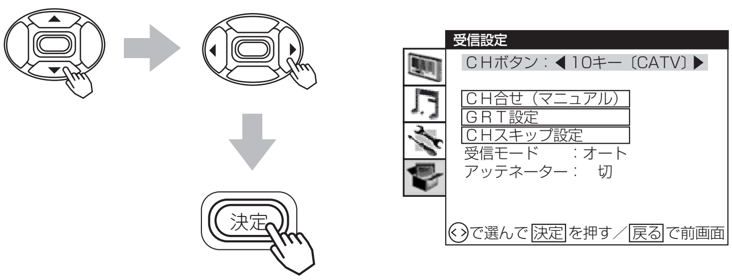
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で「CHボタン」を選び、で「10キー〔CATV〕」を選択して、決定ボタンを押す



5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

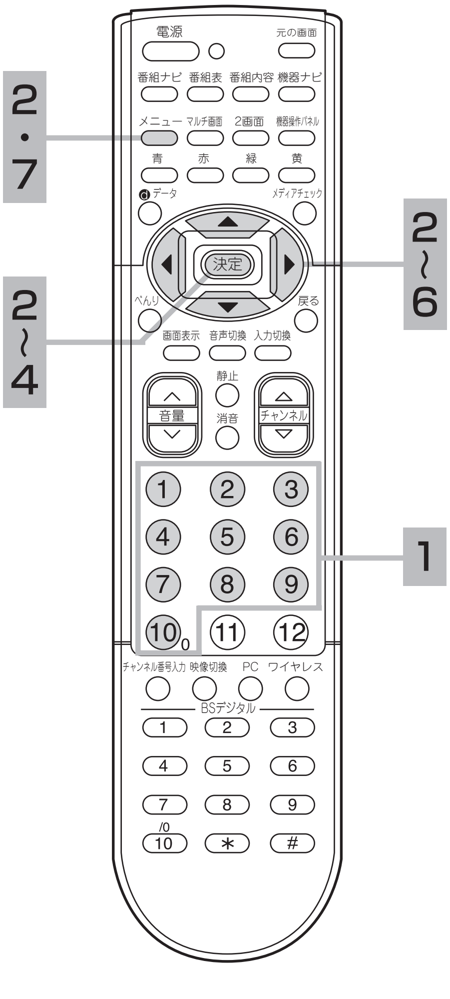
10キーモード時のご注意

- 10キー〔CATV〕を選択しますと、UHFを受信することはできません。
- 表示番号の入替えはできません。
- CH合せ〔地域番号〕は設定できません。

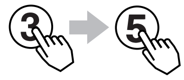
微調する場合

電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合には、チャンネルの同調を微調節します。

例）CATV(C35)チャンネルを微調したいとき



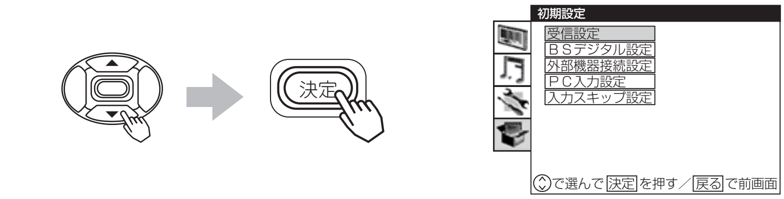
1 微調したいチャンネルボタンを押す



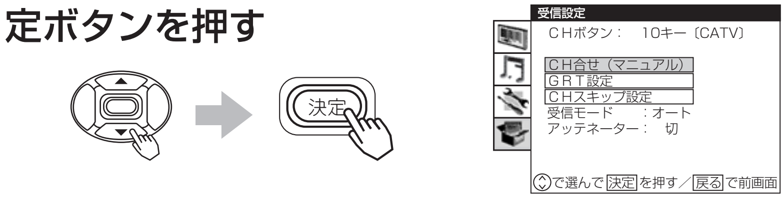
2 メニューボタンを押し、で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



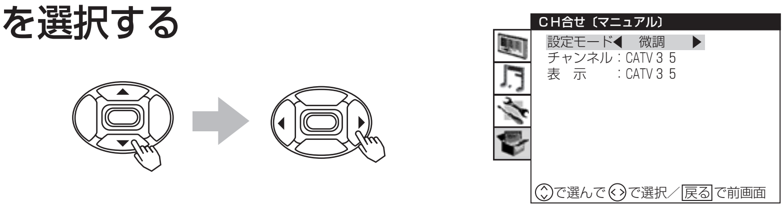
3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



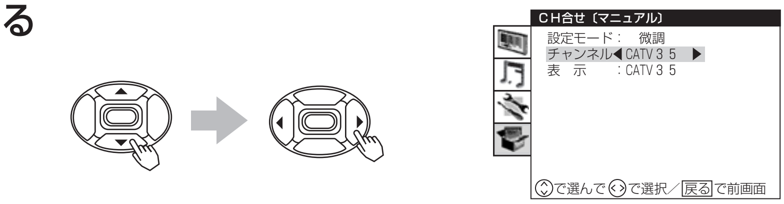
4 で「CH合せ〔マニュアル〕」を選び、決定ボタンを押す



5 で「設定モード」を選び、で「微調」を選択する



6 で「チャンネル」を選び、で微調する



7 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

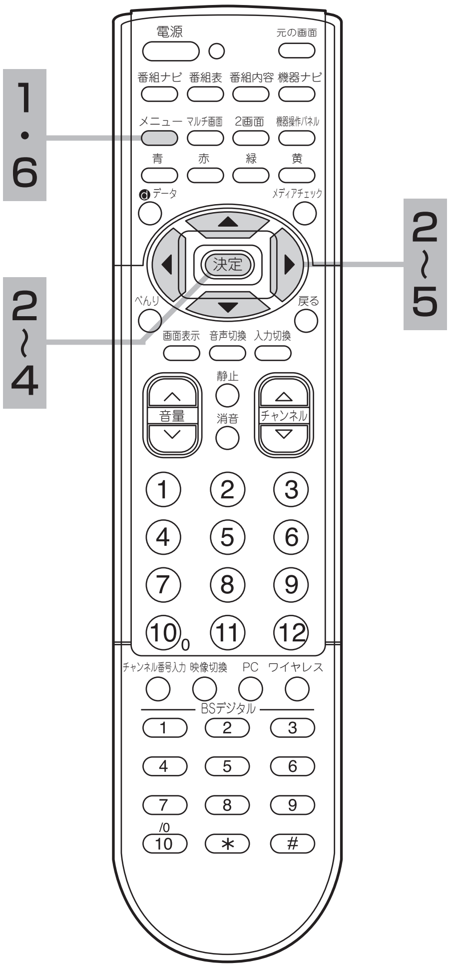
※複数のチャンネルを変更する場合 1～7 の操作をくり返す

設置

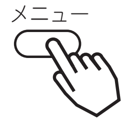
テレビ放送の受信設定について（つづき）

ゴースト妨害を低減したいとき（ゴーストリダクション）

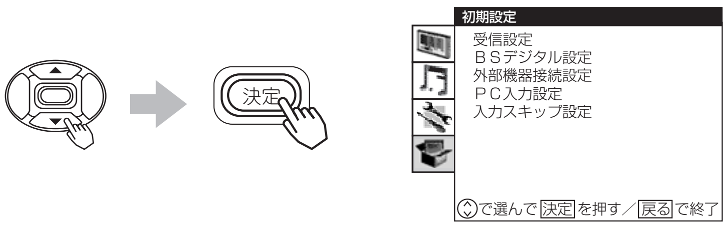
本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。テレビ放送をご覧になっているとき、ゴースト妨害が気になるチャンネルについてはGRT設定を行います。GRT設定はべんり機能で設定することもできます。33
ゴースト妨害については 32 の説明をご覧ください。



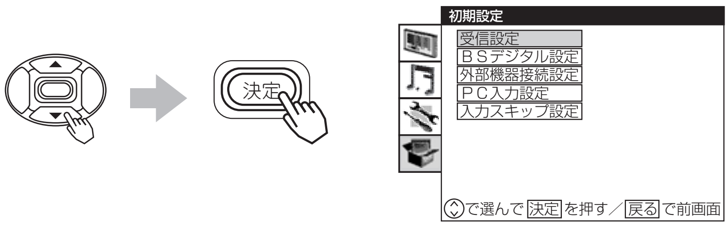
1 メニューボタンを押す



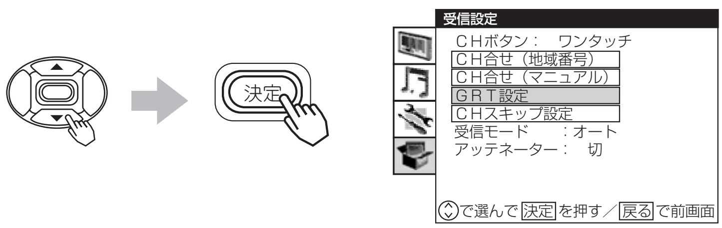
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で「GRT設定」を選び、決定ボタンを押す

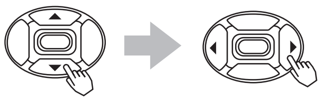


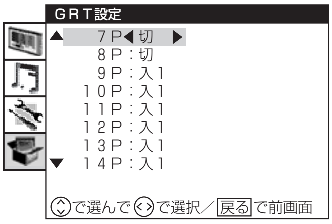
メ モ

10キーモード時のGRT設定について

10キーモードを選んだ場合 130 も、ワンタッチモードと同じように設定することができます。

5 で変更したいチャンネルを選び、で「GRTモード」を選択する





「入1」： 通常はこの位置で使用します。
お買い上げ時は「入1」が設定されています。
「入2」：「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
「切」 ： ゴーストリダクション機能は働きません。
「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

6 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

※複数のチャンネルを変更する場合 5 の操作をくり返す

お知らせ

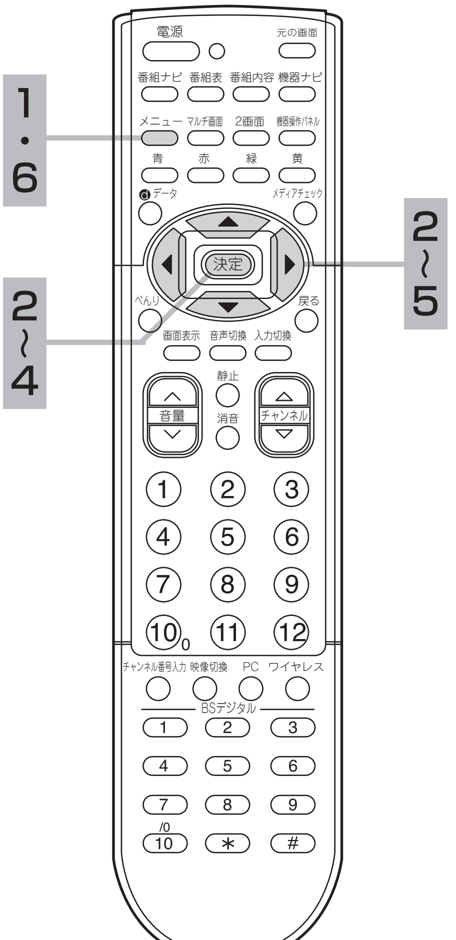
- ●ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR信号）に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
- ●ゴーストリダクションは、テレビ放送をご覧になっているときに働きます。BSデジタル放送やビデオ入力端子に入力した映像に対しては働きません。
- ●テレビ放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
  - ・受信状態が良くないとき
    UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など 108
  - ・ゴースト妨害が大きいとき
  - ・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
  - ・ゴーストの数が多いとき。
- ●ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ●チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり 120 、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する 128 とGRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ●ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- ●ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ●ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- ●VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ●ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

テレビ放送の受信設定について(つづき)

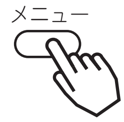
空きチャンネルを飛び越し選局したいとき

本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネルアップダウンボタンで選局するとき、空きチャンネルを自動的に飛び越し(スキップ)して早く選局できます。

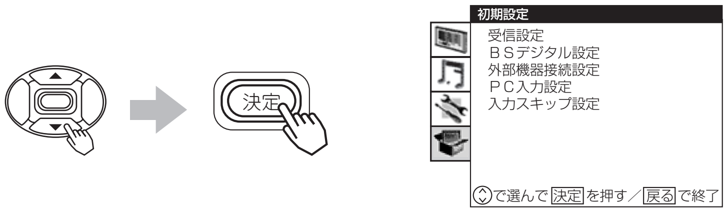
例）リモコンの⑫のチャンネルボタンを飛び越したいとき



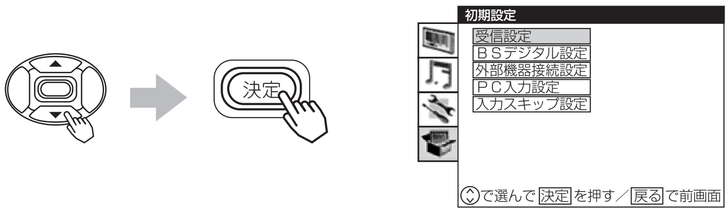
1 メニューボタンを押す



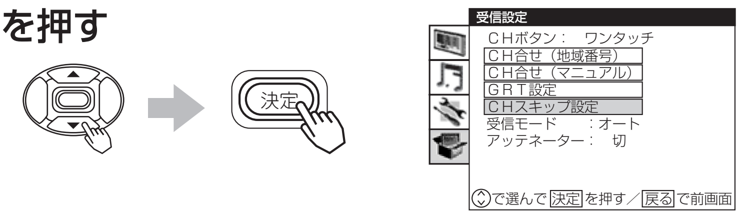
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



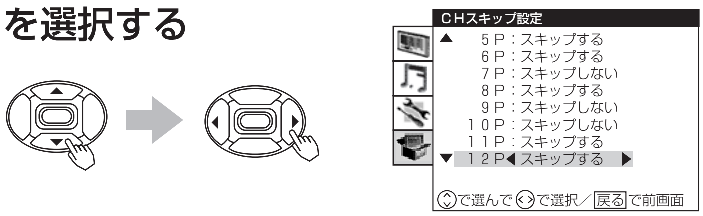
3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



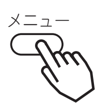
4 で「CHスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す



5 で「12P」を選び、で「スキップする」を選択する



6 設定が終了したらメニューボタンを押す



※複数のチャンネルを飛び越しする場合 5 の操作をくり返す

メ モ

10キーモード時の空きチャンネルの飛び越し選局について

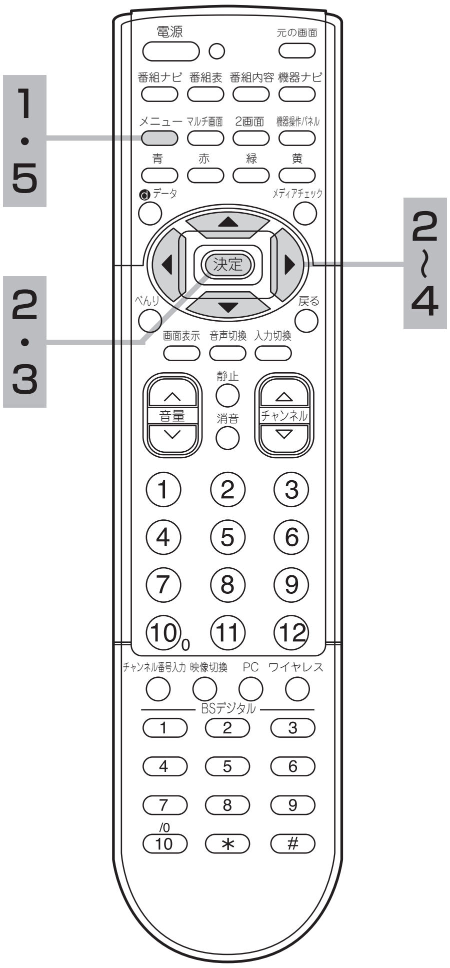
10キーモードを選んだ場合 130 も、ワンタッチモードと同じように空きチャンネルの飛び越し選局を設定することができます。

ボタン番号13P～20Pについて

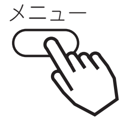
リモコンのボタンだけでは足りない場合の予備のボタン番号です。13P～20Pに設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネルアップダウンボタンで選ぶことができます。(チャンネルスキップ設定を「スキップしない」に設定した場合)

受信モードの設定について

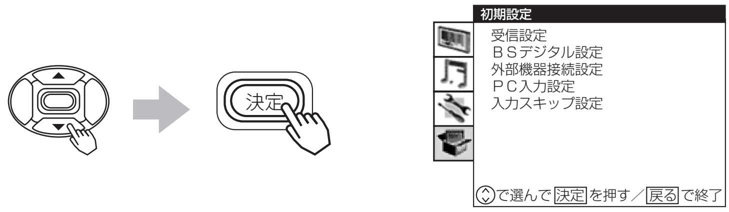
テレビ放送の受信状態が良くない場合に、ノイズを軽減することができます。



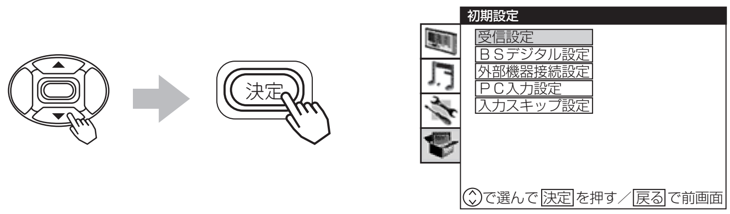
1 メニューボタンを押す



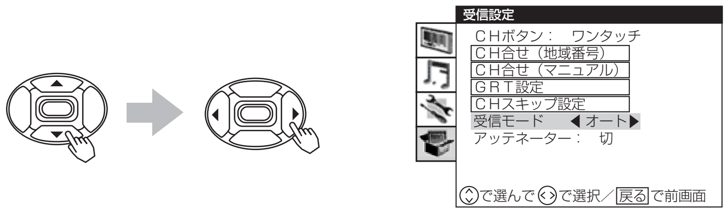
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す



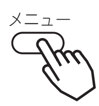
4 で「受信モード」を選び、 で設定する



設　　定	設定のポイント
オート	受信状態に応じて自動調整
1	受信状態が良い場合
2	↑
3	↕
4	↓
5	受信状態が悪い場合

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す



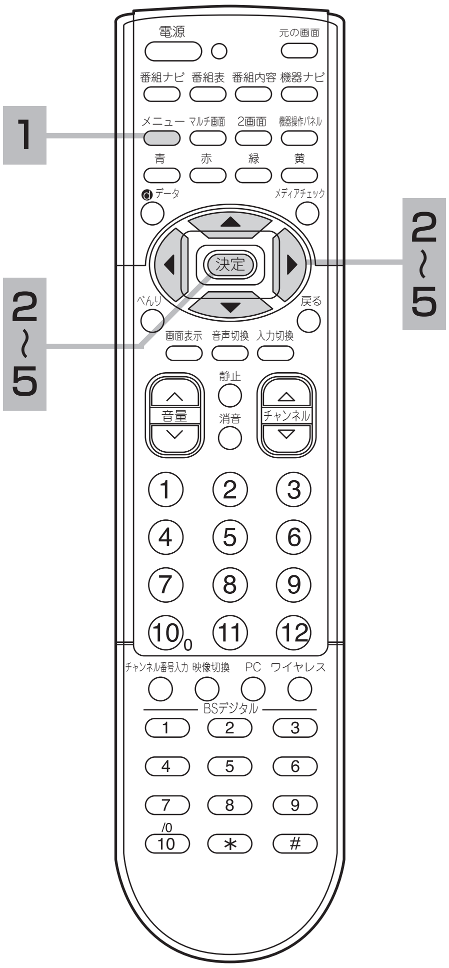
お知らせ

●受信モード設定は、チャンネルの受信状態に応じて設定します。通常は「オート」でお使いください。お好みの設定にしたいときは「1〜5」を設定します。
●受信モードはBSデジタル放送やビデオ入力に対しては働きません。

BSデジタル放送の受信設定について

設定画面の出しかた

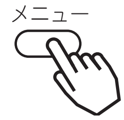
「BSデジタル設定」画面は、BSデジタルの各設定や、調整を行うための入り口です。
また、「BS初期設定」画面や「BSチャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。
ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。



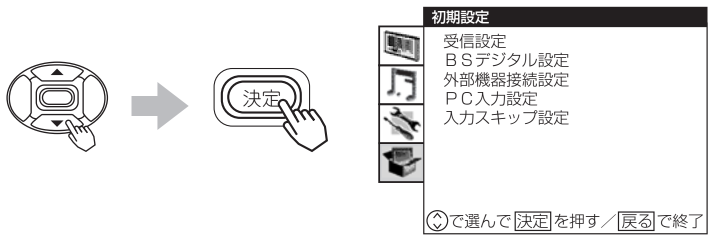
BSデジタル設定画面を出す

1 メニューボタンを押す

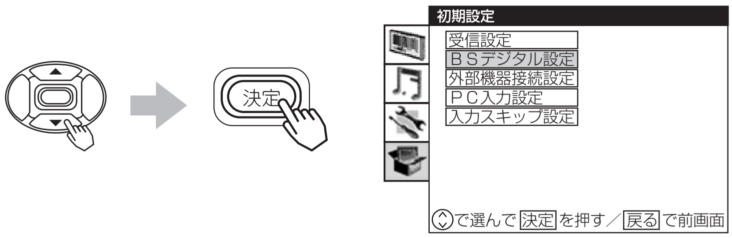
メニュー画面が現れます。

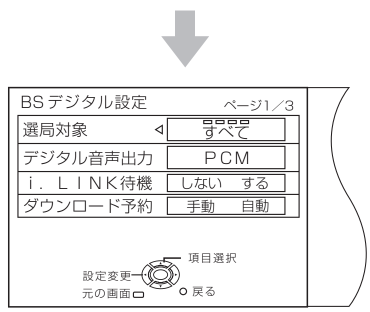


2 [カーソルボタン]で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す



3 [カーソルボタン]で「BSデジタル設定」を選び、決定ボタンを押す

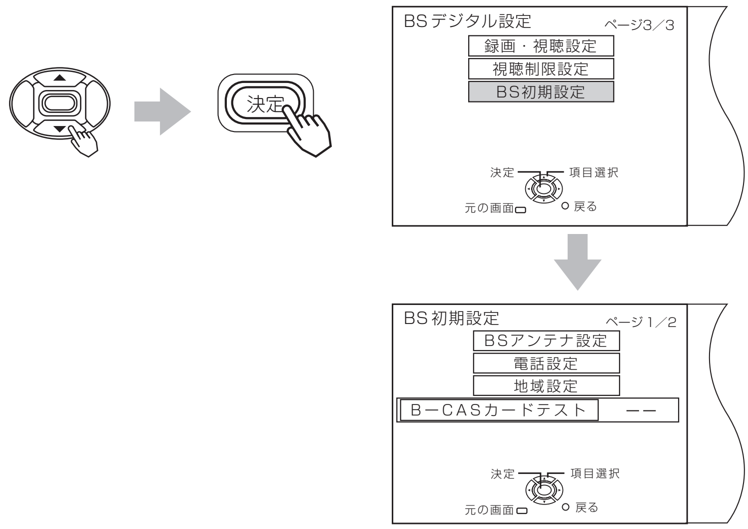




● 「BSデジタル設定」画面は3ページ構成です。
[カーソルボタン]で項目を送ると自動的にページが変わります。

BS初期設定画面を出す

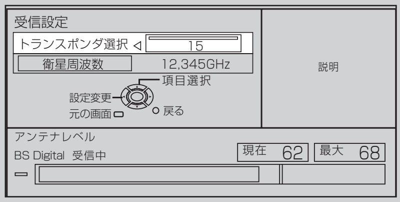
4 (上下ボタン)で「BS初期設定」を選び、決定ボタンを3秒以上押す



- 「BS初期設定」は3/3ページ目にあります。
- 「BS初期設定」画面は2ページ構成です。
  (上下ボタン)で項目を送ると自動的にページが変わります。

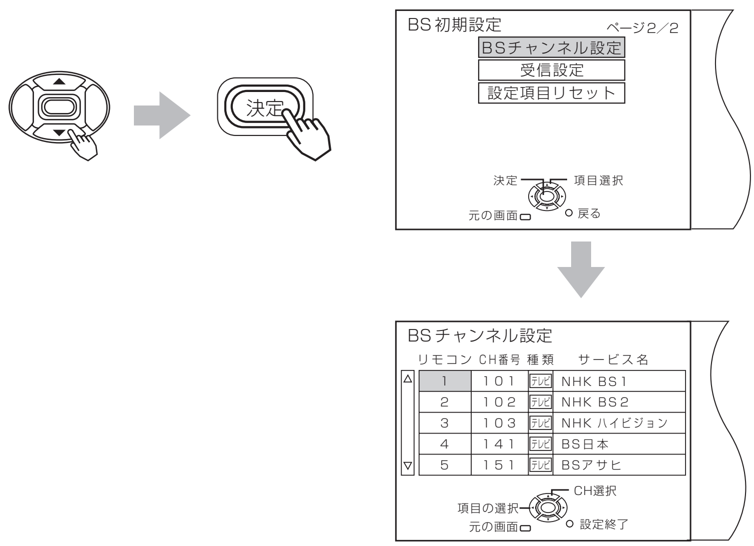
お守りください

「BS初期設定」画面の2/2ページに「受信設定」の項目がありますが、この設定はBSデジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。
設定を変更するとBSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。



BSチャンネル設定画面を出す

5 (上下ボタン)で「BSチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



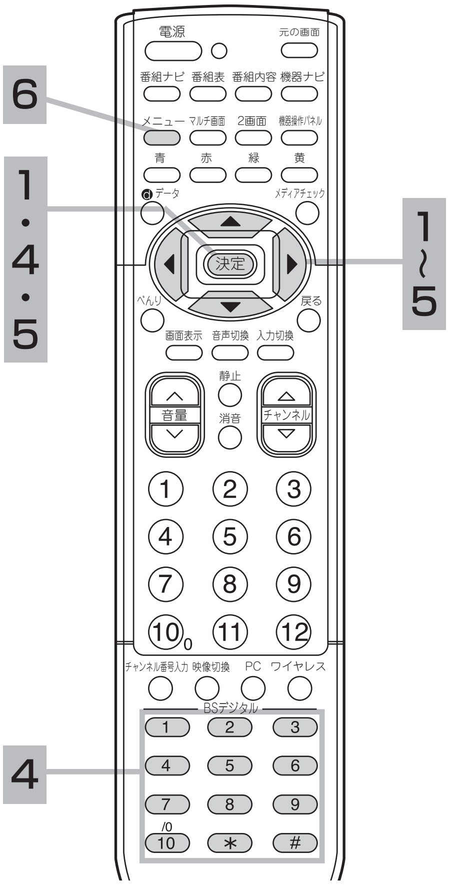
- 「BSチャンネル設定」は2/2ページにあります。

設置

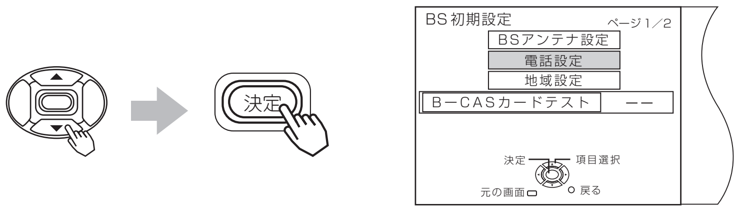
電話設定

BSデジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への参加が行なわれるため、必ず電話回線の接続をしたうえ、電話設定を行なってください。

まず、136、137の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。



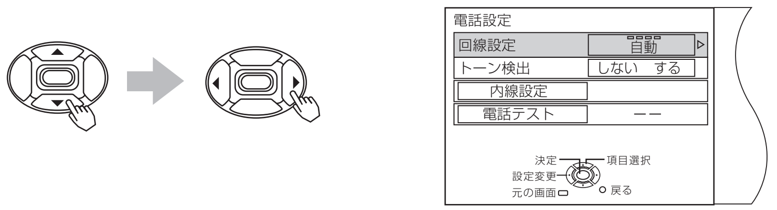
1 で「電話設定」を選び、決定ボタンを押す



2 電話回線の設定

本機に接続された電話回線に合わせて設定を行ないます。お買上げ時は「自動」に設定されています。

で「回線設定」を選び、で設定する

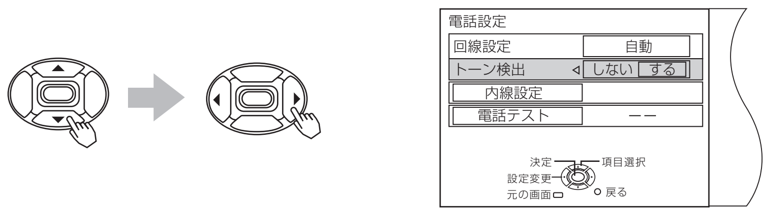


自　動	「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。
プッシュ	プッシュ回線を使用している場合に設定してください。
ダイヤル20	20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。
ダイヤル10	10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

3 トーン検出の設定

トーン検出は本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。お買上げ時は「する」に設定されています。

で「トーン検出」を選び、で設定する



す　る	通常はこの設定でご使用ください。
しない	受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

お知らせ

電話回線の設定について

- 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。
  また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。
- 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。

トーン検出の設定について

- 「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。
- 回線設定が「自動」に設定されているときは、トーン検出は「する」に固定されます。

お知らせ

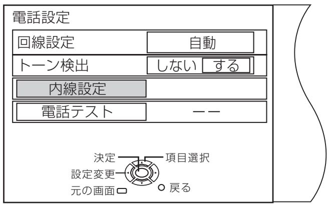
●1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。
●不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

次のような症状がでるときは
電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。
●本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る
この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。
●電話機にノイズ（雑音）が入る
この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。
詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

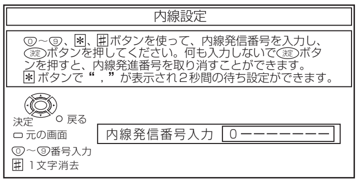
4 内線設定（例：0に設定する場合）

外線に電話するときに0発信などが必要な電話回線に本機を接続する場合のみ、この設定が必要です。

①で「内線設定」を選び、決定ボタンを押す

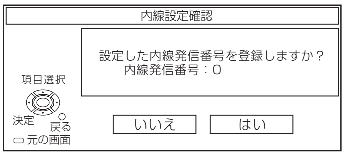


②/0 10 を押し、決定ボタンを押す



●時間待ち設定が必要な場合は、(＊)ボタンを押すことにより，（カンマ）が入力され時間待ち設定ができます。，（カンマ）1つで2秒間の待ち設定になります。
●(＃)ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

③で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す



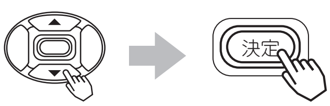
はい	入力した内線発信番号が登録されます。
いいえ	入力した内線発信番号が取り消され「電話設定」画面が表示されます。

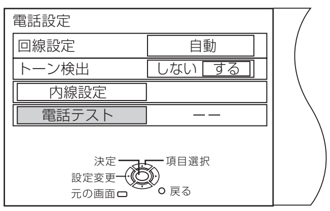
●すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は②の手順で何も入力せずに決定ボタンを押し、③の手順でボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押してください。
●戻るボタンで1つ前の画面に戻せます。

5 電話テスト

「電話設定」が正しく設定されているか否かを確認します。テストには１分程度の時間がかかる場合があります。

で「電話テスト」を選び、決定ボタンを押す





OK	正常終了しました。
NG	不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
テスト中	テスト中です。
ーー	テストをしていない状態です。

●電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
●「トーン検出」の設定を「しない」に設定している場合、本機は自動的にダイヤル動作を行い電話回線の接続テストを行ないます。このテスト結果で万一「NG」の場合は、画面に表示される説明に従ってください。また 113 の接続についても確認してください。

6 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

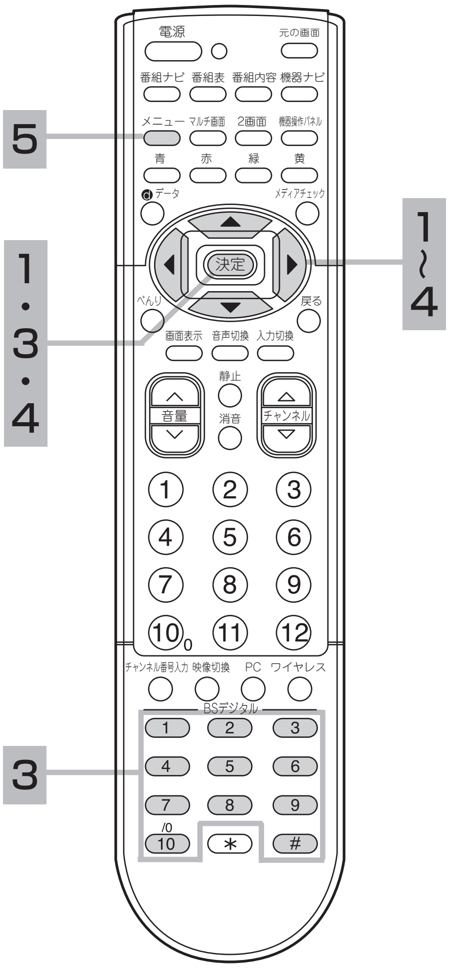
設置

BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

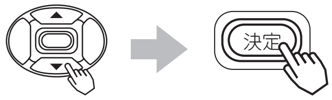
地域設定

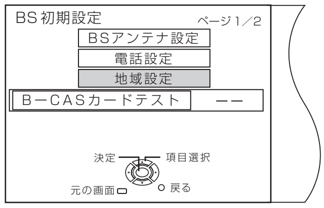
「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

まず、136 、137 の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。



1 で「地域設定」を選び、決定ボタンを押す

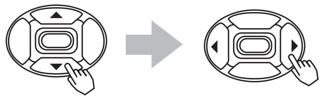


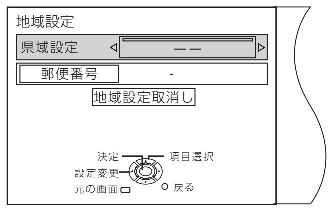


2 県域設定

お住まいの都道府県を設定します。

で「県域設定」を選び、 で都道府県を設定する



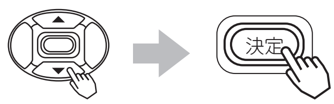


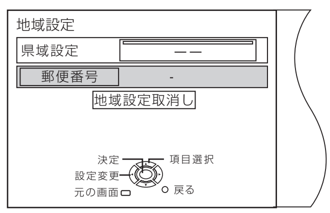
伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

3 郵便番号

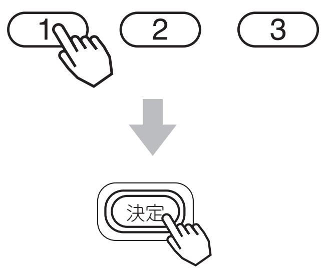
お住まいの地域の郵便番号（7桁）を設定します。

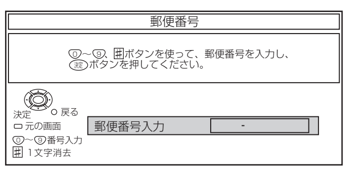
① で「郵便番号」を選び、決定ボタンを押す





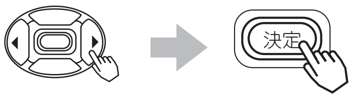
②7桁の郵便番号を押し、決定ボタンを押す

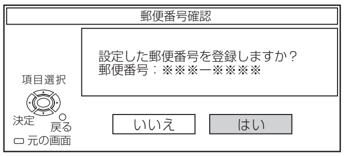




（#）ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

3 ③ で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す



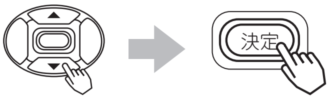


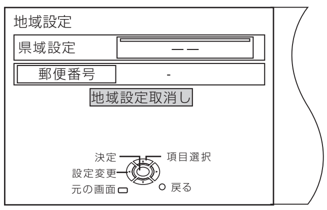
は　い	入力した郵便番号が登録されます。
いいえ	入力した郵便番号が取消され「地域設定」画面に戻ります。

4 地域設定取消し

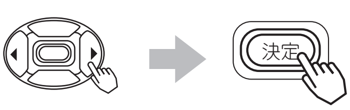
設定した「県域指定」と「郵便番号」をお買上げ時の状態に戻します。

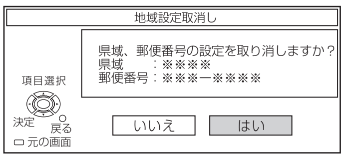
① で「地域設定取消し」を選び、決定ボタンを押す





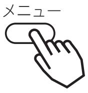
② で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す





は　い	「県域設定」と「郵便番号」の設定値をお買上げ時の状態に戻します。
いいえ	「地域設定」画面に戻ります。

5 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

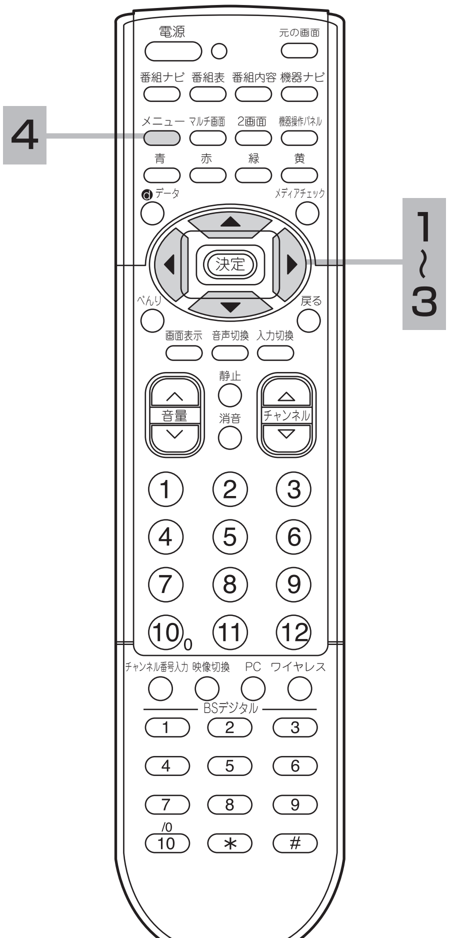


元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

設置

BSチャンネルの設定

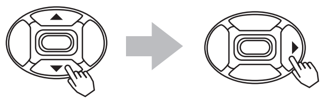
リモコンの数字ボタンで選局できるプリセット選局のチャンネルをお好みのチャンネルに設定できます。

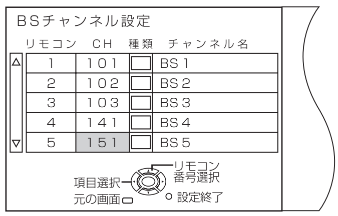


まず、136、137 の操作で「BSチャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

（例）5ボタンに102チャンネルを設定する場合

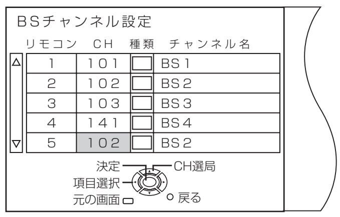
1 で設定したいリモコン番号を選び、でCHの項目を選ぶ



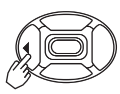


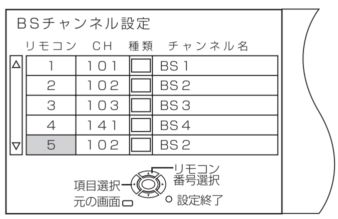
2 でチャンネル番号を選ぶ





3 続けて設定したい場合
でリモコンの項目を選び、1 から操作する





4 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



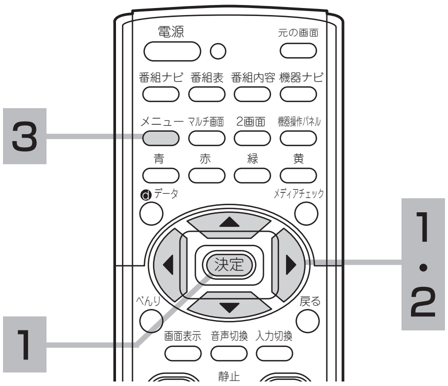
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

- プリセット選局については 22 をご覧ください。
- チャンネル番号は、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力しても選べます。
- 「リモコン」項目の11〜40に設定したチャンネルは、選局対象の設定を「プリセット」にした場合に順送り選局ができます。92

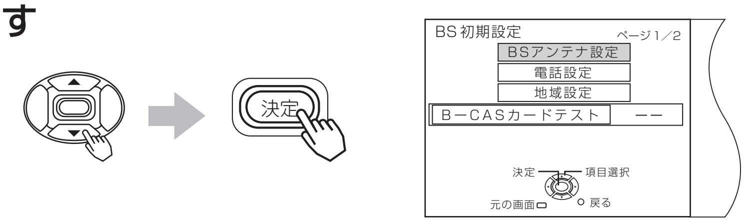
BSアンテナの設定

**本機からBSアンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」/「オフ」を設定します。
お買上げ時は「オフ」に設定されています。また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。**

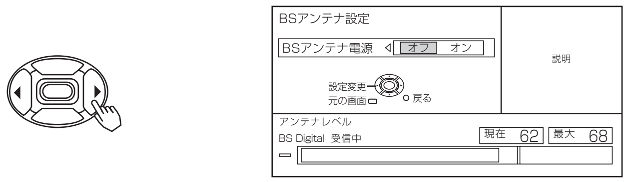


まず、136、137の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 でBSアンテナ設定を選び、決定ボタンを押す



2 で設定する



オ　ン	個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。
オ　フ	マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

3 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

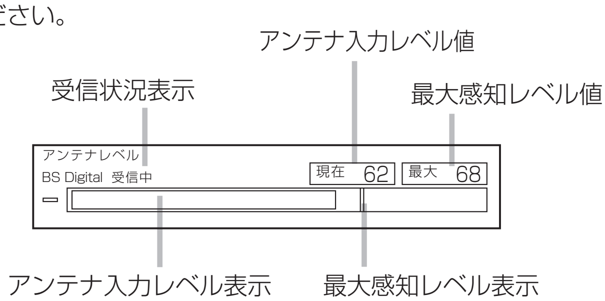
- ●アンテナの仰角・方位角の調整方法はBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- ●アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。
- ●受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。「BS Digital 受信中」と表示される向きにアンテナを調整してください。

メ　モ

アンテナの最大入力レベルは受信チャンネル、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。

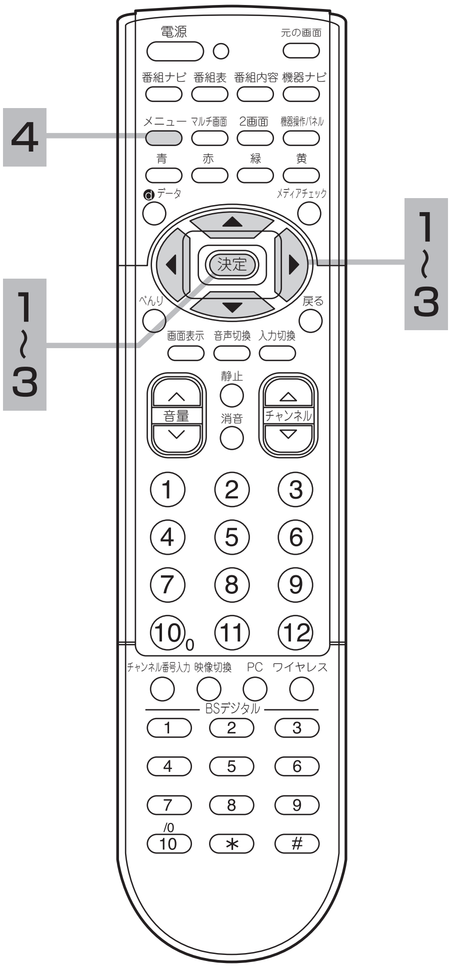
アンテナ入力レベルの確認と調整について

「BSアンテナ設定」画面でアンテナ入力レベルの確認ができます。
アンテナ入力レベル表示を見ながらBSアンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。
アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital 受信中」と表示されます。さらに、「BS Digital 受信中」が表示された状態でアンテナ入力レベル表示が最大になる向きをさがし、その向きにアンテナを固定してください。



最大感知レベル表示	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
最大感知レベル値	
アンテナ入力レベル表示	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
アンテナ入力レベル値	
受信状況表示	BSデジタル放送を受信すると「BS Digital 受信中」と表示されます。

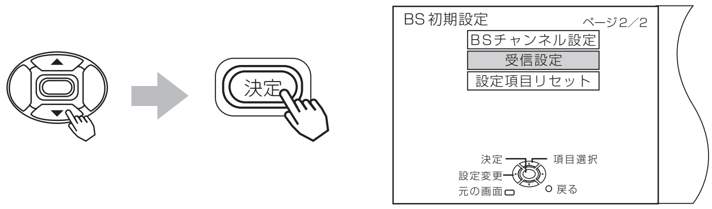
その他の設定



まず、136、137の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 受信設定

（上下ボタン）で受信設定を選び、決定ボタンを押す



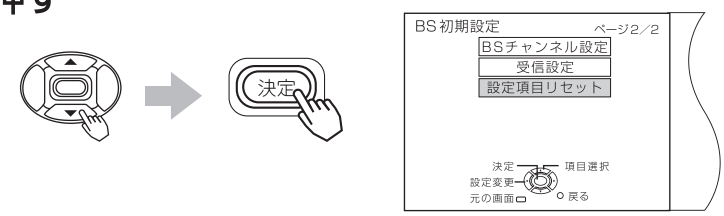
お守りください

受信設定について

「受信設定」画面での設定は、BSデジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更するとBSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

2 設定項目のリセット

（上下ボタン）で設定項目リセットを選び、決定ボタンを押す



お守りください

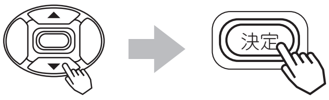
設定項目のリセットについて

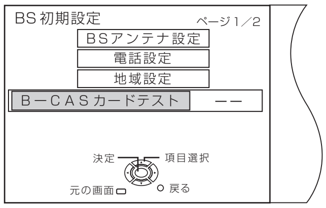
「BSアンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」の設定値をお買上げ時の状態に戻します。
正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。

3 B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。
本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。112

でB-CASカードテストを選び、決定ボタンを押す

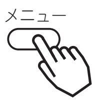




B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。

OK	正常に動作しています。
NG	正常に動作していません。 B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。112
テスト中	テスト中です。
ーー	テストをしていない状態です。

4 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お守りください

B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

設置

その他の設定（つづき）

ダウンロードについて

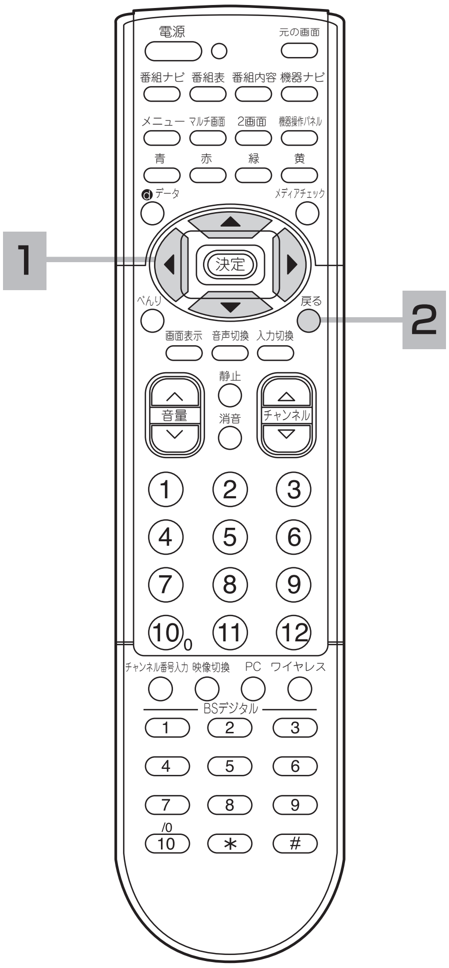
ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り組む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。
ダウンロードデータが送られる場合は事前にダウンロードについてのメールが届きます。
ダウンロード予約をすることにより、リモコン電源オフ（機能待機）のときに自動的にダウンロードを行います。

ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。
1つは、機能向上などの重要なダウンロード、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの選択ができるダウンロードです。

- ●重要なダウンロード情報が届いた場合、右頁の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、電源オフ（機能待機）状態時に自動的にダウンロードが行われます。
- ●お客様が選択するダウンロード情報や、「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合に重要なダウンロード情報が届いた場合、ダウンロード予約選択メールが届きます。

下記の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

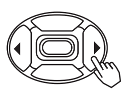
ダウンロード予約選択メール画面での設定方法

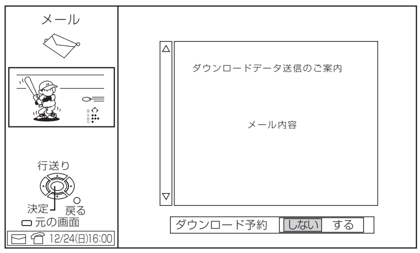


まず、97 の操作手順でダウンロード予約のメールを確認する

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択することにより、ダウンロード予約が設定され、電源オフ（機能待機）状態時に、自動的にダウンロードを行います。

1 で「する」または「しない」を選ぶ





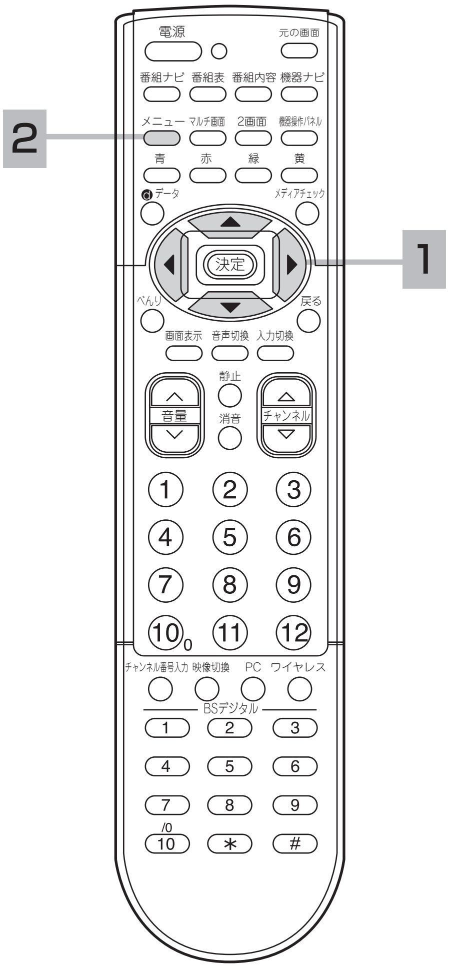
する	ダウンロードを行う場合に選びます。
しない	ダウンロードを行わない場合に選びます。

2 戻るボタンを押してメール一覧画面に戻る



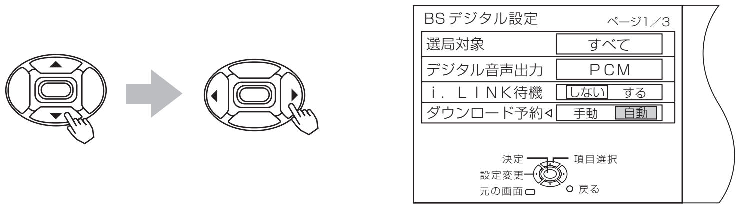
ダウンロード予約の自動/手動設定

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールで「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。お買上げ時は「自動」に設定されています。



まず、136 の操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

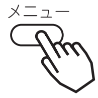
1 で「ダウンロード予約」を選び、で設定する



自動	重要なダウンロード情報が届けば、電源オフ（機能待機）状態時に自動的にダウンロードを行います。（ふだんはこちらでご使用ください。）
手動	ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。（本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的には受けられなくなりますのでご注意ください。）

「ＢＳデジタル設定」画面は3ページ構成です。で項目を送ると自動的にページが変わります。

2 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

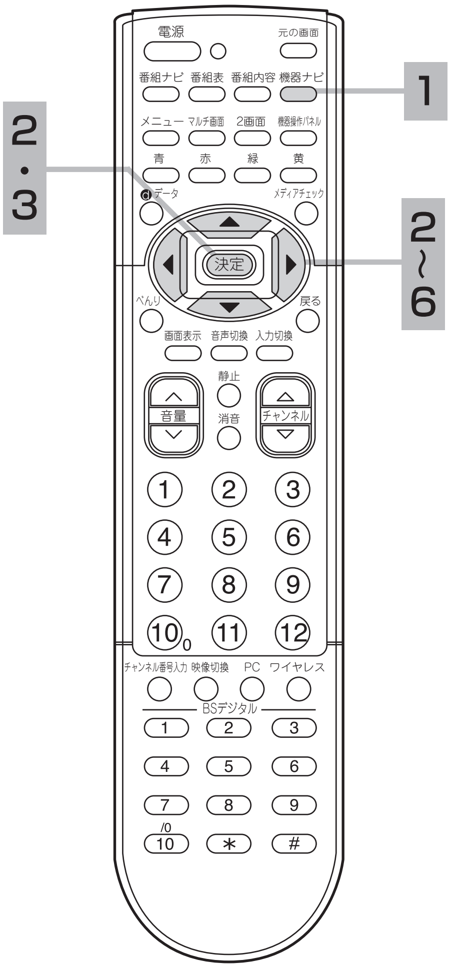
●ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。97
●ダウンロードは、悪天候の時などに失敗する場合があります。
この場合、ダウンロード失敗のメールが届きます。97
●ダウンロード中は、チューナー部のファンモーターが自動的に回転しますが故障ではありません。

設置

外部機器接続時の設定

Irシステムの設定

付属のビデオコントローラーを使用すると、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。
(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。)

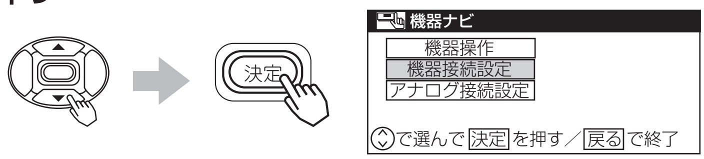


1 **機器ナビボタンを押す**

機器ナビ画面が現れます。



2 **で「機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す**



3 **で「Irシステム設定」を選び、決定ボタンを押す**



お守りください

メーカーの設定が「松下」のとき、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する松下製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うかビデオデッキ側でタイマー予約の設定を行ってください。

お知らせ

既にIrシステムを使用し予約している場合は、Irシステムの設定変更はできません。

連動予約が設定可能な録画機器メーカーについて

松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよび松下製、パイオニア製のDVDレコーダー

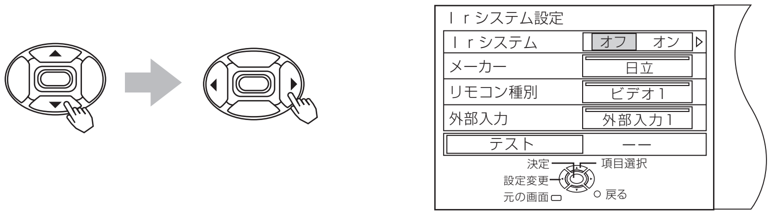
●タイマー予約は、1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付ビデオデッキのみに設定できます。
(連動予約、タイマー予約については 83 をご覧ください。)

114 に記載のビデオコントローラーを正しく接続、設置し、下記のIrシステムの設定とテストを行ってください。

4 Irシステムの設定

Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。お買上げ時は「オフ」に設定されています。

で「Irシステム」を選び、 で「設定する

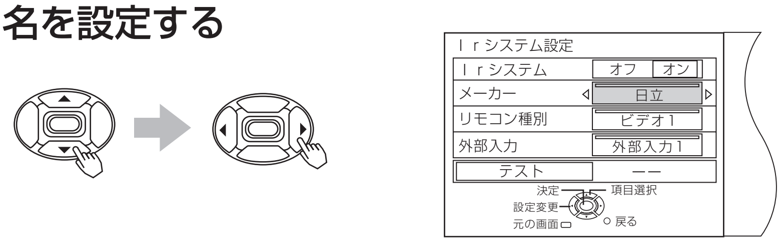


オン	Irシステムを使用します。
オフ	Irシステムを使用しません。

5 メーカーの設定

本機に接続している録画機器メーカーを設定します。

で「メーカー」を選び、 でメーカー名を設定する

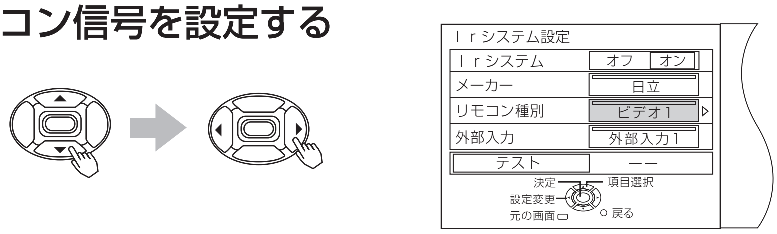


本機で設定できる録画機器メーカーは、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC、パイオニアです。（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。）
お買上げ時は「日立」に設定されています。

6 リモコン種別の設定

「メーカー」の設定をしても録画機器が動作しないとき、録画機器が動作するリモコン信号に設定します。

で「リモコン種別」を選び、 でリモコン信号を設定する



お知らせ

Irシステムの設定について

Irシステムを「オン」にした場合は、「メーカー」の設定、「リモコン種別」の設定、「外部入力」の設定を行い、テスト 150 を行ってください。

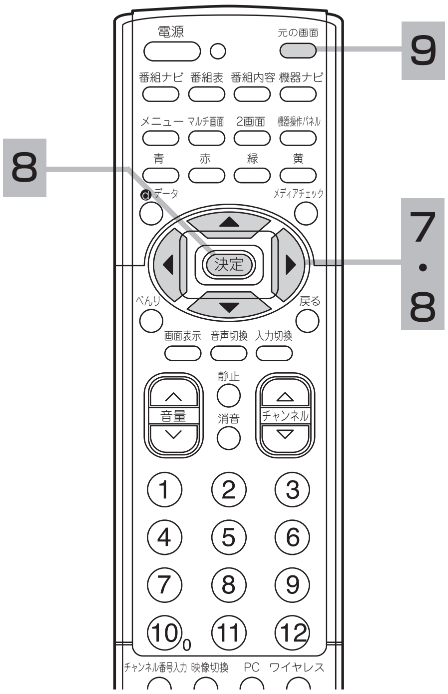
メ モ

リモコン種別の設定について

- 録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合もあります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切換えて再度テストを行ってください。
  お買上げ時は「ビデオ1」に設定されています。
- 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

外部機器接続時の設定（つづき）

Irシステムの設定（つづき）

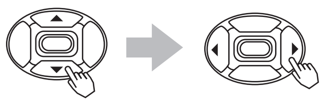


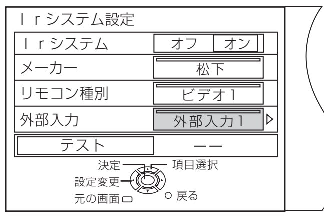
7 外部入力の設定

松下製録画機器を接続し、タイマー予約をする場合に設定します。

● 145 の設定で「メーカー」の設定を「松下」、かつ「リモコン種別」の設定が「ビデオ1」または「ビデオ2」、「ビデオ3」のときのみ設定できます。（お買上げ時は「外部入力1」に設定されています。）

で「外部入力」を選び、 で設定する





下図のように切り換わります。



外部入力1 ←→ 外部入力2 ←→ 外部入力3

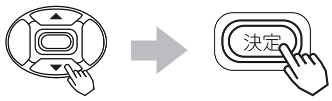
8 テスト

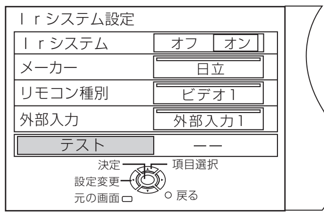
4 ～ 6 の設定後、次の操作で録画機器の動作を確認してください。

●録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。

●テストを実行すると録画機器に電源「入」/「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」/「切」するかどうか確認してください。

で「テスト」を選び、決定ボタンを押す





●送信中が表示され、電源「入」/「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。

●送信を終了したい場合は、再度、決定ボタンを押してください。

9 設定が終了したら元の画面ボタンを押す



お知らせ

外部入力設定について

外部入力の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしてもBSデジタル放送の番組は録画できません。

録画機器の電源が「入」/「切」しない場合は

①録画機器が録画機器のリモコンで「入」/「切」できるか確認してください。

②ビデオコントローラーの接続と設置を確認してください。 114

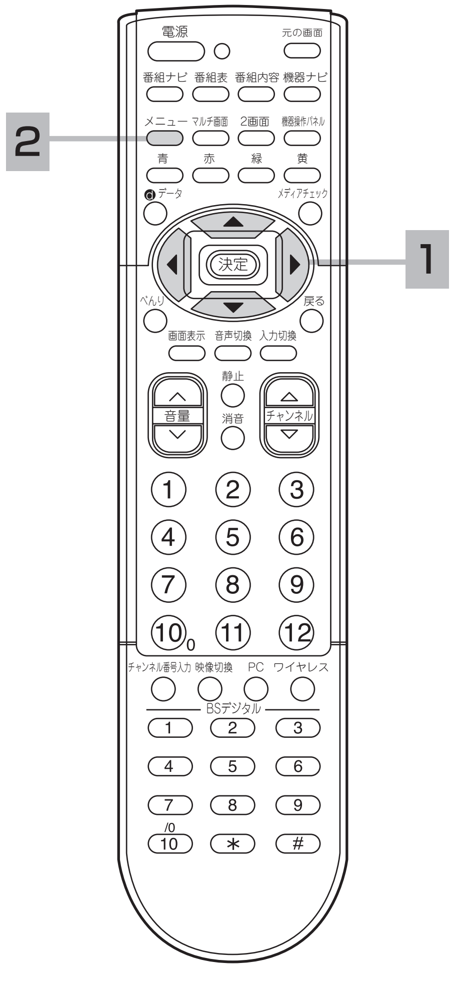
③リモコン信号が複数あるメーカーの場合、「リモコン種別」の設定を変えてみてください。

●「テスト」のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。

●テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

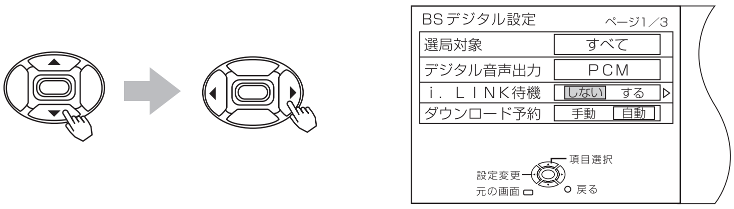
i.LINK待機の設定

本機では電源オフのとき、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。
i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力の少なくなる「しない」に設定してください。



まず、136 の操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「i.LINK待機」を選び、 で設定する



しない	電源オフ時の消費電力を少なくします。電源オフにすると、映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやi.LINK信号の中継はできません。
する	電源オフにすると機能待機ランプが点灯し映像・音声などの信号出力を停止しますがi.LINK接続された機器からの制御は受け付けることができます（「機能待機」状態になります）。このとき、チューナー部のファンモーターが動作しますが故障ではありません。

2 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

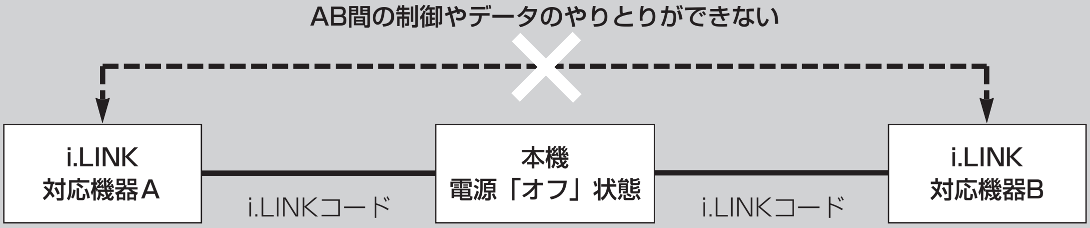


元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

i.LINK待機設定について

複数のi.LINK対応機器をi.LINKコードで接続した場合、i.LINK待機の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源オン（受像）時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。

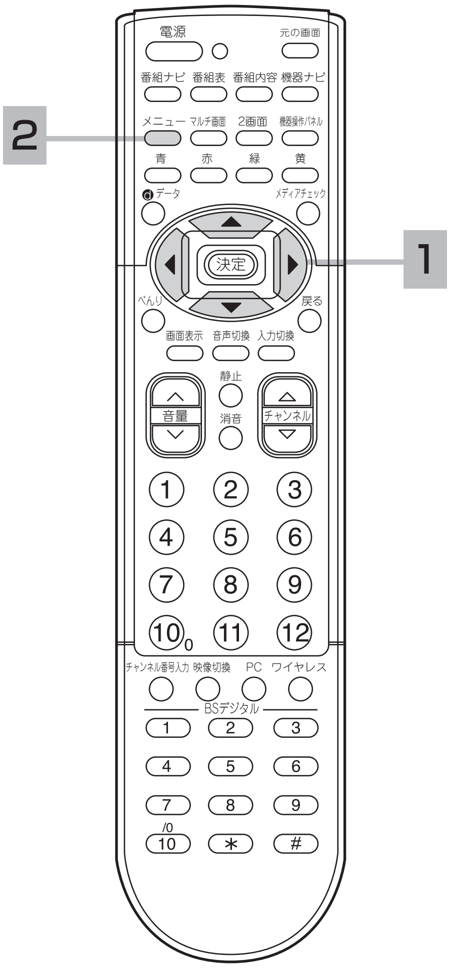


設置

外部機器接続時の設定（つづき）

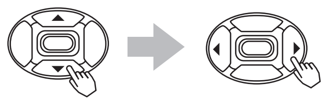
デジタル音声出力の設定

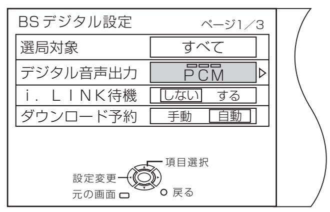
本機の光デジタル音声出力端子は、AACフォーマットの音声データを出力することができます。AACフォーマット対応のオーディオ機器に接続すれば、サラウンド・ステレオの番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。



まず、136 の操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「デジタル音声出力」を選び、で設定する





PCM	AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。
AAC	AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。
自動	AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切換えます。

お買上げ時は「PCM」に設定されています。

2 設定が終了したらメニューボタンを2回押す



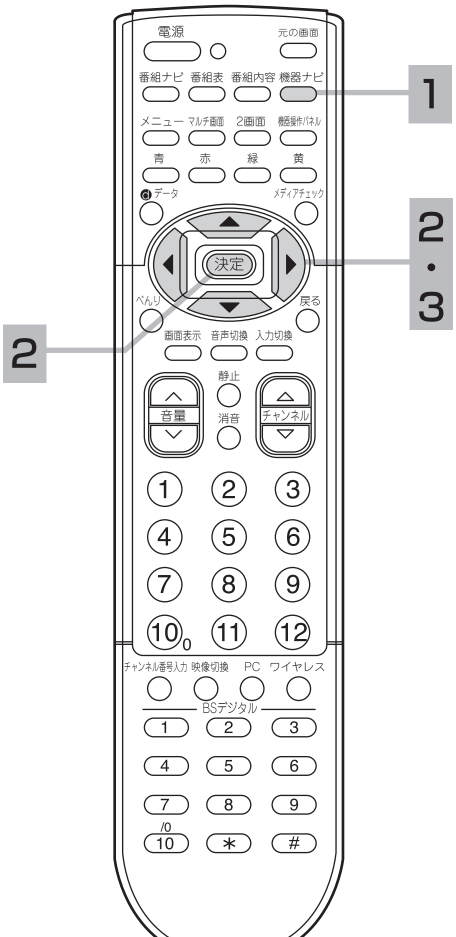
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定してください。または、BS/モニター出力の音声端子または音声モニター出力端子をご使用ください。

アナログ接続設定

本機に接続したD-VHSビデオデッキの再生映像が、デジタルからアナログ（又はその逆）に切り換わったとき、本機の入力を切り換えずに、連続して視聴するための設定です。
D-VHSビデオデッキのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力（ビデオ入力1〜3）をご確認のうえ、接続と同じ設定にしてください。

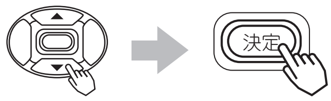


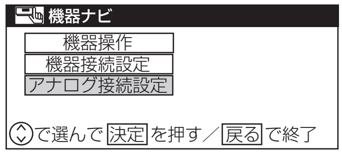
1 機器ナビボタンを押す

機器ナビ画面が現れます。

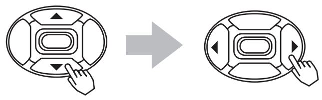


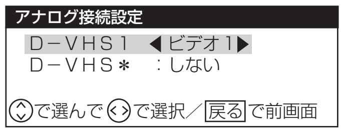
2 で「アナログ接続設定」を選び、決定ボタンを押す



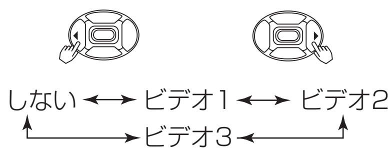


3 で設定するD-VHSを選び、でD-VHSを接続しているビデオ入力を選択する

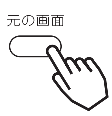




下図のように切り換わります。



4 設定が終了したら元の画面ボタンを押す



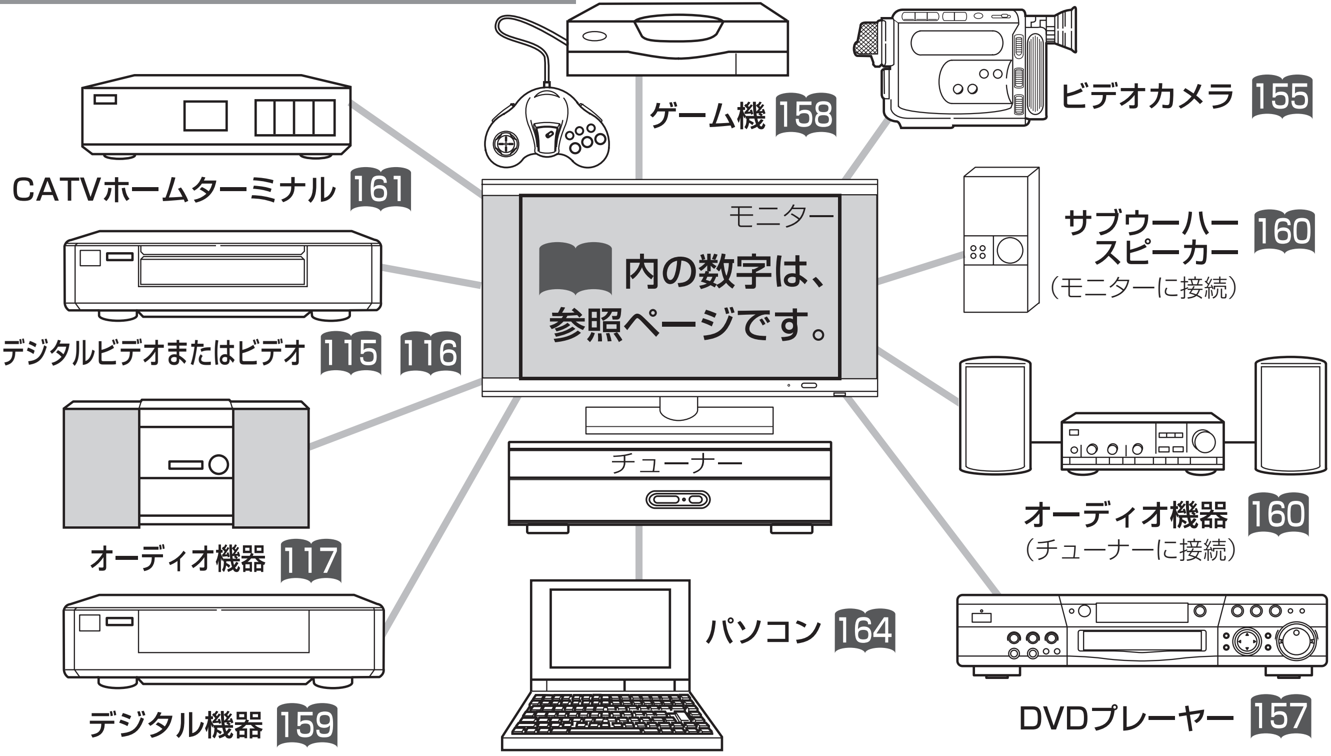
他の外部機器と接続したいとき

接続できる機器
（下記から入力端子数に合わせて、お選びください。）

お守りください

接続時のご注意

- 他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- 他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 接続する他の機器、接続コードおよびアンテナ線が、モニターの画面又は画面の背面に配置されますと、映像がゆれたり妨害を受ける恐れがあります。接続機器、接続コードおよびアンテナ線は上記の配置を避けてください。特にアンテナ線は、付属のRFケーブル、フェライトコアをご使用いただき他の接続ケーブルからもはなすように配置してください。



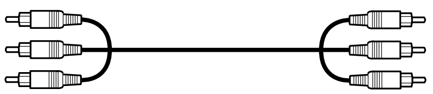
メモ

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。外部機器を接続するときに便利な設定 54 をご覧ください。

システムアップに必要な接続コード（別売り）

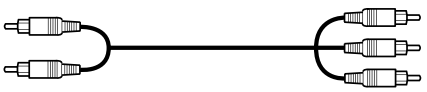
これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新しく購入される必要はありません。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-120G(コード長2m)



主にHi-Fiビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-315G(コード長1.5m)



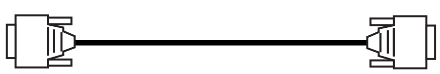
主にモノラルビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像信号入出力接続コード VS-220G(コード長2m)



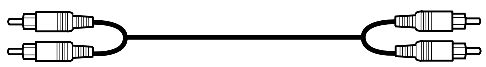
主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

●RGB接続コード(一般市販品)



ミニD-Sub15ピンケーブルとパソコンの接続に使用します。

●音声信号入出力接続コード AR-115G(コード長1.5m)



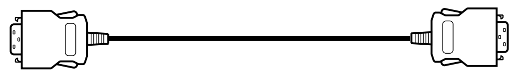
主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

●D端子ピンケーブルTP-CDP01(コード長1.5m)



DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力との接続に使用します。

●D端子ケーブルTP-CDD02(コード長1.5m)

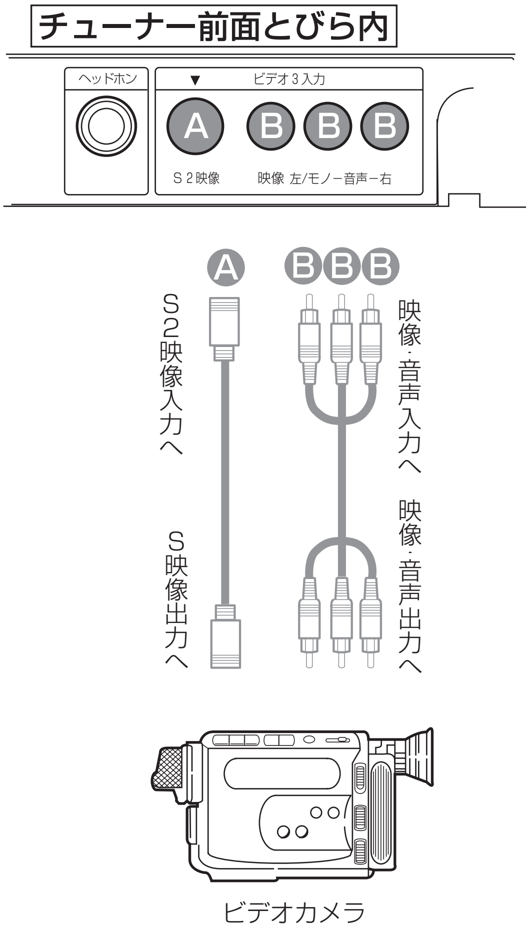


D端子対応機器や将来実用化予定のデジタル機器との接続に使用します。
詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル放送関連機器の接続については、115 ～ 117 をご覧ください。
ビデオとの接続 115
i.LINK対応のD-VHSビデオデッキとの接続 116
デジタル音声入力端子付きオーディオ機器との接続 117

ビデオカメラとの接続

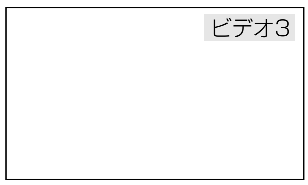
（図の同じ記号のところに接続してください）



1 入力切換ボタンで「ビデオ3」にする

画面に「ビデオ3」の表示が出ます。

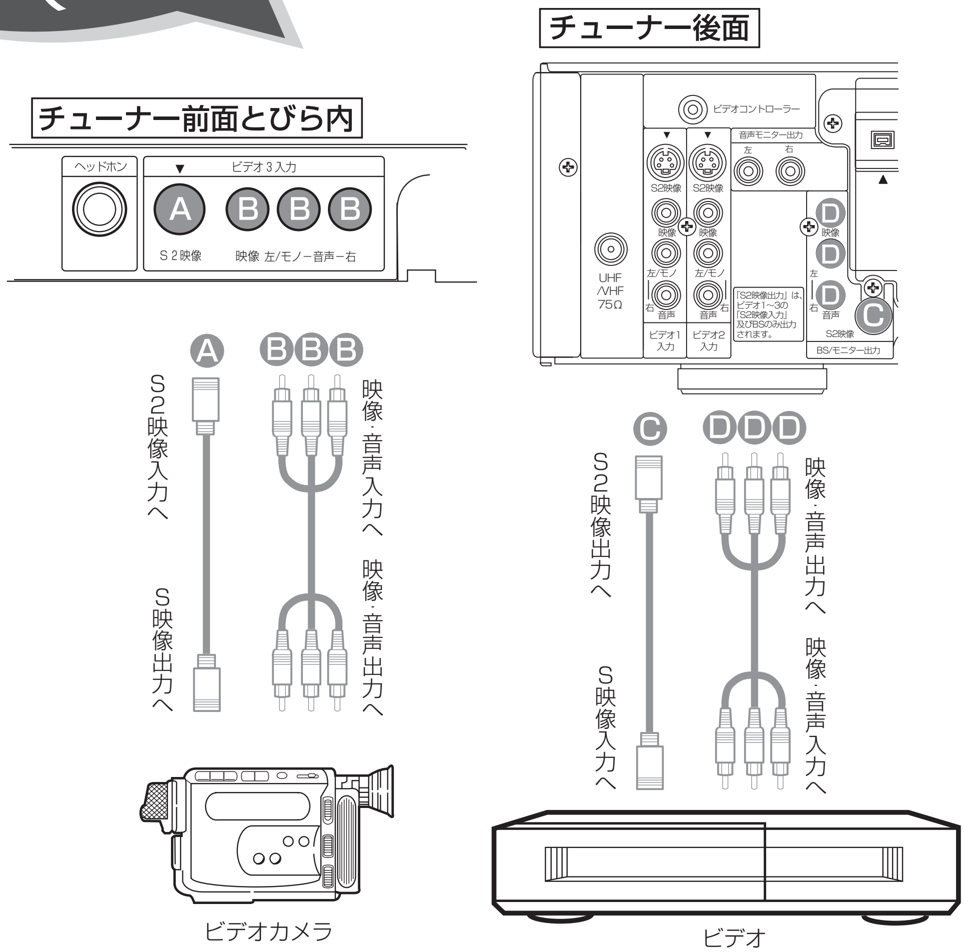




2 ビデオカメラを操作する

画面を見ながらテープ編集をするときの接続

（図の同じ記号のところに接続してください）



メモ

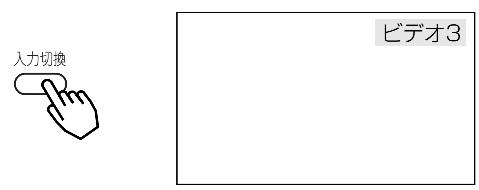
- ビデオの録画状態の設定については、お手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切り換え、チャンネル切り換えをしないでください。また、マルチ画面(4画面および2画面)、メディアチェックの操作もしないでください。

モニター出力端子について

- コンポーネント入力およびPC入力時の映像と音声は、モニター出力端子からは出力されません。
- モニター出力は画面に映っているものを出力しますが、ワイド処理された信号が出力されるものではありません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。
- モニター出力のS2映像出力は、BSデジタル放送やビデオ1～3端子に入力したS2映像をご覧になっているときに出力されます。
- ビデオ1入力については、モニター出力を「する」「しない」の設定ができます。55 をご覧ください。
- マルチ画面のときのモニター出力映像は、2画面のときは選んでいる画面が、4画面のときは親画面の映像と音声が出力されます。

1 入力切換ボタンで「ビデオ3」にする

ビデオ1、ビデオ2入力に接続された機器を編集するときは，「ビデオ1」「ビデオ2」にします。



2 ビデオを外部入力に合わせる

詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ビデオを録画状態にする

お知らせ

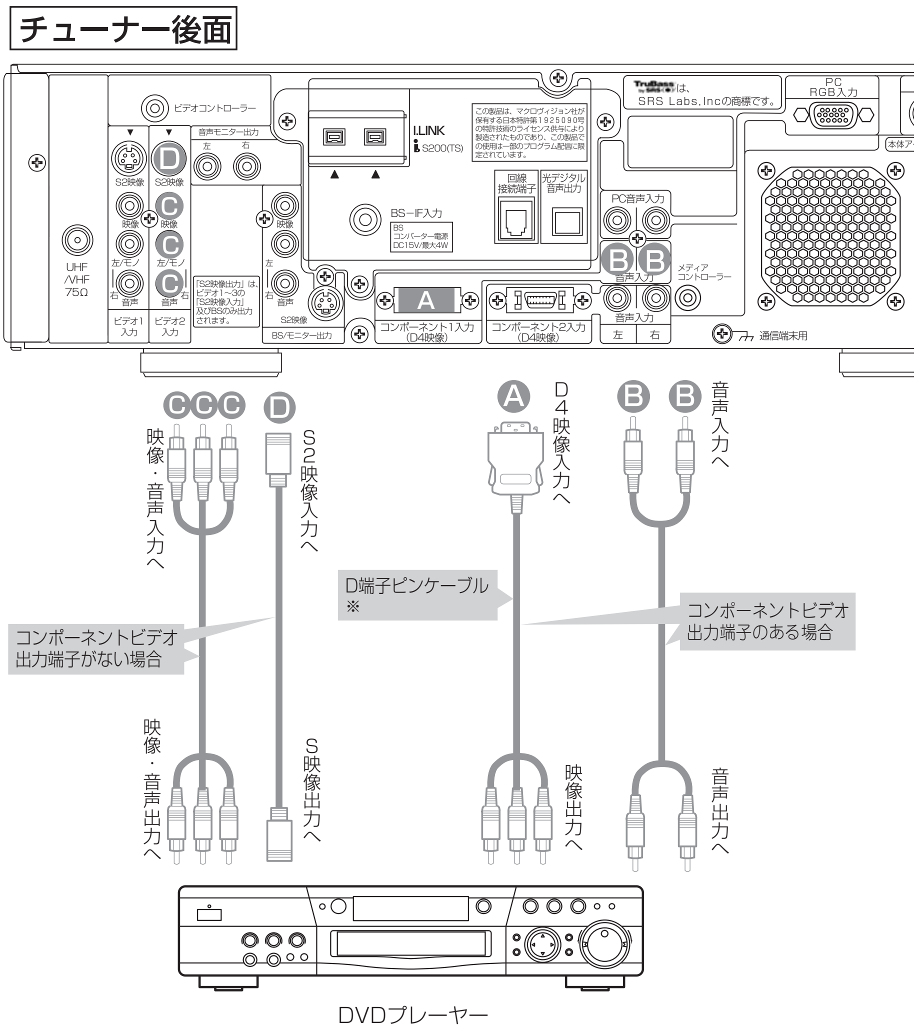
メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1)」を「しない」に設定している 55 ときは、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。

DVDプレーヤーとの接続

(図の同じ記号のところに接続してください)

準　備

「コンポーネント1設定」を「オート」に設定する。57
お買い上げ時は「オート」に設定されています。



メモ

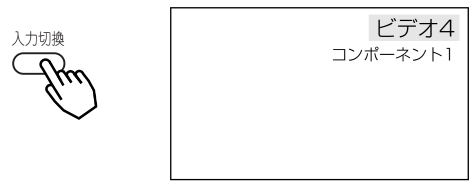
コンポーネント1入力端子について

- ●コンポーネント1入力端子(D4映像)はDVDプレーヤーおよび将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号(525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750P(720P)信号)を接続できます。
- ●コンポーネント入力の映像はモニター出力端子に出力されません。

※D端子ピンケーブルは別売品(TP-CDP01[1.5m])をお求めください。

1 入力切換ボタンで「ビデオ4」にする

ビデオ2入力に接続したときは「ビデオ2」にします。



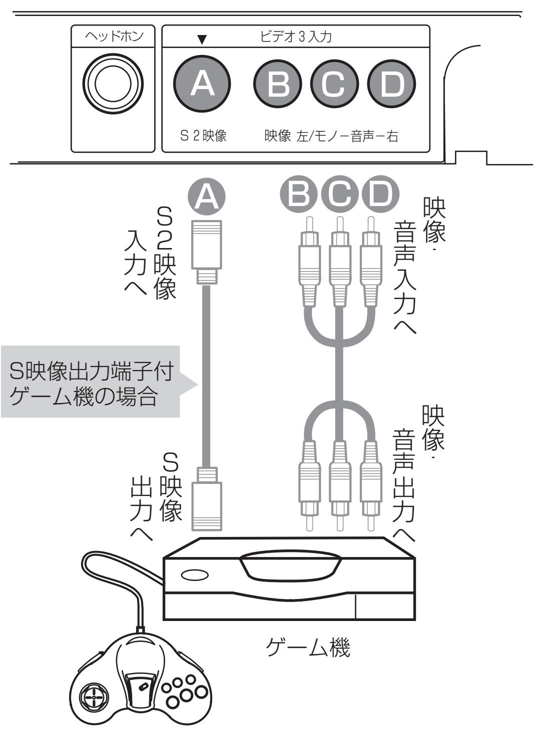
2 DVDプレーヤーを操作する

設置

他の外部機器と接続したいとき（つづき）

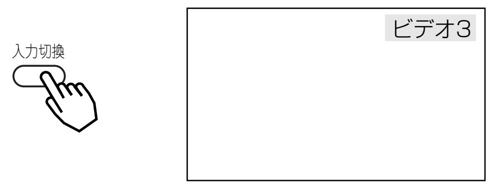
ゲーム機との接続

（図の同じ記号のところに接続してください）



1 テレビゲーム本体とチューナー前面のビデオ3入力端子を接続する

2 入力切換ボタンで「ビデオ3」を選ぶ



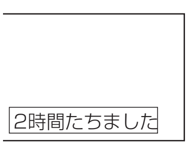
テレビまたはBSチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

3 ゲーム機を操作する

ゲームモードについて

ゲームモードの設定 55 を「入」に設定すると、ビデオ3に切り換えるだけで自動的に次のような設定が行われます。

- 映像モードはナチュラル、ワイドモードはフルモードに切り換わります。ゲーム画面でも映像モード、ワイドモードは切り換えることができます。
- ビデオ3を選ぶと、時間が経過（1時間、1時間30分、…最大4時間）するごとに、時間を表示します（約5秒間）。表示時間を目安に適度な休憩をとり、お楽しみください。一度電源を「切」にすると、経過時間が0に初期化されます。



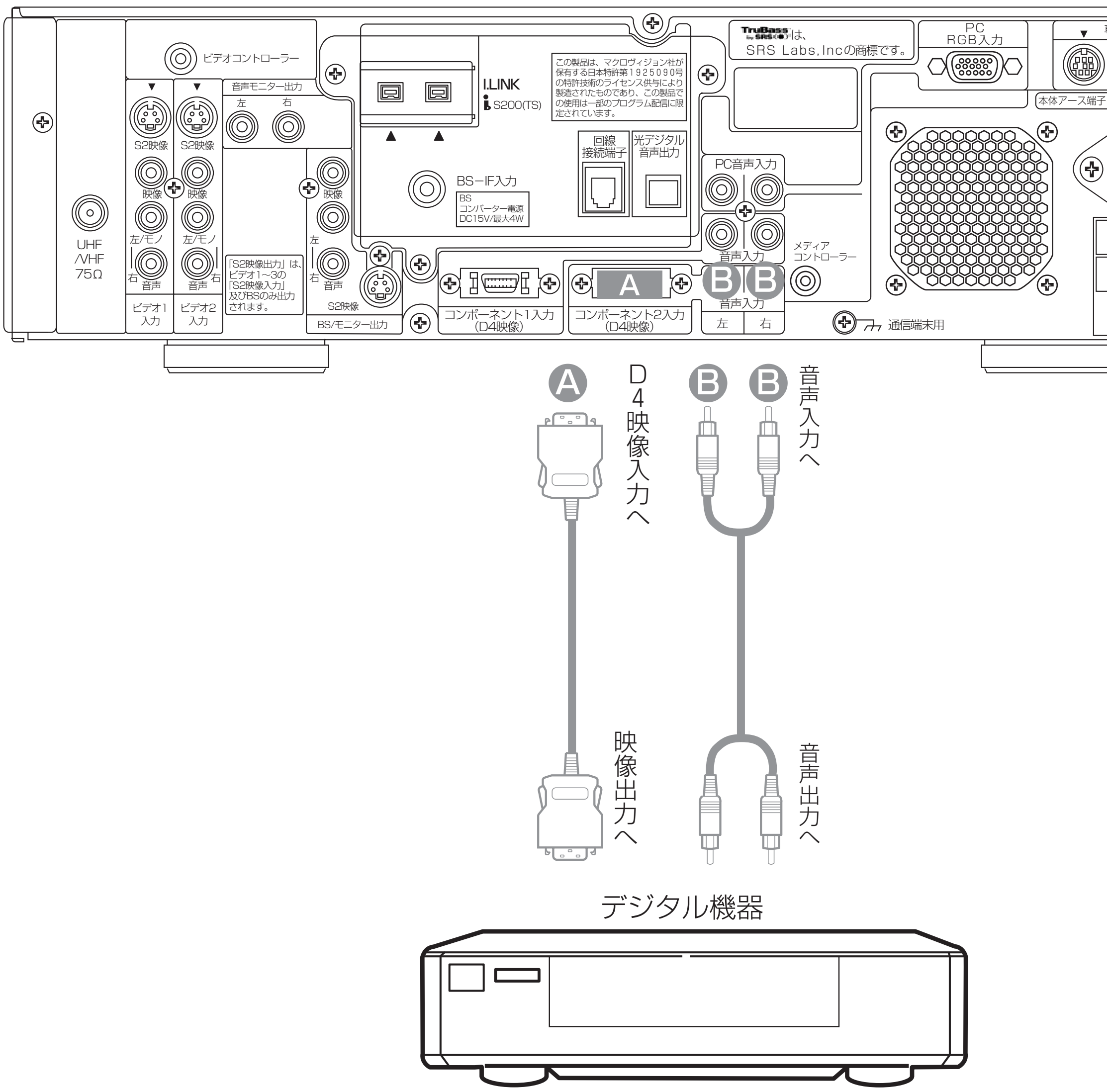
お知らせ

- ゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。
- ライフルタイプやガン（銃）タイプのコントローラを使用するシューティングゲームなどは、本機では使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトおよびコントローラの取扱説明書をご覧ください。

将来実用化予定のデジタル機器との接続

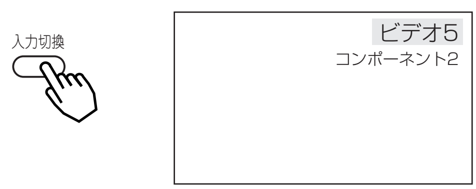
将来実用化予定のデジタル放送環境に対応したデジタル機器に接続することができます。（図の同じ記号のところに接続してください）

チューナー後面



1 入力切換ボタンで「ビデオ5」にする

画面に「ビデオ5」の表示が出ます。



2 デジタル機器を操作する

詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

メ モ

コンポーネント2入力端子について

- コンポーネント2入力端子（D4映像）は、将来実用化予定のデジタル機器のD映像信号を接続できます。本機はD映像信号の525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）750P（720P）に対応しています。525p（480p）、1125i（1080i）、750P（720P）信号を入力時は、画面が自動的にフルモードになります。
- コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。
- 詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

設置

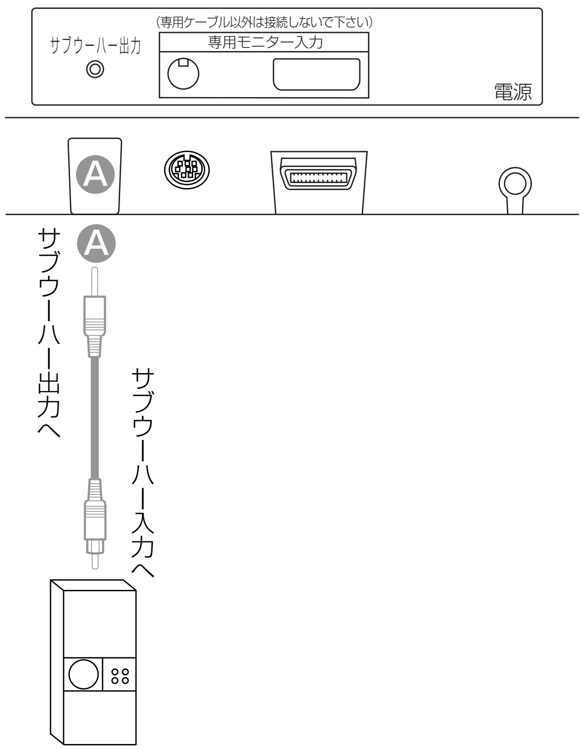
オーディオ機器との接続

**ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。
（図の同じ記号のところに接続してください）**

モニターのサブウーハー出力端子へ接続する場合

モニターのサブウーハー出力は本機により音量、音質など調節された低音を出力します。
専用オプションのサブウーハーを接続してください。

モニター後面



1 本機で音量を調節する

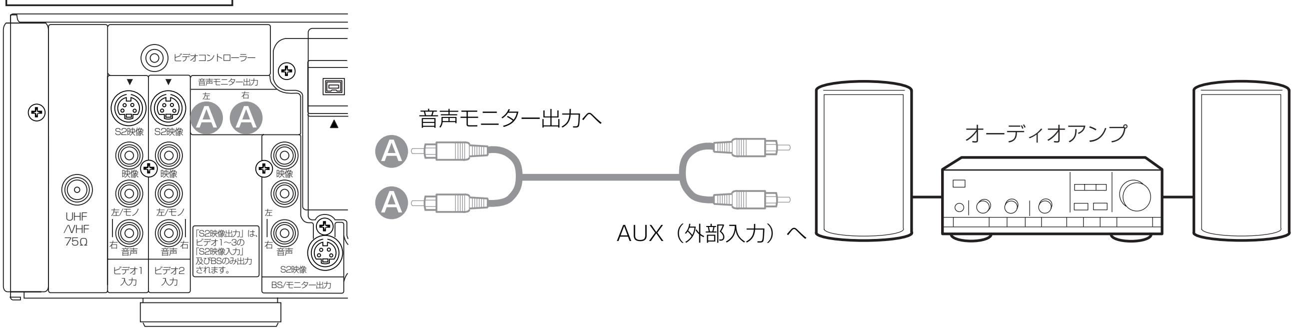
接続したサブウーハーの音量は、本体のスピーカー音量に合せて固定してください。
音量調節などは本機で行えます。

お知らせ

サブウーハーなどの接続方法は、その機器の取扱説明書をご覧ください。

チューナーの音声モニター出力端子へ接続する場合

チューナー後面



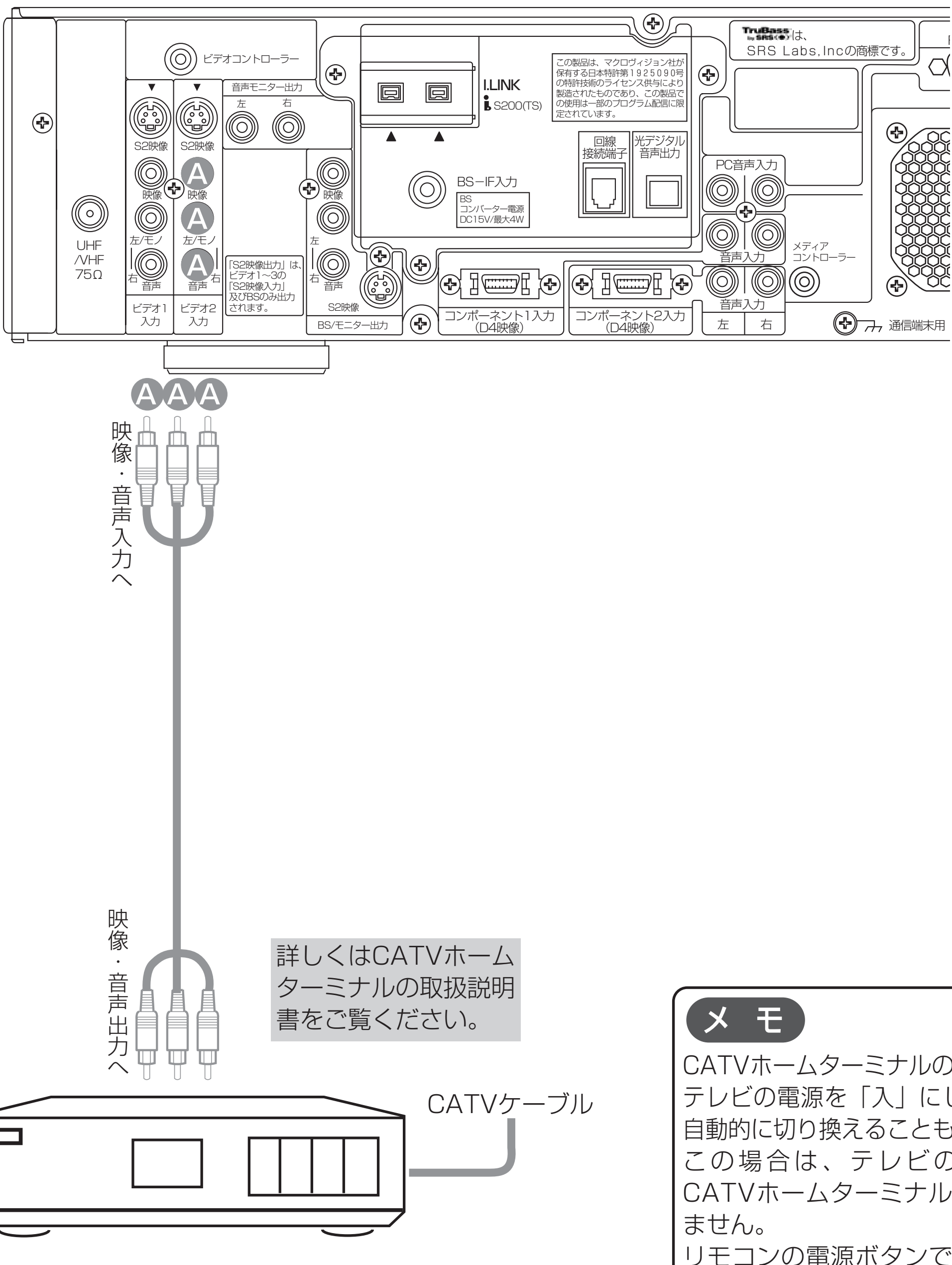
1 接続したステレオ装置などで音量を調節する

ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

CATVホームターミナルとの接続

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

チューナー後面



CATVホームターミナル

> **メモ**
>
> CATVホームターミナルの電源に連動して、テレビの電源を「入」にして、ビデオ2に自動的に切り換えることもできます。
>
> この場合は、テレビの電源「切」はCATVホームターミナルの電源に連動しません。
>
> リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。 54

将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。

使いかたなど、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

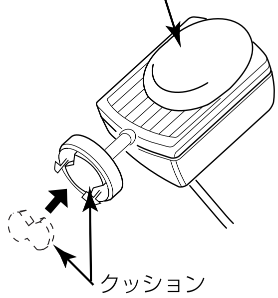
他の外部機器と接続したいとき（つづき）

赤外線システムについて

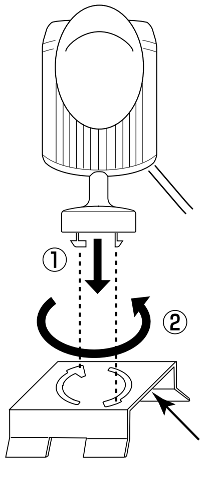
チューナーには、別売の赤外線伝送システム（PCT-BR6000）の入力端子と、付属品のワイヤレスクッションとワイヤレスホルダーを備えております。接続の際は下図の要領で接続してください。

赤外線システムの接続

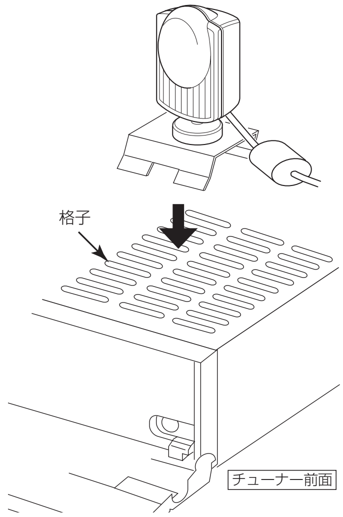
1 クッションの裏面はくり紙をはがし貼り付ける



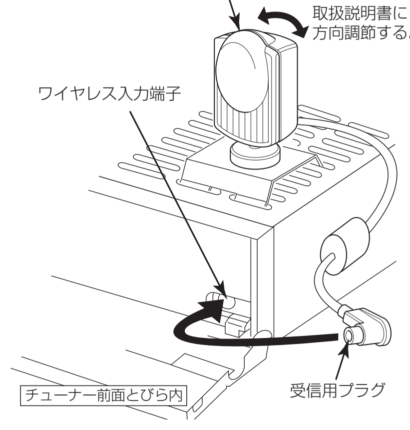
2 ワイヤレスホルダーを取り付ける



3 トップケースの格子にはめ込む



4 受信用プラグをとびら内のワイヤレス入力端子にはめ込む

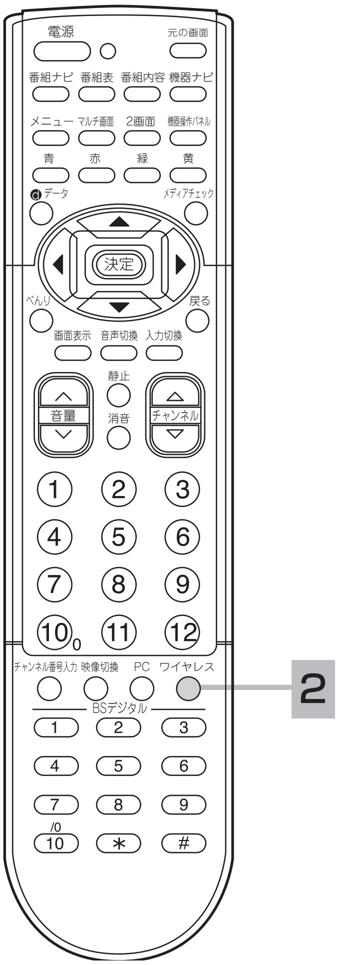


メモ

赤外線伝送システムについて

本システムは、ゲーム機、ビデオカメラなどをはなれた場所からワイヤレスで見ることができるシステムです。
お取り扱いについてはPCT-BR6000の取扱説明書に従ってください。
赤外線伝送システム（PCT-BR6000）は、オプションで別売となっております。ご利用の際はお近くの販売店にお問い合わせください。

赤外線システムの使いかた



1 赤外線伝送システム（PCT-BR6000）の送信ユニットを設置し、各機器の電源を入れる

赤外線伝送システム（PCT-BR6000）の取扱説明書の「設置・使用方法」に従ってください。

2 ワイヤレスボタンを押す

画面に「ワイヤレス」が表示されます。
入力切換ボタンを押しても、「ワイヤレス」に切り換えられます。





3 赤外線伝送システムの受信部、送信部の方向、角度を調節し最も画像がきれいなところにあわせる

赤外線伝送システム（PCT-BR6000）の取扱説明書の「設置・使用方法」に従ってください。

お守りください

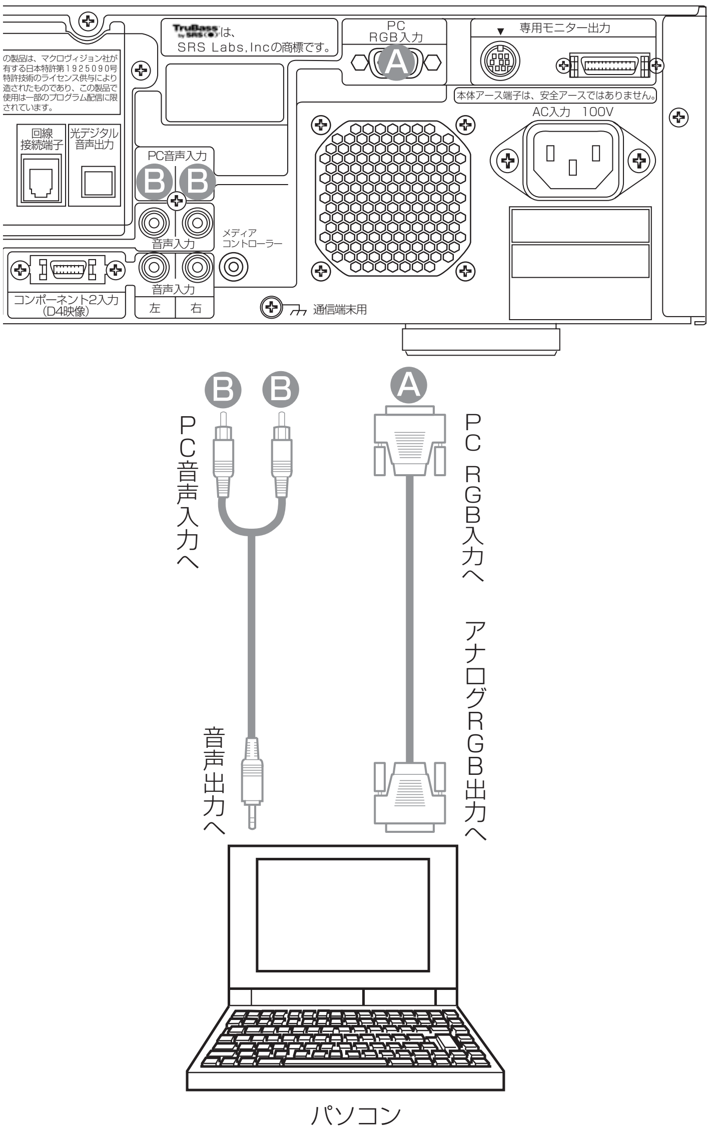
●受信部にリモコンなどの赤外線を当てないでください。ノイズが入ったり、大きな音が出たりします。また、直射日光などの強い光が当たると、同様な現象が起きることがあります。
●送信部と受信部が近すぎたり、間に障害物がある場合はノイズが入ることがあります。
●受光部をモニターの画面に向けたり、近づけたりすると映像や音声がみだれたり、雑音がでたりすることがあります。画面からはなしてご使用ください。
●赤外線伝送システムをご使用中、送信ユニットの電源を「切」にした場合、モニターのスピーカーから大きなノイズが出る場合あります。
送信ユニットの電源を「切」にする場合はモニターの電源を切るか、入力切換で「ワイヤレス」以外をお選びください。

PC入力について

パソコンとの接続

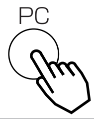
（図の同じ記号のところに接続してください）

チューナー後面



1 PCボタンで「PC」にする

入力切換ボタンを押しても「PC」に切り替えられます。



2 パソコンを操作する

詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

モニター出力端子について

PC入力画面と音声はモニター出力端子には出力されません。

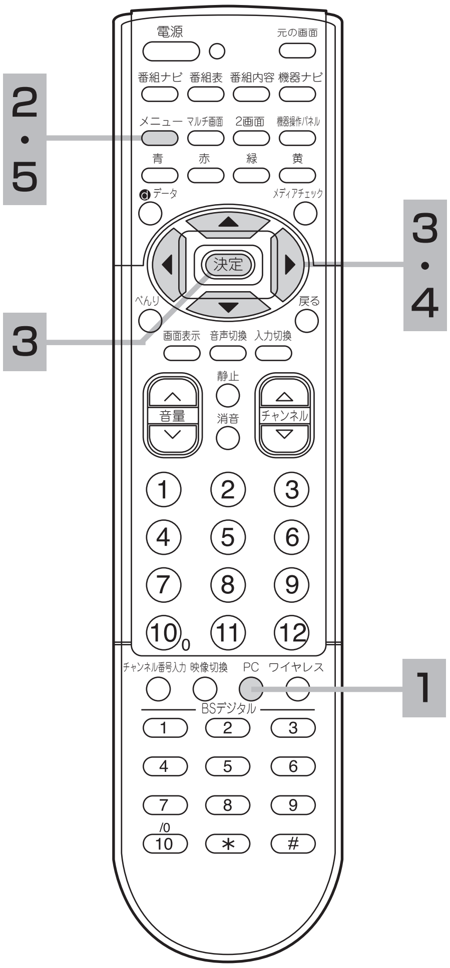
接続について

●パソコンを接続するときは、RGB接続コード（別売り）が必要です。
パソコンによっては、パソコンでオプション設定されている変換コネクタが必要な場合があります。

●RGB接続コードは、接続コードに付属されたネジなどにより、本機にしっかりと取り付けることをおすすめします。

長時間ご使用時のご注意

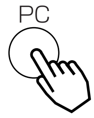
長時間連続してご覧になると、目が疲れます。時々は画面から離れて、目を休めてください。

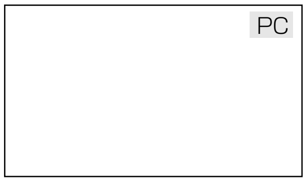


PC入力画面の映像設定をしたいとき

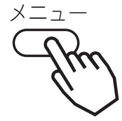
1 PCボタンでPC入力を選ぶ

入力切換ボタンを押しても「PC」に切り替えられます。

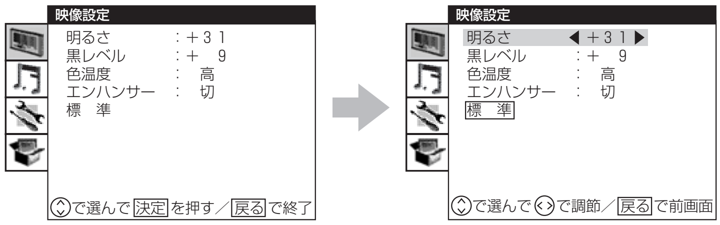




2 メニューボタンを押す



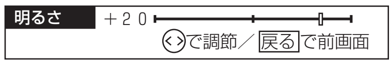
3 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で設定したい項目を選び、 で調節する

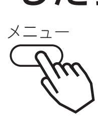
（例）明るさを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像設定 項目			設定のポイント
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒の信号レベルが黒になるように
色温度	低←→中←→高		通常は「高」でお使いください
エンハンサー	切←→入		より細い部分を鮮明にしたい時は「入」にしてください
標準	——	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す

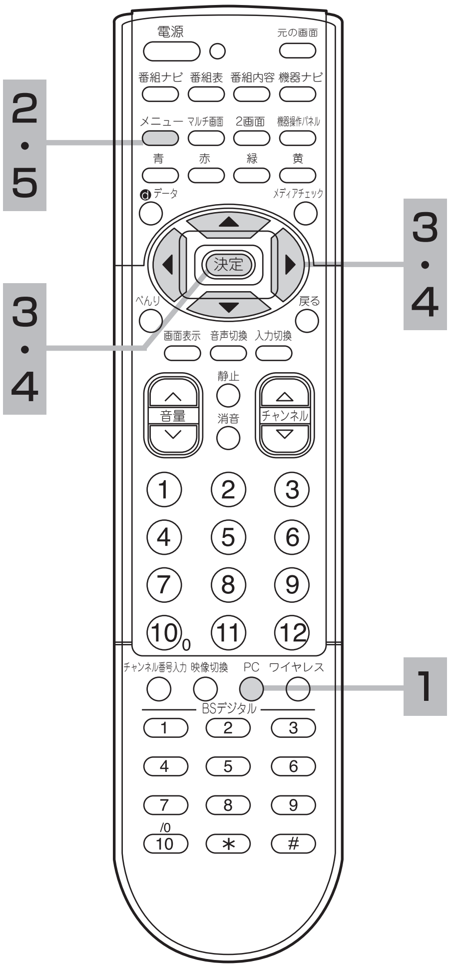


お知らせ

パソコンの停止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。パネルに映像が焼き付いた場合は、スクリーンセーバーをご使用ください。53

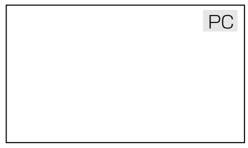
PC入力について（つづき）

PC入力画面の位置などを自動調節したいとき

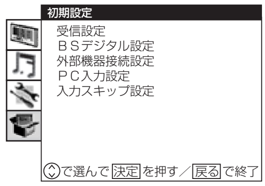


1 PCボタンでPC入力を選び、調節したい信号を受信する

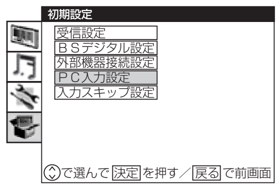
入力切換ボタンを押しても「PC」に切り換えられます。



2 メニューボタンを押し、 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

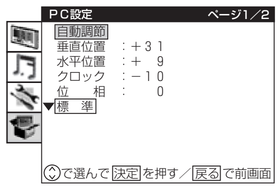


3 で「PC入力設定」を選び、決定ボタンを押す



4 で「自動調節」を選び、決定ボタンを押す

- 垂直位置、水平位置、クロック、位相が自動的に調節されます。
- 自動調節中は「自動調節実行中」と表示されます。



5 設定が終わったらメニューボタンを押す

お知らせ

PC入力画面表示について

- 自動周波数表示が「入」のときは新しい信号を受け付けたときに周波数を表示します。
  （例）「H:48.4kHz, V:60.0Hz」
  ↑ 水平周波数　↑ 垂直周波数
- 同期信号が検出できなかったときは「信号を入力して下さい」と表示されます。176
  同期信号が検出できない状態が約10秒間継続すると「パワーセーブ」と表示したあと電源の表示ランプが緑から橙色になりパワーセーブモードに移行します。
- 入力信号が本機の仕様に合わないか、不安定な状態のときは「信号を確認してください」と表示されます。

自動調節機能について

- 自動調節機能はPC入力の信号に対して垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動的に調節する機能です。
- 自動調節を行う場合
  自動調節は電源を入れ20分以上経過してから明るい、静止画信号を受信して行ってください。暗い信号（特に画面周辺部）や動画信号では正しく動作しないことがあります。
- 入力信号の種類によっては、自動調節を行っても正しく調節されない場合があります。この場合はもう一度自動調節を行うか、マニュアルで調節してください。167

PC入力画面の位置などをお好みに調節したいとき

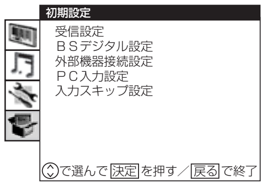


1 PCボタンでPC入力を選び、調節したい信号を受信する

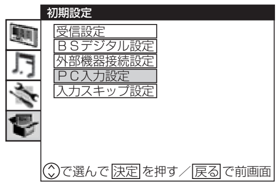
入力切換ボタンを押しても「PC」に切り換えられます。



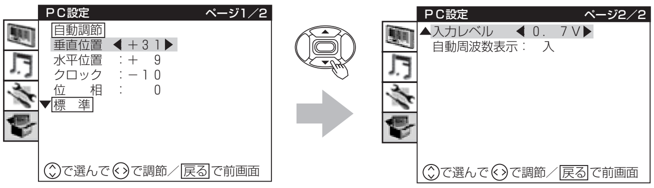
2 メニューボタンを押し、⇧⇩で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

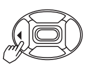
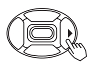
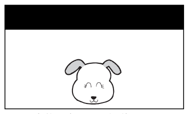
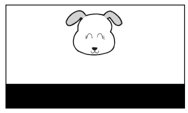
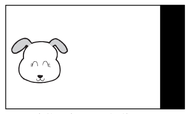
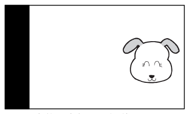


3 ⇧⇩で「PC入力設定」を選び、決定ボタンを押す



4 ⇧⇩で調節したい項目を選び、⇦⇨で調節する



 調整項目			設定のポイント
垂直位置	 映像が下へ移動する	 映像が上へ移動する	映像の中心を画面中央に合せます。-32〜+32までの設定ができます。（※）
水平位置	 映像が左へ移動する	 映像が右へ移動する	映像の中心を画面中央に合せます。-64〜+64までの設定ができます。（※）
クロック	−32〜+32までの設定ができます。		縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。
位　相	0〜64までの設定ができます。		横方向の縞や文字のにじみが最小になるように調節します。
標　準	——	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。
入力レベル	0.7V	1.0V	通常は「0.7V」でご使用ください。白つぶれが激しいときは「1.0V」にします。
自動周波数表示	切	入	信号を切り換えるときの周波数表示がわずらわしいときは「切」にします。

※パソコン信号によっては、設定範囲が狭くなる場合があります。設定値がマゼンダ色で表示されると、設定範囲を超えた場合であり、設定値が変わりますが、実際の映像設定は変化しません。

4 設定が終わったらメニューボタンを押す

お知らせ

- 自動調節、垂直位置、水平位置、クロック、位相はべんり機能で設定することもできます。25
- PC入力時の垂直位置、水平位置,クロック、位相調節は自動調節することをおすすめします。
- 自動調節で正しく調節できないときは、マニュアルで調節してください。

設置

PC入力について（つづき）

対応する信号について

本機は、24kHz～109kHzの水平周波数、50Hz～85Hzの垂直周波数に対応して入力を自動判別します。

推奨信号について

本機は、下記に示す推奨信号についての設定があらかじめ登録されています。

No.	信号 信号名	信号 解像度	信号 垂直周波数(Hz)	水平周波数(kHz)	ドットクロック周波数(MHz)
1	VGA	640×400	70.10	31.48	25.18
2		640×480	59.94	31.47	25.18
3	VESA	640×480	72.81	37.86	31.50
4		640×480	75.00	37.50	31.50
5		800×600	56.25	35.16	36.00
6		800×600	60.32	37.88	40.00
7		800×600	72.19	48.08	50.00
8		800×600	75.00	46.88	49.50
9		1024×768	60.00	48.36	65.00
10		1024×768	70.07	56.48	75.00
11		1024×768	75.03	60.02	78.75
12		1280×1024	60.02	63.98	108.00
13		1280×1024	75.03	79.98	135.00

- 使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際には必ず垂直位置、水平位置、クロック、位相を調節してください。
- 垂直周波数60Hz以上の信号を入力したとき、動画像が正しく表示できないことがあります。
- 本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。
- VGAリアル表示以外は、画像を圧縮（または間引き）処理をおこないますので忠実に再現されない場合があります。
- 本機は、下表に示す入力信号でご使用になることをおすすめします。フロントポーチやバックポーチが極端に長かったり、データ表示時間が極端に短かったりすると、登録された設定状態が正しく再現されない場合があります。

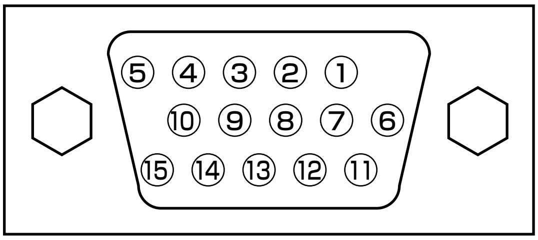
		フロントポーチ	同期幅	バックポーチ	ブランキング幅
水平タイミング	水平周波数 24kHz-52kHz	0.1μs以上	1.0-3.8μs	1.2μs以上	3.5μs以上
	水平周波数 52kHz-107kHz	0.1μs以上	0.8-3.0μs	1.1μs以上	2.3μs以上
垂直タイミング		9μs以上	25μs以上	400μs以上	450μs以上

- 信号のばらつきなどにより画面が適正に表示されない場合、自動調節やメニュー画面で調節してください。
- パソコンの解像度、色数などの設定を変更するときは、変更後の信号が上記に適合していることをあらかじめご確認ください。上記以外の信号に設定すると、画面が乱れたり、「信号を確認してください」が表示されたりします。
  上記以外の信号に設定して正常に表示される場合、メニュー画面での調整が正常に機能しないことがあります。
- ノートパソコンに接続して内蔵ディスプレイと同時に表示させると、パソコンによっては正常に機能しないことがあります。
- 信号が切り換わるときに画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。

PC（RGB）入力端子のピン配列

ピンNo.	入力信号
1	Rビデオ
2	Gビデオ
3	Bビデオ
4	（接続無し）
5	（接続無し）
6	Rグランド
7	Gグランド
8	Bグランド
9	（接続無し）
10	グランド
11	（接続無し）
12	（接続無し）
13	水平同期
14	垂直同期
15	（接続無し）

ミニD-Sub15ピンコネクター



メ モ

ワイドモードについて

PC入力時は、ノーマル、リアル、フルモードのいずれかのワイドモードを選択できます。 28

パソコンの表示位置について

- ●パソコンの種類によって、信号形式が異なるため、パソコン映像の位置がずれる場合があります。「PC入力画面の位置調節」を参考にして位置を調節してください。167
- ●PC入力の映像はマルチ画面で表示できません。

据え付けについて

転倒防止について

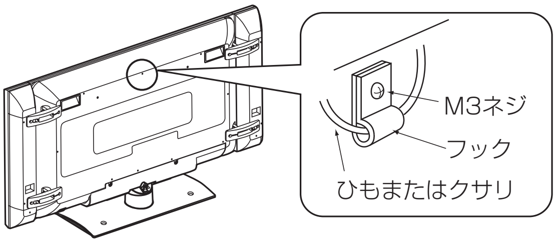
スタンドご使用時の転倒防止について

本機は奥行きが小さいため、大きな地震等の際には倒れる場合があります。必ず転倒防止をおこなってください。

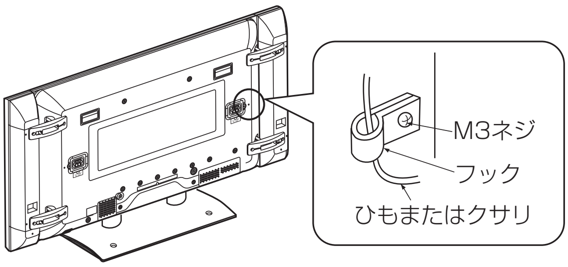
壁または柱などに固定する場合

1 図のようにセット後面上部に付いているフックにひもまたはクサリを通してください。

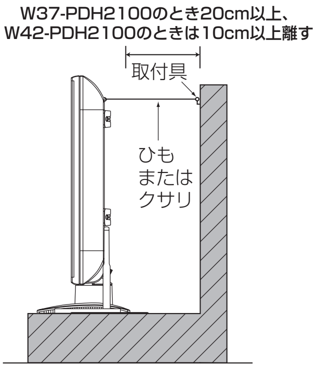
W37-PDH2100のとき



W42-PDH2100のとき

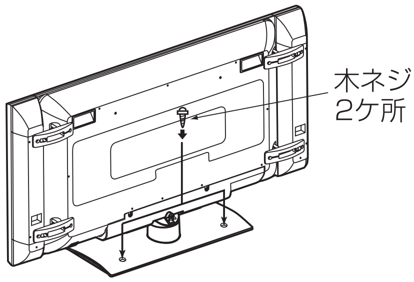


2 ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。



卓上などに固定する場合

1 図のようにスタンド後部の固定用ネジ穴に木ネジなどで固定し、ご利用ください。（左右2ヶ所）



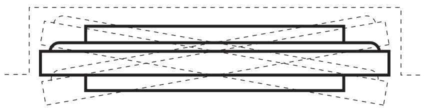
2 木ネジなどについては市販品をご利用いただき、しっかりと固定してください。

> ⚠ **注意**
>
> 本機は安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。
> 本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

据え付けるときのご注意

モニターの設置について

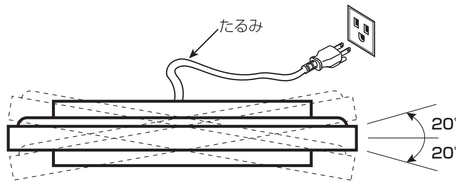
●モニターの周囲は、スイーベル時の空間を十分に確保してください。（W37-PDH2100のみ）



⚠ **注意**
回転中に指や物をはさまない。
必要以上の力で急激に回転させないでください。（スタンドがすべって台からはずれてしまう恐れがあります。）

本体の向きを変える（W37-PDH2100のみ）

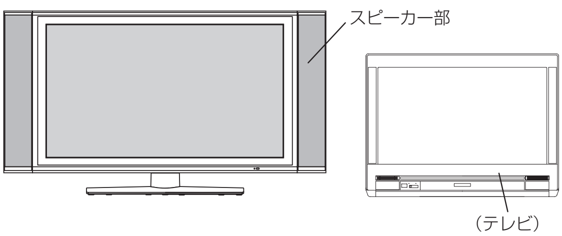
●本機はスイーベル機構を採用していますので、手動でモニター本体を左右に回転することができます。



お守りください
本機は、スイーベル機構（W37-PDH2100のみ）を採用していますので、電源コードおよび専用接続ケーブルは、回転に支障のないようにたるみをもたせてください。13

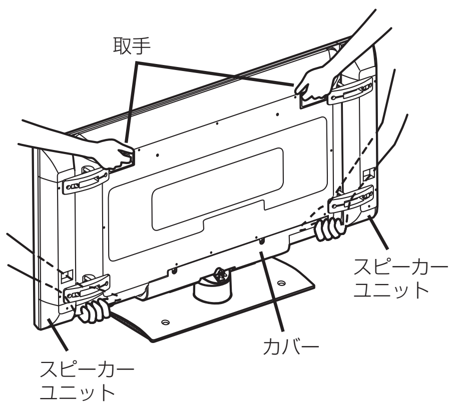
設置をするとき

●ブラウン管タイプのテレビをスピーカー部に近づけると、ブラウン管テレビに色むらや画面揺れが発生することがありますので離して使用してください。



移動するとき

●この商品は重量物です。移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。
●持ち運びは、取手と前面側から製品下側の両端部を持って製品を保持してください。スピーカーユニットや製品下側のカバーを持って保持しないでください。取り付け部品が外れて、製品が落下してけがの原因となることがあります。



⚠ **警告**
本機の据え付けには性能および安全性を維持するために必ず付属のスタンドや専用のオプションユニットをご使用ください。付属のスタンドを取りはずし、別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

⚠ **注意**
通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

●ラック、箱のような狭いところに入れないでください。
●周囲の壁などから10cm以上離してください（モニターを壁掛け設置する場合は除く）。特にチューナーの上部には装飾品など置かず、空間をとってください。

⚠ **注意**
電源プラグをすぐに抜くことができるようにモニターとチューナーを据え付けてください。

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

⚠ **注意**
チューナーはモニターの主電源スイッチを切っても、電源から遮断されません。万一異常があった場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。

⚠ **注意**
別売の専用壁掛ユニット（TB-PK02）を使用して壁に取り付ける場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

パワーセービングシステム

パワーセービングとは、入力信号が無くなったことを検知して、自動的にテレビの消費電力を節約する省電力機能です。

パワーセービング状態は、電源のスタンバイ／受像ランプで確認できます。
パワーセービングシステムは、ビデオ入力／ワイヤレス入力信号を検知するビデオパワーセーブとPC入力信号を検知するPCパワーセーブがあります。

パワーセービングシステム	入　力	スタンバイ/受像ランプ	テレビの状態	内　容	お知らせ
ビデオパワーセーブ	ビデオ入力端子またはワイヤレス入力端子	緑色	オン状態	通常のビデオ入力／ワイヤレス入力の画面が表示されています。	メニューの設定でパワーセーブにならない様にすることも可能です。 55
		橙色	パワーセーブ状態	ビデオ入力／ワイヤレス入力の信号が無い状態が約10秒続くとこの状態になります。	
PCパワーセーブ	PC(RGB)入力端子	緑色	オン状態	通常のパソコン使用状態です。	リモコンの入力切換ボタンで「PC」を選んでいるときに動作する機能です。
		橙色	パワーセーブ状態	パソコンからの水平／垂直同期信号のどちらかまたは両方が無い状態が約10秒続くとこの状態になります。	

メモ

スタンバイ／受像ランプが橙色に変わる前に、モニターの画面に「パワーセーブ」の表示が5秒間表示されます。

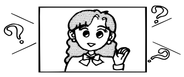
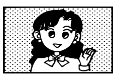
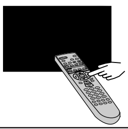
故障かな？と思ったら

電源プラグや専用接続ケーブルがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

> ⚠ **注意**
> アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

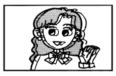
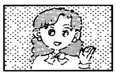
> ⚠ **警告**
> お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

全般

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画面が出ない 音も出ない 	①外部機器接続端子位置と入力切換ボタンの切り換え位置の不一致。 ②モニターとチューナーを接続している専用接続ケーブルがはずれているまたは挿入が不完全。	①入力切り換え位置を合わせてください。 ②モニターとチューナーの専用接続ケーブルの接続をやり直し、完全に挿入して、電源を入れ直してください。	27 13
画面は出るが 音が出ない 	①音量調節が0になっている。 ②消音ボタンを押している。	①音量ボタン(∧)を押してみてください。 ②もう一度消音ボタンを押してみてください。	21 34
カラー番組のときに色が出ない 	色の濃さの設定が－(淡)側いっぱいになっている。	映像設定で色の濃さを選択し、＋にしてみてください。	39
リモコンで テレビが 操作できない 	①リモコン送信機の乾電池の⊕ ⊖が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。	①乾電池を正しく入れてください。 ②乾電池を新しいものに交換してください。	19
「ピシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		――
ラジオやマイク（無線タイプ）に雑音がはいる	本機の近くでラジオやマイク（無線タイプ）などを使用しますと、雑音がはいる場合があります。本機より離してご使用ください。		――
モニターから「ジー」と音がする	電源を入れたときに、プラズマディスプレイパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。		――
モニターの上部が熱い	本機のモニターは、長時間使用した時などに、モニター上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。		――
電話機にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	付属のモジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	――
テレビを使用していないのに、チューナー部から「ブーン」と音がする	①BSデジタル放送の番組情報などを送受信するため、チューナー部の回路が自動的に動作し、ファンモーターが動作する音です。 ②BSデジタル放送を予約録画したときなど、予約に従いチューナー部の回路が自動的に動作し、ファンモーターが動作する音です。		――
リモコンで電源を「切」にしても、機能待機ランプが点灯したまま	①i.LINK待機の設定が「する」に設定されている。 ②BSch固定が「入」に設定されている。 ③有料放送の契約・購入状況や双方向サービスの情報を取得するため、自動的に機能待機状態（機能待機ランプが点灯）になる場合があります。		151
モニターの表面温度が高い	プラズマディスプレイパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。 そのため、パネル表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		――
画面上に周囲と異なる点（※）がある ※光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など。	プラズマディスプレイパネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		――
画面の内容により、縦状のノイズが出る	プラズマディスプレイパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		――

故障かな？と思ったら（つづき）

テレビ放送のとき（VHF・UHF）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画像が2重 3重に映る (ゴースト) 	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	①ビルが建つなど、周囲の状況についてお調べください。 ②アンテナの向きがずれていないかお調べください。	―――
	GRT設定（ゴーストリダクション）が「切」になっている。	GRT設定を「入1」または「入2」に設定してください。	33 132
●雪が降っているような画面になりハッキリしない(スノーノイズ) ●「アンテナ・受信設定を確認して下さい」と表示がでる 	アンテナの向きが正しくない。	アンテナの向きがずれていないかお調べください。	108
	アンテナ線がはずれている。	セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	
	受信設定が合っていない。	①お住まいの都市の地域番号で放送局を設定してください。 ②お好みに合わせてマニュアルによるチャンネル合わせをしてください。	120 128
	チャンネルの微調が合っていない。	電波状態によって同調を少しずらした方が見やすくなるときに調節してください。	131
	放送局から放送されていない。	放送されていないCHや深夜の放送されていない時間帯では、しばらく放置すると「アンテナ・受信設定を確認して下さい」の表示がでることがあります。	―――

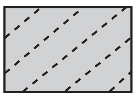
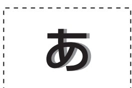
BSデジタル放送のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
●映像や音声が出なくなったり、または時々でなくなる ●映像が静止したり、または時々静止する	●BSアンテナの向きがずれている。 ●アンテナ線が劣化している。	「BSアンテナ設定」でアンテナ入力レベルが最大になる角度にアンテナを調節してください。	143
	雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなる場合があります。	天候が回復すると元に戻ります。	―――
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々でなくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、BSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用すると、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良いBSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	―――
●BSデジタル放送やBSデータ放送の映像が静止したり、映らない ●BSデジタル放送やBSデータ放送の選局や操作ができない	①電源の入った状態でチューナー本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。（BSリセット） ②チューナーの電源プラグを抜いて、10秒以上経過してから再度電源プラグを差し込んでください。		17
画面に「購入できませんでした」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	①電話回線が正しく接続されていない。 ②「電話設定」が間違っている。 ③B-CASカードが正しく挿入されていない。	①電話回線を正しく接続してください。 ②「電話設定」を正しく設定してください。 ③B-CASカードを正しく挿入してください。	113 138 112
急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。	―――

BSデジタル放送のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
有料放送の視聴ができない	①B-CASカードが正しく挿入されていない。 ②有料放送を視聴するための手続きがされていない。 ③電話回線の接続や設定が不完全。	①B-CASカードを正しく挿入してください。 ②視聴手続きを行なってください。 ③電話回線の接続と「電話設定」を確認してください。	112 113 138
予約が実行されない	「視聴」で予約して、電源がオフ（または機能待機）になっている。	「視聴」で予約した場合は、電源オフ（または機能待機）にしていると予約が実行されません。	77
字幕や文字スーパーが出ない	①メニュー画面などが表示されている。 ②BSデジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されている。 ③字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。	①メニューや操作画面を消してください。 ②BSデジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」に設定してください。 ③字幕の場合、字幕のアイコン（ジンボルマーク）が表示された番組を視聴してください。	93
本機から通信を行なうと電話器やファクシミリに呼び出し音が鳴る	一部の電話器やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	付属のモジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器（パソコン対応）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	――
ダウンロードを行なったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。		――
Irシステムで録画機器の録画予約ができない	①ビデオコントローラーが正しく設置できていない。 ②「Irシステム」の設定が正しくない。 ③録画機器の準備が正しくできていない。	①ビデオコントローラーを正しく接続、設置してください。 ②「Irシステム」の設定を正しく行なってください。 ③録画機器の電源やビデオカセットなどを確認してください。	114 148
i.LINK対応機器が操作できない	①本機に対応していないi.LINK対応機器を接続している。 ②i.LINK接続設定で「使用しない」に設定されている。	①本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ2台までです。 ②i.LINK接続設定で「使用する」に設定してください。	103

PC入力のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
PC入力時、画面位置がずれている	①信号の種類によっては、ずれる場合があります。 ②入力信号が本機の推奨信号と合っていない。	①位置の調節を行ってください。 ②本機の推奨信号を入力してください。	167 168
●画面がななめに流れる場合  ●画面全体に文字列を表示すると、縦縞がはいり、画面縦列の文字がにじんで表示される場合 	パソコンの出力信号が切り換った時、パソコンの機器を換えた時におきることがあります。	クロックと位相を調節してください。（クロックを調節後、位相を調節してください。）	167
●画面全体に文字列を表示すると、画面全体の文字がにじんで表示される場合  ●細かい模様を表示させたときに画面がちらつく場合 	パソコンの出力信号が切り換った時、パソコンの機器を換えた時におきることがあります。	位相を調節して、最もくっきり見えるようにしてください。	167
フリッカにより横線が上下に振動している（PC入力時）	コンピューターの垂直周波数が75Hz未満の場合は、周波数を高くしてみてください（上限85Hz）。現象が軽減される場合があります。		――
フル表示画面で粗い横筋が見える（PC入力時）	目の錯覚により見える場合があります。位相調節により横筋を軽減することができます。		167

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、
状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内　　容
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できませんでした。	購入記録が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。
受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。	有料番組を購入しなかった場合に表示されます。再度、購入操作をしてください。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	放送を休止しているチャンネルを選んでいます。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示もできない場合があります。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機専用のB-CASカードを正しく挿入してください。
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか、BSアンテナ設定でBSアンテナ電源の設定が間違っていないか確認してください。
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。
PC入力では操作できません	●PC入力をご覧になっているときは、マルチ画面および静止画面にすることはできません。マルチ画面および静止画面は、テレビチャンネルまたはビデオ入力でお楽しみください。 ●PC入力をご覧になっているときは、メニューの外部機器接続画面を表示することはできません。入力切換ボタンでビデオ入力モードに切り換えてから行ってください。
操作できません PC入力で操作して下さい	テレビチャンネルおよびビデオ入力をご覧になっているときは、メニュー画面のPC入力設定画面を表示することはできません。PC入力設定は、PC入力端子に信号を入力したのち、PCボタンでPCモードに切り換えてから行ってください。
信号を入力して下さい	同期信号の検出ができない場合に表示されます。 ●信号ケーブルの接続状態を確認してください。 ●パソコン、映像機器などのスイッチがONになっていることを確認してください。 ●パソコンがパワーセーブモードになっていないか確認してください。 ●入力切換が接続端子と一致していることを確認してください。
信号を確認して下さい	入力信号が正常に受信できない場合に表示されます。入力信号が本機の仕様に合っているか、または信号ケーブルの接続状態を確認してください。

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって表示画面の情報をお知らせします。
主なアイコンとその内容は次の通りです。

	アイコン	内　容	アイコン	内　容
番組情報関連	テレビ	BSデジタルテレビ放送（映像＋音声）の番組	ラジオ	BSラジオ放送の番組
	データ	BSデータ放送の番組	臨時	臨時ニュースなど予定外の番組
	＋ⓓ テレビ	BSデジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組に合わせたBSデータ放送を行なっているテレビ連動データ放送の番組	ⓓ テレビ	BSデジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組とは別のBSデータ放送を行なっている番組
	＋ⓓ ラジオ	BSラジオ放送番組で番組に合わせたBSデータ放送を行なっているラジオ連動データ放送の番組	ⓓ ラジオ	BSラジオ放送番組で番組とは別のBSデータ放送を行なっている番組
	●●● 信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組	16:9 1125i	番組の映像信号情報（上：アスペクト比、下：信号方式）
	主	二重音声信号があり「主」を選択している場合	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合
	モノラル	モノラル音声の番組	主+副	二重音声信号があり「主＋副」を選択している場合
	ステレオ	ステレオ音声の番組	有料	有料の番組（ペイ・パー・ビュー番組）
	デジタル XCOPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	無料	無料の番組
	アナログ XCOPY	アナログコピーガードがかかっている番組	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
	デジタル 1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組	字幕	番組の中に字幕（日本語/英語）の情報がふくまれている番組
	20才～	視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4～20才まであります）	視聴	「視聴」で予約している番組
	予	予約している番組	録画	「録画」で予約している番組
		本機が電話回線を使用中の場合		
メール関連		お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）		お客様が既に読まれたメール（既読メール）
視聴制限関連	4才～	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。	有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連	視	「視聴」予約した番組	録	「録画」で予約した番組
	重複	予約時間が重なっており優先順位が低い番組	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
	無効	予約が全く実行されず予約終了時刻が過ぎた番組またはコピーガードのため、予約が実行できなかった番組	途中	予約録画で、一旦中断後に実行された番組
	中断	予約実行が途中で中止された番組	¥	有料の番組（ペイ・パー・ビュー番組）
電話発信記録	i.LINK	i.LINK接続したD-VHSビデオデッキから本機を通じて電話発信を行なった		

●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

メニュー階層

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。各機能のくわしい説明は、（　）内のページをご覧ください。

●リモコンの戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

メニュー
- **映像設定**
  - **ページ1/2(39)**
    - 映像モード
    - 明るさ
    - 黒レベル
    - 色の濃さ
    - 色あい
    - 画質
    - 色温度
    - 標準
  - **PC入力時(165)**
    - 明るさ
    - 黒レベル
    - 色温度
    - エンハンサー
    - 標準
  - **ページ2/2(40)**
    - ビデオ入力画質
    - オートコントラスト
    - 3次元Y/C
    - ライン補間
    - フィルムシアター
    - 黒補正
    - ＬＴＩ
    - ＣＴＩ
    - 標準
- **音声設定**
  - **ページ1/2(41)**
    - 音声モード
    - 高音
    - 低音
    - バランス
    - TRUBASS
    - サラウンド
    - 標準
  - **ページ2/2(42)**
    - ステレオミュート
    - ミュート音量
    - ヘッドホン音量
- **他の設定**
  - オートワイド設定(51)
  - BSch固定(59)
  - デジタル音声ーBS固定(60)
  - メディアコントローラー (52)
  - スクリーンセーバー
    - 画面移動(53)
    - 白パターン(53)

メニュー

- **初期設定**
  - 受信設定
    - CHボタン(130)
    - CH合せ（地域番号）
      - 地域番号(120)
    - CH合せ（マニュアル）
      - 設定モード(129)
      - ボタン番号(129)
      - チャンネル(129)
      - 表示(129)
    - GRT設定(132)
    - CHスキップ設定(134)
    - 受信モード(135)
    - アッテネーター(110)
  - BSデジタル設定
    - **ページ1/3**
    - 選局対象(92)
    - デジタル音声出力(152)
    - i.LINK待機(151)
    - ダウンロード予約(147)
    - **ページ2/3(93)**
    - 字幕
    - 字幕言語
    - 文字スーパー
    - 文字スーパー言語
    - **ページ3/3**
    - 録画・視聴設定
      - 時間変更追従(85)
      - マルチビュー録画(85)
    - 視聴制限設定
      - 暗証番号入力(88)
        - 視聴可能年齢(90)
        - 一番組限度額(90)
        - 暗証番号変更
          - 暗証番号入力(91)
        - 暗証番号取消し(91)
    - BS初期設定
      - **ページ1/2**
      - BSアンテナ設定
        - BSアンテナ電源(143)
      - 電話設定
        - 回線設定(138)
        - トーン検出(138)
        - 内線設定(139)
          - 内線発信番号入力(139)
          - 内線設定確認(139)
        - 電話テスト(139)
      - 地域設定
        - 県域設定(140)
        - 郵便番号
          - 郵便番号入力(140)
          - 郵便番号確認(141)
        - 地域設定取消し(141)
      - B-CASカードテスト(145)
      - **ページ2/2**
      - BSチャンネル設定(142)
      - 受信設定
        - トランスポンダ選択
        - 衛星周波数
      - 設定項目リセット(144)
  - 外部機器接続
    - モニター出力（ビデオ1）(55)
    - 入力検出（ビデオ2）(55)
    - ゲームモード（ビデオ3）(55)
    - ビデオパワーセーブ(55)
    - ビデオ入力表示書換
      - ビデオ入力表示書換(56)
    - コンポーネント設定
      - コンポーネント1(57)
      - コンポーネント2(57)
  - PC入力設定
    - **ページ1/2**
    - 自動調節(166)
    - 垂直位置(167)
    - 水平位置(167)
    - クロック(167)
    - 位相(167)
    - 標準(167)
    - **ページ2/2**
    - 入力レベル(167)
    - 自動周波数表示(167)
  - 入力スキップ設定
    - 入力スキップ設定(58)

メニュー階層（つづき）

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。各機能のくわしい説明は、（　）内のページをご覧ください。

●リモコンの戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

べんりメニュー

- **TV/BS/ビデオ入力時**
  - **ページ1/2**
    - 映像モード(38)
    - 音声モード(43)
    - TRUBASS(43)
    - サラウンド(43)
  - **ページ2/2**
    - ワイド切換(28)
    - 画面位置(31)
    - GRT(33)
    - オフタイマー(51)
- **PC入力時**
  - **ページ1/2**
    - 自動調節(166)
    - 垂直位置(167)
    - 水平位置(167)
    - クロック(167)
    - 位相(167)
    - 標準(167)
  - **ページ2/2**
    - 音声モード(43)
    - TRUBASS(43)
    - サラウンド(43)
    - オフタイマー(51)
- **2/マルチ画面でBSチャンネル時**
  - ボタン機能(45)(47)

機器ナビメニュー

- **機器ナビ**
  - 機器操作(99)
    - D-VHS＊
    - D-VHS＊
  - 機器接続設定
    - i.LINK接続(102)
    - Irシステム設定
      - Irシステム(149)
      - メーカー(149)
      - リモコン種別(149)
      - 外部入力(150)
      - テスト(150)
  - アナログ設定
    - D-VHS＊(153)
    - D-VHS＊(153)

番組ナビメニュー

- **番組ナビ**
  - 番組表(66)
  - 番組予約(76)
  - 裏番組(71)
  - 予約一覧(86)
  - BSチャンネル一覧(70)
  - インフォメーション
    - メール(97)
    - ID表示(63)
      - デコーダID
      - ステータス
    - 購入記録(75)
    - 電話発信記録
      - 購入記録の発信(96)
    - B-CASカード(63)
      - カード識別
      - カードID
      - グループID
  - ジャンル検索(72)

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証対象装置：モニター		W37-PDH2100 (M)
		W42-PDH2100 (M)
	チューナー	W37-PDH2100 (A)
		W42-PDH2100 (A)
	スピーカーユニット	W37-PDH2100 (SP)
		W42-PDH2100 (SP)

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

テレビの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後8年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは(出張修理)

173～175ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	日立プラズマテレビ
形名	W37-PDH2100 モニター：W37-PDH2100 (M) チューナー：W37-PDH2100 (A) スピーカーユニット：W37-PDH2100 (SP) W42-PDH2100 モニター：W42-PDH2100 (M) チューナー：W42-PDH2100 (A) スピーカーユニット：W42-PDH2100 (SP) リモコン：C-RK2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　）	年　月　日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

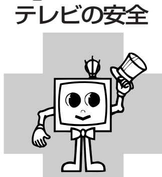
このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	０１１－８３３－５０８８	札幌市白石区東札幌２条４－１－１０
東北地区	０２２－２３２－５０８８	仙台市宮城野区扇町1－1－45
関東・甲信越地区	０３－３８３４－８５８８	台東区東上野２－７－５（日立家電上野ビル）
中部地区	０５２－７９５－５０８８	名古屋市守山区川宮町５５（日立家電守山ビル）
関西地区	０７８－４３１－５０８８	神戸市東灘区甲南町１－３－８
中国地区	０８２－２３１－５０８８	広島市西区観音新町１－７－１７
四国地区	０８７７－４７－１０８８	坂出市林田町４２８５－１４３
九州・沖縄地区	０９２－２８１－５０８８	福岡市博多区店屋町７－１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

用語解説

3次元Y/C

Y（輝度）信号とC（色）信号を、水平・垂直・時間軸方向で分離し、映像ノイズを減らす回路です。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の横と縦の比が、16：9になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

ワイドクリアビジョン放送

ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。

コンポーネント信号

輝度信号（Y）と2つの色差信号（PB/CB，PR/CR)の信号に分離された映像信号です。DVDソフト、BSデジタル放送などを高画質で楽しむことができます。

CATVホームターミナル

CATVのスクランブルのかかった有料放送を視聴するための専用チューナーです。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

D-VHSビデオデッキ

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。また、従来のVHS方式での録画・再生も行えます。

デジタルハイビジョン放送

2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。現行のアナログハイビジョン放送と同等の高画質映像を楽しむことができます。

D端子

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を1本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数によりD1～D5に分類されます。本機はD4（525i, 525p, 1125i, 750P）に対応しています。

アスペクト比

テレビ画面（または映像信号）の横と縦の比をいいます。通常テレビは4：3、ワイドテレビ（ハイビジョンテレビ）は16：9です。

525i(480i),525p(480p), 1125i(1080i),750P(720P)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。

1125i：走査線数1125本（有効走査線数1080本）、飛び越し走査方式（インターレース）
525p ：走査線数525本（有効走査線数480本）、順次走査方式（プログレッシブ）
525i ：走査線数525本（有効走査線数480本）、飛び越し走査方式（インターレース）
750P ：走査線数750本（有効走査線数720本）、順次走査方式（プログレッシブ）

DVD

12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声が記録された新しいメディアです。

RGB入力

パソコンの映像出力信号を接続する入力端子でパソコンを楽しむことができます。

索　引

英数字

10キー方式 …… 130
2ヵ国語（二重）音声放送 …… 36, 95
2画面の拡大 …… 45
2画面 …… 44
3次元Y/C …… 40
4画面 …… 46
B-CASカードテスト …… 145
B-CASカードの挿入 …… 112
BSch固定 …… 59, 60
BSアンテナ設定 …… 143
「BS初期設定」画面 …… 137
BSチャンネル設定 …… 142
「BSチャンネル設定」画面 …… 137
BSデータ放送 …… 94
BSデジタル放送 …… 22, 61
CATV …… 129
CATVホームターミナル …… 161
CHスキップ設定 …… 134
CTI …… 40
D4映像 …… 27
D-VHSビデオデッキとの接続 …… 116
F形接栓 …… 109
GRT …… 32,132
i.LINK …… 98
i.LINK待機の設定 …… 151
IEEE1394 …… 98
Irシステム …… 148
「Irシステム設定」画面 …… 148
Irシステムの設定 …… 148
LTI …… 40
TruBass …… 41
U/V混合器 …… 108
UHF/VHF混合アンテナ …… 108
UHFフィーダー …… 109
VHF/UHFアンテナ …… 108
VHF平行フィーダー …… 109
PC入力 …… 164

あいうえお

アイコン …… 177
明るさ …… 39
空きチャンネルの飛び越し選局 …… 134
アッテネーター …… 110
暗証番号登録 …… 88
暗証番号取消し …… 91
暗証番号入力 …… 87
暗証番号変更 …… 91
アンテナアダプター …… 109
アンテナ設定 …… 143
アンテナ線の接続 …… 108,111
アンテナ入力レベル …… 143
一番組限度額 …… 90
色あい …… 39
色の濃さ …… 39
インフォメーション …… 63
裏番組 …… 71
映画1 …… 30
映画1字幕 …… 30
映画2 …… 30
映画2字幕 …… 30
映像切換 …… 95
映像設定 …… 39,165
映像モード …… 38
お買い上げ時のチャンネル設定 …… 21
オフタイマー …… 50
親画面 …… 46
音声切換 …… 36, 95
音声設定 …… 41
音声モード …… 41
オートコントラスト …… 40

かきくけこ

回線設定 …… 138
「外部入力」の設定 …… 150
画質 …… 39
画面位置 …… 31
画面表示 …… 35, 68
機器接続設定 …… 102
機器操作 …… 99
クッション …… 162
クロック …… 167
クリエイト …… 38
黒補正 …… 40
黒レベル …… 39
ケーブルテレビ …… 129
ゲームモード（ビデオ3） …… 55
県域設定 …… 140
購入記録 …… 75
高音 …… 41
子画面 …… 46
ゴーストリダクション …… 32,132

さしすせそ

サブウーハー …… 160
サラウンド …… 41
時間変更追従 …… 85
システムアップ …… 154
視聴可能年齢 …… 90
視聴購入 …… 74
視聴制限設定 …… 88
視聴制限の解除 …… 87
字幕 …… 93
字幕言語 …… 93
ジャンル検索 …… 72

主音声 ……… 36, 95
受信設定 ……… 120
受像ランプ ……… 20
信号設定 ……… 80
スーパー ……… 38
垂直周波数 ……… 168
推奨信号 ……… 168
水平周波数 ……… 168
スクィーズ映像 ……… 30
スタンバイ ……… 20
ステレオ音声 ……… 36
ステレオ放送 ……… 36
ステレオミュート ……… 42
スムーズ ……… 30
静止画 ……… 49
赤外線伝送システム ……… 162
接続できる機器 ……… 154
設定項目のリセット ……… 144
選局対象 ……… 92

たちつてと

他の設定 ……… 51
地域設定画面 ……… 140
地域設定取消し ……… 141
地域番号 ……… 120
地域番号一覧 ……… 122
チャンネル設定 ……… 120
チャンネルを選ぶ ……… 21, 22
低音 ……… 41
デジタル音声出力の設定 ……… 152
デジタル音声端子付きオーディオ機器 ……… 117
テスト（Irシステム） ……… 150
転倒防止 ……… 170
電話回線の接続 ……… 113
「電話設定」画面 ……… 138
電話テスト ……… 139
電話発信記録 ……… 96
同軸ケーブル ……… 109
飛び越し選局 ……… 134
トーン検出の設定 ……… 138

なにぬねの

内線設定 ……… 139
ナチュラル ……… 38
二重音声放送 ……… 36, 95
ノーマル ……… 30

はひふへほ

番組購入 ……… 74
番組内容 ……… 69
番組ナビ ……… 62
番組表 ……… 66
番組予約 ……… 76
パソコン ……… 164
バランス ……… 41
微調 ……… 131
ビデオコントローラーの接続 ……… 114
ビデオ入力画質 ……… 40
フィルムシアター ……… 40
副音声 ……… 36, 95
付属品 ……… 12
フル ……… 30
ペイ・パー・ビュー ……… 74
ヘッドホン(ミニ) ……… 17
ヘッドホン音量 ……… 42
べんり機能 ……… 24

まみむめも

マルチ画面 ……… 44
マルチビュー録画 ……… 81
ミュート音量 ……… 42
メディアコントローラー ……… 118
メディアコントロール機能 ……… 52
「メーカー」の設定 ……… 149
メール ……… 97
モニター出力 ……… 55
モノラル ……… 36
文字スーパー ……… 93
文字スーパー言語 ……… 93

やゆよ

郵便番号 ……… 140
有料番組 ……… 74
予約 ……… 76
予約一覧 ……… 86
予約修正 ……… 78
予約取消し ……… 78
予約方式 ……… 77

らりるれろ

ライン補間 ……… 40
「リモコン種別」の設定 ……… 149
リモコンの取り扱い ……… 19
リアル ……… 30
連動予約 ……… 83
録画購入 ……… 74
録画モード ……… 81

わ

ワイド画面 ……… 28
ワイド機能 ……… 28
ワイドクリアビジョン放送 ……… 29
ワイドモードの選びかた ……… 28
ワイヤレスホルダー ……… 162
ワンタッチ ……… 128

仕　様

形　名		W37-PDH2100	W42-PDH2100
パネル	パネル	37形（ALIS方式）プラズマディスプレイパネル（16：9）	42形（ALIS方式）プラズマディスプレイパネル（16：9）
	表示ドット数	水平1024×垂直1024	
表示寸法		幅82.9×高さ46.1/対角94.0(cm)	幅92.2×高さ52.2/対角106.0(cm)
音声実用最大出力		24W（総合）（JEITA）	
スピーカー		8cmコーン型ウーファー…4個、2.5cmドーム型ツィーター…2個	
電　源		AC100V 50/60Hz共用	
動作保証温度		5～35℃	
消費電力		380W（モニター部：315W、チューナー部65W）	425W（モニター部：360W、チューナー部65W）
		待機時5W以下（モニター部：2W以下、チューナー部：3W以下）	
受信チャンネル		VHF1ch～12ch、UHF13ch～62ch、CATV(C13～C38)、BSデジタル000～999	
パソコン入力信号	映像信号	水平周波数24KHz～109KHz、垂直周波数50Hz～85Hz（アナログRGB、0.7Vp-p/1.0Vp-p切り換え可能）	
	同期信号	H/Vセパレート、（TTLレベル）	
端　子		ビデオ1映像入力端子 ……1個 ビデオ1音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ1S2映像入力端子 ……1個 ビデオ2映像入力端子 ……1個 ビデオ2音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ2S2映像入力端子 ……1個 ビデオ3映像入力端子 ……1個 ビデオ3音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ3S2映像入力端子 ……1個 ビデオ4映像入力端子（D4映像） ……1個 ビデオ4音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ5映像入力端子（D4映像） ……1個 ビデオ5音声入力端子(右)(左) ……1個 BS/モニター映像出力端子……1個	BS/モニター音声出力端子(右)(左) ……1個 BS/モニターS2映像出力端子 ……1個 ワイヤレス入力端子 ……1個 PC(RGB)映像入力端子 ……1個 PC音声入力端子……1個 音声モニター出力端子(右)(左)……1個 i.LINK端子……2個 光デジタル音声出力端子 ……1個 ビデオコントローラー端子 ……1個 メディアコントローラー端子 ……1個 回線接続端子 ……1個 ヘッドホン端子 ……1個 スピーカー端子（右）（左） ……1個 サブウーハー出力端子 ……1個
外形寸法	モニター	幅94.0×高さ57.3×奥行9.1（cm）	幅103.0×高さ63.6×奥行8.9（cm）
	モニター・スピーカーシステム・スタンド付	幅114.2×高さ65.1×奥行25.4（cm）	幅123.3×高さ71.3×奥行30.0（cm）
	チューナー	幅43.0×高さ12.1×奥行28.0（cm）	
質量	モニター	26.1Kg	29.8Kg
	モニター・スピーカーシステム・スタンド付	34.3Kg	38.8Kg
	チューナー	6.5Kg	
付 属 品		リモコン送信機 ……1個 単3形乾電池 R6P(またはSUM-3) ……2個 アンテナアダプター ……1個 中継接栓 ……1個 RFケーブル ……1個	電源コード ……2本 取扱説明書 ……1冊 専用接続ケーブル(3m) ……2本 他詳細は 12 を参照してください

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
●本製品は「高調波ガイドライン適合品」です。
●本製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロヴィジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

便利メモ	ID番号	
おぼえのため記入されると便利です。	63 に記載の「インフォメーション」画面の「B-CASカード」、「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要になる場合があります。	カードID (B-CASカード番号) デコーダーID

株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2－15－12
電話（03）3502-2111

QR50041

Printed in Japan TH-Y(S)